IS02

取扱説明書

IS series

目次
安全上のご注意
ご利用の準備
基本操作
文字入力
電話
連絡先／PIM機能
メール
インターネット
マルチメディア
ファイル管理
アプリケーション
便利な機能
端末管理
データ通信／無線LAN
auのネットワークサービス
海外利用
付録・索引
簡易英語
簡易中国語

au by KDDI

ごあいさつ

このたびは、IS02をお買い上げいただき、誠にありがとうございました。
ご使用の前に『取扱説明書』をお読みいただき、正しくお使いください。お読みになった後は、いつでも見られるようお手元に大切に保管してください。『取扱説明書』を紛失されたときは、auショップもしくはauお客様センターまでご連絡ください。

memo

オンラインマニュアルのご利用について
IS02に付属する『取扱説明書』(本書)は、オンラインマニュアルでもご用意しております。
auホームページでは以下のマニュアルがご利用いただけます。
- 『取扱説明書』のダウンロード
(http://www.au.kddi.com/torisetsu/index.html)

For Those Requiring an English/Chinese Instruction Manual
英語版・中国語版の『取扱説明書』が必要な方へ

English/Chinese Simple Manual can be read at the end of this manual.
簡易英語版/中国語版は、本書巻末でご覧いただけます。

安全上のご注意

IS02をご利用になる前に、本書の「安全上のご注意」をお読みのうえ、正しくご使用ください。
故障とお考えになる前に、以下のauホームページのauお客さまサポートで症状をご確認ください。
- パソコンからは:http://www.kddi.com/customer/service/au/trouble/kosho/index.html

au電話をご利用いただくにあたって

- サービスエリア内でも電波の届かない場所(トンネル・地下など)では通話できません。また、電波状態の悪い場所では通話できないこともあります。なお、通話中に電波状態の悪い場所へ移動しますと、通話が途切れることがありますので、あらかじめご了承ください。
- au電話はデジタル方式の特徴として電波の弱い極限まで一定の高い通話品質を維持し続けます。したがって、通話中この極限を超えてしまうと、突然通話が切れることがあります。あらかじめご了承ください。
- au電話は電波を使用しているため、第三者に通話を傍受される可能性がないとは言えませんので、ご留意ください。(ただし、CDMA方式は通話上の高い秘話機能を備えております。)
- au電話は電波法に基づく無線局ですので、電波法に基づく検査を受けていただくことがあります。
- 「携帯電話の保守」と「稼動状況の把握」のために、au ICカードを携帯電話に挿入したときにお客様が利用されている携帯電話の製造番号情報を自動的にKDDI(株)に送信いたします。
- 公共の場でご使用の際は、周りの方の迷惑にならないようご注意ください。
- お子様がお使いになるときは、保護者の方が『取扱説明書』をよくお読みになり、正しい使いかたをご指導ください。
- IS02は国際ローミングサービス対応の携帯電話ですが、本書で説明しております各ネットワークサービスは、地域やサービス内容によって異なります。
- IS02はパソコンなどと同様に、お客様がインストールを行うアプリケーションなどによっては、お客様のIS02の動作が不安定になったり、お客様の位置情報やIS02に登録された個人情報などがインターネットを経由して外部に発信され不正に利用される可能性があります。このため、ご利用になるアプリケーションなどの提供元および動作状況について十分にご確認のうえご利用ください。

マナーも携帯する

電源を入れておくだけで、携帯電話からは常に弱い電波が出ています。周囲への心配りを忘れずに楽しく安全に使いましょう。

■ こんな場所では、使用禁止！

- 自動車運転中の使用は危険なため法律で禁止されています。
- 航空機内での携帯電話の使用は法律で禁止されています。

■ 使う場所や声の大きさに気をつけて！

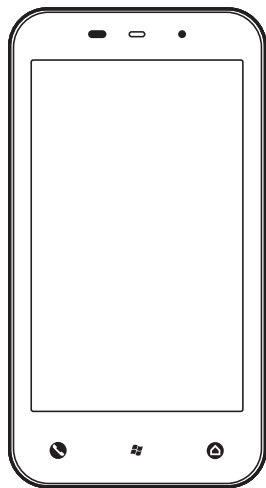
- 映画館や劇場、美術館、図書館などでは、発信を控えるのはもちろん、着信音で周囲の迷惑にならないように電源を切るか、マナーモードを利用しましょう。
- 街中では、通行の邪魔にならない場所で使いましょう。
- 新幹線の車中やホテルのロビーなどでは、迷惑のかからない場所へ移動しましょう。
- 通話中の声は大きすぎないようにしましょう。
- 携帯電話のカメラを使って撮影などする際は、相手の方の許可を得てからにしましょう。

■ 周りの人への配慮も大切！

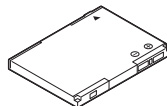
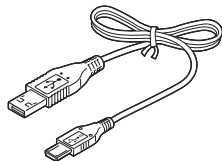
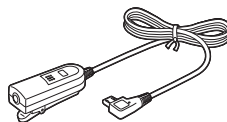
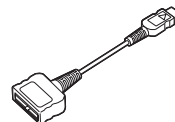
- 満員電車の中など混雑した場所では、付近に心臓ペースメーカーを装着している方がいる可能性があります。携帯電話の電源を切っておきましょう。
- 病院などの医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止と定めている場所では、その指示に従いましょう。

本体付属品および主な周辺機器について

■本体

IS02(本体裏フタ、保証書含む)

■付属品

取扱説明書(本書)

電池パック

東芝microUSB-USB変換ケーブル01

東芝microUSB-φ3.5変換ケーブル01

東芝microUSB-18芯(充電器)変換ケーブル01

■試供品

クリーナー

以下のものは同梱されていません。

- ・microSDカード
- ・ACアダプタ
- ・ステレオイヤホン

・指定の充電用機器(別売)をお買い求めください。

こんなときは…

電話機能

- **折り返し電話をかける**（通話履歴）▶P.70
- **着信音などを鳴らさないようにする**（マナーモード）▶P.76
- **着信音を一時的に消す** ▶P.75
- **着信を拒否したい** ▶P.73
- **電話番号などを連絡先に登録する** ▶P.78
- **通話中の受話音量を調節する** ▶P.75

インターネットを利用する

- **Webページを表示する**（Internet Explorer Mobile）▶P.104
- **Webページをお気に入りに登録する** ▶P.107
- **Windows Liveを利用する** ▶P.111
- **インスタントメッセージを送受信する**（Windows Live Messenger）▶P.112
- **無線LANアクセスポイントを利用する** ▶P.174
- **社内LANに接続する**（Virtual Private Network）▶P.178

メール機能

- **電子メールアカウントを設定する** ▶P.93
- **電子メールを送信する** ▶P.95
- **電子メールを受信する** ▶P.96
- **撮影した写真を電子メールで送る** ▶P.95
- **迷惑なCメールを防止したい** ▶P.101、▶P.102
- **Cメールを送受信する** ▶P.98、▶P.100

映像や音を記録する・楽しむ

- **写真を撮る**（カメラ）▶P.118
- **ムービーを撮る**（カメラ）▶P.118
- **電子書籍を表示する**（eBookJapan）▶P.157
- **自分の音声を録音する**（メモ）▶P.88
- **音楽を聴く、ビデオを見る**（Windows Media Player）▶P.123
- **写真やムービーを加工する**（PhotoBase、VideoEditor）▶P.128

アプリケーションを利用する

Word文書を編集する（Word Mobile）▶P.146
Excelファイルを編集する（Excel Mobile）▶P.148
PowerPointファイルを表示する（PowerPoint Mobile）▶P.151
OneNote Mobileでメモを作成する（OneNote Mobile）▶P.152
PDFファイルを表示する（Adobe Reader LE）▶P.153
アプリケーションをインストールする（Marketplace）▶P.160

便利な機能を使う

よく使う機能をすぐに起動する（東芝ホーム画面のカスタマイズ）▶P.49
国語辞典や英和・和英辞典を使う ▶P.157
電卓で計算する ▶P.156
メモ機能でメモを作成する ▶P.87
アラームを使う ▶P.161
スケジュールを管理する ▶P.84

機能設定の変更

画面デザインをまとめて変える ▶P.163
着信音を変える ▶P.161
省電力の設定を行う ▶P.162
画面の文字サイズを変える ▶P.164
地域設定を変更する ▶P.164
よく使う単語を登録する ▶P.65

もしものときに

ほかの人が使用できないようにする（デバイスロック、Cyber-SIGN）▶P.39、▶P.41
パスワードやPIN1コードを変える ▶P.38、▶P.40
microSDカードにデータを暗号化して保存する ▶P.133
緊急地震速報について ▶P.100

memo

◎IS02はEZアプリには対応しておりません。

◎大量のパケット通信を行う場合には、パケット通信料割引サービスのご契約をおすすめします。

目次

ごあいさつ......ii
安全上のご注意......ii
au電話をご利用いただくにあたって......ii
マナーも携帯する......1
本体付属品および主な周辺機器について......2

こんなときは・・・......3

目次......5

安全上のご注意......11

本書の表記方法について......12
免責事項について......13
安全上のご注意......13
取り扱い上のお願い......19
ご利用いただく各種暗証番号について......22
プライバシーを守るための機能について......22
PINコードについて......23
Bluetooth®／無線LAN(Wi-Fi®)機能をご使用する場合のお願い......23
周波数帯について......23
Bluetooth®についてのお願い......24
無線LAN(Wi-Fi®)についてのお願い......24

ご利用の準備......27

各部の名称と機能......28
キーボード......29
IS02の開きかた......30
電池パック、本体裏フタの取り付けかた／取り外しかた......31
電池パックを取り付ける......31
電池パックを取り外す......32
充電する......32
ACアダプタを使って充電する......34
電池残量の確認のしかた......35
電池が切れそうになると......35
電源を入れる／切る......35
電源を入れる......35
電源を切る......36
スリープモードについて......36
日付と時刻を設定する......36
自動時刻補正を設定する......36
手動で時刻を設定する......37
日付と時刻の表示形式を設定する......37
au ICカードについて......38
au ICカードの取り付けかた／取り外しかた......38
au ICカードの暗証番号について......38
PINコードを設定する......38
PIN1コードを変更する......39
PINロックを解除する......39
IS02にロックをかける......39
デバイスロックにパスワードを設定する......39
パスワードを変更する......40
デバイスロックの通知アイコンについて......40
手書きサイン認証機能を利用する......41
サインを登録して認証機能をオンにする......41
サインを書いてロックを解除する......41
認証機能の設定を変更する......42
証明書を確認する......42
通話・通信機能のオン／オフを切り替える......42

基本操作......43

タッチパネルの使いかた......44
タッチパネル利用上のご注意......44
タップする......44
すばやくスライド(フリック)する......44
ドラッグする......44
パンする......45
東芝ホーム画面(NX! Screen)について......45
タイトルバーに表示されるアイコン......46
タイトルバーの操作......47
メニューバーについて......47
東芝ホーム画面のメニューバー......47
Windows Mobileのメニューバー......48
東芝ホーム画面を利用する......48
東芝ホーム画面から機能を起動する......49
東芝ホーム画面をカスタマイズする......49
よく利用するWebサイト／アプリケーションを表示する......50
実行中のプログラムを表示する......51
連絡先を利用する......51
スタートメニューから機能を起動する......52
スタートメニューの項目を並べ替える......53
機能の操作方法を確認する......53
オンラインヘルプを利用する......53
「お使いになる前に」を利用する......53
スライダーの使いかた......53
モーションコントロールの使いかた......53
縦／横画面表示を切り替える......53
シェイク操作で指定した動作を行う......54
タップ2回操作でタスクマネージャーを起動する......54
モーションセンサーを設定する......55
モーションセンサーを調整する......55
ツールボックスの使いかた......55
パッドを起動する......55
マルチファンクションパッドの使いかた......56
拡大パッドの使いかた......57
タスク切り替えパッドの使いかた......57
パッドを消す......57
ツールボックスを設定する......57
プログラムを切り替える／終了する......58
プログラムを切り替える......58
プログラムを終了する......58
自分の電話番号を確認する......58
オーナー情報を編集する......58

文字を入力する……59

文字入力パッドで文字を入力する……60
入力パネルを切り替える……60
T-Keyboardで入力する……60
ひらがな／カタカナ方式で入力する……61
ローマ字／かな方式で入力する……62
定型文を入力する……62
文字一覧から入力する……62
顔文字／数字・記号パレットで入力する……63
キーボードで文字を入力する……63
ATOKを設定する……64
後変換候補を設定する……64
変換辞書による文字変換……64
よく使う単語をあらかじめ登録する……65
使用する辞書を設定する……65
学習した内容をリセットする……65

電話……67

電話をかける……68
通話中画面の見かた……69
発着信履歴を利用して電話をかける……70
発信者番号の通知／非通知を付加して発信する……71
相手を絞り込みすばやく発信する……71
スピードダイヤルを利用して発信する……71
スピードダイヤルを登録する……71
スピードダイヤルで発信する……72
連絡先から電話をかける……72
プッシュ信号（DTMF）を送信する……72
au電話から海外へかける
（001国際電話サービス）……72
電話を受ける……73
ハンズフリーを利用する……74
スピーカーフォンに切り替える……74
ステレオイヤホンマイクの使いかた……74
通話中に相手の声の音量を調節する……75
着信音量やスピーカー音量を調節する……75
電話の着信音量を調節する……75
電話着信中に着信音を一時的に消す……75
アラームや再生音の音量を調節する……75
着信を音で知らせる……76
電話から鳴る音を消す（マナーモード）……76
マナーモードの設定を変更する……76

連絡先／PIM機能……77

連絡先を使う……78

連絡先に登録する……78
メールグループに登録する……79
連絡先の内容を確認する……79
連絡先を検索する……79
連絡先の内容を変更する……80
連絡先を削除する……80
連絡先情報を送信する……80
**スマートフォンアドレス帳移行ツールを
利用する……80**
連絡先データを出力する……81
連絡先データを取り込む……81

仕事を管理する……82

仕事を登録する……82
仕事の内容を変更する……82
仕事を削除する……82
仕事のオプション設定……83
仕事の内容を確認する……83
仕事の表示方法を変更する……83
仕事の状態を設定する……83
仕事を送信する……83

スケジュールを管理する……84

予定を登録する……84
予定表を表示する……84
表示する単位を切り替える……84
予定表のオプション設定……85
予定表の内容を変更する……85
予定を削除する……85
予定を送信する……86
会議出席依頼を送信する……86
予定をBluetooth®通信で送信する……86

メモを利用する……87

メモを作成する……87
手書きでメモを作成する……87
文字入力パッド／キーボードでメモを作成する……87
作成モードを設定する……87
メモを表示する……88
ボイスメモを録音／再生する……88
ボイスメモを録音する……88
ボイスメモを再生する……88
メモを削除する……89
メモを送信する……89

メール……91

電子メールを利用する……92

メールについて……92
電子メールを始めるまでの流れ……92
電子メールを使うために必要な設定をする……93
メールアカウントを設定する……93
メールアカウントのオプションを設定する……94
電子メールを作成して送信する……95
ファイルを添付する……95
**作成中の電子メールを保存しておき、
あとで送信する……95**
電子メールを一時保存する……95
保存した電子メールを編集して送信する……96
電子メールを受信する……96
新着メールを問い合わせて受信する……96
電子メールに返信する……96
電子メールを転送する……97
電子メールを削除する……97
パケット通信回線を切断する……97
添付ファイルを確認する／保存する……97
添付ファイルを確認する……97
添付ファイルを保存する……97

メールアカウント内のメールBOXを操作する ... 98
メールを並べ替える ... 98
フォルダーを作成する ... 98
Cメールを利用する ... 98
Cメールを作成して送信する ... 98
Cメールを受信したときは ... 100
緊急地震速報を利用する ... 100
緊急地震速報を受信すると ... 101
Cメール安心ブロック機能を設定する ... 101
Cメールを設定する ... 102
受信フィルターを設定する ... 102

インターネット ... 103

ブラウザを利用する ... 104
ブラウザを使うための準備 ... 104
Webページを表示するまでの流れ ... 104
Webページ表示中の画面操作 ... 105
Internet Explorer Mobileを利用する ... 106
Internet Explorer Mobileを起動する ... 106
URLを入力してWebページを表示する ... 106
履歴からWebページを表示する ... 106
Internet Explorer Mobileのボタンとコントロール ... 107
お気に入りに登録してすばやく表示する ... 107
Webページの表示方法を変更する ... 108
WebページのURLを送信する ... 108
Webページに表示されている画像を保存する ... 108
Webページ中のテキストをコピーする ... 108
Webページからデータをダウンロードする ... 109
表示しているWebページをホーム（起動時のページ）に設定する ... 109
履歴やキャッシュを削除する ... 109
セキュリティを設定する ... 109
ブラウザの高速化を設定する ... 110
パケット通信回線を切断する ... 110
Windows Liveを利用する ... 111
Windows Liveについて ... 111
Windows Liveにサインインする ... 111
Windows Liveのインターフェース ... 112
Messengerを利用する ... 112
Windows Live Messengerを開く ... 113
会話を始める ... 113
Windows Liveの知り合いを追加する ... 113
Windows Live Hotmailを利用する ... 114
Windows Liveのオプション設定 ... 114

マルチメディア ... 115

カメラを利用する ... 116
カメラをご利用になる前に ... 116
カメラの利用にあたって ... 116
カメラ機能について ... 117
撮影画面の見かた ... 117
静止画を撮影する ... 118
動画を撮影する ... 118
カメラのオプションを設定する ... 119
画面キャプチャを設定する ... 119
名刺リーダーを利用する ... 120
名刺を撮影して連絡先に登録する ... 120
撮影した名刺を管理する ... 120
静止画を整理する ... 121
静止画を閲覧する ... 121
静止画を検索する ... 121
静止画を絞り込む ... 121
静止画にタグを付ける ... 121
静止画や動画を表示する ... 122
画像とビデオのメニュー ... 122
音楽や映像を楽しむ ... 123
Windows Media Playerを利用する ... 123
再生できるファイル形式 ... 123
Windows Media Playerを開く ... 124
画面とメニュー ... 124
再生画面の操作 ... 124
ライセンス保護されたファイルについて ... 124
パソコンのライブラリと同期する ... 125
プレイビューを使って再生する ... 127
再生リストを使って再生する ... 127
動画の画質を設定する ... 127
PhotoBaseを利用する ... 128
VideoEditorを利用する ... 128

ファイル管理 ... 129

エクスプローラーを利用する ... 130
エクスプローラーを起動する ... 130
フォルダーやファイルを操作する ... 130
新規フォルダーを作成する ... 130
フォルダー名やファイル名を変更する ... 130
フォルダーやファイルを削除する ... 130
フォルダーやファイルをコピー／移動する ... 131
エクスプローラーのメニュー ... 131
microSDカードを使う ... 132
microSDカードの取り付けかた／取り外しかた ... 132
microSDカードを取り付ける ... 132
microSDカードを取り外す ... 133
microSDカード内のデータを確認する ... 133
microSDカード保存時にファイルを暗号化する ... 133
USB設定 ... 134
現在の動作モードを確認する ... 134
Active Syncモードまたはマスストレージモードに変更する ... 134
ダイヤルアップ接続モードに変更する ... 135
データを検索する ... 135
USBホスト機能について ... 136
接続方法 ... 136
操作方法 ... 136

Microsoft My Phoneを利用する........... 137
My Phoneサービスの利用を開始する............ 137
バックアップするデータを設定する................ 137
SPB Backupを利用する........................ 138
すべてのデータをバックアップする................ 138
データを選択してバックアップする................ 138
自動的にデータをバックアップする................ 139
バックアップしたデータを復元する................ 139
ActiveSync／Windows Mobile デバイスセンターでできること................ 140
パソコンの動作環境.. 141
ActiveSyncのインストールと設定................ 141
ActiveSyncをインストールする...................... 141
同期を設定する... 142
自動で同期を開始する.................................. 142
手動で同期を開始する.................................. 143
Windows Mobileデバイスセンターの インストールと設定.. 143
Windows Mobileデバイスセンターを インストールする.. 143
同期を設定する... 143
Bluetooth®通信で同期する........................ 144

アプリケーション........................... 145

Word Mobileを利用する......................... 146
ファイルを新規作成する................................ 146
ファイルを開く／閉じる................................ 146
ファイルを開く... 146
ファイルを閉じる.. 146
Word Mobileのメニュー................................ 147
ファイル一覧のメニュー................................ 147
編集画面のメニュー...................................... 147
編集画面の表示メニュー................................ 148
Excel Mobileを利用する........................ 148
ファイルを新規作成する................................ 148
ファイルを開く／閉じる................................ 149
ファイルを開く... 149
ファイルを閉じる.. 149
Excel Mobileのメニュー................................ 149
ファイル一覧のメニュー................................ 149
シートのメニュー.. 149
シートの表示メニュー.................................. 150
PowerPoint Mobileを利用する............. 151
スライドショーを見る.................................... 151
PowerPoint Mobileのメニュー...................... 151
ファイル一覧のメニュー................................ 151
スライドショーのメニュー............................ 151
OneNote Mobileを利用する................. 152
ファイルを新規作成する................................ 152
OneNote Mobileのメニュー......................... 152
ファイル一覧のメニュー................................ 152
編集画面のメニュー...................................... 153
Adobe Reader LEを利用する............... 153
PDFファイルを閲覧する................................ 153
Adobe Reader LEのメニュー....................... 153
閲覧画面のメニュー...................................... 153
閲覧画面のツールメニュー............................ 154

便利な機能...................................... 155

電卓を使う.. 156
ゲームで遊ぶ.. 156
ソリティア.. 156
電子辞典を利用する...................................... 157
電子書籍を表示する...................................... 157
GPSを利用する.. 158
GPSの利用にあたって.................................. 158
いつもNAVIを利用する................................ 158
GPS測位補助情報を取得する........................ 159
外付けGPSモジュールを使用する................. 159
電子コンパスを調整する................................ 159
Windows Marketplace for Mobileを 利用する.. 160
拡大鏡機能を利用する.................................. 160
指定時刻にアラームを鳴らす........................ 161
効果音を設定する.. 161
通知を音で知らせる...................................... 161
省電力の設定を行う...................................... 162
タッチキーのバックライトを設定する............ 163
画面表示を変更する...................................... 163
東芝ホーム画面の設定を変更する.................. 163
画面デザインをカスタマイズする.................. 163
画面を調整する... 164
地域設定を変更する...................................... 164
Windows Mobileのホーム画面に 切り替える... 164
Windows Mobileのホーム画面を カスタマイズする.. 164

端末管理.. 165

プログラムをインストールする...................... 166
プログラムを削除する.................................. 166
メモリの使用量を確認する............................ 166
IS02のメモリ空き容量を確認する................ 166
外部メディアのメモリ空き容量を確認する...... 167
メモリの空き容量を増やす............................ 167
ボタンの操作を変更する................................ 167
ボタンの割り当てを変更する........................ 167
上／下カーソルキーの操作を調整する............ 167
バージョン情報や端末情報を確認する............ 168
カスタマーフィードバックについて................ 168
エラー報告について...................................... 168
IS02をリセット(再起動)する......................... 169
登録データを一括して削除する...................... 169
ソフトウェアを更新する................................ 170
ソフトウェア更新について............................ 170
ソフトウェア更新の前に必要な確認と準備...... 170
IS02だけで更新する...................................... 171
パソコン経由で更新する................................ 171

データ通信／無線LAN……173

無線LAN機能を利用する……174
無線LAN機能を起動する……174
無線LAN機能をオフにする……175
無線LAN機能の省電力設定……175
アクセスポイントを設定する……176
アクセスポイントを指定して接続する……177
接続を切断する……177
ネットワークアダプターの情報を設定する……177
インターネット経由で社内LANに接続する……178
Bluetooth®機能を利用する……178
Bluetooth®機能をオンにする……179
パートナーシップを確立する……180
パートナーシップを削除する……180
ビームでデータを送受信する……180
ドメインへの登録……181
データ通信サービス(PacketWIN)を利用する……181
IS02でPacketWINを利用するための準備をする……182
パソコンでPacketWINを利用するための準備をする……183
USBドライバのインストール……184
USBドライバの動作環境……184
Windows Vista／Windows 7搭載のパソコンでUSBドライバを使用する際のご注意……184
USBドライバをインストールする……184
バージョン確認やアンインストール……185
モデムコマンド一覧……185
よくあるご質問……186

auのネットワークサービス……187

auのネットワークサービスを利用する……188
お留守番サービスを利用する(標準サービス)……188
お留守番サービス総合案内(141)を利用する……189
お留守番サービスを開始する……189
お留守番サービスを停止する……189
電話をかけてきた方が伝言を録音する……190
ボイスメールを録音する……190
伝言お知らせについて……190
着信お知らせについて……191
伝言･ボイスメールを聞く……191
応答メッセージの録音／確認／変更をする……192
伝言の蓄積を停止する(不在通知)……192
蓄積停止を解除する……192
お留守番サービスを遠隔操作する(遠隔操作サービス)……193
英語ガイダンスへ切り替える……193
日本語ガイダンスへ切り替える……193
着信転送サービスを利用する(標準サービス)……194
応答できない電話を転送する(無応答転送)……194
通話中にかかってきた電話を転送する(話中転送)……194
かかってきたすべての電話を転送する(フル転送)……195
海外の電話へ転送する……195
着信転送サービスを停止する(転送停止)……195
着信転送サービスを遠隔操作する(遠隔操作サービス)……195
割込通話サービスを利用する(標準サービス)……196
割込通話サービスを開始する……196
割込通話サービスを停止する……196
割込通話を受ける……197
割り込みされたくないときは……197
三者通話サービスを利用する(オプションサービス)……197
発信番号表示サービスを利用する(標準サービス)……198
番号通知リクエストサービスを利用する(標準サービス)……198
番号通知リクエストサービスを開始する……199
番号通知リクエストサービスを停止する……199
迷惑電話撃退サービスを利用する(オプションサービス)……199
最後に着信した電話番号を受信拒否リストに登録する……200
最後に登録した電話番号を受信拒否リストから削除する……200
受信拒否リストに登録した電話番号を全件削除する……200
通話明細分計サービスを利用する(オプションサービス)……201

海外利用……203

グローバルパスポートCDMA……204
海外で安心してご利用いただくために……204
海外利用に関する設定を行う……204
PRL(ローミングエリア情報)を取得する……204
エリアを設定する……205
国際電話を利用する……206
滞在国外(日本含む)に電話をかける(グローバルパスポートCDMA)……206
滞在国内に電話をかける……206
滞在先で電話を受ける……207
お問い合わせ方法……207
海外からのお問い合わせ……207
日本国内からのお問い合わせ……208
サービスエリアと海外での通話料……208
パケットサービスと通信料……209
国際アクセス番号＆国番号一覧……210
ご利用上のご注意……211

グローバルパスポートGSM……212
GLOBAL PASSPORT GSM(グローバルパスポートGSM)について……212
海外でご利用になるときは……213

付録／索引……215

付録……216
メニュー一覧……216

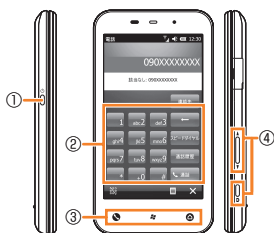
東芝ホーム画面のメニュー................................ 216
Windows Mobileのスタートメニュー 218
周辺機器のご紹介.. 222
こんな表示が出たら 223
故障とお考えになる前に..................................... 224
アフターサービスについて................................. 227
主な仕様.. 229
携帯電話機の比吸収率などについて 230
携帯電話機の比吸収率(SAR)について 230
FCC notice... 231
FCC RF exposure information.................... 231
Body-worn operation 231
輸出管理規制.. 232
知的財産権について 232
Windows Mobileの製品情報について............ 234
索引...235
簡易英語版 237
簡易中国語版 239

安全上のご注意

本書の表記方法について............12
免責事項について............13
安全上のご注意............13
取り扱い上のお願い............19
Bluetooth®／無線LAN（Wi-Fi®）機能をご使用する場合のお願い.....23

本書の表記方法について

■掲載されているボタンやアイコンの表示について

本書では、ボタンやアイコンの表記を以下のように省略しています。
タップとは、ディスプレイに表示されているボタンやアイコンを指で軽く叩いて選択する動作です（▶P.44）。

	実際のボタン／アイコン	本書での表記例
①		を押します。
②	ディスプレイの	「0」をタップします。
③		をタップします。
		をタップします。
		をタップします。
④		を押します。
		を押します。
		を押します。

■項目／アイコン／ボタンなどを選択する操作の表記方法について

本書では、操作手順を以下のように表記しています。

表記	意味
→「設定」	東芝ホーム画面で をタップし、表示されるメニューから をタップします。 ※本書で明記していない場合は、操作手順は東芝ホーム画面からの操作を説明しています。
→「設定」	をタップし、表示されるスタートメニューから をタップします。
、「×」をタップする	ディスプレイ右下の 、 をタップします。

■掲載されている画面表示について

本書に記載されている画面は、実際の画面とは異なる場合があります。また、画面の上下を省略している場合がありますので、あらかじめご了承ください。

本書の表記では、画面上部のアイコン類などは、省略されています。

◎本書では「microSD™メモリカード（市販品）」および「microSDHC™メモリカード（市販品）」の名称を、本文中は「microSDカード」もしくは「microSD」と省略しています。

免責事項について

◎ 地震・雷・風水害などの自然災害および当社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意・過失・誤用・その他異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
◎ 本製品の使用または使用不能から生ずる付随的な損害（情報内容の変化・消失、事業利益の損失、事業の中断など）に関して、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
◎ 本書の記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
◎ 当社指定外の接続機器、ソフトウェアとの組み合わせによる誤動作などから生じた損害に関して、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
◎ 本製品の故障・修理・その他取り扱いによって、撮影した画像データやダウンロードされたデータなどが変化または消失することがありますが、これらのデータの修復により生じた損害・逸失利益に関して、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
◎ お客様ご自身で登録された情報内容は、故障や障がいの原因にかかわらず保証いたしかねます。情報内容の変化・消失に伴う損害を最小限にするために、重要な内容は別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いいたします。

安全上のご注意

■ **安全にお使いいただくために必ずお読みください。**

この「安全上のご注意」には、au電話をお使いになる方やほかの人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。

お子様がお使いになるときは、保護者の方が取扱説明書をよくお読みになり、正しい使いかたをご指導ください。

以下の内容（表示・図記号）を良く理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

■ 表示の説明

表示	説明
⚠危険	"取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷（※1）を負うことがあり、その切迫の度合いが高いこと"を示します。
⚠警告	"取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷（※1）を負うことが想定されること"を示します。
⚠注意	"取り扱いを誤った場合、使用者が傷害（※2）を負うことが想定されるか、または物的損害（※3）の発生が想定されること"を示します。

※1重傷とは、失明やけが、やけど（高温・低温）、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをさします。
※2傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど（高温・低温）・感電などをさします。
※3物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害をさします。

■ 図記号の説明

図記号	説明
禁止 分解禁止 水ぬれ禁止 ぬれ手禁止	" "は、**禁止**（してはいけないこと）を示します。 具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
指示 プラグをコンセントから抜く	""は、**指示**する行為の強制（必ずすること）を示します。 具体的な指示内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。

■IS02本体・電池パック・充電用機器・au ICカード・変換ケーブル類共通

⚠危険　必ず下記の危険事項をお読みになってからご使用ください。

専用の周辺機器をご使用ください。指定の機器以外を使用した場合、発熱・発火・破裂・故障・漏液の原因となります。
・電池パック（TSI01UAA）
・共通ACアダプタ01（0202PQA）（別売）
・共通ACアダプタ02（0203PQA）（別売）
・AC Adapter MIDORI（0205PGA）（別売）
・AC Adapter AO（0204PLA）（別売）
・AC Adapter SHIRO（0204PWA）（別売）
・AC Adapter MOMO（0204PPA）（別売）
・AC Adapter CHA（0204PTA）（別売）
・AC Adapter REST（LS1P002A）（別売）
・AC Adapter RANGERS（LS1P003A）（別売）
・AC Adapter CHARGY（LS1P001A）（別売）
・共通DCアダプタ01（0201PEA）（別売）
・ポータブル充電器01（0201PDA）（別売）
・東芝microUSB-USB変換ケーブル01（TSI01HUA）
・東芝microUSB-18芯(充電器)変換ケーブル01（TSI01HVA）
・東芝microUSB-Φ3.5変換ケーブル01（TSI01HWA）

AC Adapter MIDORI、AO、SHIRO、MOMO、CHA、REST、RANGERS、CHARGYは、共通ACアダプタ02と共通の仕様です。
共通ACアダプタ01（別売）は、国内専用となります。海外でのご使用には必ず共通ACアダプタ02（別売）をご使用ください。

高温になる場所（火のそば、ストーブのそば、炎天下など）での使用や放置はしないでください。発火・破裂・故障・火災の原因となります。

電子レンジや高圧容器などの中に入れないでください。発火・破裂・故障・火災の原因となります。

火の中に投入したり、加熱したりしないでください。発火・破裂・火災の原因となります。

外部接続端子やその他接続端子をショートさせないでください。また、外部接続端子やその他接続端子に導電性異物（金属片・鉛筆の芯など）が触れたり、内部に入れたりしないようにしてください。火災や故障の原因になる場合があります。

ガソリンスタンドなど、引火性ガスが発生する場所に立ち入る場合は、必ず事前にau電話の電源をお切りください。また、充電もしないでください。ガスに引火するおそれがあります。

指定のACアダプタ（別売）をコンセントに差し込む場合、電源プラグに金属製のアクセサリーなどを接触させないでください。火災・感電・傷害・故障の原因となります。

カメラのレンズに直射日光などを長時間あてないようにしてください。レンズの集光作用により、発火・破裂・火災の原因となります。

⚠警告　必ず下記の警告事項をお読みになってからご使用ください。

落下させる、投げつけるなど強い衝撃を与えないでください。破裂・発熱・発火・漏液・故障の原因となります。

屋外で雷鳴が聞こえたときは使用しないでください。落雷・感電のおそれがあります。

分解や改造・お客様による修理をしないでください。故障・発火・感電・傷害の原因となります。万一、改造などによりau電話・車両などに不具合が生じてもKDDI（株）・沖縄セルラー電話（株）では一切の責任を負いかねます。
携帯電話の改造は電波法違反になります。

水などの液体をかけたり、風呂場など湿気の多い場所での使用、またはぬれた手での使用は絶対しないでください。感電や電子回路のショート、腐食による故障の原因となります。（雨天・降雪中・海岸・水辺などでの使用は特にご注意ください。また、身につけている場合は汗による湿気にもご注意ください。）万一、液体がかかってしまった場合には直ちに電源プラグを抜いてください。水ぬれや湿気による故障は保証外となり、修理ができません。

外部接続端子やその他接続端子に手や指など身体の一部が触れないようにしてください。感電・傷害・故障の原因となる場合があります。

落下などによって破損し、au電話本体の内部が露出した場合、露出部に手を触れないでください。感電したり、破損部でけがをしたりすることがあります。auショップもしくはauお客様センターまでご連絡ください。

所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電をやめてください。漏液・発熱・破裂・発火の原因となります。

⚠注意　必ず下記の注意事項をお読みになってからご使用ください。

直射日光のあたる場所や高温になるところ（自動車内など）、極端に低温になるところ、湿気やほこりの多いところに保管しないでください。発熱・発火・変形・故障する原因となります。

ぐらついた台の上や傾いたところなど、不安定な場所に置かないでください。落下してけがや破損の原因となります。また、衝撃などにも十分ご注意ください。バイブレータ設定中は特にご注意ください。

乳幼児の手の届く場所には置かないでください。誤って飲み込んで窒息するなど、傷害の原因となる場合があります。

ペットがau電話本体や電池パックなどに噛みつかないよう注意してください。誤飲や破裂・発熱・発火・漏液・故障などの原因となります。

使用中に煙が出たり、異臭や異音、過剰な発熱などの異常が起きたときはすぐに使用をやめてください。充電中であれば、指定の充電用機器（別売）をコンセントまたはソケットから抜き、熱くないことを確認してから電源を切り、電池パックを外して、auショップもしくはauお客様センターまでご連絡ください。また、落下したり、水などにぬれたりして破損した場合もそのまま使用せず、auショップもしくはauお客様センターまでご連絡ください。

外部から電源が供給されている状態のau電話本体・電池パック・指定の充電用機器（別売）や変換ケーブル類に長時間、触れないでください。低温やけどの原因となる場合があります。

本体裏フタを外したまま使用しないでください。
電池パックが外れたり、故障、破損の原因となります。

コンセントや配線機器の定格を超える使いかたはしないでください。たこ足配線などで定格を超えると、発熱による火災の原因となります。

金属製のアクセサリーを使用されている場合は、充電の際に指定のACアダプタ（別売）の電源プラグ、電池パックの端子、特にコンセントなどに触れないように十分注意してください。感電・発火・傷害・故障の原因となります。

外部接続端子やmicroSDカード挿入口に液体・金属片・燃えやすいものなどの異物を入れないでください。火災・感電・故障の原因となります。
外部接続端子を使用しないときは、ほこりなどが入らないようにキャップを閉めてください。

腐食性の薬品のそばや腐食性ガスの発生する場所に置かないでください。故障・内部データの消失の原因となります。

外部接続端子に外部機器などをお使いになるときは、端子に対してコネクタをまっすぐに抜き差ししてください。また、正しい方向で抜き差ししてください。破損・故障の原因となります。

■IS02本体について

⚠警告　必ず下記の警告事項をお読みになってからご使用ください。

自動車・原動機付自転車・自転車運転中に携帯電話を使用しないでください。交通事故の原因となります。自動車・原動機付自転車運転中の携帯電話の使用は法律で禁止されています。また、自転車運転中の携帯電話の使用も法律などで罰せられる場合があります。

航空機内での携帯電話の使用は法律で禁止されています。電源をお切りください。
電子機器に影響を与える場合があります。 航空機内での使用などの禁止行為をした場合、法令により罰せられることがあります。

植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器や医用電気機器のお近くで携帯電話を使用される場合は、電波によりそれらの装置・機器に影響を与えるおそれがありますので、次のことをお守りください。
1. 植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器を装着されている方は、携帯電話を植込み型心臓ペースメーカーなど装着部から22cm以上離して携行および使用してください。
2. 満員電車の中など混雑した場所では、付近に植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器を装着している方がいる可能性がありますので、携帯電話の電源を切るよう心がけてください。

3. 医療機関の屋内では次のことに注意してご使用ください。
   - 手術室・集中治療室(ICU)・冠状動脈疾患監視病室(CCU)には携帯電話を持ち込まないでください。
   - 病棟内では、携帯電話の電源をお切りください。
   - ロビーなどであっても付近に医用電気機器がある場合は携帯電話の電源をお切りください。
   - 医療機関が個々に使用禁止・持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従ってください。
4. 医療機関の外で植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合(自宅療養など)は、電波による影響について個別に医療用電気機器メーカなどにご確認ください。

高精度な電子機器の近くではau電話本体の電源をお切りください。電子機器に影響を与える場合があります。(影響を与えるおそれがある機器の例:心臓ペースメーカー・補聴器・その他医療用電子機器・火災報知機・自動ドアなど。医療用電子機器をお使いの場合は機器メーカまたは販売者に電波による影響についてご確認ください。)

ごくまれに強い光の刺激を受けたり点滅を繰り返す画面を見ていたりすると、一時的に筋肉の痙攣や意識の喪失などの症状を起こす方がいます。こうした経験のある方は、事前に医師と相談してください。

通話・メール・インターネット・撮影・ゲームなどをするときや、音楽を聴くときなどは周囲の安全を確認してください。転倒・交通事故の原因となります。

⚠注意　**必ず下記の注意事項をお読みになってからご使用ください。**

モーションコントロール(モーションセンサー)をご利用にあたっては、必ず周囲の安全を確認し、au電話本体をしっかりと握り、必要以上に振り回さないでください。
モーションコントロール(モーションセンサー)は、au電話本体を傾けたり振ったりして操作をする機能です。振りすぎなどが原因で、人や物などに当たり、重大な事故や破損などにつながるおそれがあります。

自動車内で使用する場合、まれに車載電子機器に影響を与える場合があります。安全走行を損なうおそれがありますので、その場合は使用しないでください。

キャッシュカード・フロッピーディスク・クレジットカード・テレホンカードなどの磁気を帯びたものを近づけたり、はさんだりしないでください。記録内容が消失される場合があります。

皮膚に異常を感じたときは直ちに使用を止め、皮膚科専門医へご相談ください。長時間使用した場合やお客様の体質・体調によっては、かゆみ・かぶれ・湿疹などを生じる場合があります。本製品には、以下に記載の材料の使用や表面処理を施しています。

●IS02本体

使用箇所	使用材料	表面処理
ディスプレイパネル	アクリル樹脂	アクリル系UV硬化処理
外装ケース(パネル外側)	PC樹脂	アクリル系UV硬化塗装処理
外装ケース(操作キー側)		
本体裏フタ		
スライドユニット	ステンレス	焼付塗装処理
カメラパネル	アクリル樹脂	アクリル系UV硬化処理
操作キー	PC樹脂	アクリル系UV硬化塗装処理
サイドキー		
外部接続端子キャップ	PC樹脂+ポリエステル系エラストマー樹脂	アクリル系UV硬化塗装処理
スライドスペーサ	POM樹脂	なし

通常は外部接続端子キャップを閉めた状態で使用してください。キャップを閉めずに使用すると、ほこり・水などが入り故障の原因となります。

スライド開閉時に髪の毛や指、指定の充電用機器(別売)のコードなどをはさみ込まないようご注意ください。はさみ込んだ状態で無理に外そうとしたり、スライドさせたりすると、傷害や破損の原因となります。

心臓の弱い方は、着信バイブレータ(振動)や着信音量の設定にご注意ください。驚いたりして、心臓に影響を与えるおそれがあります。

au電話本体の吸着物にご注意ください。受話口・スピーカー部・開閉検知用マグネット部には磁石を使用しているため、画びょうやピン・カッターの刃・ホチキス針などの金属が付着し、思わぬけがをすることがあります。ご使用の際、受話口・スピーカー部に異物がないか確かめてください。開閉検知用マグネット部はキーボードの[Enter]付近です。

microSDカードを挿入するときや取り出すときに、急に指を離すとカードが飛び出すことがあります。顔などを近づけないでください。特に小さなお子様には触らせないでください。けがの原因となります。
※microSDカードについては、auショップもしくはauお客様センターまでお問い合わせください。

microSDカードのデータ書き込み中や読み出し中に、振動や衝撃を与えたり、電池パックを取り外したり、au電話の電源を切ったりしないでください。データの消失・故障の原因となります。

■電池パックについて

Li-ion 00

電池パックはリチウムイオン電池です。

誤った取り扱いをすると、発熱・漏液・破裂のおそれがあり危険です。
必ず下記の危険事項をお読みになってからご使用ください。

釘をさしたり、ハンマーで叩いたり、踏み付けたりしないでください。発火や破損の原因となります。

持ち運ぶ際や保管するときは、金属片（ネックレスやヘアピンなど）などと接続端子が触れないようにしてください。ショートによる火災や故障の原因となる場合があります。

分解・改造をしたり、直接ハンダ付けをしたりしないでください。電池内部の液が飛び出し、目に入ったりして失明などの事故や発熱・発火・破裂の原因となります。

電池パックをぬらさないでください。電池パックに水、海水、ペットの尿などの液体が入ると発熱・破損・発火・感電・故障の原因となります。誤って水などに落としたときは、直ちに電源を切り、電池パックを外してauショップもしくはauお客様センターまでご連絡ください。また、ぬれた電池パックは充電しないでください。

液漏れして皮膚や衣服に付着した場合は、傷害をおこすおそれがありますので直ちに水で洗い流してください。また、目に入った場合は失明のおそれがありますのでこすらずに水で洗ったあと直ちに医師の診断を受けてください。機器に付着した場合は、液に直接触れないで拭き取ってください。

落としたり、踏み付けたり、破損や液漏れした電池パックを使用しないでください。液漏れや異臭がするときは直ちに火気から遠ざけてください。漏れた液に引火し、発火・破裂の原因となります。

電池パックをau電話本体に接続するときは、正しい向きで接続してください。誤った向きに接続すると、破裂、火災、発熱の原因となります。また、うまく接続できないときは無理をせず接続部を十分にご確認ください。

電池パックには寿命があります。充電しても使用時間が極端に短いなど、機能が回復しない場合には寿命ですのでご使用をおやめになり、指定の新しい電池パックをお買い求めください。発熱・発火・破裂・漏液の原因となります。なお、寿命は使用状態などにより異なります。

■充電用機器について

誤った取り扱いをすると、発熱・発火・感電などのおそれがあります。
必ず下記の警告事項をお読みになってからご使用ください。

指定以外の電源電圧では使用しないでください。発火・火災・発熱・感電などの原因となります。共通ACアダプタ01（別売）では日本国内家庭用AC100Vを使用してください。単相200Vでの充電あるいは海外旅行用変圧器を使用しての充電は行わないでください。共通ACアダプタ02（別売）／AC Adapter MIDORI（0205PGA）（別売）／AC Adapter AO（0204PLA）（別売）／AC Adapter SHIRO（0204PWA）（別売）／AC Adapter MOMO（0204PPA）（別売）／AC Adapter CHA（0204PTA）（別売）／AC Adapter REST（LS1P002A）（別売）／AC Adapter RANGERS（LS1P003A）（別売）／AC Adapter CHARGY（LS1P001A）（別売）はAC100Vから240Vまで対応しておりますので、海外での充電も可能です。共通DCアダプタ01（別売）はDC12VまたはDC24Vのマイナスアース車で使用してください。

指定の充電用機器(別売)の電源プラグはコンセントまたはシガーライタソケットに根元まで確実に差し込んでください。差し込みが不完全だと、感電や発熱・発火による火災の原因となります。

共通DCアダプタ01(別売)のヒューズが切れたときは、指定(定格250V,1A)のヒューズと交換してください。指定以外のヒューズと交換すると、発熱・発火の原因となります。(ヒューズの交換は、共通DCアダプタ01(別売)の取扱説明書をよくご確認ください。)

指定の充電用機器(別売)の電源コードを傷つけたり、加工したり、ねじったり、引っ張ったり、重いものを載せたりしないでください。また、傷んだコードは使用しないでください。感電・ショート・火災の原因となります。

充電端子に手や指など身体の一部が触れないようにしてください。感電・傷害・故障の原因となる場合があります。

雷が鳴り出したら電源プラグに触れないでください。落雷による感電などの原因となります。

指定の充電用機器(別売)の電源プラグにほこりが付着しているときは、コンセントまたはシガーライタソケットから抜き、ふき取ってください。そのまま放置すると、火災の原因となります。

お手入れをするときは、指定の充電用機器(別売)の電源プラグをコンセントまたはシガーライタソケットから抜いてください。抜かないでお手入れをすると、感電や回路のショートの原因となります。

車載機器などは、運転操作やエアーバッグなどの安全装置の妨げにならない位置に設置・配置してください。交通事故の原因となります。車載機器の取扱説明書に従って設置してください。

水やペットの尿など液体がかからない場所で使用してください。発熱・火災・感電、電子回路のショートによる故障などの原因となります。万一、液体がかかってしまった場合には直ちに電源プラグを抜いてください。

長時間使用しない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。感電・火災・故障の原因となります。

風呂場など湿気の多い場所では、絶対に使用しないでください。感電や故障の原因となります。

⚠注意

誤った取り扱いをすると、発熱・発火・感電・故障・物的損害などのおそれがあります。必ず下記の注意事項をお読みになってからご使用ください。

充電は安定した場所で行ってください。傾いたところやぐらついた台などに置くと、落下してけがや破損の原因となります。また、布や布団をかぶせたり、包んだりしないでください。火災・故障の原因となります。

指定の充電用機器(別売)の電源プラグをコンセントまたはシガーライタソケットから抜くときは、電源プラグを持って抜いてください。コードを引っ張るとコードが損傷するおそれがあります。

共通DCアダプタ01(別売)は、車のエンジンを切ったまま使用しないでください。車のバッテリー消耗の原因となります。

ぬれた手で指定の充電用機器(別売)を抜き差ししないでください。感電・故障の原因となります。

au電話本体から電池パックを外した状態で、指定の充電用機器(別売)を差したまま放置しないでください。発火・感電の原因となります。

■ 東芝microUSB-Φ3.5変換ケーブル01について

⚠警告

必ず下記の警告事項をお読みになってからご使用ください。

自動車や原動機付自転車、自転車などの運転中や歩きながらのゲームや音楽再生などには使用しないでください。安全性を損ない、事故の原因となります。

⚠注意　必ず下記の注意事項をお読みになってからご使用ください。

ゲームや音楽再生などをする場合は、適度な音量に調節してください。音量が大きすぎたり、長時間連続して使用したりすると難聴の原因となります。適度な音量であっても、長時間の使用によっては、難聴になるおそれがあります。また、音量を上げすぎると外部の音が聞こえにくくなり、踏切や横断歩道などで交通事故の原因となります。

■au ICカードについて

⚠注意　必ず下記の注意事項をお読みになってからご使用ください。

au ICカードを使用する機器は、当社が指定したものを使用してください。指定品以外のものを使用した場合、内部データの消失や故障の原因となります。指定品については、auショップもしくはauお客様センターまでお問い合わせください。

IS02本体に取り付け・取り外しをするときは手や指を傷つけないようにご注意ください。

水にぬらしたり、ぬれた手で触ったり、汚したりしないでください。故障・破損の原因となります。au電話本体のau ICカード挿入口の端子にゴミや異物が付着した場合は、乾いた柔らかい布で拭いてください。

au ICカードのIC(金属)部分に直接手で触れたり、金属などをあててショートさせたりしないでください。静電気などにより内部データが変化・消失・故障するおそれがあります。

傷つけたり、折ったり、曲げたり、重いものを載せたりしないでください。また、落としたり衝撃を与えたりしないでください。内部データの消失や故障の原因となります。

au ICカードは、乳幼児の手の届く場所には置かないでください。誤って飲み込んで窒息するなど、傷害の原因となる場合があります。

取り扱い上のお願い

■IS02本体・電池パック・充電用機器・au ICカード・変換ケーブル類共通

- 無理な力がかかるとディスプレイや内部の基板などが破損し故障の原因となりますので、ズボンやスカートのポケットに入れたまま座ったり、カバンなどの中で重いものの下になったりしないようにしてください。特に開いた状態でカバンの中に入れないでください。外部に損傷がなくても保証の対象外となります。
- 極端な高温・低温・多湿の場所では使用しないでください。（周囲温度5℃～35℃、湿度35%～85%の範囲内でご使用ください。）
- ほこりや振動の多い場所では使用・保管しないでください。
- 外部接続端子をときどき乾いた綿棒などで掃除してください。汚れていると接触不良の原因となることがあります。また、このとき強い力を加えて外部接続端子を変形させないでください。
- 汚れた場合は付属のクリーナー(試供品)で乾拭きしてください。ベンジン・シンナー・アルコール・洗剤などを用いると外装や文字が変質するおそれがありますので使用しないでください。
- 一般電話・テレビ・ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると、影響を与える場合がありますので、離れてご使用ください。
- 通話中や充電中など、ご使用状況によってはau電話本体が温かくなることがありますが異常ではありません。
- 電池パックを取り外す時は、au電話の電源を切ってください。電源を切らずに電池パックを取り外すと、故障や保存されたデータが変化・消失するおそれがあります。
- au電話本体に電池パックを取り付ける際は、形状を確認し正しい向きで行ってください。誤って取り付けると、破損・故障の原因となります。うまく取り付けられない場合は、無理に取り付けず、「電池パックを取り付ける」を確認してから取り付けなおしてください。
- au電話本体に充電用機器を接続する際は、充電用機器のコネクタの形状を確認し正しい向きで行ってください。誤って接続すると、破損・故障の原因となります。うまく接続できない場合は、無理に接続せず、「ACアダプタを使って充電する」を確認してから接続しなおしてください。

■ IS02本体について

- au電話本体(電池パックを取り外した背面)に貼ってある製造番号の印刷されたシールは、お客様のau電話が電波法および電気通信事業法により許可されたものであることを証明するものですので、はがさないでください。
- au電話に登録された連絡先・メール・お気に入りなどの内容は、事故や故障・修理、その他取り扱いによって変化・消失する場合があります。大切な内容は必ず控えをお取りください。万一内容が変化・消失した場合の損害および逸失利益につきましては、KDDI(株)・沖縄セルラー電話(株)では一切の責任は負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- au電話に保存されたメールやダウンロードしたデータ(有料・無料は問わない)などは、機種変更・故障修理などによるau電話の交換の際に引き継ぐことはできませんので、あらかじめご了承ください。
- 強く押す・たたくなど、故意に強い衝撃をディスプレイに与えないでください。傷や破損の原因となります。
- ディスプレイが金属などの堅い部材にあたらないようにしてください。傷の発生や破損の原因となることがあります。
- 公共の場所でご使用いただく際には、周りの方の迷惑にならないようにご注意ください。
- au電話本体を開くときやご使用中は、スライド部に無理な力が加わらないようにしてください。振り回したりそらしたりしてau電話本体に無理な力が加わると故障や破損の原因となります。
- このIS02は、盗難、紛失時の不正利用防止のため、お客様のau ICカード以外ではご利用できないようロックがかけられております。ご利用になる方が変更される場合には、新しくご利用になる方がこのau ICカードをご持参のうえ、auショップ・PiPitにご来店ください。なお、変更処理は有償となります。
- カバンやポケットに入れているときにキーが誤動作しないように、デバイスロックを設定しておくことをおすすめします。
- ディスプレイの背面やキーのある面にシールなどを貼らないでください。故障・破損の原因となります。
- ディスプレイを拭くときは付属のクリーナー(試供品)で乾拭きしてください。濡らした布やガラスクリーナーなどを使うと故障の原因となります。
- 寒い屋外から急に暖かい室内に移動した場合には、au電話内部に水滴がつくことがあります(結露といいます)。また、エアコンの吹き出し口などに置くと、急激な温度変化により結露する場合があります。結露が発生すると故障の原因になりますのでご注意ください。
- 外部接続端子キャップは、容易には外れない構造になっていますが、強く引っ張るなどの過度の力が加わった場合は破損を防止するため外れる仕組みとなっています。万一、外部接続端子キャップが外れた場合は、取り付けてください。
- au電話は不正改造を防止するために容易に分解できない構造になっています。また、改造することは電波法で禁止されています。
- microSDカードを安全に正しくご使用していただくために、使用される前にmicroSDカードの取扱説明書をよくお読みになり十分に理解してください。
- 受話音声をお聞きになるときは、受話口が耳の中央にあたるようにしてお使いください。受話口(音声穴)が耳周囲にふさがれて音声が聞きづらくなる場合があります。
- 照度センサーを指でふさいだり、照度センサーの上にシールなどを貼ると、周囲の明暗に照度センサーが反応できずに、正しく動作しない場合がありますのでご注意ください。

■ タッチパネルについて

- ポケットやカバンなどに入れて持ち運ぶ際は、デバイスロック(▶P.39)した状態で収納してください。デバイスロックを解除したまま収納すると誤動作の可能性があります。
- タッチ操作は指で行ってください。ボールペンや鉛筆など先が鋭いもので操作しないでください。正しく動作しないだけでなく、ディスプレイへの傷の発生や、破損の原因になる場合があります。
- ディスプレイにシールやシート類(市販の保護フィルムや覗き見防止シートなど)を貼らないでください。タッチパネルが正しく動作しない原因となる場合があります。
- 爪先でタッチ操作をしないでください。爪が割れたり、突き指などけがの原因となる場合があります。

■ 有機ELディスプレイについて

- 有機ELディスプレイは、同じ画像を長く表示したり、ディスプレイ照明の明るさを必要以上に明るい設定にしたり、極端に長く使用したりすると部分的に明るさが落ちたり、色が変化する場合がありますが、有機ELディスプレイの特性によるもので故障ではありません。

- 有機ELディスプレイは非常に高度な技術で作られており、ごくわずかの画素欠けや常時点灯する画素などが存在することがあります。また見る方向によってすじ状の色むらや明るさのむら、色の変化が見える場合があります。これらは、有機ELディスプレイの構造によるもので、故障ではありません。あらかじめご了承ください。
- 有機ELディスプレイに直射日光を当てたままにすると故障の原因となります。窓際や屋外に置くときはご注意ください。

■ 電池パックについて

- 夏期、閉めきった車内に放置するなど極端な高温や低温環境では、電池パックの容量が低下し、ご使用できる時間が短くなります。また、電池寿命も短くなります。できるだけ常温でご使用ください。
- 長期間ご使用にならない場合には、au電話本体から取り外して高温多湿を避けて保管してください。
- 電池パックには寿命があります。充電しても機能が回復しない場合は寿命ですので、指定の新しい電池パックをご購入ください。なお、寿命は使用状態などによって異なります。
- 電池パックはご使用条件により、寿命が近づくにつれて膨れる場合があります。これはリチウムイオン電池の特性であり、安全上の問題はありません。
- 不要な電池パックは一般のゴミと一緒に捨てないでください。環境保護と資源の有効利用をはかるため、寿命となった電池パックの回収にご協力ください。auショップなどで使用済み電池パックの回収を行っております。
- 初めてお使いのときや、長時間ご使用にならなかったときは、ご使用前に充電してください。
- 電池パックを取り外すときは、必ず凸部を利用して持ち上げてください。凸部以外から持ち上げようとすると、au電話本体の接続端子を破損するおそれがあります。

■ 充電用機器について

- ご使用にならないときは、指定の充電用機器（別売）の電源プラグをコンセントまたはシガーライタソケットから抜いてください。
- 指定の充電用機器（別売）の電源コードをアダプタ本体に巻きつけないでください。感電、発熱、火災の原因となります。
- 指定の充電用機器（別売）のプラグやコネクタと電源コードの接続部を無理に曲げたりしないでください。感電、発熱、火災の原因となります。

■ au ICカードについて

- au ICカードは、auからお客様への貸与品になります。紛失・破損の場合は、有償交換となりますのでご注意ください。解約などを行って不要になったau ICカードは、auショップもしくはPiPitまでお持ちください。
- 故障と思われる場合、盗難や紛失・破損した場合は、auショップもしくはPiPitまでお問い合わせください。
- au ICカードを他のICカードリーダーなどに挿入した結果故障した場合は、お客様の責任となりますのでご注意ください。
- au ICカードのIC（金属）部分はいつもきれいな状態でご使用ください。お手入れは乾いた柔らかい布で拭いてください。
- au ICカードにシールなどを貼らないでください。

■ カメラ機能について

- カメラ機能をご使用の際は、一般的なモラルをお守りのうえご使用ください。
- カメラのレンズに直射日光があたる状態で放置しないでください。素子の退色・焼付けを起こすことがあります。
- au電話の故障・修理・その他の取り扱いによって、撮影した画像データが変化または消失することがあり、この場合、当社は変化または消失したデータの修復や、データの変化または消失によって生じた損害、逸失利益について一切の責任を負いません。
- 大切な撮影（結婚式など）をするときは、試し撮りをし、画像を再生して正しく撮影されていることをご確認ください。
- 他人の容貌などをみだりに撮影・公表することは、その人の肖像権などの侵害となるおそれがありますのでご注意ください。
- カメラを使用して撮影した画像は、個人として楽しむ場合などを除き、著作権者（撮影者）などの許諾を得ることなく使用したり、転送することはできません。なお、実演、興行および展示物などには、個人として楽しむための撮影自体が制限されている場合がありますのでご注意ください。
- 販売されている書籍や、撮影の許可されていない情報の記録には使用しないでください。

■ 著作権について

- 音楽・映像・コンピュータ・プログラム・データベースなどは著作権法により、その著作物および著作権者の権利が保護されています。こうした著作物を複製することは、個人的にまたは家庭内で使用する目的でのみ行うことができます。上記の目的を超えて、権利者の了解なくこれを複製(データ形式の変換を含む)・改変・複製物の譲渡・ネットワーク上での配信などを行うと、「著作権侵害」「著作者人格権侵害」として損害賠償の請求や刑事処罰を受けることがあります。本製品を使用して複製などをなされる場合には、著作権法を遵守のうえ、適切なご使用を心がけていただきますよう、お願いいたします。また、カメラ機能を使用して記録したものにつきましても、上記と同様の適切なご使用を心がけていただきますよう、お願いいたします。
- 著作権法で別段の定めがある場合を除き、著作権の目的となっている画像を転送することはできません。

■ 肖像権などについて

- 他人から無断で写真を撮られたり、撮られた写真を無断で公表されたり、利用されたりすることがないように主張できる権利が肖像権です。肖像権には、だれにでも認められている人格権と、タレントなど経済的利益に着目した財産権(パブリシティ権)があります。したがって、勝手に他人やタレントの写真を撮り公開したり、配布したりすることは違法行為となりますので、適切なカメラ機能のご使用を心がけてください。

<本機の記録内容の控え作成のお願い>

- ご自分で本機に登録された内容や、本機外から本機に受信・ダウンロードした内容で、重要なものは控え※をお取りください。
本機のメモリは、静電気・故障など不測の要因や、修理・誤った操作などにより、記録内容が消えたり変化することがあります。
※控え作成の手段
・連絡先や、音楽データ、撮影したフォトやムービーなど、重要なデータはMicrosoft My PhoneやmicroSDカードに保存しておいてください。または、電子メールに添付して送信したり、ActiveSyncまたはWindows Mobileデバイスセンターを利用することで、パソコンに転送しておいてください。ただし、上記の手段でも控えが作成できないデータがあります。あらかじめご了承ください。

■ お知らせ

- 本書の内容の一部、または全部を無断転載することは、禁止されています。
- 本書の内容に関して、将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容については万全を期しておりますが、万一、ご不審な点や記載漏れなどお気付きの点がありましたらご連絡ください。
- 乱丁、落丁はお取り替えいたします。

ご利用いただく各種暗証番号について

IS02をご使用いただく場合に、各種の暗証番号をご利用いただきます。
ご利用いただく暗証番号は次の通りとなります。設定された各種の暗証番号は各種操作・ご契約に必要となりますので、お忘れにならないようご注意ください。

● 暗証番号

使用例	① お留守番サービス、着信転送サービスを一般電話から遠隔操作する場合
	② auお客様センター音声応答、auホームページでの各種照会・申込・変更をする場合
初期値	申込書にお客様が記入した任意の4桁の番号

● パスワード(ロック)

使用例	デバイスロックを使用する場合
初期値	なし

● PINコード

使用例	第三者によるau ICカードの無断使用を防ぐ場合
初期値	1234

プライバシーを守るための機能について

保存されているデータのプライバシーを守るために、IS02には次のような機能が用意されています。

機能	設定方法
「デバイスロック」のパスワード	設定方法は、「デバイスロックにパスワードを設定する」(▶P.39)をご参照ください。
「Cyber-SIGN」	設定方法は、「手書きサイン認証機能を利用する」(▶P.41)をご参照ください。

PINコードについて

■PIN1コード

第三者によるau ICカードの無断使用を防ぐために、電源を入れるたびにPIN1コードの入力を必要にすることができます。また、PIN1コードの入力要否を設定する場合にも入力が必要となります。（▶P.38「PINコードを設定する」）

PINコードは3回連続で間違えるとコードがロックされます。ロックされた場合は、PINロック解除コードを利用して解除できます。

- お買い上げ時のPIN1コードは「1234」、入力要否は「入力不要」に設定されていますが、お客様の必要に応じてPIN1コードは4～8桁のお好きな番号、入力要否は「入力必要」に変更できます。（▶P.38「PINコードを設定する」）

■PINロック解除コード

PIN1コードがロックされた場合に入力することでロックを解除できます。

- PINロック解除コードは、au ICカードが取り付けられていたプラスティックカード裏面に印字されている8桁の番号で、お買い上げ時にはすでに決められています。
- PINロック解除コードを入力した場合は、新しくPIN1コードを設定してください。（▶P.39「PIN1コードを変更する」）
- PINロック解除コードを10回連続で間違えた場合は、auショップ･PiPitもしくはauお客様センターまでお問い合わせください。

memo

◎「PIN1コード」はマスタークリア（▶P.169）を行ってもリセットされません。

Bluetooth®／無線LAN（Wi-Fi®）機能をご使用する場合のお願い

周波数帯について

au電話のBluetooth®機能および無線LAN機能は、2.4GHz帯の2.402GHzから2.480GHzまでの周波数を使用します。

- **Bluetooth®機能：2.4FH1**
  au電話本体は2.4GHz帯を使用します。変調方式としてFH-SS変調方式を採用し、与干渉距離は約10m以下です。
- **無線LAN機能：2.4DS/OF4**
  au電話本体は2.4GHz帯を使用します。変調方式としてDS-SS方式およびOFDM方式を採用しています。与干渉距離は約40m以下です。

▬ ▬ ▬

2.402GHz～2.480GHzの全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味します。

利用可能なチャンネルは国により異なります。

航空機内の使用は、事前に各航空会社へご確認ください。

Bluetooth®についてのお願い

- Bluetooth®機能は日本国内でご使用ください。au電話のBluetooth®機能は日本国内での無線規格に準拠し、認定を取得しています。海外でご利用になると罰せられることがあります。
- 無線LANやBluetooth®機器が使用する2.4GHz帯は、さまざまな機器が共有して使用する電波帯です。そのため、Bluetooth®機器は、同じ電波帯を使用する機器からの影響を最小限に抑えるための技術を使用していますが、場合によっては他の機器の影響によって通信速度や通信距離が低下することや、通信が切断することがあります。
- 通信機器間の距離や障害物、Bluetooth®機器により、通信速度や通信距離は異なります。

●Bluetooth®ご使用上の注意

au電話のBluetooth®機能の使用周波数は2.4GHz帯です。この周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか、ほかの同種無線局、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局など（以下「ほかの無線局」と略す）が運用されています。

1. au電話を使用する前に、近くで「ほかの無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、au電話と「ほかの無線局」との間に電波干渉の事例が発生した場合には、すみやかにau電話の使用場所を変えるか、または機器の運用を停止（電波の発射を停止）してください。
3. ご不明な点やその他お困りのことが起きた場合は、auショップもしくはauお客様センターまでご連絡ください。

無線LAN（Wi-Fi®）についてのお願い

- 無線LAN（Wi-Fi）機能は日本国内でご使用ください。au電話の無線LAN（Wi-Fi）機能は日本国内での無線規格に準拠し、認定を取得しています。海外でご利用になると罰せられることがあります。
- 電気製品・AV・OA機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところで使用しないでください。
- 磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通信ができなくなることがあります（特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります）。
- テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れることがあります。
- 近くに複数のアクセスポイント（無線LAN親機）が存在し、同じチャンネルを使用していると、正しく検索できない場合があります。

●無線LANご使用上の注意

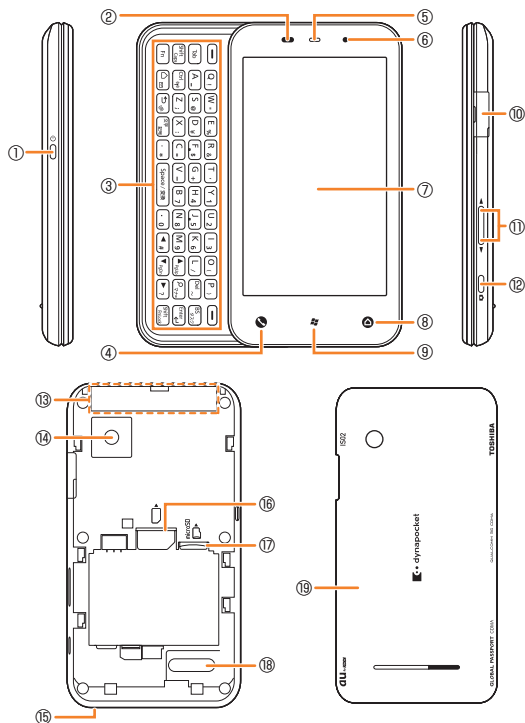
au電話の無線LAN機能の使用周波数は2.4GHz帯です。この周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか、ほかの同種無線局、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局など（以下「ほかの無線局」と略す）が運用されています。

1. au電話を使用する前に、近くで「ほかの無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、au電話と「ほかの無線局」との間に電波干渉の事例が発生した場合には、すみやかにau電話の使用場所を変えるか、または機器の運用を停止（電波の発射を停止）してください。
3. ご不明な点やその他お困りのことが起きた場合は、auショップもしくはauお客様センターまでご連絡ください。

◎ 本製品はすべてのBluetooth®・無線LAN対応機器との接続動作を確認したものではありません。したがって、すべてのBluetooth®・無線LAN対応機器との動作を保証するものではありません。
◎ 無線通信時のセキュリティとして、Bluetooth®・無線LANの標準仕様に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、使用環境および設定内容によってはセキュリティが十分でない場合が考えられます。Bluetooth®・無線LANによるデータ通信を行う際はご注意ください。
◎ Bluetooth®・無線LAN通信時に発生したデータおよび情報の漏洩につきましては、KDDI（株）・沖縄セルラー電話（株）では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
◎ Bluetooth®と無線LANは同じ無線周波数帯を使用するため、同時に使用すると電波が干渉し合い、通信速度の低下やネットワークが切断される場合があります。接続に支障がある場合は、今お使いのBluetooth®、無線LANのいずれかの使用を中止してください。

ご利用の準備

各部の名称と機能 28
電池パック、本体裏フタの取り付けかた／取り外しかた 31
充電する 32
電池残量の確認のしかた 35
電源を入れる／切る 35
日付と時刻を設定する 36
au ICカードについて 38
PINコードを設定する 38
PINロックを解除する 39
IS02にロックをかける 39
デバイスロックの通知アイコンについて 40
手書きサイン認証機能を利用する 41
証明書を確認する 42
通話･通信機能のオン／オフを切り替える 42

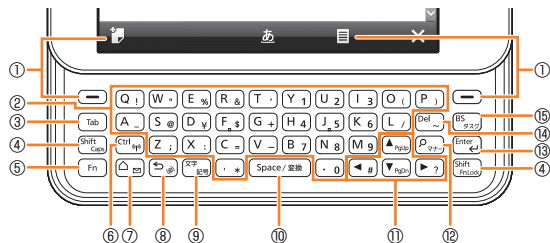
各部の名称と機能

	名称	説明
①	電源ボタン	長く押して電源をオン／オフします(▶P.35)。短く押してスリープモードを設定／解除します(▶P.36)。
②	近接センサー	通話中に、タッチパネルの誤動作を防ぐためのセンサーです。
③	キーボード	メールやメモなど文字を多く入力する場合に便利です(▶P.29)。 ※アプリケーションによっては、キーボードが使用できない場合があります。
④	電話キー	電話画面を表示します。
⑤	受話口	相手の声が聞こえます。
⑥	お知らせLED	• 赤色点灯：充電中 • 青色点滅：電話着信中や未確認の不在着信があるときなど • 緑色1回点灯：電源オン • 緑色点滅：スリープモード
	照度センサー	周囲の明るさを検知して、ディスプレイのバックライトの明るさを自動調節します。
⑦	ディスプレイ(タッチパネル)	指でなぞって画面をスクロールしたり、項目をタップして選択します。
⑧	ホームキー	東芝ホーム画面またはWindows Mobileのホーム画面に戻ります。 ※機能によっては戻れない場合があります。
⑨	スタートキー	Windows Mobileのスタートメニューを表示します。 ダブルタップ(2回続けてタップ)して、東芝ホーム画面またはWindows Mobileのホーム画面に戻ります。
⑩	外部接続端子	付属の東芝microUSB-USB変換ケーブル01や東芝microUSB-φ3.5変換ケーブル01などを接続します。

	名称	説明
⑪	音量ボタン 🔼／🔽	相手の声やスピーカーの音量を調節します(▶P.75)。 モーションセンサー設定の縦横表示切り替えが無効のとき(▶P.55)、🔼を1秒以上押して画面の縦横表示を切り替えます。 🔽を1秒以上押してマナーモードを設定／解除します。
⑫	カメラボタン📷	1秒以上押してカメラを起動します。 短く押して画面をキャプチャします(▶P.119)。 カメラの撮影画面でシャッターキーとして使用したり、動画撮影を開始／終了します。
⑬	内蔵アンテナ部分	アンテナが内蔵されています。よりよい条件で通話するために、アンテナ部を手で覆わないようにしてお使いください。
⑭	カメラ	静止画や動画を撮影します(▶P.116)。
⑮	送話口	自分の声をここから送ります。録音するときはマイクになります。
⑯	au ICカード挿入口	au ICカードを挿入します(▶P.38)。
⑰	microSDカード挿入口	microSDカードを挿入します(▶P.132)。
⑱	スピーカー	着信音や音楽の再生音、スピーカーフォン利用中に相手の声が聞こえます。
⑲	本体裏フタ	－

memo

◎IS02には、ストラップの取り付け部はありません。

キーボード

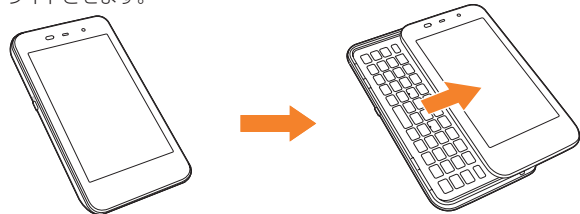
メールやメモなど文字を多く入力するときは、IS02のキーボードをご使用いただくと、文字の入力がより快適に行えます。

	名称	説明
①	ソフトキー ［－］	画面に表示されたメニューバーの内容を実行します。 ※東芝ホーム画面では利用できません。
②	アルファベットキー ［A _］～［Z ;］、［, *］、［. 0］	キーを押すと、左に表示されている文字が小文字で入力されます。 ［Shift Caps］／［Shift FnLock］を押してからアルファベットキーを押すと、左に表示されている文字が大文字で入力されます(［, *］、［. 0］を除く)。
③	Tabキー ［Tab］	カーソルを次の項目に移動します。 ※機能によっては移動できない場合があります。
④	Shiftキー ［Shift Caps］／［Shift FnLock］	アルファベットの大文字、小文字入力の一時的な切り替えや記号などを入力するときに使用します。

	名称	説明
⑤	Fnキー [Fn]	ほかのキーと組み合わせて使用します。（下表参照）
⑥	Ctrlキー [Ctrl]	アルファベットキーと組み合わせて、パソコンと同じようなショートカットが利用できます。 ※例えば、[Ctrl]を押しながら[C]を押して文字をコピーしたり、[Ctrl]を押しながら[V]を押して文字を貼り付けたりできます。
⑦	ホームキー [ホーム]	東芝ホーム画面またはWindows Mobileのホーム画面に戻ります。 ※機能によっては戻れない場合があります。
⑧	戻るキー [戻る]	1つ前の画面に戻ります。 ※機能によっては戻れない場合があります。
⑨	文字キー [文字/記号]	ひらがな／全角カタカナ／半角カタカナ／全角英数字／半角英数字の順に切り替わります。
⑩	Space／変換キー [Space/変換]	文字入力時にスペースを入れたり、漢字に変換したりします。
⑪	カーソルキー [▲PgUp]／[▼PgDn]／[◀ #]／[▶ ?]	カーソルを上下左右に移動します。
⑫	サーチキー [マナー]	[マナー]を押すと、キーに割り当てられているプログラムが起動します（▶P.167）。
⑬	Enterキー [Enter]	入力した文字を決定したり、改行したりします。
⑭	Delキー [Del]	文字入力時はカーソルの右側の文字を削除します。
⑮	BS／タスクキー [BS/タスク]	文字入力時はカーソルの左側の文字を削除します。

⑤ Fnキーの表:

[Fn]の次に押すキー	説明
アルファベットキー [A _]～[Z ;]、[' *]、[· 0]	右下に表示されている文字を入力
[Shift/Caps]	Shiftキーを押した状態に設定（Caps Lock）
[Shift/FnLock]	Fnキーを押した状態に設定（Fn Lock）
[Ctrl]	無線LAN機能を起動／オフ
[ホーム]	電子メールを起動
[戻る]	Internet Explorer Mobileを起動
[文字/記号]	顔文字／数字·記号パレットを起動
[▲PgUp]／[▼PgDn]	ページスクロール ※機能によってはスクロールできない場合があります。
[◀ #]／[▶ ?]	右下に表示されている文字を入力
[マナー]	マナーモードを設定／解除
[Del]	「～」（半角入力時は「˜」）を入力
[BS/タスク]	タスクマネージャーを起動

IS02の開きかた

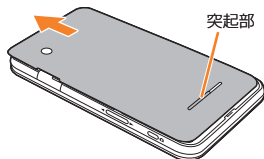
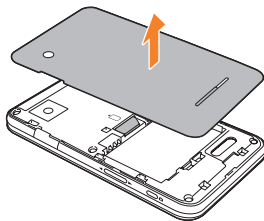
IS02を開くときは、ディスプレイのある本体前面部を矢印の方向にスライドさせます。

memo

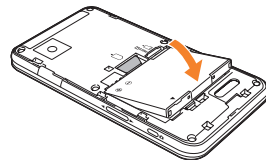
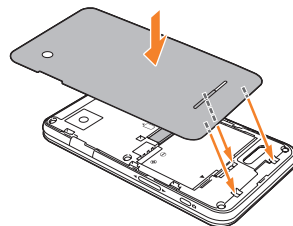
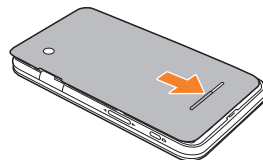
◎ディスプレイ部分の背面にシールなどを貼り付けないでください。本体を開閉するときにシールなどが引っかかるおそれがあります。
◎IS02をスライドして開閉するときはディスプレイやキーボードなど（特に[通話]）に指が触れないようご注意ください。誤動作の原因となります。

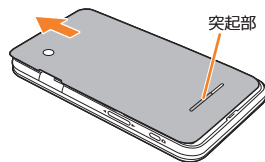
電池パック、本体裏フタの取り付けかた／取り外しかた

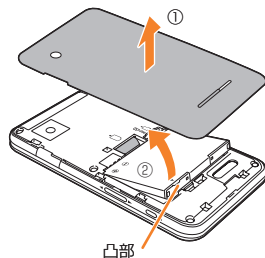
- 電池パックと本体裏フタの取り付け／取り外しは、電源を切ってから行ってください。
- 本体裏フタの取り付け／取り外しは、IS02のディスプレイなどが傷つかないよう、手に持って行ってください。
- IS02専用の電池パックをご利用ください。

電池パックを取り付ける

1 本体裏フタの突起部を押さえながら矢印の方向にスライドさせる

2 本体裏フタを上に持ち上げて取り外す

3 電池パックを取り付ける

- 電池パックの⊕⊖が表示されている面を上にして、電池パックの端子部分をIS02本体の端子部分に合わせてから、矢印の方向にはめ込みます。
- 形状を確認し、正しい向きで取り付けてください。

4 本体裏フタを約2mm開けた状態でIS02本体の溝に合わせる

5 本体裏フタを矢印の方向にカチッと音がするまでスライドさせる

電池パックを取り外す

1 本体裏フタの突起部を押さえながら矢印の方向にスライドさせる

2 本体裏フタを取り外し(①)、電池パックを取り外す(②)

- 電池パックの凸部を利用して、矢印の方向に持ち上げて取り外します。

memo

◎凸部を持ち上げる際、ペンなど先の細いものを差し込まないでください。発火・破損・傷害の原因となります。

◎電池パックを取り外す時は、au電話の電源を切ってください。電源を切らずに電池パックを取り外すと、故障や保存されたデータが変化・消失するおそれがあります。

充電する

お買い上げ時は、電池パックは十分に充電されていません。必ず充電してからお使いください。

■充電時のご注意

- 必ずIS02に電池パックを取り付けて充電してください。
- IS02を使用しながら充電すると、充電が完了するまで時間がかかったり、充電が完了しなかったりすることがあります。また、データ通信や通話など消費電流の大きい機能を連続して使用すると、充電中でも電池が減り続け、ご使用できる時間が短くなる場合があります。
- 充電中はIS02やACアダプタが温かくなることがありますが、故障ではありません。IS02が温かくなったとき、安全のため一時的に充電を停止することがあります。IS02が極端に熱くなる場合は、直ちに使用を中止してください。
- IS02のお知らせLEDが赤色に点滅したときは、電池パックの取り付け、接続などが正しいかご確認ください。それでも点滅する場合は、充電を中止して、auショップもしくはauお客様センターまでご連絡ください。

■充電時間(目安)

IS02の電源を切って、電池パックが空の状態から充電したときの時間です。電源を入れたまま充電したり、低温時に充電したりすると、充電時間は長くなります。

指定のACアダプタ(別売)	約160分
共通DCアダプタ 01(別売)	約160分

■十分に充電したときの使用時間（目安）

使用環境や電池パックの状態によって使用時間は異なります。詳しくは、P.229を参照してください。

連続待受時間	約280時間
連続通話時間	約230分

■電池パックの寿命について

電池パックは消耗品です。充電を繰り返すごとに、1回で使える時間が次第に短くなります。充電しながら、通話などを長時間行うと電池パックの寿命が短くなることがあります。

1回で使える時間がお買い上げ時に比べて半分程度になったら、電池パックの寿命が近づいていますので、早めに交換することをおすすめします。電池パックの使用条件により、寿命が近づくにつれて電池パックが膨れる場合がありますが、問題ありません。

- 不要な電池パックは一般のゴミと一緒に捨てないでください。環境保護と資源の有効利用をはかるため、寿命となった電池パックの回収にご協力ください。auショップなどで使用済み電池パックの回収を行っております。

Li-ion 00

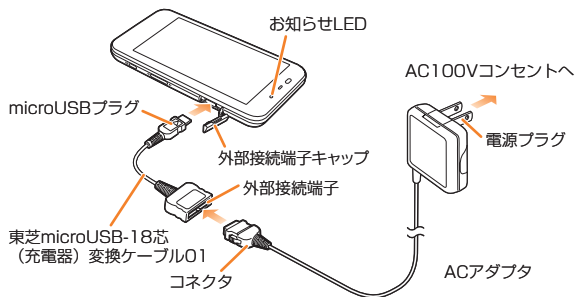
■充電用のアダプタについて

IS02では、以下のACアダプタ（別売）とDCアダプタ（別売）をご利用になれます。

- 詳しくは、ご利用になるACアダプタまたはDCアダプタの取扱説明書をご参照ください。

共通ACアダプタ 01（別売）	AC100Vのみに対応しています。
共通ACアダプタ 02（別売）／AC Adapter MIDORI（別売）／AC Adapter AO（別売）／AC Adapter SHIRO（別売）／AC Adapter MOMO（別売）／AC Adapter CHA（別売）／AC Adapter REST（別売）／AC Adapter RANGERS（別売）／AC Adapter CHARGY（別売）	AC100Vから240Vまで対応していますが、電源プラグの形状はAC100V用（国内仕様）です。海外で使用する場合は、渡航先のコンセントに適合した変換プラグアダプタが必要です。なお、海外旅行用の変圧器を使用しての充電は行わないでください。
共通DCアダプタ 01（別売）	－

ACアダプタを使って充電する

指定のACアダプタ(別売)と付属の東芝microUSB-18芯(充電器)変換ケーブル01を使って充電する方法を説明します。

1 ACアダプタのコネクタを、東芝microUSB-18芯(充電器)変換ケーブル01の外部接続端子に差し込む

- ラベル面を上にした外部接続端子に、コネクタ先端の形状を確認し水平に差し込みます。

2 IS02の外部接続端子キャップを開け、東芝microUSB-18芯(充電器)変換ケーブル01のmicroUSBプラグを差し込む

- microUSBプラグは、プラグの向きを確認して水平に差し込みます。

3 ACアダプタの電源プラグをコンセントに差し込む

- 充電中はお知らせLEDが赤く点灯します。
- 充電が完了すると、お知らせLEDが消灯します。

4 充電が終わったら、microUSBプラグを持ってまっすぐ引き抜き、外部接続端子キャップを閉める

5 東芝microUSB-18芯(充電器)変換ケーブル01の外部接続端子からACアダプタのコネクタを抜く

- コネクタの両脇にあるリリースボタンを押しながら、水平に引き抜きます。

6 ACアダプタの電源プラグをコンセントから抜く

memo

◎東芝microUSB-18芯(充電器)変換ケーブル01は、IS02とACアダプタを接続するためのケーブルです。USBケーブルWINなどと組み合わせてパソコンと接続しても、データの送受信や充電を行うことはできません。パソコンとの接続には、付属の東芝microUSB-USB変換ケーブル01をご使用ください。

◎IS02の電源を切った状態で充電を開始すると、お知らせLEDが赤く点灯するまでしばらく時間がかかることがあります。

■東芝microUSB-USB変換ケーブル01を使って充電する

IS02とパソコンを付属の東芝microUSB-USB変換ケーブル01で接続すると、IS02をパソコンから充電することができます。

- パソコンとの接続のしかたは、P.142を参照してください。
- 東芝microUSB-USB変換ケーブル01で充電しながらIS02を使用するには、パソコンにActiveSyncまたはWindows Mobileデバイスセンターをインストールしてください(▶P.141、▶P.143)。また、USB接続の設定をActive Syncモードにしてください(▶P.134)。
- Active SyncモードでパソコンとUSB接続を行うと、パソコン上に「新しいハードウェアの検索ウィザードの開始」画面または「同期セットアップ ウィザード」画面が表示される場合があります。パソコンと同期せず充電のみ行いたい場合は、「キャンセル」を選択してください。

電池残量の確認のしかた

タイトルバーに電池残量の目安を示すアイコンが表示されます。

アイコン						
電池残量	レベル4	レベル3	レベル2	レベル1	レベル0	充電中

電池が切れそうになると

電池アラームが鳴り、警告メッセージが表示されて少したつと、自動的に電源が切れます。警告メッセージが表示されたら、すぐに使用中のデータを保存し、充電を開始してください。

memo

◎電池切れの状態で充電を開始した場合、電源を入れてもすぐに起動しないことがあります。その場合は、IS02の電源を切ったまま充電し、しばらくしてから電源を入れてください。

電源を入れる／切る

電源を入れる

1 IS02が1回振動し、お知らせLEDが緑色に点灯するまで、⏻を押したままにする（約2秒）

お知らせLEDは緑色に点灯したあと、すぐに消えます。
「au by KDDI」が表示されて少したつと、Windows画面が表示され、続けて東芝ホーム画面が表示されます。

■はじめて電源を入れたとき

お買い上げ後、はじめてIS02の電源を入れたときやマスタークリア後に再起動したときは、画面の指示に従って初期設定を行います。

1 Windows画面をタップする

- 画面のどこをタップしてもかまいません。

初期設定中の画面が表示され、しばらくするとIS02の電源が切れます。そのまま少し待つと初期設定が完了して、IS02が自動的に再起動し、東芝ホーム画面が表示されます。

■電波状態を確認する

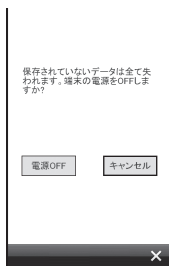
タイトルバーに電波の受信状態を示すアイコンが表示されます。が表示されたときは、サービスエリア外か電波の届かない場所にいます。

アイコン					
電波状態	強	⟷		弱	圏外

memo

◎IS02は国際ローミングに対応しているため、電源を入れた直後は対応しているネットワークの検索に時間がかかることがあります。検索中はが表示されます。

電源を切る

1 電源OFF確認画面が表示されるまで、⏻を押したままにする

《電源OFF確認画面》

2 「電源OFF」をタップする

IS02の電源が切れます。

スリープモードについて

IS02を一定時間操作しなかったときは、自動的にディスプレイの表示が消えてスリープモードになります。
また、操作中に⏻を押してもスリープモードになります。
スリープモード中に⏻を押すと、スリープモードを解除できます。
ただし、デバイスロックの設定により、🔒が表示される場合があります（▶P.39）。

memo

◎スリープモード中に電話着信やCメール受信があると、スリープモードは解除されます。
◎スリープモードLED設定を「On」にしている場合は、スリープモード中はお知らせLEDが緑色に点滅します（お買い上げ時は「Off」に設定されています）。以下の操作で、スリープモードLED設定を変更できます。
- ▦→「設定」→「バックライト／省電力」→「スリープモードLED設定」→「On」／「Off」→↩
- ⊞→「設定」→「システム」→「スリープモードLED設定」→「On」／「Off」→↩

日付と時刻を設定する

自動時刻補正を設定する

お買い上げ時	有効

1 ▦→「設定」→「時計設定」→「自動時刻補正」

- ⊞→「設定」→「システム」→「自動時刻補正」でも設定できます。

2 「自動時刻補正」にチェックを付ける

3 ↩をタップする

手動で時刻を設定する

- 日付と時刻を手動で設定するときは、あらかじめ「自動時刻補正」（▶P.36）を無効に設定してください。手動で日時を変更しても、自動時刻補正が有効になっていると、自動時刻補正の日時が優先されます。

1 →「設定」→「時計設定」→「時計とアラーム」→「時刻」

時刻設定画面が表示されます。

- →「設定」→「時計とアラーム」→「時刻」でも設定できます。

《時刻設定画面》

2 タイムゾーン、日付、現在時刻を設定する

- タイムゾーンが「GMT+9　東京、大阪」になっていることを確認します。
- 日付欄の ▼ をタップして表示されるカレンダーから、今日の日付を選択します。
- 時、分、秒のそれぞれをタップして選択（反転）し、▲／▼で時刻を合わせます。

3 →「はい」

◎時刻設定後も月当たり数秒程度の誤差が生じます。定期的に時刻を修正されることをおすすめします。
◎「自動時刻補正」を無効にしてIS02とパソコンを同期させると、IS02の時刻はパソコンの時刻に合わせて更新されます。

日付と時刻の表示形式を設定する

日付の表示形式を設定する

1 →「設定」→「時計設定」→「地域」→「日付」

- →「設定」→「システム」→「地域」→「日付」でも設定できます。

2 短い形式と長い形式、カレンダーの種類を選択する

- 画面上部のサンプル欄で、変更後の表示イメージを確認できます。

3 をタップする

時刻の表示形式を設定する

1 →「設定」→「時計設定」→「地域」→「時刻」

- →「設定」→「システム」→「地域」→「時刻」でも設定できます。

2 時刻の形式を選択する

- 画面上部のサンプル欄で、変更後の表示イメージを確認できます。

3 をタップする

au ICカードについて

au ICカードにはお客様の電話番号などが記録されています。IS02にau ICカードが正しく取り付けられていないと、電話の発着信やメールの送受信などの操作が行えません。

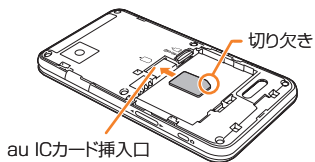
- au ICカードについて詳しくは、au ICカードの取扱説明書をご参照ください。

au ICカードの取り付けかた/取り外しかた

- au ICカードの取り付け/取り外しは、IS02の電源を切り、本体裏フタと電池パックを取り外してから行います。

■au ICカードを取り付ける

1 IC面を下にして、au ICカードを図の向きでau ICカード挿入口の奥まで差し込む

- 本体裏フタと電池パックの取り外しかたについては、「電池パックを取り外す」(▶P.32)を参照してください。

■au ICカードを取り外す

1 au ICカード挿入口からau ICカードをゆっくり引き抜く

◎au ICカードを取り扱うときは、故障や破損の原因となりますので、次のことにご注意ください。
- au ICカードのIC(金属)部分や、IS02本体のICカード用端子には触れないでください。
- 正しい挿入方向をご確認ください。
- 無理な取り付け、取り外しはしないでください。

◎au ICカードを正しく取り付けていない場合やau ICカードに異常がある場合はエラーメッセージが表示されます。
◎取り外したau ICカードはなくさないようにご注意ください。

au ICカードの暗証番号について

au ICカードには、第三者によるau ICカードの無断使用を防ぐためにPIN1コードという暗証番号があります。ご契約時は「1234」に設定されていますが、お客様ご自身で番号を変更できます(▶P.39)。

PINコードを設定する

お買い上げ時	入力不要

第三者によるau ICカードの無断使用を防止するため、電源を入れたときにPIN1コードを入力するように設定します。

1 ▦→「設定」→「一般設定」→「PIN1コード設定」

- ⊞→「設定」→「個人」→「PIN1コード設定」でも設定できます。

2 「入力要否設定」→「入力必要」

PIN1コードを入力する画面が表示されます。

3 PIN1コードを入力し、「入力」をタップする

◎お買い上げ時のPIN1コードは「1234」に設定されています。はじめてPIN1コードを入力する場合は、「1234」を入力してください。
◎PIN1コードについては、「PINコードについて」(▶P.23)をご参照ください。

PIN1コードを変更する

- PIN1コードを変更するには、あらかじめPINコードを設定(「入力要否設定」を「入力必要」に設定する)しておく必要があります。

1 **→「設定」→「一般設定」→「PIN1コード設定」**
- →「設定」→「個人」→「PIN1コード設定」でも設定できます。

2 **「PIN1コード変更」をタップする**
PIN1コードの変更画面が表示されます。

3 **PIN1コードの入力欄をタップし、古いPIN1コードを入力する**

4 **新PIN1コードの入力欄をタップし、新しいPIN1コードを入力する**

5 **(確認用)の入力欄をタップし、新しいPIN1コードを再入力する**

6 **「登録」をタップする**

PINロックを解除する

PIN1コードの入力を3回連続して間違えると、au ICカードがロックされます。PINロック解除コードを入力してロックを解除し、新しいPIN1コードを設定します。

1 **PINロック解除コードの入力画面で、8桁のPINロック解除コードを入力する**

2 **新PIN1コードの入力欄をタップし、新しいPIN1コードを入力する**

3 **(確認用)の入力欄をタップし、新しいPIN1コードを再入力する**

4 **「登録」をタップする**

◎PINロック解除コードについては、「PINコードについて」(▶P.23)をご参照ください。

IS02にロックをかける

誤操作しないようにIS02をロックすることができます。また、ほかの人に使用されないようにパスワードでロックすることもできます(デバイスロック)。

- デバイスロック中でも、以下の操作を行うことができます。
  - ・緊急通報番号(110番(警察)、119番(消防機関)、118番(海上保安本部))に電話をかける
  - ・電話を受ける
  - ・メールを受信する

■デバイスロックをかけるには

IS02を操作しない状態が一定時間続くと自動的にロックがかかります。また、→をタップしてすぐにロックをかけることもできます。

■デバイスロックを解除するには

を左または右にスライドします。

デバイスロックにパスワードを設定する

デバイスロックにパスワードを設定すると、ほかの人に使用されないようにすることができます。

1 **→「設定」→「ロック」**
- →「設定」→「ロック」でも設定できます。

2 **「パスワード入力が必要になるまでの時間」にチェックを付け、時間を選択する**

3 パスワードの種類（「数字の簡易パスワード」／「強力な英数字のパスワード」）を選択し、「パスワード」と「確認入力」にパスワードを入力する

4 →「はい」

■デバイスロックを一時解除するには

■パスワードの種類を「数字の簡易パスワード」に設定した場合

を左または右にスライドしてパスワードを入力し、をタップします。

- をタップすると連絡先が起動します。
- をタップすると電子メールが起動します。

■パスワードの種類を「強力な英数字のパスワード」に設定した場合

パスワードを入力して「ロックの解除」をタップします。

■パスワードの設定を解除するには

→「設定」→「ロック」→パスワードを入力→「ロックの解除」→チェックを外す→→「はい」をタップします。

memo

◎パスワードをお忘れにならないようにメモを取ることをおすすめします。
◎操作3でパスワードの種類を「強力な英数字のパスワード」に設定し、デバイスロック中に電話を受けた場合、通話を終了するにはをタップしたままにします。

パスワードを変更する

1 →「設定」→「ロック」

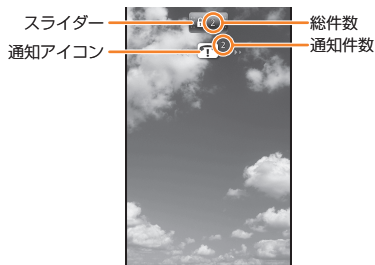
- →「設定」→「ロック」でも設定できます。

2 パスワードを入力→「ロックの解除」

3 「パスワード」と「確認入力」に新しいパスワードを入力する

4 →「はい」

デバイスロックの通知アイコンについて

デバイスロック画面に「タップまたはスライドしてください。」が表示されているとき、スライダーをタップすると通知アイコンが表示されます。
通知アイコンを左または右にスライドして、不在着信や新着メールなどを確認できます。
各通知アイコンには通知の件数（2件以上ある場合）、スライダーには総件数が表示されます。

《デバイスロック画面》

通知アイコン	
	不在着信（▶P.70）
	新着電子メール（▶P.96）
	新着Cメール（▶P.100）／お留守番サービスの伝言お知らせ（▶P.190）・着信お知らせ（▶P.191）

手書きサイン認証機能を利用する

電源を入れたときやスリープモード中に電源キーを押したときに、手書きのサインを入力するように設定できます（Cyber-SIGN）。

- サインはあらかじめ登録しておく必要があります。

サインを登録して認証機能をオンにする

1 →「Cyber-SIGN」

- →「Cyber-SIGN」でも設定できます。

2 「閉じる」→「署名管理」→「署名の登録」

- 初回起動時は使用許諾契約書を読み、「同意する」にチェックを付け、「閉じる」をタップします。

3 「次へ」

- 練習せずに進む場合は「練習しない」にチェックを付け、操作6に進みます。

4 「次へ」→「次へ」

練習画面が表示されます。

5 サインを書き、「次へ」をタップする

この操作を3回繰り返します。

6 「次へ」→「次へ」

サイン登録画面が表示されます。

7 登録したいサインを書き、「次へ」をタップする

この操作を3回繰り返します。

8 「次へ」→「次へ」

照合テスト画面が表示されます。

9 登録したサインを書き、サインが照合されたら「完了」をタップする

10 「はい」をタップする

- 認証機能をオンにしない場合は、「いいえ」をタップします。

11 「解除パスワード」と「解除パスワード（※確認用）」にパスワードを入力し、「次へ」をタップする

12 をタップする

memo

◎サインは指でゆっくり書いてください。
◎登録した解除パスワードをお忘れにならないようにメモを取ることをおすすめします。
◎Cyber-SIGNの使いかたについては、→「Cyber-SIGN」→「閉じる」→「バージョン情報」→「簡易ヘルプ」を参照してください。

サインを書いてロックを解除する

1 電源を入れる、またはスリープモード中に電源キーを押す

サイン入力画面が表示されます。

- スリープモード中に電源キーを押した場合は、を左または右にスライドすると、サイン入力画面が表示されます。

2 登録しているサインを書く

ロックが解除されます。

memo

◎操作2で認証に失敗した場合は、「解除パスワード」→パスワードを入力→「次へ」をタップします。

認証機能の設定を変更する

お買い上げ時	署名照合を利用する：オフ 署名の軌跡を表示する：オン 左手署名：オフ 照合レベル：低

1 →「Cyber-SIGN」
- →「Cyber-SIGN」でも設定できます。

2 「閉じる」→「設定」

3 「署名照合を利用する」のチェックを外す

4 署名の軌跡の表示や照合レベルを設定し、をタップする

証明書を確認する

IS02にインストールされている証明書の情報を確認できます。

1 →「設定」→「一般設定」→「証明書」
- →「設定」→「システム」→「証明書」でも確認できます。

通話・通信機能のオン／オフを切り替える

お買い上げ時	電話：On Bluetooth：Off Wi-Fi：Off

電話機能や通信機能のオン／オフを切り替えることができます。

1 →「設定」→「ワイヤレスマネージャー」

ワイヤレスマネージャー画面が表示されます。
- →「設定」→「接続」→「ワイヤレスマネージャー」でも起動できます。

2 設定する項目名をタップする

「On」と「Off」は項目名をタップするたびに切り替わります。
- 「全て」をタップすると「On」／「Off」を一括して設定できます。

電話	電話機能のOn／Offを切り替えます。
Bluetooth	Bluetooth®機能のOn／Offを切り替えます。
Wi-Fi	無線LAN機能のOn／Offを切り替えます。 ・利用できない場合は、「利用不可」と表示されます。

基本操作

タッチパネルの使いかた......44
東芝ホーム画面(NX! Screen)について......45
タイトルバーに表示されるアイコン......46
メニューバーについて......47
東芝ホーム画面を利用する......48
スタートメニューから機能を起動する......52
機能の操作方法を確認する......53
スライダーの使いかた......53
モーションコントロールの使いかた......53
ツールボックスの使いかた......55
プログラムを切り替える／終了する......58
自分の電話番号を確認する......58
オーナー情報を編集する......58

タッチパネルの使いかた

IS02のディスプレイはタッチパネルになっており、指で直接触れて操作します。

タッチパネル利用上のご注意

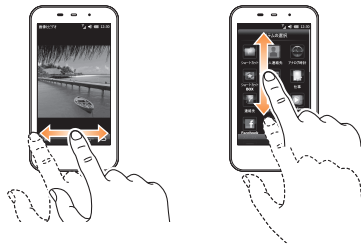
タッチパネルは指で軽く触れるように設計されています。指で強く押したり、先の尖ったもの（爪／ボールペン／ピンなど）を押し付けたりしないでください。

- 以下の場合はタッチパネルに触れても動作しないことがあります。また、誤動作の原因となりますのでご注意ください。
  - ・手袋をしたままでの操作
  - ・爪の先での操作
  - ・異物を操作面に乗せたままでの操作
  - ・保護シートやシールなどを貼っての操作

タップする

画面の項目やアイコンを指で軽く叩いて選択します。

すばやくスライド（フリック）する

静止画や設定画面など、複数のページがあるときに画面を左右にすばやくスライドすると、前後の画面に切り替わります。
また、メニューなど1画面で表示しきれないときに画面を上下にすばやくスライドすると、画面がスクロールします。

ドラッグする

画面の項目やアイコンを指で押さえながら移動します。

パンする

Webページやオフィスアプリケーションのドキュメント、静止画の拡大表示時など、1画面で表示しきれないときに、画面そのものを全方向にドラッグして見たい部分を表示します。

東芝ホーム画面(NX! Screen)について

IS02には、東芝ホーム画面とWindows Mobileのホーム画面が用意されています。お買い上げ時は東芝ホーム画面に設定されています。Windows Mobileのホーム画面への切り替えかたは、「Windows Mobileのホーム画面に切り替える」(▶P.164)を参照してください。なお、本書は、東芝ホーム画面を主体に説明しています。

東芝ホーム画面は、をタップするかスタートメニューから「ホーム」をタップしても呼び出すことができます。

① **タスク表示ボタン**
実行中のプログラムを表示します(▶P.51)。

② **連絡先ボタン**
連絡先の表示方法を変えて登録/検索できます(▶P.51)。

③ **パーソナルログボタン**
よく利用するWebサイトやアプリケーションの一覧を表示できます(▶P.50)。

④ **サブメニューボタン**
サブメニュー項目を表示します(▶P.47)。

⑤ **アプリケーションと設定ボタン**
IS02に登録されているアプリケーションや設定メニューを表示します。

⑥ **カスタマイズエリア**
好みのアイテムを東芝ホーム画面に配置して利用できます(▶P.49)。

⑦ **タイトルバー**
IS02の状態を示すアイコンが表示されます(▶P.46)。

memo

◎IS02に登録されているプログラムや機能は、スタートメニューからも呼び出すことができます（▶P.52）。
◎SPB Software.製「SPB Mobile Shell」（市販もしくはお試し版）をインターネットからダウンロードして、IS02にインストールすることは可能ですが、一度インストールすると、現在お使いの東芝ホーム画面が使用できなくなります。再度、東芝ホーム画面をお使いになるには、IS02をマスタークリアする必要がありますのでご注意ください（▶P.169）。
※「SPB Mobile Shell」をインストールする場合は、現在登録中の必要なデータをメモにとったり、バックアップしたりすることをおすすめします。
◎NX! Screenは、IS02に搭載している東芝独自のホーム画面機能の名称です。

タイトルバーに表示されるアイコン

タイトルバーにはIS02の状態を示すアイコンが表示されます。

通知アイコン	
	不在着信（▶P.70）
	新着電子メール（▶P.96）
	新着Cメール（▶P.100）／お留守番サービスの伝言お知らせ（▶P.190）・着信お知らせ（▶P.191）
	新着インスタントメッセージ（▶P.112）
	マイクロソフト社からの通知
	ビーム受信（▶P.181）
	Bluetooth® ヘッドセット接続中（▶P.178）
	Bluetooth® 接続要求あり（▶P.180）
	無線LAN検出（▶P.174）
	スピーカーフォン オン（▶P.74）
	アラーム動作中（▶P.161）
	マナーモード（▶P.76）
	重複通知：通知アイコンが重複している場合（アラーム動作中と不在着信など）に表示されます。タップすると、隠れているアイコンを確認できます。
	緊急地震速報（▶P.101）
ローミングアイコン	
	ローミング中（▶P.204）
	ローミング先でパケット通信が可能な状態
データアイコン	
	無線LAN機能起動中（▶P.174）
	無線LAN接続中（▶P.174）
	データ通信オフ（▶P.42）
	USB接続中（▶P.125、▶P.140）
	パソコンと同期中（▶P.140）
電波アイコン	
	電波状態（▶P.35）
	圏外（▶P.35）
	電話サービス検索中（▶P.35）
	電話機能オフ（▶P.42）
	音声通話（▶P.68）
	データ通信接続中

音量アイコン	
(バイブアイコン)	バイブ(▶P.75)
(スピーカーオフアイコン)	スピーカーオフ(▶P.75)
(スピーカーオンアイコン)	スピーカーオン(▶P.75)
電池レベルアイコン	
(電池レベルアイコン)	電池レベル(▶P.35)
(充電中アイコン)	充電中(▶P.32)
キーアイコン	
Shift	Shift有効
Caps	Caps Lock有効
Fn	Fn／Fn Lock有効
※キーボードを開いているときのみ表示されます。	

タイトルバーの操作

タイトルバーのアイコンに対応した拡大アイコンをタップして、音量の調節や接続設定などの操作を行うことができます。

1 タイトルバーをタップする

タイトルバーのアイコンに対応した拡大アイコンが表示されます。

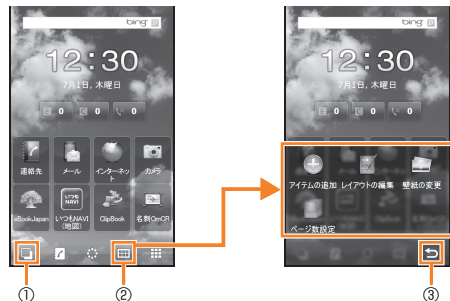
2 目的の拡大アイコンをタップする

それぞれの設定／確認画面が表示されます。

拡大鏡の利用(▶P.160)／接続状況の確認／サウンドの設定(▶P.76)／スピーカ音量(▶P.75)／電池残量の確認／日付と時刻の設定(▶P.37)などができます。

メニューバーについて

東芝ホーム画面のメニューバー

東芝ホーム画面のメニューバーには、表示中の機能や画面に対応するボタンが表示されます。ボタンをタップすると、そのとき利用できる機能やメニューを呼び出すことができます。

メニューの例

① **タスク表示ボタン**

実行中のプログラムを表示します(▶P.51)。

※表示されるボタンは状況によって異なります。

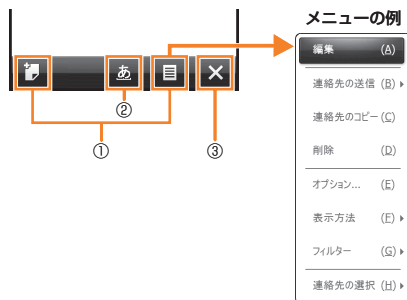
② **サブメニューボタン**

サブメニュー項目を表示します。

③ **戻るボタン**

前の画面に戻ります。

Windows Mobileのメニューバー

Windows Mobileのメニューバーには、起動中のプログラムや表示中の画面に対応するボタンが表示されます。ボタンをタップすると、そのとき利用できる機能やメニューを呼び出すことができます。

① 表示されるボタンは状況によって異なります。
例えば「通知」が表示されているときにタップすると、不在着信や新着メールなどの確認や、閉じてしまった通知画面を再表示できます。

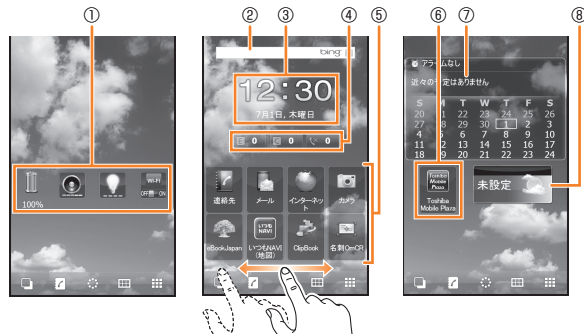
② **文字入力パッド表示アイコン**
タップして文字入力パッドを呼び出します。

③ **閉じる(×)／ ボタン**
プログラムを終了します。

memo

◎ プログラムを起動したあと、「×」や をタップして画面を閉じてもプログラムは起動したままになっています。特にInternet Explorer Mobileが起動したままになっていると、自動でインターネットに再接続されることがありますのでご注意ください。起動したプログラムは、タスクマネージャーなどで終了できます(▶P.51、▶P.58)。

東芝ホーム画面を利用する

東芝ホーム画面はお客様が使いやすいようにカスタマイズすることができます。お買い上げ時は以下の3種類が用意されています。中央のページを左右にスライドすると、左右のページが表示されます。東芝ホーム画面のページ数は変更できます(▶P.50)。

① 各アイテムをタップすると、電池残量の確認、着信音量／スピーカー音量(▶P.75)、バックライト(▶P.162)、無線LAN機能のオン／オフ(▶P.174、▶P.175)が設定できます。
② タップすると、検索ができます。
③ タップすると、各都市の時刻を確認したり、アラームを設定したりできます。
④ 各アイテムをタップすると、電子メール、Cメール、不在着信が確認できます。右側の数字は未読件数／未確認件数を表します。
⑤ 各アイテムをタップすると、連絡先(▶P.51)、メール(▶P.91)、インターネット(▶P.106、▶P.112)、カメラ(▶P.116)、eBookJapan(▶P.157)、いつもNAVI(▶P.158)、ClipBook(▶P.121)、名刺OmCR(▶P.120)が利用できます。
⑥ タップすると、Toshiba Mobile PlazaのWebページを表示できます。
⑦ タップすると、予定の登録／確認、予定の表示方法が設定できます。
⑧ タップすると、各都市の天気が確認できます。また、天気予報画面／現在の状態画面で をタップして、天気予報の更新、都市の変更／削除、天気の表示方法が設定できます。

memo

◎アイテムによっては、サービスを利用する際、インターネットに接続する場合があります。また、サービス提供者の都合でサービスを利用できない場合があります。その場合の対応は、各サービス提供者にお問い合わせください。

東芝ホーム画面から機能を起動する

東芝ホーム画面からIS02に登録されているプログラムや機能を起動したり、IS02の設定を変更したりできます。

1 ▦をタップする

アプリケーションと設定画面が表示されます。

2 指で画面を上下にスライドし、起動したい機能／項目をタップする

- アプリケーションと設定画面のアイテムを1秒以上タップするとポップアップメニューが表示され、項目のお気に入りアイテムへの移動や非表示ができます。

memo

◎お気に入りアイテムに移動したアイテムを元に戻す場合は、アイテムを1秒以上タップして「お気に入りから外す」をタップします。また、アイテムを並べ替える場合は、▦→「並び換え」をタップし、移動したい位置へアイテムをドラッグし、指を離します。
◎非表示にしたアイテムを元に戻す場合は、アプリケーションと設定画面で▦→「非表示アイテム」→アイテムを選択→「はい」をタップします。

◎東芝ホーム画面のメニューの各項目については、「東芝ホーム画面のメニュー」（▶P.216）を参照してください。
◎プログラムや機能によっては、サービスを利用する際、インターネットに接続する場合があります。また、サービス提供者の都合でサービスを利用できない場合があります。その場合の対応は、各サービス提供者にお問い合わせください。

東芝ホーム画面をカスタマイズする

好みのアイテムやショートカットを自由に配置できます。

■アイテムを追加する

1 ▦→「アイテムの追加」

アイテムの選択画面が表示されます。

2 追加したいアイテムをタップする

- 「ショートカット」→「アプリケーション」をタップすると、IS02に登録されているプログラムや機能を選択できます。

3 配置したい位置へアイテムをドラッグし、指を離す

- アイテムを🗑にドラッグすると、アイテムが削除されます。

4 ⮌をタップする

東芝ホーム画面に追加したアイテムが配置されます。

memo

◎アイテムによっては、サービスを利用する際、インターネットに接続する場合があります。また、サービス提供者の都合でサービスを利用できない場合があります。その場合の対応は、各サービス提供者にお問い合わせください。

■アイテムを削除する

不要なアイテムを東芝ホーム画面から削除することができます。

1 東芝ホーム画面で削除したいアイテムを1秒以上タップする

2 「削除」をタップする

■レイアウトを変更する

1 →「レイアウトの編集」

編集画面が表示されます。

2 移動したい位置へアイテムをドラッグし、指を離す

■アイテムを削除する場合

削除したいアイテムをにドラッグします。

■アイテムのデザインを変更する場合

アイテムをタップして「スキンの変更」をタップし、大きさなどを選択します。

3 をタップする

◎縦画面／横画面ごとにアイテムの位置を変更できます。

■壁紙を変更する

1 →「壁紙の変更」

2 「マイピクチャ」／「プリセット画像」／「オンラインカタログ」をタップし、画像を選択する

選択した画像が東芝ホーム画面の壁紙に表示されます。

- 「マイピクチャ」の画像を選択した場合は、画像の向きや表示範囲を設定し、をタップします。

■東芝ホーム画面のページ数を変更する

お買い上げ時	3ページ

好みに応じて、東芝ホーム画面のページ数を1ページ／3ページ／5ページに変更することができます。

1 →「ページ数設定」

2 ページ数をタップする

よく利用するWebサイト／アプリケーションを表示する

よく利用するWebサイトやアプリケーションが簡単に呼び出せます。

1 →「Web」／「アプリケーション」

《よく見るWebサイト画面》

《よく使うアプリケーション画面》

2 アイテムをタップする

Webサイトが表示される、もしくはアプリケーションが起動します。

- Webサイトやアプリケーションの各アイテムを1秒以上タップするとポップアップメニューが表示され、項目の削除や非表示ができます。

memo

◎「メニュー」→「全て表示」→「はい」をタップすると、非表示にしたWebサイトやアプリケーションを再度使用したときに表示することができます。
◎「メニュー」→「設定」をタップすると、「ベーシック」/「アドバンス」からおすすめレベルを選択できます。
「ベーシック」を選択すると、お客様の利用頻度をもとに、よく見るWebサイトやよく使うアプリケーション※を表示します。「アドバンス」を選択すると、お客様の利用頻度に加え、お客様の利用履歴やライフサイクルをよりきめ細やかに分析、学習し、状況に合わせてよく見るWebサイトやよく使うアプリケーション※を表示します。
※Windows Mobileのスタートメニューからアプリケーションを起動した場合は、利用履歴にカウントされません。

実行中のプログラムを表示する

実行中のプログラムを簡単に切り替えたり、終了したりできます。

1 をタップする

実行中のプログラム一覧画面が表示されます。

■プログラムを切り替える場合

切り替えたいプログラム名をタップします。

■プログラムを終了する場合

終了したいプログラムのをタップします。

・実行中のすべてのプログラムを終了する場合は、→「すべて閉じる」をタップします。

連絡先を利用する

連絡先の検索から発信までの操作をわかりやすく行うことができます。

■連絡先を表示する

1 →

連絡先一覧が表示されます。

・をタップすると、新規の連絡先登録やフィルタ表示ができます。

2 「あ」~「わ」をタップして検索対象を表示する

・「1ABC」をタップして英数字で検索することもできます。

3 確認したい連絡先をタップする

個人連絡先画面が表示されます。

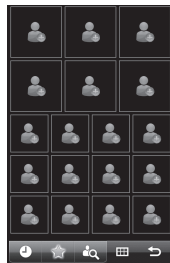
・をタップすると、連絡先や画像の編集をしたり、着信音を設定したりできます。

■お気に入りに連絡先を登録する

よく電話する相手をお気に入り連絡先画面に登録して、すぐに電話発信やメール送信を行うことができます。

1 →

お気に入り連絡先画面が表示されます。

・をタップすると、連絡先の追加やレイアウトの編集などができます。

2 登録したい位置の画像アイコンをタップする

連絡先一覧が表示されます。

3 登録したい連絡先をタップする

・「あ」~「わ」、「1ABC」をタップして検索することもできます。
・連絡先に画像を追加する場合は、以下の操作を行います。
登録した連絡先のアイコンをタップ→「タップして画像を設定」→「Facebook」/「カメラ」/「ファイル」→画面の指示に従って登録→→

■発着信履歴を利用する

発着信履歴から連絡先の登録が簡単にできます。

1 →

通話履歴一覧が表示されます。

- をタップすると、通話履歴の削除や重複した電話番号の表示／非表示などができます。

2 登録したい通話履歴をタップする

ポップアップメニューが表示されます。

- 連絡先に登録されている相手との通話履歴をタップすると、個人連絡先画面が表示されます。

3 「新規保存」または「上書き保存」をタップする

- 「上書き保存」をタップした場合は、上書き登録したい連絡先をタップします。
- 「電話」をタップして通話履歴の相手に電話をかけたりできます。

4 電話番号を登録したい項目をタップする

5 必要な項目を入力する

6 →

スタートメニューから機能を起動する

スタートメニューからIS02に登録されているプログラムや機能を起動したり、IS02の設定を変更したりできます。

1 をタップする

スタートメニューが表示されます。

2 指で画面を上下になぞってスクロールし、起動したい機能／項目をタップする

memo

◎スタートメニューの各項目については、「Windows Mobileのスタートメニュー」(▶P.218)を参照してください。

スタートメニューの項目を並べ替える

1 スタートメニューで移動したい項目をタップしたままにする

2 移動したい位置へ項目をドラッグし、指を離す

機能の操作方法を確認する

オンラインヘルプを利用する

IS02からWindows Mobileのオンラインヘルプを参照できます。

1 ⊞→「ヘルプ」→➡

「お使いになる前に」を利用する

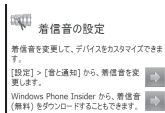
IS02の基本的な機能や設定の概要を確認できます。IS02を使い始める前にお読みいただくことをおすすめします。

1 ⊞→「お使いになる前に」

目次画面が表示されます。

2 確認したい項目をタップする

説明画面が表示されます。

- ➡をタップすると、その項目の設定画面が表示されます。

スライダーの使いかた

画面に「スライドしてください。」が表示されたときは、🔒を左または右にスライドします。

モーションコントロールの使いかた

IS02の向きや動きを検知するモーションセンサーによって、IS02を縦または横に持ち替えたり、振ったり、IS02の背面を2回タップしたりして、画面表示を切り替えたり、機能を起動することができます（モーションコントロール）。

縦／横画面表示を切り替える

IS02を縦または横に持ち替えて、縦／横画面表示を切り替えます。

- お買い上げ時は縦横表示切り替えが無効になっています。モーションセンサー設定で縦横表示切り替えを有効にしてから操作してください（▶P.55）。

《横画面表示》

《縦画面表示》

memo

◎IS02を垂直に立てた状態で操作してください。IS02を水平に寝かせるとモーションセンサーが正常に働かず、画面表示が切り替わらない場合があります。

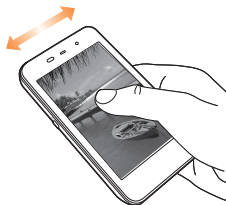
◎モーションセンサー設定の縦横表示切り替えが無効のときは、🔒を1秒以上押して縦／横画面表示を切り替えます。

◎通話中はモーションセンサーの縦横画面の切り替えはできません。

◎IS02を開いたときは、横画面表示固定になります。

シェイク操作で指定した動作を行う

IS02を1回振って、指定した動作を行います。

- お買い上げ時はシェイク操作が無効になっています。モーションセンサー設定でシェイクによる起動を有効にしてから操作してください(▶P.55)。

タップ2回操作でタスクマネージャーを起動する

IS02の背面を2回タップして、タスクマネージャーを起動します。

- お買い上げ時はタップ2回操作が無効になっています。モーションセンサー設定でタップ2回によるタスクマネージャーの起動を有効にしてから操作してください(▶P.55)。

memo

◎2回続けて確実にタップしてください。2回のタップの間隔が短すぎたり開きすぎたりすると、モーションセンサーが正常に働かず、タスクマネージャーが起動しない場合があります。

◎IS02を机やテーブルなどに置く際、衝撃を与えると、モーションセンサーが誤動作する場合があります。

モーションセンサーを設定する

お買い上げ時	縦横切替えを有効にする:無効 タップ2回によるタスクマネージャーの起動:無効 シェイクによる起動を有効にする:無効(電話を起動)

モーションコントロール(縦横表示切り替え、タップ2回操作、シェイク操作)の有効/無効を設定します。また、シェイク操作で行う動作を指定します。

1 →「設定」→「画面設定」→「モーションセンサー設定」

- →「設定」→「システム」→「モーションセンサー設定」でも設定できます。

2 有効にしたい操作にチェックを付ける

- 「シェイクによる起動を有効にする」にチェックを付けた場合は、シェイク操作で行う動作を選択します。

3 をタップする

モーションセンサーを調整する

モーションコントロールが正しく動作しない場合は、モーションセンサーを調整してください。

1 →「設定」→「システム」→「モーションセンサー調整」

2 IS02を水平な机などの上に置き、「調整」をタップする

3 調整が完了したことを知らせる画面が表示されたら、「×」をタップして画面を閉じる

4 をタップする

ツールボックスの使いかた

ツールボックスから、拡大パッド/マルチファンクションパッド/タスク切り替えパッドを起動できます。

■マルチファンクションパッド

上下左右ボタンでカーソルを移動して項目を選択します。

■拡大パッド

画面を部分的に拡大して見ることができます。

■タスク切り替えパッド

実行中のプログラムの一覧を確認できます。タスクマネージャーを起動することもできます。

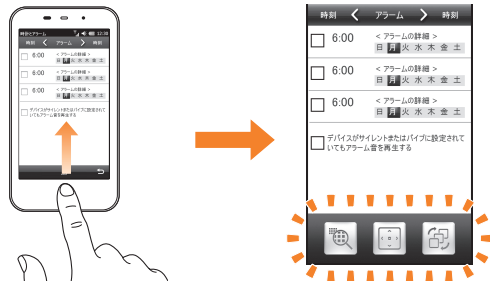
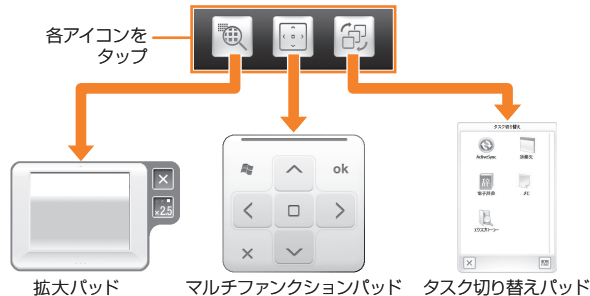
パッドを起動する

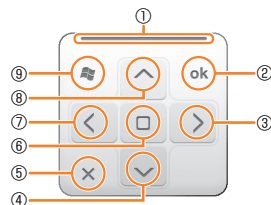
1 を画面の方向になぞる

ツールボックスが表示されます。

基本操作

2 使用したいパッドをタップする

memo

◎カメラ使用中はツールボックスを表示できません。

マルチファンクションパッドの使いかた

① **パッド移動つまみ**
指でドラッグして、マルチファンクションパッドを移動します。

② **ok／閉じるボタン**
画面右下に表示される や「×」をタップしたのと同じ動作を行います。

③ **右ボタン**
カーソルを右に移動します。

④ **下ボタン**
カーソルを下に移動します。

⑤ **終了ボタン**
マルチファンクションパッドを消します。

⑥ **決定ボタン**
カーソルで選択している項目を確定／実行します。

⑦ **左ボタン**
カーソルを左に移動します。

⑧ **上ボタン**
カーソルを上に移動します。

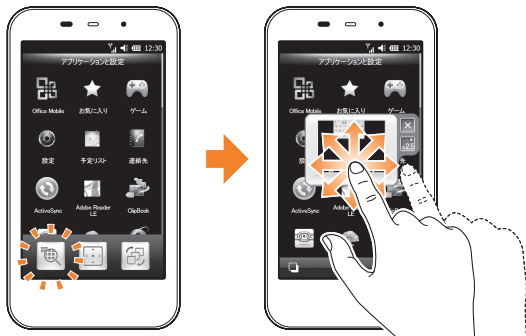
⑨ **スタートメニューボタン**
スタートメニューを表示します。

拡大パッドの使いかた

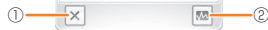
拡大パッドを使うと、小さな文字やアイコンを部分的に拡大することができます。
画面の文字が見づらかったり、アイコンがタップしづらかったりしたときに便利です。

① **終了ボタン**
拡大パッドを消します。

② **ズーム切り替えボタン**
ズーム倍率を1.5倍／2倍／2.5倍に切り替えます。

③ **パッド移動つまみ**
指でドラッグして、拡大パッドを移動します。

タスク切り替えパッドの使いかた

① **終了ボタン**
タスク切り替えパッドを消します。

② **タスクマネージャーボタン**
タスクマネージャーを起動します。

パッドを消す

パッドを消すには、以下の方法があります。

- パッド内の「×」をタップします。
- マルチファンクションパッドの場合、パッド移動つまみをドラッグして、画面の左右または下に引き出します。

ツールボックスを設定する

お買い上げ時	ツールボックスを使う：有効 フローティングパッド設定：右きき用

1 →「設定」→「個人」→「ツールボックス設定」

2 「ツールボックスを使う」にチェックを付ける、またはチェックを外す

- チェックを付けた場合は、「右きき用」または「左きき用」をタップします。

3 をタップする

基本操作

プログラムを切り替える/終了する

タスクマネージャーを起動して、実行中のプログラムを確認したり、切り替えたり、終了させることができます。
起動したプログラムは、終了させるまで起動したままになっています。実行中のプログラムが多くなるとメモリ不足になり、IS02の動作が遅くなります。使っていないプログラムは、タスクマネージャーを使って終了させてください。

プログラムを切り替える

1 →「タスクマネージャー」

実行中のプログラムの一覧画面が表示されます。

- →「タスクマネージャー」でも起動できます。

2 切り替えたいプログラムをタップする

3 「メニュー」→「切り替え」

◎ Fn を押してから BS を押しても、タスクマネージャーを起動できます。

プログラムを終了する

1 →「タスクマネージャー」

実行中のプログラムの一覧画面が表示されます。

- →「タスクマネージャー」でも起動できます。

2 終了したいプログラムを選択し、「終了」をタップする

■実行中の全プログラムを終了する場合

実行中のプログラムの一覧画面で「メニュー」→「すべてのタスクの終了」→「はい」をタップします。

◎ Fn を押してから BS を押しても、タスクマネージャーを起動できます。

自分の電話番号を確認する

1 →「設定」→「個人」→「自局番号」

お客様の電話番号とICCID(au ICカード番号)が表示されます。

オーナー情報を編集する

お客様ご自身の情報を入力することができます。

1 →「設定」→「オーナー情報」

- →「設定」→「個人」→「オーナー情報」でも操作できます。

2 必要な項目に情報を入力する

「オーナー情報」画面	電話番号を確認し、名前、勤務先、住所、電子メールアドレスを入力します。
「メモ」画面	メモを入力します。

3 をタップする

文字を入力する

文字入力パッドで文字を入力する 60
顔文字／数字･記号パレットで入力する 63
キーボードで文字を入力する 63
ATOKを設定する 64

文字入力パッドで文字を入力する

IS02は、文字入力パッド表示アイコンが出ている画面でアイコンをタップし、表示された文字入力パッドから目的の文字を入力することができます。文字入力パッドを閉じるときは、再度文字入力パッド表示アイコンをタップします。

入力パネルを切り替える

入力パネルには、以下の5種類があります。

- 定型文
- ローマ字／かな
- 文字一覧
- ひらがな／カタカナ
- T-Keyboard

1 →「設定」→「個人」→「入力パネル設定」

2 「定型文」／「文字一覧」／「T-Keyboard」／「ローマ字／かな」／「ひらがな／カタカナ」→

T-Keyboardで入力する

T-Keyboardには、以下の2種類があります。

- ケータイ入力
- PCキーボード入力

■ケータイ入力

携帯電話にあるようなパッドで、ひらがな／カタカナ／英字／数字／記号を入力することができます。

1 入力パネルを「T-Keyboard」に切り替える（▶P.60）

2 →「ケータイ入力」をタップしてケータイ入力に切り替える

- 顔文字／数字･記号パレットが表示されている場合は、「閉じる」をタップします。

3 入力したい文字が割り当てられているボタンをタップする

キーパッド上部に候補の文字が表示されます。

4 入力したい文字をタップする

- をタップすると、キーパッドの表示をひらがな／カタカナ／記号／英大文字／英小文字／数字から選択できます。
- 文字を削除する場合は、 をタップするとカーソルの左側の文字が削除されます。
- 文字を漢字に変換する場合は「Space／変換」をタップし、入力したい漢字を選択します。

■PCキーボード入力

PCキーボード入力では、ひらがな／カタカナ／英字／数字／記号を入力することができます。

1 入力パネルを「T-Keyboard」に切り替える（▶P.60）

2 →「PCキーボード入力」をタップしてPCキーボード入力に切り替える

- 顔文字／数字･記号パレットが表示されている場合は、「閉じる」をタップします。

3 入力したい文字をタップする

- をタップするたびに、大文字画面と小文字画面が切り替わります。
- がオレンジ色のときは、「顔･記号」をタップするたびに数字･記号画面とPCキーボード入力が切り替わります。数字･記号画面を表示中に をタップすると、数字･記号の全角／半角を選択できます。
- が青色のときに「顔･記号」をタップすると、顔文字／数字･記号パレットが表示されます。
- がオレンジ色のときに ／ をタップすると、カーソルを移動できます。 が青色のときに ／ をタップすると、「。」／「ー」を入力できます。
- をタップすると、入力モードをひらがな／カタカナ／英大文字／英小文字から選択できます。
- 文字を削除する場合は、 がオレンジ色のときに をタップするとカーソルの左側の文字が削除され、 が青色のときに「Delete」をタップするとカーソルの右側の文字が削除されます。
- 文字を漢字に変換する場合は「Space／変換」をタップし、入力したい漢字を選択します。

ひらがな／カタカナ方式で入力する

1 入力パネルを「ひらがな／カタカナ」に切り替える（▶P.60）

2 文字入力パッドで入力したい文字をタップする

- ひらがなを入力する場合は「かな」を、カタカナを入力する場合は「カナ」をタップします。また、小文字を入力する場合は「小字」をタップします。文字を漢字に変換する場合は「変換」をタップし、入力したい漢字を選択します。

ローマ字／かな方式で入力する

1 入力パネルを「ローマ字／かな」に切り替える（▶P.60）

2 文字入力パッドで入力したい文字をタップする

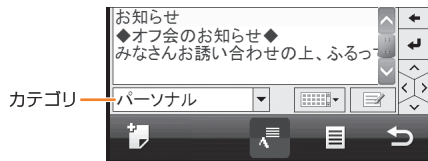
- ひらがなを入力する場合は「かな」を、カタカナを入力する場合は「カナ」をタップします。文字を漢字に変換する場合は「変換」をタップし、入力したい漢字を選択します。

定型文を入力する

定型文や顔文字、飾り罫などを入力することができます。

1 入力パネルを「定型文」に切り替える（▶P.60）

2 カテゴリを選択し、一覧から入力したい定型文などをタップする

- をタップすると一覧の表示方法を変更できます。
- をタップすると「定型文編集ツール」が表示され、定型文の追加／変更／削除ができます。

文字一覧から入力する

文字コード表から文字や記号を入力することができます。

1 入力パネルを「文字一覧」に切り替える（▶P.60）

2 「シフトJIS」または「Unicode」をタップする

3 文字カテゴリを選択し、一覧から入力したい文字をタップする

顔文字／数字・記号パレットで入力する

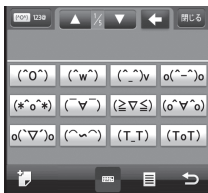
1 文字入力パッド表示アイコンが出ている画面で Fn を押してから 文字記号 を押して、顔文字／数字・記号パレットを表示する

- T-Keyboardで「顔・記号」をタップ(ケータイ入力の場合)または小文字画面で「顔・記号」をタップ(PCキーボード入力の場合)しても表示できます。

2 (^O^) 123@ ／ (^O^) 123@ をタップして、パレットを切り替える

3 入力したい文字をタップする

- ▲／▼をタップしたり、パレット上をすばやくスライドすると前後の画面が表示されます。
- 文字を削除する場合は、← をタップするとカーソルの左側の文字が削除されます。
- 顔文字や数字・記号をタップすると、パレット上部の最新の履歴※に追加されます。履歴をタップして入力することもできます。

※パレットの1ページ目の画面にのみ表示されます。

《顔文字パレット》

《数字・記号パレット》

キーボードで文字を入力する

IS02はQWERTYキーボードを使って文字を入力することもできます。

- 各ボタンの割り当てについては「キーボード」(▶P.29)を参照してください。

1 文字入力画面でIS02をスライドさせてキーボードを開く

横画面表示に切り替わります。

2 キーを押して文字を入力する

- 文字を削除する場合は、BS タスク を押すとカーソルの左側の文字が削除されます。
- 文字を漢字に変換する場合は Space／変換 を押し、入力したい漢字を選択して Enter を押します。
- Shift Caps ／ Shift FnLock を押してからアルファベットキーを押すと、文字が大文字で入力されます。
- Fn を押してからアルファベットキーを押すと、キーの右下に表示されている文字が入力されます。

ATOKを設定する

お買い上げ時	オン

1 **→「設定」→「一般設定」→「ATOK設定」**

ATOK設定画面が表示されます。

- →「設定」→「システム」→「ATOK設定」でも設定できます。

2 **「日本語入力にATOKを使用する」にチェックを付ける、またはチェックを外す**

3 **→「はい」**

◎ATOKの有効／無効を切り替えると、IS02が再起動します。
◎ATOK設定を無効にすると、「プロパティ」の設定はできません。

後変換候補を設定する

「Space／変換」で変換したときの候補の一覧に、全角カタカナや半角カタカナなど、変換した文字を追加するかしないかの設定ができます。

1 **ATOK設定画面で「プロパティ」→「入力・変換」タブ**

2 **各後変換候補のチェックを付ける、またはチェックを外し、をタップする**

□全角ｶﾀｶﾅ の場合

☑全角ｶﾀｶﾅ の場合

変換辞書による文字変換

お買い上げ時	オン

推測変換を有効にすると、文字を入力するごとに候補語の絞り込みができます。また、横画面／縦画面ごとに候補提示行数を変更することができます。

■ 推測変換の設定を無効にするには

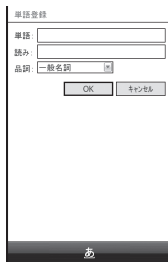
1 **ATOK設定画面で「プロパティ」→「推測変換」タブ**

2 **「推測変換を有効にする」のチェックを外し、をタップする**

よく使う単語をあらかじめ登録する

よく使う単語をあらかじめユーザー辞書に登録しておくと、その読みを入力して変換したときに優先して表示するようにできます。

■ 新しい単語を登録する

1. **ATOK設定画面で「プロパティ」→「学習」タブ**
2. **「登録単語の編集」→「編集」→「登録」**
   単語登録画面が表示されます。
3. **「単語」に登録する単語を入力する**
4. **「読み」に読みかたを入力する**
5. **品詞を選択する**
6. **「OK」→「×」→**

■ 登録した単語を削除する

1. **ATOK設定画面で「プロパティ」→「学習」タブ→「登録単語の編集」**
2. **削除したい単語を選択する**
3. **「編集」→「削除」→「はい」**
   選択した単語が単語一覧から削除されます。
4. **「×」→**

使用する辞書を設定する

IS02にインストールされている辞書を、文字の変換時に使用する辞書として設定できます。

1. **ATOK設定画面で「プロパティ」→「辞書」タブ**
2. **「基本辞書」／「補助辞書」一覧で使用する辞書にチェックを付ける**
3. **をタップする**

学習した内容をリセットする

学習データは、一度入力した文字列を自動的に記憶し、変換時の候補として表示されます。学習データをリセットすると、学習内容が消去され、お買い上げ時の状態に戻ります。

1. **ATOK設定画面で「プロパティ」→「学習」タブ**
2. **「学習データのリセット」→「はい」**
   学習データがお買い上げ時の状態に戻ります。
3. **をタップする**

電話

電話をかける 68
発着信履歴を利用して電話をかける 70
発信者番号の通知／非通知を付加して発信する 71
相手を絞り込みすばやく発信する 71
スピードダイヤルを利用して発信する 71
連絡先から電話をかける 72
プッシュ信号（DTMF）を送信する 72
電話を受ける 73
ハンズフリーを利用する 74
通話中に相手の声の音量を調節する 75
着信音量やスピーカー音量を調節する 75
着信を音で知らせる 76
電話から鳴る音を消す（マナーモード） 76

電話をかける

1 をタップする

電話画面が表示されます。

《電話画面》

2 相手の電話番号を入力する

■電話番号を間違えたときは

・をタップして入力した番号を消します。を1秒以上タップすると、入力した番号がすべて消えます。

3 をタップする

4 通話が終了したらをタップする

・をタップしたままにしても通話を終了できます。

memo

◎ をタップしないで画面を切り替えると通話は継続します。通話を終了する場合は、をタップしたままにします。
◎ 連絡先に登録されている電話番号と入力した電話番号が一致した場合は、連絡先の表題が表示されます。
◎ 連絡先に登録がなく、通話履歴にも記憶されていない電話番号を入力した場合は、「該当なし」と表示されます。
◎ 通話中に近接センサーに顔などが近づくとディスプレイの表示が消え、離れると再表示されます。
◎ →「電話」または→「電話」をタップしても電話画面を表示できます。

au電話からご利用いただけるダイヤルサービス

- 全国の一般電話との通話
- 全国の携帯電話・PHS・自動車電話との通話
- 001（001国際電話サービス：お申し込みは不要です）
- 171（災害対策用ボイスメール）
- 177（天気予報：市外局番が必要です）
- 117（時報）
- 104（電話番号案内）
- 115（電報の発信）
- 110（警察への緊急通報）★
- 119（消防機関への緊急通報）★
- 118（海上保安本部への緊急通報）★
- 船舶電話

※★は緊急通報番号です。
※次のNTTサービスはご利用になれません。
コレクトコール、伝言ダイヤル、ダイヤルQ2、116（NTT営業案内）

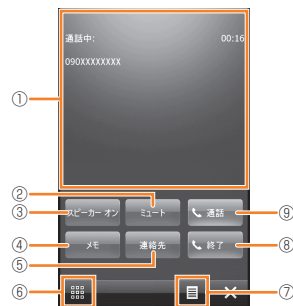
電話

■緊急通報位置通知について

IS02は、警察･消防機関･海上保安本部への緊急通報の際、お客様の現在地(GPS情報)が緊急通報先に通知されます。

memo

◎警察(110)･消防機関(119)･海上保安本部(118)について、ここでは緊急通報受理機関と記載します。
◎本機能は、一部の緊急通報受理機関でご利用いただけない場合もあります。
◎緊急通報番号(110、119、118)の前に｢184｣を付加した場合は、電話番号と同様にお客様の現在地を緊急通報受理機関に知らせることができません。ただし､｢184｣を付加して電話した場合でも、通話中に📞をタップすると現在地を通知することができます。
◎GPS衛星または基地局の信号による電波を受信しづらい、地下街･建物内･ビルの陰では、実際の現在地と異なる位置が、緊急通報受理機関へ通知される場合があります。
◎GPS測位方法で通知できない場合は、基地局信号により、通知されます。
◎｢エリア設定｣を｢日本｣以外に設定している場合、現在地は通知されません。
◎警察･消防機関･海上保安本部への緊急通報の際には、必ずお客様の所在地をご確認のうえ、口頭でも正確な住所をお伝えくださいますようお願いいたします。なお、おかけになった地域によっては、管轄の通報先に接続されない場合があります。
◎緊急通報した際は、通話中もしくは通話切断後一定の時間内であれば、緊急通報受理機関が、人の生命、身体などに差し迫った危険があると判断した場合には、発信者の位置情報を取得する場合があります。

通話中画面の見かた

① **状態表示エリア**
通話相手の情報、通話時間が表示されます。

② **ミュート**
自分の音声が相手に聞こえなくなります。

③ **スピーカー オン／オフ**
スピーカーフォンを利用する場合に｢スピーカー オン｣をタップします。

④ **メモ**
メモの編集ができます。

⑤ **連絡先**
連絡先の編集および新規作成ができます(▶P.51)。

⑥ **キーパッド表示ボタン**
タップするとキーパッドが表示され、電話番号を入力できます。

⑦ **メニューボタン**
タップすると、ミュート、スピーカーフォンのオン／オフ、メモの作成※などができます。

⑧ **終了**
通話を終了します。

⑨ **通話**

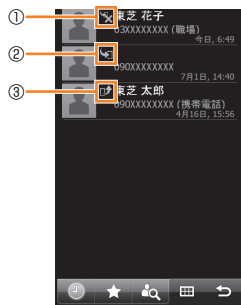
割込通話で通話相手を切り替えたり、三者通話サービスを利用する際にタップします。

※ メモの作成はキーボード入力も可能です。

◎着信時に相手の番号が通知されなかった場合(非通知設定/公衆電話の着信/通知不可能の場合)、状態表示エリアに「非通知設定」と表示されます。

発着信履歴を利用して電話をかける

1 →「通話履歴」

通話履歴一覧が表示されます。

① **不在着信**
不在着信があったことを示します。

② **発信**
電話を発信したことを示します。

③ **着信**
着信があったことを示します。

記載内容に誤りがありますので修正いたします。
②着信
着信があったことを示します。
③発信
電話を発信したことを示します。

2 かけたい相手を選択する

ポップアップメニューが表示されます。

・連絡先に登録されている相手との通話履歴をタップすると、個人連絡先画面が表示されます。

3 「電話」をタップする

4 通話が終了したら 終了 をタップする

電話

発信者番号の通知／非通知を付加して発信する

電話をかけたときに自分の電話番号を相手の電話機に表示させることができます。

- 発信者番号はお客様の大切な情報ですので、通知する際にはご注意ください。

1 **→「1」「8」「6」（通知）／「1」「8」「4」（非通知）を入力する**

2 **相手の電話番号を入力する**

3 **通話 をタップする**

相手を絞り込みすばやく発信する

連絡先を絞り込んで検索することができます。

例：「さとう」を検索する

1 **→「連絡先」→「さ」**

連絡先の1文字目に「さ」を含む候補が表示されます。

- 「1ABC」をタップすると、英数字で絞り込むことができます。

2 **「た」→「と」、「あ」→「う」**

連絡先の2文字目に「と」、3文字目に「う」を含む候補が表示されます。

3 **相手を選択し、電話番号をタップする**

スピードダイヤルを利用して発信する

よくかける連絡先をスピードダイヤルに登録しておくと、電話画面のキーパッドで該当するキーを1秒以上タップするだけで発信できます。

スピードダイヤルを登録する

1 **→「スピードダイヤル」**

スピードダイヤルリストが表示されます。

2 **→「新規作成」**

連絡先の選択画面が表示されます。

3 **登録する相手を選択する**

スピードダイヤル画面が表示されます。

4 **登録する「電話番号」を選択する**

5 **「短縮番号」で割り当てる番号を選択する**

6 **をタップする**

memo

◎短縮番号1は、「留守番電話」に割り当てられています。電話画面のキーパッドで「1」を1秒以上タップすると、お留守番サービスに電話がかかります。
◎登録する際は、短縮番号1以外の番号に割り当ててください。
◎連絡先からスピードダイヤルに登録するには、→「連絡先」→連絡先をタップ→→「スピードダイヤルに追加」→登録する「電話番号」を選択→「短縮番号」で割り当てる番号を選択→をタップします。
◎スピードダイヤルを削除するには、スピードダイヤルリストで削除したい相手を選択して、→「削除」→「はい」をタップします。

電話

スピードダイヤルで発信する

1 をタップし、短縮番号が割り当てられたキーを1秒以上タップする

登録された相手に発信されます。

- 短縮番号が2桁の場合は、十の位の番号をタップし、一の位の番号を1秒以上タップするか、スピードダイヤルリストで短縮番号をタップします。

連絡先から電話をかける

1 →「連絡先」

連絡先画面が表示されます。

2 発信する相手を選択する

3 「XXXにダイヤル」をタップする

memo

◎発信する相手を1秒以上タップし、ポップアップメニューから電話をかけることもできます。

プッシュ信号(DTMF)を送信する

IS02からプッシュ信号を送信し、チケットの予約や銀行の残高照会などのサービスを利用できます。

1 通話中に をタップする

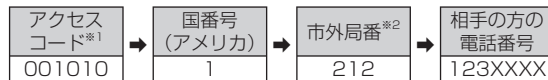
2 「0」~「9」、「＊」、「＃」を入力する

au電話から海外へかける(001国際電話サービス)

IS02からは、特別な手続きなしで国際電話をかけることができます。

例：au電話からアメリカの「212-123-XXXX」にかける場合

1 をタップする

2 アクセスコード、国番号、市外局番、相手の方の電話番号を入力

※1 「0」を1秒以上タップすると、「＋」が入力され、発信時に「001010」が自動で付加されます。

※2 市外局番が「0」で始まる場合は、「0」を除いて入力してください(イタリア・モスクワの固定電話など一部例外もあります)。

3 通話 をタップする

4 通話が終了したら 終了 をタップする

◎001国際電話サービスは毎月のご利用限度額を設定させていただきます。auにて、ご利用限度額を超過したことが確認された時点から同月内の末日までの期間は、001国際電話サービスをご利用いただけません。
◎ご利用限度額超過によりご利用停止となっても、翌月1日からご利用を再開します。また、ご利用停止中も国内通話は通常通りご利用いただけます。
◎通話料は、auより毎月のご利用料金と一括してのご請求となります。
◎ご利用を希望されない場合は、お申し込みにより001国際電話サービスを取り扱わないようにすることもできます。
001国際電話サービスに関するお問い合わせ:
au電話から(局番なしの)**157**番(通話料無料)
一般電話から フリーコール **0077-7-111**(通話料無料)
受付時間 毎日9:00〜20:00
◎海外へ電話を転送できます。(▶P.195「海外の電話へ転送する」)

電話を受ける

1 電話がかかってくる

2 をタップする

・デバイスロック中は、「応答」を右にスライドします。また、「ロックの解除」をタップすると、通常の通話中画面になります。デバイスロックにパスワードを設定している場合はパスワードを入力し、をタップします。

■着信を拒否する場合

をタップします。

・デバイスロック中は、「拒否」を右にスライドするかをタップしたままにします。

3 通話が終了したら 終了 をタップする

・をタップしたままにしても通話を終了できます。

memo

◎IS02は応答保留ができません。
◎通話中に近接センサーに顔などが近づくとディスプレイの表示が消え、離れると再表示されます。
◎デバイスロックについて詳しくは、「IS02にロックをかける」(▶P.39)を参照してください。

■着信中の表示について

・相手の電話番号が通知されたときは、相手の電話番号が画面に表示されます。連絡先に登録されている電話番号と一致した場合は、名前が画面に表示されます。
・相手の電話番号が通知されなかったときは、「非通知設定」が表示されます。

ハンズフリーを利用する

スピーカーフォンに切り替える

通話中の相手の音声をスピーカーから流して通話することができます。

1 通話中に「スピーカー オン」をタップする

が表示されます。

■スピーカーフォンをオフにする場合

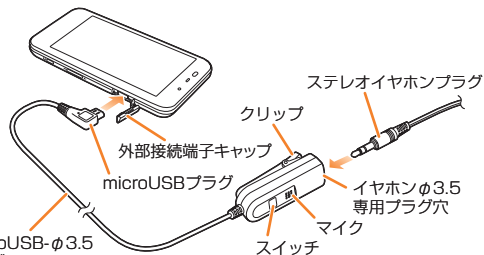
「スピーカー オフ」をタップします。

memo

◎スピーカーフォンがオンになっているときは、IS02の受話口を耳にあてないでください。

ステレオイヤホンマイクの使いかた

付属の東芝microUSB-φ3.5変換ケーブル01にIS02とステレオイヤホン（別売）を接続すると、マイク横のスイッチを押すだけでかかってきた電話を受けたり、電話をかけることができます。

■ステレオイヤホンマイクを取り付ける

1 ステレオイヤホンプラグを東芝microUSB-φ3.5変換ケーブル01のイヤホンφ3.5専用プラグ穴に差し込む

2 IS02の外部接続端子キャップを開け、東芝microUSB-φ3.5変換ケーブル01のmicroUSBプラグを差し込む

- microUSBプラグは、プラグの向きを確認して水平に差し込んでください。

■ワンタッチで電話を受ける

1 電話がかかってきたら、マイク横のスイッチを押す

- スイッチを2秒以上押すと、着信を拒否できます。

2 通話が終了したら、マイク横のスイッチを2秒以上押す

■電話をかける

1 マイク横のスイッチを2回押す

2 通話が終了したら、マイク横のスイッチを2秒以上押す

memo

◎一番最新の発着信履歴の相手に電話がかかります。
◎デバイスロック中など、操作ロック中は電話をかける操作はできません。

通話中に相手の声の音量を調節する

お買い上げ時	レベル2

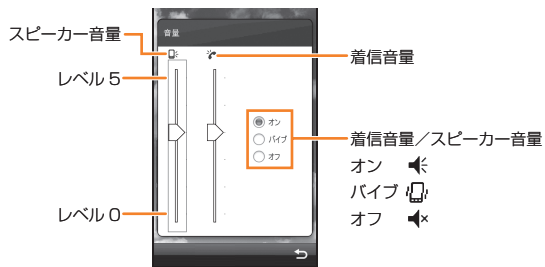
1 通話中に（音量大）または（音量小）を押す

memo

◎通話中以外は受話音量を調節することはできません。
◎通話中にタイトルバー→をタップし、受話音量のスライダーを上下にスライドして調節することもできます。

着信音量やスピーカー音量を調節する

お買い上げ時	（着信音量）：レベル3 （スピーカー音量）：レベル3

タイトルバーをタップしてをタップすると音量画面が表示されます。電話の着信音はで調節できます。メールの着信音、「時計とアラーム」のアラーム、「予定表」のアラーム、「Windows Media Player」や「動画」などの再生音はで調節できます。

《音量画面》

電話の着信音量を調節する

着信音量の調節は待受中に（着信音量）で行います。

1 タイトルバーをタップしてをタップする

2 （着信音量）のスライダーを上下にスライドして、着信音量を調節する

3 をタップする

memo

◎（着信音量）を「レベル0」に設定すると音が鳴りません。
◎「バイブ」や「オフ」をタップすると、音は鳴りません。
◎お留守番サービスの伝言お知らせ・着信お知らせやメールの着信音量の調節は、（スピーカー音量）で行います。

電話着信中に着信音を一時的に消す

1 着信中にまたはを押す

アラームや再生音の音量を調節する

1 タイトルバーをタップしてをタップする

2 （スピーカー音量）のスライダーを上下にスライドして、音量を調節する

3 をタップする

memo

◎待受中に(スピーカー音量大)または(スピーカー音量小)を押しても音量を調節できます。
◎(スピーカー音量)を「レベル0」に設定すると音が鳴りません。
◎「バイブ」や「オフ」をタップすると、音は鳴りません。

着信を音で知らせる

お買い上げ時	着信パターン:標準の着信音 着信音:Ring01-WindowsPhone キーパッド:オフ

着信音のパターンやメロディ、キーパッドの操作音を設定します。

1 →「設定」→「一般設定」→「電話」

- →「設定」→「個人」→「電話」でも設定できます。

2 サウンドに関する設定をする

「着信パターン」、「着信音」、「キーパッド」を設定します。

3 をタップする

電話から鳴る音を消す(マナーモード)

マナーモードを設定すると、公共の場所で周囲の迷惑とならないように、着信音などを消すことができます。

1 を1秒以上押す

タイトルバーに が表示されます。

■マナーモードを解除する場合

を1秒以上押します。

マナーモードの設定を変更する

お買い上げ時	バイブあり マナーモード中にもアラームを再生する:オフ

1 →「設定」→「音/マナーモード」→「マナーモード設定」

- →「設定」→「個人」→「マナーモード設定」でも設定できます。

2 「バイブあり」/「バイブなし」→

- マナーモード設定中でもアラームを鳴らしたい場合は、「マナーモード中にもアラームを再生する」にチェックを付けます。

memo

◎マナーモード設定中は、以下の音が鳴りません(ステレオイヤホン(別売)を接続している場合は、イヤホンから音が鳴ります)。
- 着信音
- 電子メール、Cメール受信音
- 「時計とアラーム」のアラーム音
- 予定表のアラーム音
- 電池切れのアラーム音
- 各プレイヤーの再生音

◎マナーモード設定中でも、以下の音は鳴ります。
- フォトのシャッター音
- ビデオの開始音/終了音
- スピーカーフォンによる通話
- 緊急地震速報受信音(マナー時も通知するように設定した場合)

連絡先／PIM機能

連絡先を使う 78
連絡先に登録する 78
連絡先の内容を確認する 79
連絡先の内容を変更する 80
連絡先を削除する 80
連絡先情報を送信する 80
スマートフォンアドレス帳移行ツールを利用する 80
仕事を管理する 82
仕事を登録する 82
仕事の内容を変更する 82
仕事を削除する 82
仕事のオプション設定 83
仕事の内容を確認する 83
仕事を送信する 83
スケジュールを管理する 84
予定を登録する 84
予定表を表示する 84
予定表のオプション設定 85
予定表の内容を変更する 85
予定を削除する 85
予定を送信する 86
メモを利用する 87
メモを作成する 87
メモを表示する 88
ボイスメモを録音／再生する 88
メモを削除する 89
メモを送信する 89

連絡先を使う

連絡先に登録する

IS02の連絡先（Outlook連絡先）に電話番号などを登録できます。

1 →「連絡先」→

連絡先の種類の選択画面が表示されます。

2 「Outlook 連絡先」をタップする

3 必要な項目を入力する

- 「名前の追加 会社の追加」を登録する場合は、文字を入力したあと文字入力パッドの「Enter」をタップして確定してください。
- 「分類項目」を設定すると、関連のある連絡先をグループ化して管理できます。表示される分類項目から選択するか、をタップして新しい項目を作成します。
- 連絡先に写真を登録するには、「通信する」画面で画像アイコンをタップします。次に画像ファイルを選択するか、「カメラ」をタップして写真を撮影します。登録した画像ファイルは、この連絡先から着信したときに電話画面に表示されます。

「通信する」画面	名前の追加 会社の追加	姓と名、フリガナ、ニックネーム、勤務先、勤務先のフリガナ、表題を登録できます。
	画像アイコン	着信時や通話中に表示される画像を登録できます。
	携帯電話番号の追加	携帯電話の電話番号を登録できます。
	電子メールの追加	電子メールのアドレスを登録できます。
	電話番号の追加	携帯電話、勤務先、自宅、会社の代表電話、ポケットベル、自動車電話、秘書の電話、PHSの電話番号を登録できます。
	電子メール/IMの追加	電子メールアドレス、インスタントメッセージの宛先を登録できます。
「情報」画面	着信音の設定	連絡先に個別の着信音を設定できます。
	アドレスの追加	勤務先、自宅、その他の住所を登録できます。
	情報の追加	役職、事業所、勤務先FAX、自宅FAX、誕生日、記念日、分類項目、Webページ、配偶者、子供、部署、秘書、上司、カスタマーID、ID番号、アカウントの情報を登録できます。
「メモ」画面	―	メモを入力できます。

4 をタップする

◎連絡先に電話番号を入力するときに、自動的に表示される市外局番を変更するには、連絡先一覧（▶P.79）で→「オプション」をタップし、設定されている市外局番を変更します。

◎連絡先を分類項目で表示している場合、新しく作成した連絡先は表示中の分類項目に登録されます。

連絡先／PIM機能

メールグループに登録する

メールグループに登録した相手に、一斉にメールを送信することができます。

1 →「連絡先」→

2 「電子メールグループ」をタップする

3 グループ名を入力する

4 をタップし、登録したい連絡先をタップする

- 連絡先の検索方法については、P.79を参照してください。

5 「完了」をタップする

登録したメンバーがリストに表示されます。

- メンバーを削除する場合は、削除したいメンバーを選択し、→「メンバーの削除」→「はい」をタップします。

6 をタップする

■メンバーにメールを送信する

1 →「連絡先」

2 送信したいグループをタップする

3 をタップする

4 件名、本文などを入力し、をタップする

詳しくは、「電子メールを作成して送信する」(▶P.95)を参照してください。

連絡先の内容を確認する

1 →「連絡先」

連絡先一覧が表示されます。

2 確認したい連絡先をタップする

最新の発着信履歴が、電話番号やメールアドレスなどの情報と一緒に表示されます。

連絡先を検索する

表示方法により検索対象が異なります。表示方法が、「名前」の場合は名前が、「勤務先」の場合は勤務先が検索対象となります。

1 →「連絡先」

連絡先一覧が表示されます。

2 「1」、「A」、「ア」～「ワ」タブをタップして検索対象を表示する

- 「名前の入力」欄に入力して検索することもできます。

memo

◎「1」、「A」、「ア」～「ワ」タブを1秒以上タップして表示されるインデックスから、連絡先の頭文字で検索することもできます。

◎分類項目から検索するには、連絡先一覧で→「フィルター」をタップし、連絡先の「分類項目」をタップします。すべての連絡先を表示するには、「すべての連絡先」をタップします。

連絡先の内容を変更する

1 **→「連絡先」**

2 **変更したい連絡先をタップする**

3 **変更したい項目をタップし、変更内容を入力する**

- 画像を変更する場合は、画像アイコンをタップします。

4 **をタップする**

- 変更する内容によってはを2回タップします。

◎変更した内容は、連絡先一覧に戻ると反映されます。

連絡先を削除する

1 **→「連絡先」**

2 **削除したい連絡先をタップして詳細を表示する**

3 **→「連絡先の削除」→「はい」**

連絡先情報を送信する

連絡先をBluetooth®通信で送信することができます。

1 **→「連絡先」**

2 **送信したい連絡先をタップして詳細を表示する**

3 **→「連絡先の送信」→「ビーム」**

送信先の検索が始まります。以降は画面の指示に従って操作します。

◎Bluetooth®通信で連絡先を送信するには、相手先のBluetooth®機能が検出可能なモードに設定されている必要があります。また、相手先の機器を、データを受信するモードにする必要があります。詳しくは、「ビームでデータを送信する」(▶P.181)をご覧ください。

スマートフォンアドレス帳移行ツールを利用する

スマートフォンアドレス帳移行ツール(以下、本ソフトウェア)は、IS02と相手端末(au電話またはWindows Mobile端末)間で、IS02のメモリやmicroSDカードを利用した連絡先データの全件移行を行うためのソフトウェアです。

- microSDカードで移行する場合は、本ソフトウェアを起動する前にmicroSDカードが挿入されていることをあらかじめご確認ください。

◎相手端末がau電話(携帯電話)の場合、au電話(携帯電話)では、microSDカードにアドレス帳のバックアップデータを保存する機能を利用してください。

連絡先データを出力する

1 ▦→「スマートフォンアドレス帳移行ツール」

- 初回起動時は利用規約を読み、「同意する」→「はい」をタップします。
- ▣→「スマートフォンアドレス帳移行ツール」でも操作できます。

2 「EXPORT」

3 「エクスポート開始」→「ok」

- 出力先を変更する場合は、「出力先選択」をタップします。
- 出力ファイルのファイル名を変更する場合は、「名前」に入力します。

◎相手端末がau電話（携帯電話）の場合、出力先をau電話（携帯電話）でバックアップデータが保存されるフォルダに変更してください。バックアップデータが保存されるフォルダについてはau電話（携帯電話）の取扱説明書をご参照ください。

連絡先データを取り込む

1 ▦→「スマートフォンアドレス帳移行ツール」

- ▣→「スマートフォンアドレス帳移行ツール」でも操作できます。

2 「IMPORT」→「新規追加（デフォルト）」／「上書き」→「次へ」

3 フォルダを選択してファイルを選択し、「インポート開始」→「OK」→「ok」

◎インポート方法を選択する画面が表示されないときは、操作1のあとに「メニュー」→「インポート設定」をタップしてインポート方法を選択します。

◎相手端末がau電話（携帯電話）の場合、あらかじめau電話（携帯電話）でmicroSDカードにアドレス帳のバックアップデータを保存してください。au電話（携帯電話）の操作やバックアップデータが保存されるフォルダについてはau電話（携帯電話）の取扱説明書をご参照ください。
また、操作3でバックアップデータを選択する際は、ファイル名ではなく更新日時を目安にしてください。

仕事を管理する

仕事を登録する

仕事を登録して、期限や進捗状況を管理できます。優先度やアラームを設定したり、項目別に分類することもできます。

1 **→「仕事」**

仕事の一覧が表示されます。

- →「仕事」でも操作できます。

2 **→「新しい仕事」**

3 **件名を入力し、優先度、開始日、期限などを入力する**

- 「分類項目」を設定すると、関連のある仕事をグループ化して管理できます。表示される分類項目から選択するか、をタップして新しい項目を作成します。

「仕事」画面	件名	仕事の名称を登録します。
	優先度	優先度を設定します。
	進捗状況	作業中か、終了した仕事かを設定します。
	開始日	開始日を設定します。
	期限	期限を設定します。
	パターン	1回だけの仕事か、定期的(毎週、毎月、毎年)な仕事かを設定します。
	アラーム	アラームを通知する日時を設定します。
	分類項目	関連する仕事をグループ化します。フィルターの条件として指定できます。
	秘密度	秘密にする度合いを設定します。
「メモ」画面	―	メモを入力できます。

4 **をタップする**

memo

◎件名のみの仕事を登録する場合は、「ここをタップして新しい仕事を追加」をタップして件名を入力することもできます。
◎「ここをタップして新しい仕事を追加」が表示されないときは、→「オプション」→「仕事入力バーを表示する」にチェックを付けます。
◎「パターン」で「1回」以外を選択した場合は、「進捗状況」「開始日」「期限」を設定することはできません。

仕事の内容を変更する

1 **→「仕事」**

- →「仕事」でも操作できます。

2 **変更したい仕事をタップし、をタップする**

3 **変更する箇所を入力し、をタップする**

仕事を削除する

1 **→「仕事」**

- →「仕事」でも操作できます。

2 **削除したい仕事をタップして詳細を表示する**

3 **→「削除」→「はい」**

- 「パターン」で定期的な仕事(「1回」以外)を設定している場合は、「すべて」または「今回のみ」をタップします。

仕事のオプション設定

仕事のアラームや表示方法に関する設定を行います。

1 **→「仕事」**

- →「仕事」でも操作できます。

2 **→「オプション」**

3 **必要な項目にチェックを付け、をタップする**

新しいアイテムにアラームを設定する	新しい仕事を登録する際、開始日または期限を設定したときに、自動的にアラームを設定します。
開始日と期限を表示する	仕事を一覧表示する際、開始日と期限を表示します。
仕事入力バーを表示する	「ここをタップして新しい仕事を追加」のバーを表示します。

仕事の内容を確認する

仕事の表示方法を変更する

仕事を並べ替えたり、フィルター機能を利用することができます。

1 **→「仕事」**

- →「仕事」でも操作できます。

2 **→「並べ替え」／「フィルター」**

3 **該当項目をタップする**

memo

◎フィルター機能で絞り込んだ内容を元に戻す場合は、→「フィルター」→「すべての仕事」をタップします。ただし、「作業中の仕事」または「終了した仕事」で絞り込んでいる場合は、チェックが付いている項目を再度選択してください。

仕事の状態を設定する

登録した仕事の状態（作業中、作業の終了）を設定できます。

1 **→「仕事」**

- →「仕事」でも操作できます。

2 **設定する仕事のチェックを外す（作業中）またはチェックを付ける（作業の終了）**

仕事を送信する

仕事の内容をBluetooth®通信で送信することができます。

1 **→「仕事」**

- →「仕事」でも操作できます。

2 **送信したい仕事をタップして詳細を表示する**

3 **→「ビーム」**

送信先の検索が始まります。以降は画面の指示に従って操作します。

memo

◎Bluetooth®通信で仕事を送信するには、相手先のBluetooth®機能が検出可能なモードに設定されている必要があります。また、相手先の機器を、データを受信するモードにする必要があります。詳しくは、「ビームでデータを送信する」（▶P.181）をご覧ください。

スケジュールを管理する

予定を登録する

仕事の予定などを登録して、開始日時や終了日時などを管理できます。

1 →「予定リスト」→ →「新規予定」

- →「予定表」→ →「新しい予定」でも登録できます。

2 件名を入力し、場所、開始日時や終了日時などを入力する

- 予定の事前通知（アラーム）を行う場合は、「アラーム」を「通知」にして、時間（開始日時よりどのくらい前に通知するか）を設定します。

「予定」画面	件名	名称を設定します。
	場所	場所を設定します。
	開始	開始日時を設定します。
	終了	終了日時を設定します。
	終日	終日の予定にするかどうかを設定します。
	パターン	1回だけの予定か、定期的（毎週、毎月、毎年）な予定かを設定します。
	アラーム	事前通知（開始日時よりどのくらい前に通知するか）を設定します。
	分類項目	関連する予定をグループ化します。フィルターの条件として指定できます。
	出席者	出席者を連絡先から選択します。設定した場合、入力した予定を出席者に通知できます。 ※あらかじめ出席者の連絡先に、電子メールアドレスを登録しておく必要があります。
	公開方法	予定の種類を設定します。予定の種類によって、日／週単位の表示での予定の色が変わります。
	秘密度	秘密にする度合いを設定します。
「メモ」画面	−	メモを入力できます。

3 をタップする

memo

◎終日のイベントは、予定表の一番上に表示されます。

予定表を表示する

表示する単位を切り替える

1 →「予定リスト」→ →「予定表」

- →「予定表」でも操作できます。

2 ／／／／ をタップする

アイコンをタップするたびに、予定表の画面が切り替わります。

memo

◎ →「表示」から表示する単位を切り替えることもできます。
◎週／月の表示で日付を選択すると、日単位の表示に切り替わります。
◎年単位の表示で月を選択すると、月単位の表示に切り替わります。
◎予定一覧や日単位の表示では、予定の設定状態をアイコンで表示することができます。
アイコンが表示されない場合は「予定表のオプション設定」（▶P.85）の「予定」画面で「アイコンの表示」の設定を確認してください。

アイコン	意味
	アラームを「通知」に設定した予定
	パターンを「1回」以外に設定した予定
	メモを入力した予定
	場所を入力した予定
	出席者を設定した予定
	秘密度を「プライベート」に設定した予定

◎ →「予定リスト」→ →「設定」をタップして、予定リストの表示方法を変更できます。

予定表のオプション設定

予定表の表示形式やアラームのパターンなどを設定します。

1 →「予定リスト」→ →「予定表」

- →「予定表」でも操作できます。

2 →「ツール」→「オプション」

3 「全般」画面と「予定」画面で必要な項目を設定し、をタップする

「全般」画面	既定の画面	Windows Mobileのスタートメニューから予定表を起動したときの表示方法を設定します。
	週の最初の曜日	カレンダーの左端を日曜日または月曜日にするかを設定します。
	週単位の表示	1週間のうち何日表示するかを設定します。
	30分単位で表示する	日単位／週単位表示での時間軸が30分単位で表示されます。
	週番号を表示する	チェックを付けると、月単位表示の左端に週番号が表示されます。
「予定」画面	新しいアイテムにアラームを設定する	チェックを付けると、予定登録時に自動的にアラームを設定します。
	アイコンの表示	予定一覧や日単位の表示で、予定に表示するアイコンを反転します。
	会議出席依頼の送信方法	出席者に予定を通知する方法を設定します。

予定表の内容を変更する

1 →「予定リスト」→ →「予定表」

- 月単位で表示している場合は変更したい予定の日付をタップ、年単位で表示している場合は「X月」をタップしてから変更したい予定の日付をタップして、日単位の表示に切り替えてください。
- →「予定表」でも操作できます。

2 変更したい予定をタップする

3 →「編集」

- 「パターン」で定期的な予定(「1回」以外)を設定している場合は、「すべて」または「今回のみ」をタップします。

4 変更する箇所を入力し、をタップする

予定を削除する

1 →「予定リスト」→ →「予定表」

- 月単位で表示している場合は削除したい予定の日付をタップ、年単位で表示している場合は「X月」をタップしてから削除したい予定の日付をタップして、日単位の表示に切り替えてください。
- →「予定表」でも操作できます。

2 削除したい予定をタップして詳細を表示する

- 予定を1秒以上タップし、ポップアップメニューから削除することもできます。

3 →「削除」→「はい」

- 「パターン」で定期的な予定(「1回」以外)を設定している場合は、「すべて」または「今回のみ」をタップします。

予定を送信する

会議出席依頼を送信する

OutlookまたはOutlook Mobileを使用している相手に電子メールで会議出席依頼を送信できます。

1 →「予定リスト」→ →「予定表」

・月単位で表示している場合は送信したい予定の日付をタップ、年単位で表示している場合は「X月」をタップしてから送信したい予定の日付をタップして、日単位の表示に切り替えてください。
・ →「予定表」でも操作できます。

2 会議出席依頼を送信したい予定をタップして詳細を表示する

3 →「編集」

4 「出席者」をタップし、「必須出席者の追加」または「任意出席者の追加」をタップして出席を依頼したい連絡先を追加する

・新しい連絡先を追加する場合は、「メニュー」→「新しい連絡先」をタップし、連絡先に登録後「選択」をタップします。

5 →

6 「会議の変更を保存し、出席者に更新メッセージを送りますか？」と表示されたら、「はい」をタップする

予定表の内容がOutlookメールの「送信トレイ」に保存されます。次回IS02をパソコンと同期させるときに出席者に送信されます。

memo

◎ →「ツール」→「オプション」→「予定」画面の「会議出席依頼の送信方法」で、Outlookメール以外を設定して送信することもできます。

予定をBluetooth®通信で送信する

1 →「予定リスト」→ →「予定表」

・月単位で表示している場合は送信したい予定の日付をタップ、年単位で表示している場合は「X月」をタップしてから送信したい予定の日付をタップして、日単位の表示に切り替えてください。
・ →「予定表」でも操作できます。

2 送信したい予定をタップして詳細を表示する

3 →「ビーム」

送信先の検索が始まります。以降は画面の指示に従って操作します。

◎Bluetooth®通信で予定を送信するには、相手先のBluetooth®機能が検出可能なモードに設定されている必要があります。また、相手先の機器を、データを受信するモードにする必要があります。詳しくは、「ビームでデータを送信する」(▶P.181)をご覧ください。

メモを利用する

メモを作成する

手書きやキーボード入力でメモを作成できます。

手書きでメモを作成する

1 **→「メモ」**

- →「メモ」でも操作できます。

2

3 **絵や文字を描く**

絵や文字のまわりに選択ボックスが表示されます。

- 絵や文字を1秒以上タップすると選択され、をタップして「切り取り」、「コピー」、「貼り付け」ができます。また、そのままドラッグして移動することもできます。
- 入力モードのときは、→「描画」をタップしてチェックを付けると手書きモードに切り替わり、手書きでメモを作成できます。

4 **描画が終わったらをタップする**

文字入力パッド／キーボードでメモを作成する

- 文字の入力方法については、「文字を入力する」（▶P.59）を参照してください。

1 **→「メモ」**

- →「メモ」でも操作できます。

2

3 **文字入力パッドまたはキーボードで入力し、をタップする**

- 手書きモードのときは文字入力パッドを表示するか、→「描画」をタップしてチェックを外すと入力モードに切り替わり、文字入力パッドまたはキーボードでメモを作成できます。

作成モードを設定する

1 **→「メモ」**

- 初回起動時は、「メモ」をタップしたあとをタップしてから操作を続けてください。
- →「メモ」でも操作できます。

2 **→「オプション」**

3 **「既定のモード」で作成モードを選択し、をタップする**

手書き	絵を描いたり、手書きで文字を書いてメモを作成します。
入力	文字入力パッドやキーボードで文字を入力してメモを作成します。

memo

◎手書きモードを選択しても、文字入力パッドを表示すると既定のモードが入力モードに切り替わります。再度手書きモードに変更するには、→「描画」をタップしてください。

メモを表示する

1 ▦→「メモ」

メモ一覧が表示されます。

- ⊞→「メモ」でも起動できます。

《メモ一覧画面》

① 表示するフォルダを選択します。
② メモをタップして開きます。
③ メモを新規作成します。
④ 並べ替えの条件を指定して、メモを並べ替えます。
⑤ メモのメニューを表示します。

2 表示したいメモをタップする

ボイスメモを録音／再生する

ボイスメモを録音する

録音した音声は、音声ファイルとして登録したり、メモに音声を添付したりできます。

1 ▦→「メモ」

メモ一覧が表示されます。

- メモに音声を添付する場合は をタップするか、添付したいメモをタップします。
- ⊞→「メモ」でも操作できます。

2 ▤→「録音ツール バーの表示」

3 ●(録音)をタップして録音を開始する

4 ■(停止)をタップして録音を終了する

memo

◎メモに音声を添付した場合は、録音終了後に をタップしてメモ一覧に戻ります。
◎メモに音声を添付すると、メモ入力画面に が表示されます。
◎音声ファイルとして登録した場合は、メモ一覧に が表示されます。

ボイスメモを再生する

1 ▦→「メモ」

メモ一覧が表示されます。

- ⊞→「メモ」でも操作できます。

2 再生したい音声ファイルをタップする

録音内容が再生されます。

- メモに添付した音声を再生する場合は、メモをタップし、メモ入力画面上に表示されている対象の をタップします。

連絡先／PIM機能

メモを削除する

1 **→「メモ」**

・ →「メモ」でも操作できます。

2 **削除したいメモをタップして詳細を表示する**

3 **→「ツール」→「削除」→「はい」**

メモを送信する

メモの内容をBluetooth®通信で送信することができます。

1 **→「メモ」**

・ →「メモ」でも操作できます。

2 **送信したいメモをタップして詳細を表示する**

3 **→「ツール」→「ビーム」**

送信先の検索が始まります。以降は画面の指示に従って操作します。

memo

◎Bluetooth®通信でメモを送信するには、相手先のBluetooth®機能が検出可能なモードに設定されている必要があります。また、相手先の機器を、データを受信するモードにする必要があります。詳しくは、「ビームでデータを送信する」(▶P.181)をご覧ください。

メール

電子メールを利用する 92
メールについて 92
電子メールを使うために必要な設定をする 93
電子メールを作成して送信する 95
ファイルを添付する 95
作成中の電子メールを保存しておき、あとで送信する 95
電子メールを受信する 96
電子メールに返信する 96
電子メールを転送する 97
電子メールを削除する 97
パケット通信回線を切断する 97
添付ファイルを確認する／保存する 97
メールアカウント内のメールBOXを操作する 98
Cメールを利用する 98
Cメールを作成して送信する 98
Cメールを受信したときは 100
緊急地震速報を利用する 100
Cメール安心ブロック機能を設定する 101
Cメールを設定する 102

電子メールを利用する

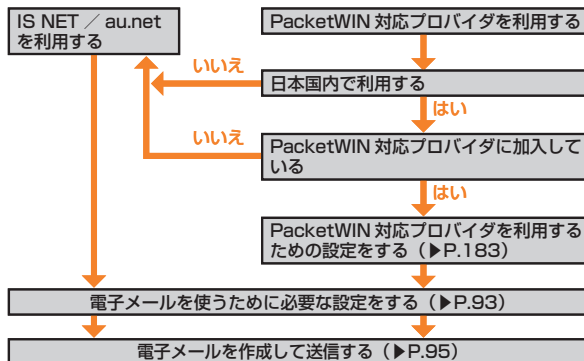
メールについて

IS02では、電子メールをプロバイダから送受信したり、au電話同士でCメールを送受信することができます。

- 電子メールを使用するには、事前にメールアカウントを設定する必要があります。
- 電子メールを利用したあとに手動で回線を切断する場合は、「パケット通信回線を切断する」(▶P.97)を参照してください。

一定の間隔でメールサーバに接続するように設定すると、擬似的にメールを自動受信できますが、従量制データ通信をご利用の場合、サーバに接続するたびに料金がかかります。

電子メールを始めるまでの流れ

■パケット通信で接続する

memo

◎IS NETに加入していない場合にIS NET／au.netを利用すると、au.NETのご利用料金(▶P.182)がかかります。

◎ダブル定額ライトなどのパケット通信料割引サービスのご加入でインターネット接続時の通信料を定額でご利用いただけます。
パケット通信料割引サービスについては、最新のau総合カタログ／auのホームページをご参照ください。

■無線LANで接続する

利用形態を決める

公衆無線 LAN サービスで接続する	社内 LAN に接続する	家庭内など個人環境で接続する
サービス提供者と契約して接続に必要な情報を入手する	ネットワーク管理者に問い合わせて接続に必要な情報を入手する	アクセスポイントを設置して取扱説明書などから接続に必要な情報を入手する

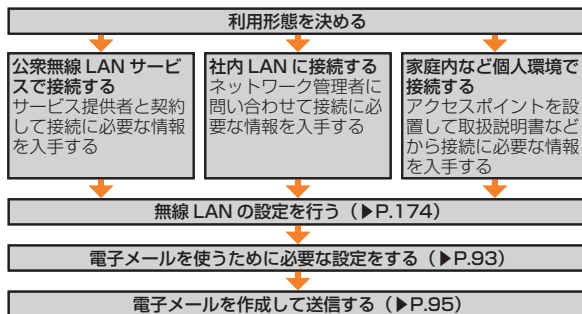
↓

無線 LAN の設定を行う（▶P.174）

↓

電子メールを使うために必要な設定をする（▶P.93）

↓

電子メールを作成して送信する（▶P.95）

memo

◎パソコンやほかの携帯電話とメールを送受信した場合、利用環境によってはHTMLメールなどの内容が正しく表示されない場合があります。

ご利用料金について

◎電子メールの送受信では、画面に表示される文字や画像以外に通信が必要なデータが含まれており、その部分も課金の対象となります。

電子メールを使うために必要な設定をする

電子メールの送受信を行う前に、メールアカウントを設定する必要があります。

memo

◎「Outlookメール」は、ActiveSyncまたはWindows Mobileデバイスセンターでパソコンとの同期を行うと表示されます。

メールアカウントを設定する

メールアカウント(Outlookメール以外)を設定することができます。

1 **→「電子メール」**

アカウント選択画面が表示されます。

- →「電子メール」でも設定できます。

2 **「電子メールの設定」をタップする**

3 **電子メールアドレス、パスワードを入力し、「次へ」をタップする**

- 「次の設定を検出しました」と表示された場合は、「次へ」をタップします。

4 **「インターネットから電子メール設定を自動的に取得する」にチェックを付け、「次へ」をタップする**

このオプションを選択すると、手動でメール設定をしなくても、メールサーバにより自動的に設定されます(サーバの種類によっては、自動的に設定されない場合があります)。

5 **自動設定が完了したら「次へ」をタップする**

■自動設定が失敗した場合

「電子メールプロバイダー」で「インターネット電子メール」を選択し、メールアカウントを設定します。

- 受信メールサーバと送信メールサーバは、ご利用のプロバイダにお問い合わせください。
- 送信メールサーバのポート番号を入力する必要がある場合は、「送信(SMTP)メール サーバー」欄に以下のように入力します。(例:mail.xxxxx.net:587)
- 送信メールサーバによっては、メール送信時に異なるユーザー名とパスワードが必要な場合があります。この場合は、「送信サーバーで認証を要求する」にチェックを付けたあと、「送信電子メールに同じ名前とパスワードを使用する」のチェックを外してください。
- ご利用のプロバイダがメールのセキュリティを高めるためにSSL接続を使用している場合、「サーバーの詳細設定」をタップし、「受信電子メールにはSSLが必要」「送信電子メールにはSSLが必要」にチェックを付けます。「ネットワーク接続」の一覧からインターネット接続に使用するデータ接続を選択します。

6 **「全ダウンロード設定の確認」をタップし、必要に応じて以下の項目を設定する**

自動送受信	インターネットに自動接続し、メッセージを送受信する時間間隔を選択します。 電池の減りを防ぐため、自動送受信の時間間隔をあまり短く設定しないことをおすすめします。
メッセージのダウンロード	過去何日分の電子メールを受信するかを設定します。

[送信]をクリックしたとき送受信を実行する	送信メールを送信トレイに保存する場合はチェックを外します(お買い上げ時は、📨をタップするとすぐメッセージが送信される設定になっています)。チェックを外すと、☰→「送受信」をタップしなければメッセージは送信されません。
ローミング時に自動送受信スケジュールを使用する	海外で利用しているときも「自動送受信」の設定に従ってメッセージを送受信します。この方法は、接続料金がかかるため、通常はチェックを外しておくことをおすすめします。
メッセージの削除時	IS02から削除したメールは、サーバ上でも削除するよう設定します。
メッセージ形式	HTML形式かテキスト形式で送受信するかを設定します。
メッセージのダウンロード制限	メールのダウンロードサイズを設定します。
添付ファイルのダウンロード	アカウントの種類をIMAP4に設定した場合、添付ファイルのダウンロードサイズを設定します。

メールアカウントのオプションを設定する

■署名を作成する

Outlookメール、登録した複数のメールアカウントのメール、Windows Liveメールそれぞれに自動的に挿入する署名を作成します。

1 ▦→「電子メール」

- ⊞→「電子メール」でも設定できます。

2 アカウントを選択してタップする

3 ☰→「ツール」→「オプション」

4 「アカウント」→「署名」

5 「アカウントの選択」で署名を使用したいアカウントを選択する

6 「このアカウントで署名を使用する」にチェックを付ける

- 返信/転送するときに署名を挿入する場合は、「返信/転送時に使用する」にチェックを付けます。

7 署名を入力し、⮌をタップする

■その他のオプションを設定する

1 ▦→「電子メール」

- ⊞→「電子メール」でも設定できます。

2 アカウントを選択してタップする

3 ☰→「ツール」→「オプション」

4 必要な項目を設定し、⮌をタップする

「アカウント」画面	それぞれのアカウントの設定を変更できます。新しいアカウントを設定するには「新しいアカウント」をタップします。
「メッセージ」画面	メールの返信、送信、削除、移動の設定ができます。メールを開くたびにメールアカウントを選択する場合は、「メールを開く際にアカウントを選択する」にチェックを付けます。 送信したメールを保存する場合は、「[送信済みアイテム]にコピーを保存する」にチェックを付けます。
「アドレス」画面	送信先の設定に使用する連絡先を選択できます。
「保存場所」画面	IS02とmicroSDカードの空き容量、添付ファイルのサイズを確認できます。また、microSDカードに添付ファイルを保存するように設定したり、「[削除済みアイテム]を空にする」で削除済みアイテムの削除タイミングを設定したりすることもできます。

◎ ご利用のプロバイダがIMAP4を使用している場合、送信したメールを保存するには以下の操作を行います。
アカウントを選択して →「ツール」→「フォルダーの管理」→「送信済みアイテム」にチェックを付けて をタップする

電子メールを作成して送信する

1 →「電子メール」

- →「電子メール」でも操作できます。

2 電子メールアカウントをタップする

3 →「新規」

メッセージ作成画面が表示されます。

《メッセージ作成画面》

4 「宛先」に電子メールアドレスを入力する

- 複数の相手に送信する場合はセミコロン(;)で区切ります。
- 「宛先」をタップすると連絡先に保存されているメールアドレスを選択できます。
- スクロールバーを上に移動して、CC／BCCの宛先にメールアドレスを入力することができます。

5 件名を入力する

6 メッセージを入力し、 をタップする

作成したメールが送信されます。

- 作成したメールを送信トレイに保存することもできます。
- よく使用するメッセージをすばやく挿入するには、 →「マイ テキスト」をタップします。
- スペルチェックを実行するには、 →「スペル チェック」をタップします。
- 優先度を設定するには、 →「メッセージのオプション」で設定します。

◎ メッセージを分割して送信する機能には対応していません。
◎ 送信したメールの保存方法については、「その他のオプションを設定する」(▶P.94)を参照してください。
◎ 東芝ホーム画面→「メール」→「新規電子メール」→電子メールアカウントをタップしても電子メールを作成できます。

ファイルを添付する

1 メッセージ作成画面で、 →「挿入」→「画像」／「ボイスメモ」／「ファイル」

2 添付するファイルを選択する／音声を録音する

3 メッセージを入力し、 をタップする

作成中の電子メールを保存しておき、あとで送信する

電子メールを一時保存する

1 メッセージ作成画面で、 →「下書きに保存」

「下書き」フォルダーに保存されます。

保存した電子メールを編集して送信する

1 **→「電子メール」**

- →「電子メール」でも操作できます。

2 **電子メールアカウントをタップする**

3 **画面左上にある ▼ をタップする**

4 **「下書き」→送信したいメールをタップする**

5 **必要に応じてメッセージを変更し、をタップする**

電子メールを受信する

1 **電子メールを受信すると**

電子メールの受信が終了すると、タイトルバーにが表示され、「通知を音で知らせる」(▶P.161)で設定した通知音が鳴ります。

2 **タイトルバーをタップしてをタップする**

3 **電子メールアカウントをタップする**

4 **画面左上にある ▼ をタップする**

5 **「受信トレイ」→読みたいメールをタップする**

メールの内容が表示されます。

memo

◎パケット通信でメールを受信したあとは、ほかのアプリケーションなどに切り替えても、パケット通信を切断するかタイムアウトにならない限り、接続されたままです。手動で回線を切断する場合は、「パケット通信回線を切断する」(▶P.97)を参照してください。

新着メールを問い合わせて受信する

自動送受信を「手動実行」に設定している場合や、電子メールの受信に失敗した場合は、新着メールを問い合わせて受信することができます。

1 **→「電子メール」**

- →「電子メール」でも操作できます。

2 **電子メールアカウントをタップする**

3 **→「送受信」**

- 送信トレイにメールが保存されている場合は、「送受信」をタップすると保存されているメールが送信されます。

4 **画面左上にある ▼ をタップする**

5 **「受信トレイ」→読みたいメールをタップする**

メールの内容が表示されます。

電子メールに返信する

1 **返信したいメールを開き、→「返信/転送」→「返信」**

2 **メッセージを入力し、をタップする**

◎メールを開いてをタップしても返信できます。
◎以下の操作でも返信できます。
メール一覧の表示中に返信したいメールを1秒以上タップする→「返信」をタップする

電子メールを転送する

1 転送したいメールを開き、→「返信／転送」→「転送」

2 宛先を入力する

3 メッセージを入力し、をタップする

memo

◎以下の操作でも転送できます。
メール一覧の表示中に転送したいメールを1秒以上タップする→「転送」をタップする

電子メールを削除する

1 削除したいメールを開き、→「削除」

memo

◎メール一覧の表示中に削除することもできます。
削除したいメールを選択表示→→「はい」

◎以下の操作でも削除できます。
メール一覧の表示中に削除したいメールを1秒以上タップする→「削除」をタップする

パケット通信回線を切断する

メールを送受信したあと、手動で回線を切断します。

1 タイトルバーをタップしてをタップする

2 「切断」をタップする

memo

◎切断するまでインターネットに接続されています。

添付ファイルを確認する／保存する

添付ファイルを確認する

1 メールを開き、ファイル名をタップする

ファイル形式にあったアプリケーションで添付ファイルが開きます。

添付ファイルを保存する

1 メールを開き、ファイル名を1秒以上タップする

2 「名前を付けて保存」→「保存」

memo

◎「メッセージと添付ファイルをすべて取得する」とメッセージが表示された場合は、メッセージをタップするか、→「メッセージのダウンロード」をタップしてください。「次回接続して電子メールを受信するときに、メッセージとすべての添付ファイルをダウンロードします。」と表示されたら、ファイルのダウンロードが始まり、終了するとファイル名が表示されます。
メッセージと添付ファイルを取得する際のメッセージ表示は、メールアカウントの種類によって異なります。

メールアカウント内のメールBOXを操作する

メールを並べ替える

1 メール一覧の表示中に[メニュー]→「ツール」→「並べ替え」

「メッセージの種類」、「差出人」、「受信日時」、「件名」で並べ替えることができます。

フォルダーを作成する

1 メール一覧の表示中に[メニュー]→「ツール」→「フォルダーの管理」

2 フォルダーを1秒以上タップして「新しいフォルダー」→フォルダー名を入力し、[戻る]をタップする

memo

◎受信トレイからメッセージを選択して[メニュー]→「移動」→新しく作成したフォルダーをタップし、「選択」をタップすると選択したメッセージを移動させることができます。

Cメールを利用する

Cメールは、Cメール対応のau電話同士で、電話番号を宛先としてメールのやりとりができるサービスです。

memo

◎海外では、IS02からはCメールを送信できません。
※Cメールは受信のみ利用可能です。また、受信料は無料です。

◎Cメールのメールデータ(送信メール、受信メール、緊急地震速報)は、SPB BackupでmicroSDカードなどにバックアップできます(▶P.138)。

◎Cメール送信機能は2010年6月時点では使用できません。Cメール送信機能は、ソフトウェアアップデートにて2010年秋頃ご提供予定です。詳しい内容はauホームページをご参照ください。

Cメールを作成して送信する

漢字・ひらがな・カタカナ・英数字・記号・絵文字・顔文字のメッセージ(メール本文)を送信できます。送信完了時には、相手の方にCメールが届いたかどうかが分かります。

1 [アプリ]→「Cメール」

・[Windows]→「Cメール」でも操作できます。

2 「新規作成」をタップする

3 本文を入力→[戻る]

本文は全角50/半角100文字まで入力できます。
本文を入力して[戻る]を押すと、送信メール作成画面が表示されます。

4 「宛先」をタップする

5 「電話番号入力」→電話番号を入力→[戻る]をタップする

・「連絡先引用」をタップすると、連絡先に保存されている電話番号を選択できます。

6 「送信」をタップする

相手の方にメールが届くと、相手の方にメールが届いた旨のメッセージが表示され、送信したメールは送信ボックスに保存されます。

memo

◎Cメール送信機能は2010年6月時点では使用できません。Cメール送信機能は、ソフトウェアアップデートにて2010年秋頃ご提供予定です。詳しい内容はauホームページをご参照ください。

◎操作 6 で「保存」をタップすると、Cメールを送信せずに送信ボックスへ保存できます。

◎相手の方が電波の届かない場所にいるときや、電源が入っていないなどの理由でCメールを送信できなかった場合は、Cメールセンターへ蓄積するかどうか確認するメッセージが表示されます。
はい:Cメールセンターに Cメールを蓄積します。相手の方が受信可能になった時点で送信されます。
いいえ:Cメール送信を中止します。送信されなかったCメールは、送信ボックスに保存されます。

◎Cメールセンターは、以下の通りCメールをお預かりします。

お預かり(蓄積)可能時間	72時間まで ※蓄積されてから72時間経過したCメールは、自動的に消去されます。
お預かり可能件数	制限なし ※受信されるお客様のご利用状況、また、送信されるお客様の電話機の種類により、Cメールセンターでお預かりできない場合があります。

◎蓄積されたCメールが配信されるタイミングは、以下の通りです。

Cメール蓄積後すぐに配信	新しいCメールがCメールセンターに蓄積されるたびに、Cメールセンターでお預かりしていたCメールがすべて配信されます。
リトライ機能による配信	相手の方が電波の届かない場所にいるときや、電源が入っていないなどの理由で、蓄積後すぐに配信できなかった場合は、最大72時間、相手先へCメールを繰り返し送信するリトライ機能によりCメールを配信します。
通話を終了したときに配信	蓄積後すぐに配信できなかった場合は、お客様がIS02で通話を終了したときに、Cメールセンターにお預かりしていたCメールをすべて配信します。

◎発信者番号通知をせずにCメールを送信することはできません。

◎契約期間の条件により送信数に制限があります。

ご加入から3ヶ月までのお客様	3,000通/月
ご加入から4ヶ月以降のお客様	6,000通/月

※「スマイルハート割引」ご加入のお客様は、加入期間にかかわらず6,000通/月です。

◎異なる機種の携帯電話に絵文字を送信した場合、一部の絵文字が正しく表示されない場合があります。

◎Cメールの送信が成功しても、電波の弱い場所などではまれに「通信エラー しばらくたってから送り直してください。」と表示される場合があります。

◎東芝ホーム画面→「メール」→「新規Cメール」をタップしてもCメールを作成できます。

Cメールを受信したときは

電話機能をオンに設定している場合は、Cメールを自動的に受信します。受信したCメールは「受信ボックス」に保存されます。電話機能がオフの場合は、オンに設定するまでCメールセンターに保管されます。

1 →「Cメール」

Cメールメニューが表示されます。

- 受信ボックスに未読メールがある場合は、 と件数が表示されます。
- 送信ボックスに未送信メール(送信失敗メールを含む)がある場合は、 と件数が表示されます。
- 最新の緊急地震速報が未読である場合は、 が表示されます。
- →「Cメール」でも操作できます。

2 「受信ボックス」をタップする

3 読みたいメールをタップする

メッセージの内容が表示されます。

memo

◎Cメール受信時は、「通知を音で知らせる」(▶P.161)で設定した通知音が鳴ります。
◎連絡先に登録されている電話番号とCメールの送信元の電話番号が一致した場合は、Cメール受信時に連絡先の表題が表示されます。
◎Cメールの受信料は、無料です。
◎受信したCメールでは、送信してきた相手の方の電話番号を確認できます。
◎受信できるCメールは、Cメール対応のau電話からのメールのみです。
◎受信したメールの内容によっては正しく表示されない場合があります。

緊急地震速報を利用する

お買い上げ時	受信設定:受信する マナー時の鳴動設定:通知する

緊急地震速報とは、気象庁が配信する緊急地震速報を、震源地周辺のエリアのau電話に一斉にお知らせするサービスです。
緊急地震速報を受信した場合は、周囲の状況に応じて身の安全を確保し、状況に応じた、落ち着きのある行動をお願いいたします。

memo

◎緊急地震速報とは、最大震度5弱以上と推定した地震の際に、強い揺れ(震度4以上)が予測される地域をお知らせするものです。
◎地震の発生直後に、震源近くで地震(P波、初期微動)をキャッチし、位置、規模、想定される揺れの強さを自動計算し、地震による強い揺れ(S波、主要動)が始まる数秒～数十秒前に、可能な限り素早くお知らせします。
◎震源に近い地域では、緊急地震速報が強い揺れに間に合わないことがあります。
◎日本国内のみのサービスです(海外ではご利用になれません)。
◎緊急地震速報は、情報料、通信料とも無料です。
◎当社は、本サービスに関して、通信障がいやシステム障がいによる情報の不達・遅延、および情報の内容、その他当社の責に帰すべからざる事由に起因して発生したお客様の損害について責任を負いません。
◎気象庁が配信する緊急地震速報の詳細については、気象庁ホームページをご参照ください。
http://www.jma.go.jp/(パソコン用)

1 →「Cメール」→「緊急地震速報」

緊急地震速報メニューが表示されます。

- →「Cメール」→「緊急地震速報」でも操作できます。

メール

2 必要な項目を確認／設定し、[戻る]をタップする

受信履歴	緊急地震速報の受信履歴を表示します。 ・受信履歴一覧画面で「メニュー」をタップすると、受信履歴を1件削除／選択削除／全件削除できます。 ・緊急地震速報内容表示画面で「削除」をタップすると、受信履歴を1件削除できます。 ・受信履歴には、最大20件の緊急地震速報を保存できます。20件を超えると既読未読にかかわらず、最も古い緊急地震速報が削除されます。
受信設定	緊急地震速報を受信するかどうかを「受信する」／「受信しない」から選択します。
受信音／バイブ確認	[►]をタップすると、緊急地震速報を受信したときの受信音（警報音）とバイブレータの振動を確認できます。
マナー時の鳴動設定	マナーモード設定中や音量画面（▶P.75）で「バイブ」／「オフ」に設定中に緊急地震速報を受信したときに、専用の警報音で通知するかどうかを「通知する」／「通知しない」から選択します。

緊急地震速報を受信すると

緊急地震速報を受信すると、専用の警報音とバイブレータの振動、画面上の表示で通知します。

1 緊急地震速報を受信

緊急地震速報が送られてくると、警報音（固定）が鳴り、[アイコン]が点灯します。

2 「確認」をタップする

緊急地震速報内容表示画面に、受信した緊急地震速報の詳細が表示されます。

◎電源を切っていたり、サービスエリア内でも電波の届かない場所（トンネル、地下など）や電波状態の悪い場所では、緊急地震速報を受信できない場合があります。その場合、通知を再度受信することはできません。
◎テレビやラジオ、その他伝達手段により提供される緊急地震速報とは配信するシステムが異なるため、緊急地震速報の到達時刻に差異が生じる場合があります。
◎お客様の現在地と異なる地域に関する情報を受信する場合があります。
◎緊急地震速報の警報音を変更したり、音量の調節をすることはできません。
◎通話中は、緊急地震速報を受信できません。また、メールの送受信中やブラウザなどの通信中は、緊急地震速報を受信できない場合があります。
◎IS02を利用中は警報音は鳴らず、画面上の表示のみの通知となる場合があります。
◎[アイコン]は最新の緊急地震速報が未読である場合に表示されます。

Cメール安心ブロック機能を設定する

Cメール安心ブロック機能は、本文中にURLや電話番号を含むCメールを受信拒否する機能です。

◎Cメール安心ブロック機能は、ご利用開始時から設定が有効となっています。
◎機種変更した場合は、以前ご使用の機種で設定された内容がそのまま継続されます。
◎ブロック対象のCメールは、通常のCメール（ぷりペイド送信含む）です。
お留守番サービス（伝言お知らせ、着信お知らせ）は、対象外です。

■Cメール安心ブロック機能の設定方法

Cメール安心ブロック機能の設定は、特定の電話番号にCメールを送信することで行います。

設定を解除する	本文に「解除」と入力して、09044440010にCメールを送信する。
設定を有効にする	本文に「有効」と入力して、09044440011にCメールを送信する。
設定を確認する	本文に「確認」と入力して、09044440012にCメールを送信する。

※設定時のCメール送信は無料です。
※設定完了の案内Cメールは、「09044440012」の番号通知で届きます。

■Cメール安心ブロック機能で受信拒否された場合

送信したCメールがCメール安心ブロック機能により受信拒否された場合は、「09044440019」の番号通知でお届けできなかった旨のエラーCメールが返信されます。

- 送信したCメールが受信拒否された場合でも、通信料がかかります。

Cメールを設定する

お買い上げ時	蓄積機能：選択蓄積

1 ▦→「Cメール」→「Cメール設定」

Cメール設定メニューが表示されます。

- ▣→「Cメール」→「Cメール設定」でも操作できます。

2 必要な項目を確認／設定し、⮌をタップする

蓄積機能	Cメールの送信が失敗した場合、送信したCメールをCメールセンターに自動蓄積するかどうかを設定します。 **選択蓄積**：そのつど蓄積するかどうかを選択する。 **自動蓄積**：自動的にCメールセンターに蓄積する。
受信フィルター	▶P.102「受信フィルターを設定する」
メール件数確認	受信ボックスと送信ボックスのCメールの件数を表示します。

受信フィルターを設定する

お買い上げ時	指定番号：OFF 連絡先登録外：OFF

1 Cメール設定メニュー→「受信フィルター」

2 必要な項目を設定し、⮌をタップする

指定番号	設定	指定した番号からのCメールを受信した場合、受信拒否するかどうかを設定します。
	指定番号一覧	指定番号一覧が表示されます。 • 「新規登録」をタップすると、受信を拒否する電話番号を登録できます。「連絡先引用」「電話番号入力」から入力方法を選択できます。 • 登録済みの電話番号を選択すると、電話番号を編集できます。 • 登録済みの電話番号を選択して「メニュー」をタップすると、電話番号を1件削除／選択削除／全件削除できます。 • 電話番号は、最大10件まで登録できます。 • 電話番号の先頭に「184（発信者番号非通知）」「186（発信者番号通知）」が付加されている場合は、「184」「186」を削除して登録します。 • 受信フィルターで受信を拒否しても、送信側は正常に送信されたことになります。送信料もかかります。
連絡先登録外		連絡先に登録されていない電話番号からのCメールを受信拒否するかどうかを設定します。

インターネット

ブラウザを利用する 104
ブラウザを使うための準備 104
Webページ表示中の画面操作 105
Internet Explorer Mobileを利用する 106
パケット通信回線を切断する 110
Windows Liveを利用する 111
Windows Liveについて 111
Windows Liveにサインインする 111
Windows Liveのインターフェース 112
Messengerを利用する 112
Windows Live Hotmailを利用する 114
Windows Liveのオプション設定 114

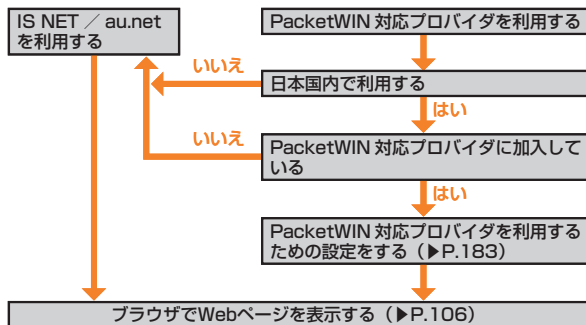
ブラウザを利用する

ブラウザを使うための準備

IS02では、ブラウザとしてInternet Explorer Mobileを利用できます。ほかのアプリケーションからインターネットに接続するときは、ブラウザが自動的に起動します。

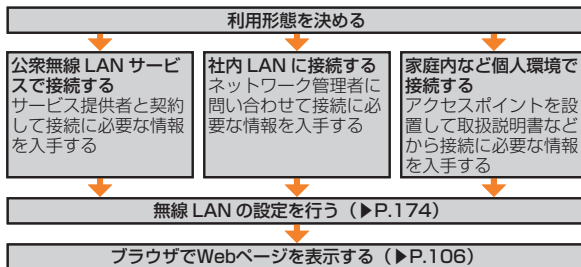
Webページを表示するまでの流れ

IS02では、パケット通信または無線LANによる接続でブラウザを利用できます。

■パケット通信で接続する

memo

◎IS NETに加入していない場合にIS NET／au.netを利用すると、au.NETのご利用料金（▶P.182）がかかります。
◎インターネット上のコンテンツには、一部の方に不快感を与えるものも存在します。本サービスによる検索の結果、このようなデータがリンクされたり、参照されたりすることも予想されます。ご利用に関してはご注意ください。
◎画像を含むホームページの閲覧など、データ量の大きい通信を行うと通信料が高額となりますので、パケット通信料割引サービスのご加入をおすすめします。ただし、海外でのパケット通信は、パケット通信料割引サービスの対象外となります。

■無線LANで接続する

• 詳しくは、「無線LAN機能を利用する」（▶P.174）を参照してください。

Webページ表示中の画面操作

■ページを縦表示／横表示にする

縦／横画面表示を切り替えると（▶P.53）、ページの縦表示／横表示も切り替わります。

■画面表示を拡大／縮小する

以下の2通りの方法でWebページの表示を拡大／縮小できます。

ズームバー	をタップしてズームバーを表示します。または、画面を1秒以上タップしてポップアップメニューを表示し、「ズーム」をタップしてズームバーを表示します。 ズームバーの「＋」／「－」をタップするか、スライダーを上下にスライドして拡大／縮小します。
画面のダブルタップ	拡大したい場所をダブルタップ（2回続けてタップ）して拡大します。拡大前の表示に戻す場合は、再度ダブルタップします。

■スクロール／パンする

画面を上下左右にスクロールまたは全方向にドラッグして見たい部分を表示します。スクロール中またはパン中に表示されるナビウィンドウで、ページ全体のどの部分が表示されているかを確認できます（▶P.45）。

Internet Explorer Mobileを利用する

Internet Explorer Mobileを使って、インターネットの携帯向けサイトやPCサイトを閲覧できます。

- Webページによっては、表示できない場合や、正しく表示されない場合があります。

Internet Explorer Mobileを起動する

1 ▦→「Internet Explorer」

au one トップが表示されます。

- ⊞→「Internet Explorer」でも起動できます。

memo

◎起動したブラウザは、ほかのアプリケーションに切り替えたり、「×」をタップしたりして画面を閉じても、しばらくは実行中のままになっています(その後、自動で終了します)。この間に再度ブラウザを立ち上げると、閲覧していたWebページが再表示されます。

◎ブラウザの実行中にパケット通信回線を切断しても、インターネットに自動的に再接続される場合があります。電池の減りを防ぐためにも、インターネットのご利用が終わったら、タスクマネージャーなどでブラウザを終了させてください(▶P.51、▶P.58)。

◎ブラウザを終了しても、パケット通信回線を切断するかタイムアウトにならない限り、インターネットに接続されたままになっています。パケット通信回線を切断するには、P.110を参照してください。

◎東芝ホーム画面→「インターネット」→「Internet Explorer」をタップしても起動できます。

URLを入力してWebページを表示する

1 Webページ表示中に⊙をタップする

アドレスバーが表示されます。

2 アドレスバーをタップする

3 URLを入力し、➡をタップする

memo

◎アドレスバー右端の▾をタップして、以前表示したWebページのURLリストから選択することもできます。

◎マルチファンクションパッドを使ってアドレスバーにカーソルを移動することはできません。

◎Webページがうまく表示されないときや動作が遅いときは、インターネットの一時ファイル(キャッシュ)を削除して、データ記憶用メモリを空けてください。

履歴からWebページを表示する

1 Webページ表示中に、⊙→☰→「履歴」

履歴画面が表示されます。

2 表示したいWebページの履歴をタップする

インターネット

Internet Explorer Mobileのボタンとコントロール

Webページは通常、全画面で表示されています。画面右下のをタップすると、Webページを操作するためのボタンとコントロールが表示されます。

	アイコン／名称	説明
①		お気に入りを表示します。
②		アドレスバーに入力されているURLにアクセスし、表示を最新の情報に更新します。
③	アドレスバー	URLを入力します。
④	ズームバー	ページを拡大／縮小します。
⑤		ボタンとコントロールを表示します。
		スタートメニューを表示します。
		1つ前のページに戻ります。
		文字入力パッドを表示します。
		メニューを表示します。
		東芝ホーム画面またはWindows Mobileのホーム画面に戻ります。

お気に入りに登録してすばやく表示する

■お気に入りにリンクを登録する

1 登録したいWebページを表示して、→→

お気に入りの追加画面が表示されます。

2 名前（タイトル）を確認／変更し、をタップする

memo

◎Webページを1秒以上タップしてポップアップメニューを表示し、「お気に入りに追加」をタップして登録することもできます。

◎あらかじめお気に入りにフォルダーを追加しておくと、操作2でリンクを登録するフォルダーを選択できます。

■お気に入りにフォルダーを追加する

1 Webページ表示中に、→→

フォルダーの追加画面が表示されます。

2 フォルダー名を入力し、をタップする

■お気に入りからWebページを表示する

1 Webページ表示中に、→

お気に入り画面が表示されます。

2 表示したいWebページのタイトルをタップする

■お気に入りの名前を変更する

1 Webページ表示中に、→

お気に入り画面が表示されます。

2 名前を変更したいタイトル／フォルダーを1秒以上タップする

ポップアップメニューが表示されます。

3 「編集」をタップする

お気に入りの編集画面／フォルダーの編集画面が表示されます。

4 名前を変更し、をタップする

■お気に入りからリンクを削除する

1 Webページ表示中に、→

お気に入り画面が表示されます。

2 削除したいタイトル／フォルダーを1秒以上タップする

ポップアップメニューが表示されます。

3 「削除」→「はい」

Webページの表示方法を変更する

1 Webページ表示中に、→→「表示」

2 「モバイル」または「デスクトップ」をタップする

■文字サイズを変更する

1 Webページ表示中に、→→「表示」→「文字サイズ」

2 「最大」／「大」／「中」／「小」／「最小」をタップする

WebページのURLを送信する

1 Webページ表示中に、→→「ツール」→「リンクを送る」

メッセージ作成画面が表示され、表示中のWebページのURLが、本文に挿入されます。

- 「アカウントの選択」画面が表示されたときは、アカウントをタップします。

2 宛先などを入力し、をタップする

Webページに表示されている画像を保存する

1 Webページ表示中に、保存したい画像を1秒以上タップする

ポップアップメニューが表示されます。

2 「イメージを保存」をタップする

「画像の保存」画面が表示されます。

3 名前を確認／変更し、保存するフォルダーと種類（ファイル形式）、保存する場所を選択する

- 「メイン メモリ」を選択すると、IS02のMy Documentsフォルダの中のMy Pictureフォルダに保存されます。

4 「保存」をタップする

Webページ中のテキストをコピーする

コピーしたテキストは、ほかのアプリケーションなどで貼り付けて利用できます。

1 Webページ表示中に、→→「コピー／貼り付け」→「選択」

2 コピーしたいテキストを指でなぞる

選択したテキストが反転表示されます。

3 「コピー」をタップする

memo

◎以下の操作でテキストをコピーすることもできます。
Webページを1秒以上タップしてポップアップメニューを表示→「選択」→テキストを選択→「コピー」

Webページからデータをダウンロードする

1 Webページ表示中に、ダウンロードしたいデータのリンク（ファイル名や「ダウンロード」など）をタップする

データをダウンロードする確認画面が表示されます。

2 「はい」をタップする

- データをダウンロードする確認画面で「メニュー」→「名前を付けて保存」をタップすると、データを任意の場所に保存できます。

memo

◎アプリケーションをダウンロードした場合、続いてインストールを行います。画面の指示に従って操作してください。
◎インストール中、「このプログラムの発行者は不明です。発行者が信頼できる場合のみインストールしてください。続行しますか？」というメッセージが表示された場合は、問題なければ「はい」をタップします。

表示しているWebページをホーム（起動時のページ）に設定する

お買い上げ時	ユーザー設定のページ（http://auone.jp/?lid=00100-01001）

1 Webページ表示中に、→→「ツール」→「オプション」→「ホーム ページ」→「現在のページ」→

- 「既定のホーム ページ」を選択すると、Internet Explorer Mobileの初期画面がホームに設定されます。

ホームに設定されているWebページを表示する

1 Webページ表示中に、→→「ホーム ページ」

履歴やキャッシュを削除する

Webページの表示動作が遅くなったときは、インターネットの一時ファイル（キャッシュ）を削除して、データ記憶用メモリを空けてください。

1 Webページ表示中に、→→「ツール」→「オプション」→「閲覧の履歴」

2 「一時ファイル」／「Cookie」／「履歴」→「クリア」→「はい」

セキュリティを設定する

1 Webページ表示中に、→→「ツール」→「オプション」→「プライバシーとセキュリティ」

2 項目を設定する

スクリプトを有効にする	チェックを外すと、安全性をより高めることができます。
Cookieを有効にする	チェックを外してCookieを受信しないようにすると、安全性をより高めることができます。
セキュリティ保護のないページに移動するときに警告する	セキュリティ保護のため、チェックを外さないことをおすすめします。

3 をタップする

memo

◎ Cookieを有効にすると、同じWebページに再度アクセスしたとき、前回入力した情報がCookieによって取り出されるため、同じ情報を再び入力する手間が省けます。また、ページが表示されるまでの時間が短縮されるなどの利便性が得られます。Cookieを無効にすると、一部のWebサービスが利用できなくなる場合がありますのでご注意ください。

ブラウザの高速化を設定する

お買い上げ時	ブラウザ高速動作:有効

Internet Explorer Mobileの動作を速くする設定をします。

1 →「設定」→「システム」→「ブラウザ設定」

2 「ブラウザ高速動作」にチェックを付ける

- 明るさ･省電力設定（▶P.162）のCPU速度の設定と関わりなく、CPU速度を最高にして高速化します。ただし、バッテリーを多く消費します。

3 をタップする

パケット通信回線を切断する

ブラウザやメールなど、インターネット接続が必要なアプリケーションは、インターネットをご利用後にアプリケーションを終了しても、パケット通信回線を切断するかタイムアウトになるまでインターネットに接続されたままになっています。パケット通信回線を切断するには、以下の操作をしてください。

1 タイトルバーをタップしてをタップする

2 「切断」をタップする

memo

◎ ブラウザの実行中にパケット通信回線を切断しても、インターネットに自動的に再接続される場合があります。電池の減りを防ぐためにも、インターネットのご利用が終わったら、タスクマネージャーなどでブラウザを終了させてください（▶P.51、▶P.58）。

◎ インターネットの接続中にIS02がスリープモードに入っても、インターネット接続はバックグラウンドで継続します。電池の減りを防ぐためにも、インターネットのご利用が終わったら、パケット通信回線切断を行ってください。

◎ 無線LANでインターネットに接続している場合は、必要に応じて無線LAN機能をオフにしてください（▶P.175）。

Windows Liveを利用する

Windows Liveについて

Windows Liveは、マイクロソフト社が提供するオンラインサービスです。電子メールやブログを利用したり、Messengerでチャットをしたりすることができます。
Windows Liveには以下のような機能があります。

機能	説明
Bing	ウェブ、画像、ニュース、地図などの情報を検索します。
Windows Live Messenger	デスクトップ、オンライン、モバイルで、友人や家族とチャットできるサービスです。
Windows Live Mail	Hotmailおよびサードパーティのアカウントを含むすべての電子メールアカウントを管理できます。1か所から複数の電子メールアカウントを参照し、返信できます。
Windows Live Hotmail	電子メールメッセージ、カレンダー、連絡先管理、スパム対策などのサービスを利用できます。
Windows Live プロフィール	自分のプロフィールを登録できるページです。登録したプロフィールの情報は、Messengerやフォト、ブログから閲覧できます。
Windows Live Spaces	自分だけのスペースを利用できる無料ブログサービスです。

■ Windows Live IDについて

Windows Live IDでは、一般のプロバイダから提供されている個人でご利用の電子メールアドレスや、お勤め先でご利用の電子メールアドレスをそのままアカウント名として利用できます。また、Hotmailなどのインターネット上で提供される無料の電子メールアドレスを使用することもできます。

- IS02からWindows Liveのアカウント(ID)を取得する方法については、「Windows Liveにサインインする」(▶P.111)を参照してください。

memo

◎Windows Liveをご利用になる際は、IS02をインターネットに接続する必要があります。インターネットへの接続方法は、「webページを表示するまでの流れ」(▶P.104)を参照してください。
◎Windows Live IDについて詳しくは、以下のホームページをご覧ください。
http://www.microsoft.com/japan/mscorp/liveid/default.mspx

Windows Liveにサインインする

はじめてWindows Liveをご利用になる際は、Windows Live ID(お手持ちのWindows Live MailまたはHotmailのメールアドレス)を使ってサインインします。Windows Liveにサインインすると、Windows Liveメール(Hotmail)をメールアカウントの1つとして使用することができます。メールアカウントに「Hotmail」が表示されます。

1 ▦→「**Windows Live**」

- ⊞→「Windows Live」でも起動できます。

2 「**ここをクリックしてサインインします。**」**をタップする**

3 **Windows Liveの使用条件とMicrosoftオンライン プライバシーに関する声明を読んだあと、「承諾」をタップする**

4 **ご利用のWindows Live ID(電子メールアドレス)またはHotmailアドレスとパスワードを入力し、「パスワードを保存する」にチェックを付け、「次へ」をタップする**

- メールアドレスをお持ちでない場合は、「Windows Live IDの作成」をタップし、画面の指示に従ってアカウント(ID)を取得してください。

5 **「次へ」をタップする**

- 「Windows Liveサービス」にチェックを付けてから「次へ」をタップすると、Windows Mobileのホーム画面にWindows Liveが表示されます。本機能は、ホーム画面をWindows Mobileのホーム画面に切り替えたときに有効です(▶P.164)。

6 **IS02と同期させる情報を選択する**

■「Windows Liveの知り合いの連絡先情報を携帯電話のアドレス帳に保存する」を選択した場合

Windows Liveの連絡先が、IS02の連絡先とLive Messengerの両方に追加されます。

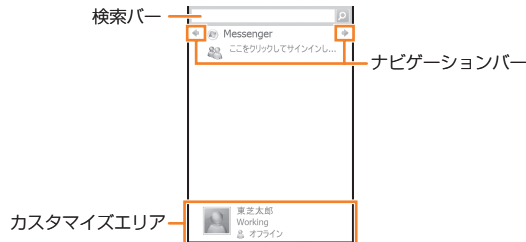
■「電子メールを同期する」を選択した場合

Windows Live MailまたはHotmailの受信トレイにあるメッセージが、IS02にダウンロードされます。

7 **「次へ」をタップする**

8 **同期が完了したら「完了」をタップする**

Windows Liveのインターフェース

Windows Liveのメイン画面には検索バー、ナビゲーションバー、カスタマイズエリアが表示されます。
ナビゲーションバーを利用して、Windows Live Messenger、同期ステータス、Live Mailを切り替えます。カスタマイズエリアには、自分の画像を表示することができます。

Messengerを利用する

Windows Live Messengerを使用すると、オンラインでインスタントメッセージを送受信できます。
パソコンのWindows Live Messengerと同様、以下の機能を利用できます。

- 文字や音声のインスタントメッセージ
- 複数のユーザー同士の会話
- 絵文字
- オンライン状態が表示される知り合いリスト
- 画像などのファイルの送受信
- オンライン状態や表示名の変更
- オンライン状態、グループなどで知り合いを分類表示
- 知り合いがオフラインのときでも電子メールを送信

Windows Live Messengerを開く

1 →「Messenger」

Windows Live Messenger画面が表示されます。

- →「Messenger」でも起動できます。

■サインインする場合

Windows Live Messenger画面で「サインイン」をタップします。

※セットアップ完了後、はじめてサインインするときに、Messengerの知り合いのアドレス帳に追加されたことを知らせるメッセージが表示されることがあります。画面の指示に従って操作してください。

■サインアウトする場合

「メニュー」→「サインアウト」をタップします。

会話を始める

1 サインイン後のMessenger画面でオンラインの知り合いを選択し、「メッセージの送信」をタップする

メッセージ画面が表示されます。

2 文字入力欄に文字メッセージを入力する

- 絵文字を挿入する場合は、「メニュー」→「絵文字の追加」をタップし、絵文字一覧から選択します。

3 「送信」をタップする

4 会話を終了するには、「メニュー」→「会話を終了」をタップする

memo

◎ファイルを送信するには「メニュー」→「送信」をタップし、ファイルの種類を選択します。

◎進行中の会話にほかの知り合いを招待するには、「メニュー」→「オプション」→「参加者の追加」をタップします。

◎Windows Live Messengerの詳細については、以下のホームページをご覧ください。
http://messenger.live.jp/

Windows Liveの知り合いを追加する

Windows Live MessengerまたはIS02の連絡先から、Windows Liveの知り合いを追加できます。

■Windows Live Messengerの知り合いを追加する場合

1 サインイン後のMessenger画面で「メニュー」→「新しい知り合いの追加」

2 知り合いの電子メールアドレスを入力し、「OK」をタップする

■連絡先から知り合いを追加する場合

1 →「連絡先」

2 追加したい連絡先を選択し、→「Windows Liveに追加」

3 「アドレス帳とMessenger」→「次へ」

- アドレス帳にのみ追加する場合は、「アドレス帳のみ」→「追加」をタップします。

4 相手のWindows Live IDである知り合いの電子メールアドレスを選択し、「選択」をタップする

- その他のメールアドレスを追加する場合は、「(新しいインスタントメッセージのアドレス)」→「次へ」をタップし、メールアドレスを入力します。

memo

◎アドレス帳にのみ追加した連絡先は、あとから以下の操作でMessengerの知り合いに追加できます。
→「連絡先」→追加したい連絡先を選択→→「Messengerに追加」→メールアドレスを選択→「選択」

インターネット

Windows Live Hotmailを利用する

Windows LiveにサインインするときにHotmailアドレスを入力した場合、Windows Live Hotmailを利用できます。

1 **→「電子メール」**

- →「電子メール」でも操作できます。

2 **「Hotmail」をタップする**

3 **メールの操作を行う**

◎Hotmailサービスの詳細については、以下のホームページをご覧ください。
http://windowslive.jp.msn.com/mail.htm

Windows Liveのオプション設定

1 **→「Windows Live」→「メニュー」→「オプション」**

- →「Windows Live」→「メニュー」→「オプション」でも設定できます。

2 **必要な項目を設定し、「完了」をタップする**

[Today]画面のオプション	Windows Mobileのホーム画面にWindows Liveを表示するかどうかを設定します。
同期オプション	• Windows Liveの知り合いの連絡先情報をIS02の連絡先に保存するかどうかを設定します。 • 重複する連絡先情報を結合するかどうかを設定します。
同期スケジュール	同期の頻度と時間を設定します。
同期の状態	同期の結果を表示します。
ローミング	ローミング時にWindows Liveを有効にするかどうかを設定します。
電子メール	メッセージプレビューのサイズ、すぐにメッセージを送信するかどうか、返信／転送時に元のメッセージを含めるかどうかを設定します。
Messenger	音声メモを自動再生するかどうか、またメモの通知方法や使用するフォントを設定します。
バージョン情報	Windows Liveのバージョン情報を表示します。

マルチメディア

カメラを利用する……116
カメラをご利用になる前に……116
カメラ機能について……117
静止画を撮影する……118
動画を撮影する……118
カメラのオプションを設定する……119
画面キャプチャを設定する……119
名刺リーダーを利用する……120
静止画を整理する……121
静止画や動画を表示する……122
音楽や映像を楽しむ……123
Windows Media Playerを利用する……123
動画の画質を設定する……127
PhotoBaseを利用する……128
VideoEditorを利用する……128

著作権・肖像権について

IS02を利用して撮影または録音したものを著作権者に無断で複製、改変、編集などすることは、個人で楽しむなどの目的を除き、著作権法上禁止されていますのでお控えください。また、他人の肖像を無断で使用、改変などすると、肖像権の侵害となる場合がありますのでお控えください。なお、実演や興行、展示物などでは、個人で楽しむなどの目的であっても、撮影または録音が禁止されている場合がありますのでご注意ください。

カメラ付き携帯電話を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシーなどにご配慮ください。

カメラを利用する

カメラをご利用になる前に

IS02に内蔵されているカメラを使って、静止画や動画を撮影できます。撮影した静止画／動画は、マイ ピクチャフォルダー／マイ ビデオフォルダーに保存され、「ClipBook」(▶P.121)や「画像とビデオ」(▶P.122)などで閲覧できます。また、保存先をmicroSDカードに設定することもできます。

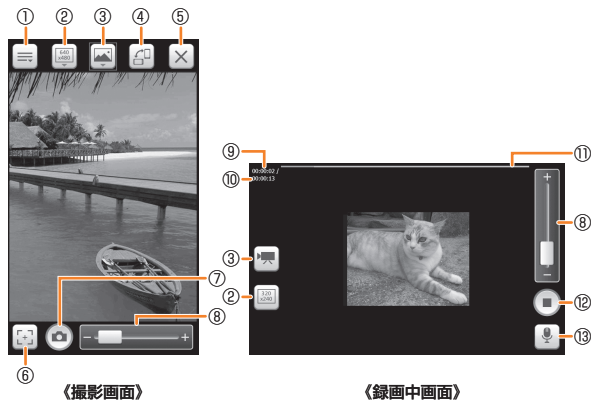
カメラの利用にあたって

■撮影するときのご注意

- カメラは非常に精密度の高い技術で作られていますが、常に明るく見えたり、暗く見えたりする点や線が存在する場合があります。また、特に光量が不足している場所での撮影では、白い線やランダムな色の点などのノイズが発生しやすくなりますが、故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。
- カメラを起動したとき、画面に縞模様が出ることがありますが、故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。
- カメラで撮影した静止画や動画は、実際の被写体と色味や明るさが異なる場合があります。
- 太陽やランプなどの強い光源を撮影しようとすると、画面が暗くなったり、撮影画像が乱れたりする場合があります。
- 暗い場所での撮影では、ノイズが増え、ざらついた静止画などになる可能性があります。
- レンズに指紋や油脂などが付くと、鮮明な静止画／動画を撮影できなくなります。撮影する前に、柔らかい布などでレンズをきれいに拭いてください。
- 撮影するときは、IS02が動かないようにしっかり手に持って撮影してください。撮影時にIS02が動くと、撮影画像がぶれる原因になります。
- 不安定な場所にIS02を置いてセルフタイマ撮影を行うと、着信などでバイブレータが振動するなどしてIS02が落下するおそれがあります。
- 撮影するときは、レンズに指や髪などがかからないようにしてください。
- カメラ利用時は電池の消費が多くなります。電池残量が少ない状態で撮影を行った場合、画面が暗くなったり、撮影画像が乱れたりすることがありますのでご注意ください。
- マナーモード設定中でも静止画撮影のシャッター音や動画撮影の開始音、終了音は鳴りますのでご注意ください。
- 接写をするときは、約10cmまで被写体に近付いて撮影できます。

カメラ機能について

撮影画面の見かた

《撮影画面》　《録画中画面》

撮影画面のアイコンをタップすると、設定を変更できます。

① **メニュー**

撮影モード	撮影モードを設定します（▶P.117）。
画像とビデオ	保存した静止画／動画を閲覧したり、削除したりします。
設定	撮影モードごとにオプション設定を行います（▶P.119）。
バージョン情報	カメラの情報を表示します。
終了	カメラを終了します。

② **解像度**：撮影するサイズを表示します（「カメラのオプションを設定する」（▶P.119）の表）。

③ **撮影モード**

通常	通常の静止画を撮影します。
ビデオ	動画を撮影します。
連写	1回のシャッターで9枚連続の静止画を撮影します。
タイマ	設定時間が経過すると自動的にシャッターが切れます。

④ **縦横切り替え**：モーションセンサー設定の縦横切替えが有効のときは表示されません。
ビデオモードは横画面固定となります。

⑤ **カメラ終了**

⑥ **オートフォーカス**：白（調整中）／緑（成功）／赤（失敗）

⑦ **シャッター**

⑧ **ズームバー**：スライダーをスライドして倍率を変更します。
撮影モードや解像度によって選択できる倍率が異なります。

サイズ320×240	最大ズーム倍率約3.2倍（12段階） ※ビデオモードも同様
サイズ640×480	最大ズーム倍率約1.6倍（7段階） ※ビデオモードはズーム不可
サイズ1280×960	最大ズーム倍率約1.6倍（7段階） ※ビデオモードは非対応
サイズ1600×1200	最大ズーム倍率約1.2倍（4段階） ※ビデオモードは非対応
サイズ2048×1536	ズーム不可

⑨ **録画時間**

⑩ **録画可能時間**

⑪ **プログレスバー**：録画経過が赤で表示されます。

⑫ **録画停止**

⑬ **オーディオ**：音声録音の有効／無効を表示します。

静止画を撮影する

お買い上げ時	保存先:本体 撮影後にプレビューする:オン フォーマット:jpg(変更不可) 画質:ノーマル 解像度:640×480 セルフタイマ:5秒

1 を1秒以上押す

・東芝ホーム画面で「カメラ」をタップしても起動できます。

2 撮影モードアイコンをタップして、(通常)に切り替える

3 被写体にカメラを向ける→

ピントが合うとオートフォーカスアイコンが緑色に変わります。

4 ／

シャッター音が鳴り、撮影した静止画がプレビュー表示されます。

・静止画を削除する場合は、→OKをタップするか、→「削除」→OKをタップします。
・「撮影後にプレビューする」(▶P.119)を無効にしている場合は、プレビュー表示されずに自動保存されます。
・→「送信」をタップすると、撮影した静止画をメールに添付できます。

5 OKをタップする

撮影した静止画が保存されます。

◎撮影した静止画はJPEG形式で保存されます。
◎カメラを起動した状態で約1分間何も操作をしないと、カメラは終了します。

動画を撮影する

お買い上げ時	保存先:本体 撮影後にプレビューする:オン フォーマット:3gp 画質:ノーマル 解像度:320×240 撮影制限時間:15秒 撮影時の音声録音:オン

1 を1秒以上押す

・東芝ホーム画面で「カメラ」をタップしても起動できます。

2 撮影モードアイコンをタップして、(ビデオ)に切り替える

3 被写体にカメラを向ける→／

開始音が鳴り、動画撮影が始まります。

4 撮影を停止するときは、／

終了音が鳴り、撮影した動画がプレビュー表示されます。

・動画を削除する場合は、→OKをタップするか、→「削除」→OKをタップします。
・「撮影後にプレビューする」(▶P.119)を無効にしている場合は、プレビュー表示されずに自動保存されます。
・→「再生」をタップすると、撮影した動画を確認できます。
・→「送信」をタップすると、撮影した動画をメールに添付できます。

5 OKをタップする

撮影した動画が保存されます。

◎動画を撮影する前に、メモリに十分な空きがあることを確認してください。
◎カメラを起動した状態で約1分間何も操作をしないと、カメラは終了します。

カメラのオプションを設定する

静止画や動画を撮影する前に、撮影モードごとにカメラのオプションを設定します。

1 カメラの撮影画面で→「設定」

2 必要な項目を設定し、をタップする

「基本設定」画面	保存先	撮影した静止画／動画の保存先を「本体」／「SDカード」から選択します。
	撮影後にプレビューする	撮影後、静止画／動画のプレビュー表示の有効／無効を設定します。
「フォト」画面	フォーマット	jpg固定となります。
	画質	静止画の画質を「エコノミー」／「ノーマル」／「ファイン」から選択します。
	解像度（通常、タイマ）	撮影するサイズを「320×240」／「640×480」／「1280×960」／「1600×1200」／「2048×1536」から選択します。
	解像度（連写）	撮影するサイズを「640×480」／「2048×1536」から選択します。
	セルフタイマ	自動でシャッターが切れるまでの時間を「5秒」／「10秒」／「15秒」から選択します。
「ビデオ」画面	フォーマット	録画データのフォーマット形式を「3gp」／「mp4」から選択します。
	画質	動画の画質を「エコノミー」／「ノーマル」／「ファイン」から選択します。
	解像度	撮影するサイズを「320×240」／「640×480」から選択します。
	撮影制限時間	録画の制限時間を「15秒」／「30秒」／「10分」から選択します。
	撮影時の音声録音	音声録音の有効／無効を設定します。

画面キャプチャを設定する

お買い上げ時	有効

を押して現在表示されている画面を撮影することができます。Webページの時刻表や地図など役立つ情報画面を撮影すると便利です。キャプチャした画面はマイ ピクチャフォルダーに保存され、「ClipBook」や「画像とビデオ」などで閲覧できます。

1 →「設定」→「一般設定」→「画面キャプチャ設定」

- →「設定」→「システム」→「画面キャプチャ設定」でも設定できます。

2 「カメラキー短押しによる画面キャプチャを有効にする」にチェックを付け、をタップする

名刺リーダーを利用する

カメラで名刺を撮影して、読み取った文字情報を連絡先に登録することができます。

名刺を撮影して連絡先に登録する

1 東芝ホーム画面で「名刺OmCR」

名刺OmCRの紹介文が表示されます。

- 「次回から表示しない」のチェックを入れると、次回から紹介文が表示されなくなります。
- →「名刺OmCR」でも起動できます。

2 →「名刺の撮影」

3 「静止画を撮影する」(▶P.118)の操作 3 以降を参照して名刺を撮影する

撮影した静止画が表示されます。

4 をタップする

読み取った情報が表示されます。

5 →「はい」

読み取った情報が連絡先に登録されます。

- 読み取った情報を編集する場合は、→内容を編集→「戻る」→「文字認識結果のみ更新」/「連絡先データ同時更新」/「更新しない」をタップします。
- 続けて名刺を撮影する場合は、をタップします。

memo

◎ 名刺を撮影するときは、文字の方向を画面の向きに合わせてください。名刺と画面の向きが異なると、文字情報を読み取れない場合があります。

撮影した名刺を管理する

1 東芝ホーム画面で「名刺OmCR」

名刺OmCRの紹介文が表示されます。

- 「次回から表示しない」のチェックを入れると、次回から紹介文が表示されなくなります。
- →「名刺OmCR」でも起動できます。

2 →「名刺の閲覧」

撮影した名刺の一覧が表示されます。

- 「MENU」→「並べ替え」→「会社名」/「名前」/「日付 新→旧」をタップし、名刺を並べ替えることができます。
- 「MENU」→「ClipBookへ」をタップすると、ClipBookで表示できます。

3 詳細を確認したい名刺をタップする

- 左右にスライドすると、前後の名刺を閲覧できます。また、名刺をタップしたままにすると拡大され、再度タップすると元の大きさに戻ります。
- 「MENU」→「効果切替」をタップして、閲覧アニメーションを切り替えることができます。
- 名刺を削除する場合は、「MENU」→「削除」→「はい」をタップします。

4 画面をダブルタップ(2回続けてタップ)し、をタップする

- 一覧へ戻るには「戻る」→「戻る」をタップします。

	撮影した名刺の文字情報を読み取ります。
	撮影した名刺を削除します。
	カメラを起動して名刺を撮影します。
	読み取った情報を連絡先に登録します。
	読み取った情報を編集します。

memo

◎ 名刺OmCRの使いかたについては、「MENU」→「ヘルプ」を参照してください。

静止画を整理する

クリップブックを使って静止画を整理し、快適に閲覧することができます。

静止画を閲覧する

1 東芝ホーム画面で「ClipBook」

IS02やmicroSDカードの静止画一覧が表示されます。

- 初回起動時は「次へ」をタップします。
- 「MENU」をタップして、静止画の並べ替えやスライドショーの再生ができます。
- 「MENU」→「名刺モードへ」をタップすると、名刺の一覧に切り替わります。
- →「ClipBook」でも起動できます。

2 閲覧したい静止画をゆっくり2回タップして表示する

- 左右にスライドすると、前後の静止画を閲覧できます。また、静止画をタップしたままにすると拡大され、再度タップすると元の大きさに戻ります。
- 「MENU」→「設定」をタップして、「効果切替」、「タグ表示」、「最新の情報に更新」、「拡張子との関連付け」、「キャッシュサイズ変更」ができます。
- 「MENU」→「メール送信」をタップして静止画を送信したり、「マイピクチャ⇔名刺」をタップして静止画を名刺フォルダに移動したりできます。

memo

◎ClipBookではJPEG形式の画像のみ表示されます。
◎ClipBookの使いかたについては、「MENU」→「ヘルプ」を参照してください。

静止画を検索する

1 静止画一覧で「MENU」→「直感検索」

2 「風景」/「人」/「食べ物」/「夜景」/「文字」をタップする

対象の静止画一覧が表示されます。

静止画を絞り込む

1 静止画一覧で「MENU」→「絞込み」

2 「タグあり」/「タグを指定」/「タグなし」/「撮影時期」をタップする

対象の静止画一覧が表示されます。

- 「撮影時期」をタップした場合は、撮影日時を選択します。

静止画にタグを付ける

タグを付けると、タグを利用して静止画を絞り込むことができます。

1 静止画一覧で、整理したい静止画をタップする

2 「MENU」→「タグをつける」

タグの一覧が表示されます。

3 アイコンを選択し、チェックを付ける

- 再度タップするとチェックが外れます。

4 「決定」をタップする

画面左下にタグが付けられます。

■静止画をタグごとに閲覧する

1 静止画一覧で「MENU」→「絞込み」→「タグを指定」

タグの一覧が表示されます。

2 閲覧したいタグをタップする

選択したタグが付けられた静止画一覧が表示されます。

静止画や動画を表示する

「画像とビデオ」を利用して、IS02やmicroSDカードに保存されている静止画や動画を閲覧することができます。

IS02が対応しているファイルの種類と拡張子は以下のとおりです。

種類	ファイル形式
画像	BMP、GIF、JPG、PNG、TIFF
ビデオ	3GPP、MP4、Windows Media Video

1 ▦→「画像とビデオ」

「マイ ピクチャ」フォルダーのファイル一覧が表示されます。

- ⊞→「画像とビデオ」でも表示できます。

2 表示／再生したいファイルをタップする

- 動画は、Windows Media Playerで再生されます（▶P.123）。

画像とビデオのメニュー

■静止画／動画の一覧でファイルを選択しているとき

項目		説明
送信		選択中の静止画／動画が添付された新規メールを作成します。
ビーム		選択中の静止画／動画を、Bluetooth®通信で送信します。
連絡先に保存※1		選択中の静止画を連絡先に登録します。
削除		選択中の静止画／動画を削除します。
編集	切り取り	選択中の静止画／動画を切り取ります。
	コピー	選択中の静止画／動画をコピーします。
	貼り付け	コピーまたは切り取った静止画／動画を貼り付けます。
	新しいフォルダー	新規フォルダーを作成します。
スライドショーの再生※1		フォルダー内の静止画をスライドショーで表示します。 ・再生中に画面をタップすると、以下の操作アイコンが表示されます。 ↷：表示の回転 ▶／⏸：再開／一時停止 ⏮／⏭：前の静止画を表示／次の静止画を表示 ✕：終了
[Home]の背景に設定する※1※2		選択中の静止画をスタートメニューとWindows Mobileのホーム画面の背景イメージに設定します。
移動	マイピクチャ	マイピクチャフォルダーが表示されます。
	マイデバイス	マイデバイスフォルダーが表示されます。
	フォルダー	閲覧するフォルダーを選択します。

マルチメディア

項目		説明
ツール	プロパティ	静止画／動画のプロパティを表示します。
	並べ替え	名前／日付／サイズ順に並べ替えます。
	オプション	静止画をメールに添付するときの画像サイズや回転するときの方向の設定、スライドショー再生時の設定をします。

※1 静止画を選択しているときのみ利用できます。
※2 選択しているファイルによっては、設定できない場合があります。

■静止画を表示しているとき

項目		説明
ズーム※1		表示中の静止画をズーム表示します。
スライドショーの再生		フォルダー内の静止画をスライドショーで表示します。
[Home]の背景に設定する※2		表示中の静止画をスタートメニューとWindows Mobileのホーム画面の背景イメージに設定します。
画像のビーム		表示中の静止画をBluetooth®通信で送信します。
保存	連絡先に保存	表示中の静止画を連絡先に登録します。
	名前を付けて保存	表示中の静止画を別の名前を付けて保存します。
編集		静止画をトリミングしたり回転したりします。
プロパティ		静止画のプロパティを表示します。
オプション		静止画をメールに添付するときの画像サイズや回転するときの方向の設定、スライドショー再生時の設定をします。

※1 選択しているファイルによっては、ズームできない場合があります。
※2 選択しているファイルによっては、設定できない場合があります。

音楽や映像を楽しむ

- マナーモード設定中は、各プレイヤーを利用して音楽や映像を再生しても音は鳴りません（ステレオイヤホン（別売）接続時を除く）。

Windows Media Playerを利用する

Windows Media Playerを使って音楽や動画を再生することができます。

- IS02のデータ記憶用メモリの空き容量がなくなると、Windows Media Playerを起動できません。メモリ使用量を確認し、IS02のデータ記憶用メモリの空き容量を確保してください。

再生できるファイル形式

Windows Media Playerで再生できるファイル形式は以下のとおりです。ただし、楽曲／動画によっては再生できるファイル形式であっても再生できない場合があります。

●音楽ファイル

ファイル形式／コーデック	拡張子
Windows Media Audio、MP3、AAC、AMR	wma、mp3、aac、mp4、m4a、3gp、amr

●動画ファイル

ファイル形式／コーデック	拡張子
Windows Media Video、MPEG-4 Simple Profile、H.264	wmv、asf、mp4、3gp、3g2

Windows Media Playerを開く

1 ▦→「Windows Media」

ライブラリ画面が表示されます。

- ライブラリ画面が表示されない場合は、「メニュー」→「ライブラリ」をタップします。
- ⊞→「Windows Media」でも起動できます。

2 **カテゴリ(「マイ ミュージック」/「マイ ビデオ」/「マイ テレビ」/「再生リスト」)をタップし、再生したいアイテムをタップする**

- 保存したファイルが表示されない場合は、「メニュー」→「ライブラリの更新」をタップします。

3 **「再生」をタップする**

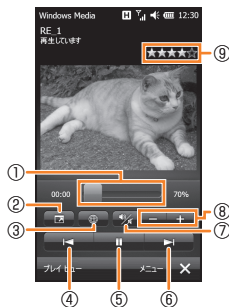
再生画面が表示され、楽曲/動画の再生が始まります。

画面とメニュー

Windows Media Playerには、以下の3種類の画面があります。

初期画面	説明
再生画面	再生コントロール(再生/一時停止、次へ、前へ、音量など)とビデオウィンドウが表示される画面です。
プレイビュー画面	再生中のファイルおよび再生リストを一覧表示します。
ライブラリ画面	この画面で楽曲や動画を選択して、再生します。楽曲/動画は、マイミュージック、マイビデオなどのカテゴリに分類されています。

再生画面の操作

再生画面では、以下の操作が行えます。

① 再生の進行状況を表示します。スライダーを動かして、任意の位置から再生できます。
② 動画を全画面表示します。
③ WindowsMedia.comの ホ ームページへ接続します。
④ 再生中のファイルの先頭、または前のファイルを再生します。
⑤ ファイルを再生/一時停止します。
⑥ 次のファイルを再生します。
⑦ 音量のオン/オフを切り替えます。
⑧ 音量を調節します。
⑨ 5段階レベルで評価をタップします。

※★マークは「ライブラリ」に追加されているファイルを再生した場合に、表示されます。

ライセンス保護されたファイルについて

保護されたファイルをパソコンからIS02にコピーする場合、パソコンのWindows Media Playerを使ってIS02と同期させてください。同期により保護されたファイルは、ライセンスとともにコピーされます。ファイルの同期について詳しくは、パソコンのWindows Media Playerのヘルプをご覧ください。

パソコンのライブラリと同期する

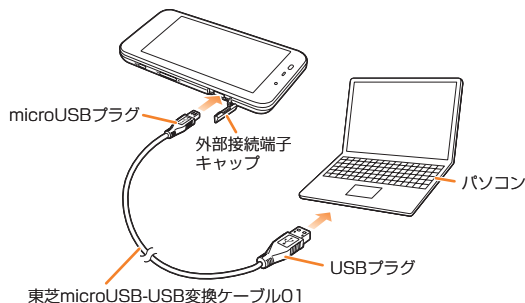
Windows Media Playerのライブラリとパソコンの楽曲／動画を同期させることができます。

- ライセンス保護された楽曲／動画は、著作権情報とともにIS02にコピーされます。
- あらかじめ、ActiveSync（▶P.141）またはWindows Mobileデバイスセンター（▶P.143）でIS02とパソコンの同期の設定を行っておく必要があります。
- あらかじめUSB接続の設定をActive Syncモードにしてください。

同期を行う際は、「パソコンの動作環境」（▶P.141）をご参照ください。

（例：パソコン側がWindows Media Player11の場合）

1 IS02の外部接続端子キャップを開け、付属の東芝microUSB-USB変換ケーブル01を使用して、IS02をパソコンに接続する

- 東芝microUSB-USB変換ケーブル01のmicroUSBプラグは、プラグの向きを確認してIS02の外部接続端子に水平に差し込みます。
- 東芝microUSB-USB変換ケーブル01のUSBプラグをパソコンのUSBコネクタに直接接続してください。USBハブやUSB延長ケーブルを介して接続すると、正しく動作しないことがあります。

2 パソコンのWindows Media Playerを起動する

はじめてIS02と同期させるときは、デバイスの設定画面が表示されます。

3 パソコンのWindows Media Playerで、 タブをクリックする

- IS02に取り付けたmicroSDカードと同期する場合は、次のデバイス ボタンをクリックしてデバイスを切り替えます。

4 同期させる楽曲をライブラリからデバイス側にドラッグアンドドロップする

5 をクリックする

ライブラリの同期が始まります。

memo

◎パソコンのWindows Media Playerの使用方法については、Windows Media Playerのヘルプを参照してください。

プレイビューを使って再生する

再生したい順番に楽曲／動画をプレイビュー(再生待ちリスト)に登録することができます。

- プレイビューは一時的なリストのため、IS02の電源を切ると、内容が消去されます。必要に応じて再生リストに登録することをおすすめします。

■プレイビューに登録する

1 **→「Windows Media」**

ライブラリ画面が表示されます。

- ライブラリ画面が表示されない場合は、「メニュー」→「ライブラリ」をタップします。
- →「Windows Media」でも起動できます。

2 **カテゴリ(「マイ ミュージック」／「マイ ビデオ」／「マイ テレビ」／「再生リスト」)をタップし、登録したい楽曲／動画をタップする**

3 **「メニュー」→「再生待ちに追加」**

プレイビューに登録されます。

登録したい楽曲／動画の数だけ操作を繰り返します。

■プレイビューから再生する

1 **ライブラリ画面→「メニュー」→「プレイビュー」→「再生」**

楽曲／動画の再生が始まります。

再生リストを使って再生する

ここでは、プレイビューから再生リストを作成／再生する操作を説明します。

■再生リストを作成する

1 **プレイビューに楽曲／動画を登録する**

詳しくは、「プレイビューに登録する」(▶P.127)を参照してください。

2 **「メニュー」→「プレイビュー」→「メニュー」→「再生リストの保存」**

3 **再生リスト名を入力し、をタップする**

■再生リストを使って楽曲／動画を再生する

1 **ライブラリ画面→「再生リスト」**

2 **再生リストを選択し、「再生」をタップする**

再生リストの再生が始まります。

動画の画質を設定する

お買い上げ時	自然

動画再生時に、高画質化エンジンを使用するかどうかを設定します。

1 **→「設定」→「システム」→「動画質設定」**

動画質設定画面が表示されます。

2 **「鮮やか」／「自然」／「Off」→**

PhotoBaseを利用する

IS02で撮影した静止画のトリミングやコントラスト調整をしたり、フレームを貼り付けたりすることができます。

1 →「PhotoBase」

「マイ ピクチャ」フォルダーのファイル一覧が表示されます。

- →「PhotoBase」でも起動できます。

2 **編集したい静止画を1秒以上タップしてから離す**

静止画が拡大され、編集バーが表示されます。

- 静止画を表示中に画面を左右にスライドすると、前後の静止画に切り替わります。

3 **静止画を編集し、→をタップする**

- 編集バーが表示されていないときは、静止画をタップすると表示されます。

／ ズーム	静止画を縮小／拡大して表示します。
戻る	前の画面に戻ります。
スライドショー	フォルダー内の静止画をスライドショーで再生します。
詳細設定	:静止画をトリミングします。 :静止画を回転／反転して表示します。 :静止画の解像度をMMS／QVGA／VGA／カスタムから選択します。 :静止画の明るさとコントラストを調整します。 :静止画にフレームを貼り付けます。
メール送信	編集した静止画をメールで送信します。
プロパティ	静止画のプロパティを表示します。
決定または保存	選択／編集した内容を決定または保存します。
削除	静止画を削除します。

VideoEditorを利用する

IS02で撮影した静止画を組み合わせてフォトムービーを作成したり、撮影した動画に音楽や音声、字幕などを追加したりできます。編集したファイルはYouTubeで公開することができます。

1 →「VideoEditor」

- →「VideoEditor」でも起動できます。

2 **「ビデオの編集」／「フォトムービーの作成」／「ストーリーボードの作成」をタップする**

3 **静止画／動画を選択し、編集する**

4 **「保存」をタップする**

memo

◎コンテンツの内容によっては、通信料金が高額になる場合がありますので、パケット通信料割引サービスのご利用をおすすめします。

ファイル管理

エクスプローラーを利用する 130
エクスプローラーを起動する 130
フォルダーやファイルを操作する 130
エクスプローラーのメニュー 131
microSDカードを使う 132
microSDカードの取り付けかた／取り外しかた 132
microSDカード内のデータを確認する 133
microSDカード保存時にファイルを暗号化する 133
USB設定 134
現在の動作モードを確認する 134
Active Syncモードまたはマスストレージモードに変更する 134
ダイヤルアップ接続モードに変更する 135
データを検索する 135
USBホスト機能について 136
接続方法 136
操作方法 136
Microsoft My Phoneを利用する 137
My Phoneサービスの利用を開始する 137
バックアップするデータを設定する 137
SPB Backupを利用する 138
すべてのデータをバックアップする 138
データを選択してバックアップする 138
自動的にデータをバックアップする 139
バックアップしたデータを復元する 139
ActiveSync／Windows Mobileデバイスセンターでできること 140
パソコンの動作環境 141
ActiveSyncのインストールと設定 141
Windows Mobileデバイスセンターのインストールと設定 143
Bluetooth®通信で同期する 144

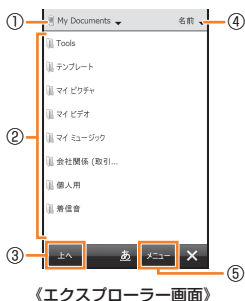
エクスプローラーを利用する

エクスプローラーを使って、IS02やmicroSDカードに保存されたファイルのコピーや移動、削除、フォルダーの作成などができます。

エクスプローラーを起動する

1 ▦→「エクスプローラー」

エクスプローラーが起動し、フォルダーとファイルの一覧が表示されます。

- ⊞→「エクスプローラー」でも起動できます。

《エクスプローラー画面》

① 表示中の階層より上位の階層を表示します。
② フォルダーやファイルをタップして開きます。
③ 1つ上の階層に移動します。
④ 並べ替えの条件を指定して、フォルダーとファイルを並べ替えます。
⑤ エクスプローラーのメニューを表示します。

memo

◎エクスプローラーを使うとWindowsのシステムファイルなども表示できますが、誤ってそれらのファイルを削除したり移動すると、正常に動作しなくなる可能性がありますのでご注意ください。
◎ファイルをタップしても開かない場合は、対応するプログラムを起動し、プログラムからファイルを開いてください。

フォルダーやファイルを操作する

新規フォルダーを作成する

1 エクスプローラー画面で「メニュー」→「新しいフォルダー」

「新しいフォルダー」が作成されます。

2 フォルダー名を入力する

フォルダー名やファイル名を変更する

1 エクスプローラー画面で名前を変更したいフォルダーまたはファイルを1秒以上タップする

ポップアップメニューが表示されます。

2 「名前の変更」をタップする

3 新しい名前を入力する

フォルダーやファイルを削除する

- 削除したフォルダーやファイルは元に戻せません（削除の取り消しはできません）。

1 エクスプローラー画面で削除したいフォルダーまたはファイルを1秒以上タップする

ポップアップメニューが表示されます。

2 「削除」をタップする

確認画面が表示されます。

3 「はい」をタップする

フォルダーやファイルをコピー／移動する

1 エクスプローラー画面でコピー／移動したいフォルダーまたはファイルを1秒以上タップする

ポップアップメニューが表示されます。

2 「コピー」または「切り取り」をタップする

3 コピー先または移動先のフォルダーを開く

4 「メニュー」→「編集」→「貼り付け」

エクスプローラーのメニュー

エクスプローラー画面で「メニュー」をタップすると、以下の機能を利用できます。

項目			説明
移動	My Documents		My Documentsに含まれるフォルダーとファイルの一覧を表示します。
	マイデバイス		マイデバイスに含まれるフォルダーとファイルの一覧を表示します。
	フォルダー		フォルダーの階層を選択します。
	パスを開く	新しいパス	パスを入力してネットワーク上の共有フォルダーを開くことができます。一度入力したパスは、履歴から選択して開くことができます。
最新の情報に更新			最新の状態に更新します。
ファイルを選択	すべて		フォルダーやファイルをすべて選択します。
	複数		任意のフォルダーやファイルを選択できます。

項目		説明
すべてのファイルを表示		チェックを付けると、隠しファイルを含め、すべてのファイルを表示します。
並べ替え		指定した条件（名前、日付、サイズ、種類）でフォルダーとファイルを並べ替えます。
送信		選択したファイルを電子メールに添付して送信します。
ファイルをビームする		選択したファイルをBluetooth®通信で送信します。
新しいフォルダー		新規フォルダーを作成します。
名前の変更		フォルダー名やファイル名を変更します。
削除		フォルダーやファイルを削除します。
編集	元に戻す※	直前に行った操作を取り消します。
	切り取り	フォルダーやファイルを切り取ります。
	コピー	フォルダーやファイルをコピーします。
	貼り付け	コピーまたは切り取ったフォルダーやファイルを貼り付けます。
	ショートカットの貼り付け	コピーしたフォルダーやファイルのショートカットを貼り付けます。

※削除したフォルダーやファイルは元に戻せません。

microSDカードを使う

IS02には、microSDカードやmicroSDHCカードを取り付けることができます。

- IS02は、2GBまでのmicroSDカードと16GBまでのmicroSDHCカードに対応しています(2010年4月現在)。
  ただし、市販されているすべてのmicroSDカードおよびmicroSDHCカードの動作を保証するものではありません。
- microSDカードのデータにアクセスしているときに、電源を切ったり衝撃を与えたりしないでください。データが壊れるおそれがあります。
- 電子メールや連絡先、予定、仕事などのデータは、SPB Backupなどを使用してmicroSDカードに保存できます。
- 当社基準において動作確認したmicroSDカードは、次の通りになります。その他のmicroSDカードの動作確認につきましては、各microSDカード発売元へお問い合わせくださいますよう、お願いいたします。

<microSDカード>

発売元	256MB	512MB	1GB	2GB
東芝	―	―	○	○
Panasonic	○	○	○	○
SanDisk	―	―	○	○
アドテック	―	―	○	○
バッファロー	―	―	○	○
ソニー	―	―	―	○

<microSDHCカード>

発売元	4GB	8GB	16GB
東芝	○	○	○
Panasonic	○	○	○
SanDisk	○	○	○
アドテック	○	○	―
バッファロー	○	○	○
ソニー	○	○	―

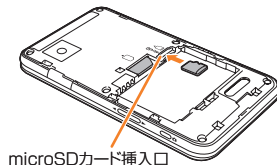
○:動作確認済み　―:未確認または未発売　2010年4月現在

※IS02では、2010年4月現在販売されているmicroSDカードで動作確認を行っています。動作確認の最新情報につきましては、auホームページをご参照いただくか、auお客様センターまでお問い合わせくださいますよう、お願いいたします。

microSDカードの取り付けかた/取り外しかた

- microSDカードの取り付け/取り外しは、必ず電源を切り、本体裏フタと電池パックを取り外してから行ってください。

microSDカードを取り付ける

1 microSDカードの金属端子面を下にして、カチッと音がするまでゆっくり差し込む

microSDカード挿入口

memo

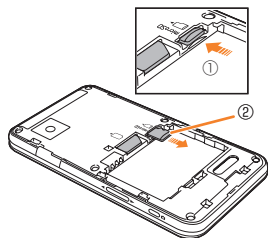
◎microSDメモリカードには、表裏/前後の区別があります。
　無理に入れようとすると取り外せなくなったり、破損するおそれがあります。

ファイル管理

microSDカードを取り外す

1 microSDカードをカチッと音がするまで奥へゆっくり押し込んでから(①)離す

microSDカードが少し飛び出します。

2 microSDカードをまっすぐ引き出す(②)

microSDカード内のデータを確認する

1 →「エクスプローラー」

エクスプローラーが起動します。

- →「エクスプローラー」でも起動できます。

2 画面左上の ▼ をタップし、「Storage Card」をタップする

microSDカード内のファイルやフォルダーが表示されます。

◎USB接続の設定をマスストレージモードにして、パソコンとUSB接続しているときは、IS02からmicroSDカードにアクセスできません。

microSDカード保存時にファイルを暗号化する

お買い上げ時	オフ

microSDカードにファイルを保存するとき、自動的に暗号化して保存することができます。暗号化したファイルは別のau電話やパソコンでは開けず、本IS02でのみ開くことができます。

1 →「設定」→「システム」→「暗号化」

2 「メモリ カード内のファイルを暗号化する」にチェックを付ける

3 をタップする

◎マスタークリアを行うと、暗号化されたファイルは一切読み出すことができなくなります。マスタークリアを行う前に、ActiveSyncまたはWindows Mobileデバイスセンターを利用して、暗号化されたファイルをパソコンにコピーすると、暗号化が解除されてコピーされます。

USB設定

お買い上げ時	USBモード 　Active Syncモード／マスストレージ USB to PC 　Active Syncモード 　高度なネットワーク機能を有効にする：無効

パソコンとIS02を付属の東芝microUSB-USB変換ケーブル01でつないだときのIS02の動作は次の3種類から選択することができます。

Active Syncモード	IS02のメモリに保存されたデータを、パソコン上で読み書きできます。 パソコンとIS02のデータを同期することもできます。 • Active Syncモードでパソコンと接続しているときは、接続しているパソコンのネットワークを使用します。接続しているパソコンがネットワークに接続されていない場合は、パケット通信をご利用になれません。
マスストレージモード	IS02に取り付けたmicroSDカードのデータを、パソコン上で読み書きできます。 • USB接続しているときは、IS02からmicroSDカードにアクセスできません。
ダイヤルアップ接続モード	IS02の電話機能を使って、パソコンから電話をかけたり一般のプロバイダに接続することができます。

現在の動作モードを確認する

1 **→「設定」→「ネットワーク／接続」→「USBモード」**

• →「設定」→「接続」→「USBモード」でも確認できます。

2 **設定を確認する**

「ダイヤルアップ接続」にチェックが付いていた場合は、現在の動作モードはダイヤルアップ接続モードです。

「Active Syncモード／マスストレージ」にチェックが付いていた場合は、「×」をタップして操作3に進みます。

3 **「USB to PC」をタップする**

4 **設定を確認する**

チェックが付いているモードが、現在の動作モードです。

Active Syncモードまたはマスストレージモードに変更する

1 **→「設定」→「ネットワーク／接続」→「USB to PC」**

• →「設定」→「接続」→「USB to PC」でも設定できます。

2 **「Active Syncモード」または「マスストレージモード」をタップする**

3 **→「はい」**

memo

◎「高度なネットワーク機能を有効にする」にチェックを付けると、IS02がネットワーク機器として接続され、Active Syncモードでの接続が高速になります。チェックを外すと、IS02がUSB機器として接続されます。

ダイヤルアップ接続モードに変更する

1 **→「設定」→「ネットワーク／接続」→「USBモード」**

- →「設定」→「接続」→「USBモード」でも設定できます。

2 **「ダイヤルアップ接続」をタップする**

- 「Active Syncモード／マスストレージ」をタップすると、Active Syncモードに変更されます。

3 **「OK」→「ok」**

◎「エリア設定」を「日本」以外に設定している場合は、ダイヤルアップ接続モードに変更してもダイヤルアップ接続は利用できません。

データを検索する

IS02のMy DocumentsやmicroSDカード内に保存されたファイルの名前、予定表、連絡先、仕事、メモなどのデータやヘルプに含まれる文字列を検索できます。

1 **→「検索」**

検索画面が表示されます。

- →「検索」でも検索できます。

2 **検索したい文字列を入力する**

ファイル名や、電子メール、予定表などのデータに含まれる文字列を入力します。

3 **「種類」の右にある ▼ をタップして、検索したいデータの種類を選択する**

4 **メニューバーの「検索」をタップする**

検索結果が表示されます。

5 **参照したいファイルやデータをタップする**

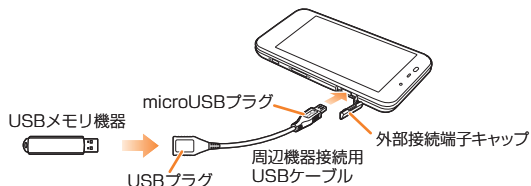
ファイルやデータが開きます。

◎データによっては、その中に含まれる文字列が検索されないものがあります。
◎「検索」の右にある ▼ をタップすると、以前入力した文字列の履歴が表示されます。再検索する場合や、文字列を一部変更して再検索する場合に利用できます。

USBホスト機能について

IS02にはUSBホスト機能が搭載されています。周辺機器接続用USBケーブル（市販品）を外部接続端子に接続することで、USBメモリ機器（市販品）を利用することができます。

- USBホスト機能を使用する前にIS02を充電してください。電池残量が少ないとUSBホスト機能を起動できません。
- USBホスト機能使用中に電池残量が少なくなると、USBホスト機能の停止を予告するメッセージが表示されます。さらに電池残量が少なくなると、USBホスト機能の停止を通知するメッセージが表示され、USBホスト機能が停止します。周辺機器接続用USBケーブルを抜いて充電してください。
- 100mAを超える電流を必要とするUSBメモリ機器には接続しないでください。USBホスト機能が正常に機能しないことがあります。

接続方法

1 IS02の外部接続端子キャップを開け、周辺機器接続用USBケーブルのmicroUSBプラグを差し込む

- microUSBプラグは、プラグの向きを確認して水平に差し込みます。

2 周辺機器接続用USBケーブルのUSBプラグにUSBメモリ機器を差し込む

操作方法

1 →「エクスプローラー」

エクスプローラーが起動します。

- →「エクスプローラー」でも起動できます。

2 「マイ デバイス」の一覧画面を表示する

- 「マイ デバイス」以外の階層が表示されている場合は、画面左上の ▼ をタップして、「マイ デバイス」を選択します。

3 「ハード ディスク」をタップする

接続したUSBメモリ機器内のファイルやフォルダーが表示されます。

Microsoft My Phoneを利用する

Microsoft® My Phoneは、マイクロソフト社が無償で提供する携帯電話向けオンラインデータ保存サービスです。連絡先、予定、画像、文書、音楽、動画といったデータを簡単にオンラインサービス上に保存できるサービスです。

My Phoneサービスの利用を開始する

1 **→「Microsoft My Phone」**

サービスの利用を確認するメッセージが表示されます。

- →「Microsoft My Phone」でも操作できます。

2 **「次へ」をタップする**

プライバシーに関する声明とサービス利用規約へのリンクが表示されます。

3 **「承諾」をタップする**

4 **Windows Live IDとパスワードを入力し、「パスワードを保存する」にチェックを付け、「サインイン」をタップする**

- Windows Live IDを取得していない場合は、「Windows Live IDの新規作成」をタップし、画面の指示に従ってWindows Live IDを取得してください。

5 **「次へ」→「自動」→「次へ」**

My Phoneサービスが正常に構成されたことを知らせるメッセージが表示されます。

6 **「完了」をタップする**

データの同期（初回はMy Phoneサービスサイトへのデータのバックアップ）が始まります。

- 更新プログラムのインストールを求めるメッセージが表示されたら「はい」をタップし、画面の指示に従ってインストールしてください。

memo

◎ 操作5で「手動」を選択した場合、バックアップ（同期）したいデータの種類にチェックを付け、「次へ」→「完了」→「同期」をタップしてバックアップします。

◎ 現在地の同期を行う場合は、見晴らしのよい場所での実施をおすすめいたします。

◎ ActiveSyncを利用して、Microsoft Exchange Serverと同期する設定をしている場合、My Phoneでは連絡先、予定、仕事が同期されません。

◎ Windows Liveの連絡先は、Windows Liveとの間で同期されます。その他の連絡先はMy Phoneとの間で同期されます。

◎ IS02のMy Documents以外に保存されたドキュメントファイルは同期されません。

◎ Microsoft My Phoneサービスの詳細については、以下のホームページをご覧ください。
http://myphone.microsoft.com

バックアップするデータを設定する

1 **→「Microsoft My Phone」**

- →「Microsoft My Phone」でも設定できます。

2 **「メニュー」→「同期のオプション」**

3 **バックアップ（同期）したいデータの種類にチェックを付け、「完了」をタップする**

SPB Backupを利用する

SPB Backupは、IS02内の連絡先や予定、電子メール、My Documentsなどのデータのコピーを作成するアプリケーションです。

- バックアップデータは、IS02にも作成できますが、microSDカードに保存することをおすすめします。
- バックアップする前にメモリ使用量を確認し、IS02やmicroSDカードのデータ記憶用メモリの空き容量を確保してください(▶P.167)。

すべてのデータをバックアップする

PIMデータ、電子メール、My Documents、システムデータのバックアップ可能なデータをすべてバックアップします。

1 **→「SPB Backup」**

- →「SPB Backup」でも操作できます。

2 **「フル バックアップ」をタップする**

3 **バックアップファイル名と保存場所を選択する**

- 保存場所を「<カスタム>」にして、任意のフォルダを設定することもできます。

4 **(次へ)をタップする**

予想バックアップサイズが表示されます。

5 **(次へ)→(次へ)**

バックアップが始まります。バックアップが完了すると、IS02が再起動します。

memo

◎→「SPB Backup」→→「オプション」をタップして、圧縮レベルなどバックアップに関する設定ができます。

データを選択してバックアップする

PIMデータ、電子メール、My Documents、システムデータからアイテムを選択してバックアップします。

1 **→「SPB Backup」**

- →「SPB Backup」でも操作できます。

2 **「カスタム バックアップ」をタップする**

3 **バックアップしたいアイテムにチェックを付ける**

- 「My Documents」、「システムデータ」を選択した場合、をタップしてバックアップしたいデータを選択できます。

4 **(次へ)をタップし、バックアップファイル名と保存場所を選択する**

- 保存場所を「<カスタム>」にして、任意のフォルダを設定することもできます。

5 **(次へ)をタップする**

- データを暗号化する場合は「暗号化」にチェックを付け、「パスワード」と「確認」にパスワードを入力します。

6 **「コメントの編集」→バックアップコメントを入力→**

7 **「すべてのデータをバックアップする」の操作4以降を行う**

memo

◎Cメールの送信メール、受信メール、緊急地震速報のデータをバックアップする場合は、「システムデータ」→「バックアップファイル」→「CMAIL.vol」を選択してバックアップします。

自動的にデータをバックアップする

指定した曜日と時刻に自動的にデータをバックアップします。

1 →「SPB Backup」

- →「SPB Backup」でも操作できます。

2 「定期バックアップ」をタップする

3 「定期バックアップを有効化」にチェックを付け、曜日と時刻を設定する

- バックアップ時の動作(「バックアップ後に自動的にリセット」/「再起動後にデバイスの電源を切る」/「AC電源時のみバックアップ」)を変更できます。

4 (次へ)をタップする

5 バックアップデータを保存するフォルダを選択する

- 保存するフォルダを「<カスタム>」にして、任意のフォルダを設定することもできます。

6 (次へ)をタップする

7 バックアップしたいアイテムにチェックを付け、(次へ)をタップする

- データを暗号化する場合は「暗号化」にチェックを付け、「パスワード」と「確認」にパスワードを入力します。

8 「コメントの編集」→バックアップコメントを入力→→(次へ)

定期バックアップの設定内容が表示されます。

9 をタップする

- 操作3で「バックアップ後に自動的にリセット」がオフの場合でも、「オプション」の「バックアップ前にプロセスを終了」がオンで、かつ定期バックアップを開始するときに「バックアップ」をタップして開始した場合、バックアップが完了すると自動的にIS02が再起動します。

バックアップしたデータを復元する

IS02やmicroSDカードにバックアップしたデータをIS02内に復元します。

1 →「SPB Backup」

- →「SPB Backup」でも操作できます。

2 「バックアップのレストア」をタップする

3 復元したいバックアップデータをタップし、(次へ)をタップする

- データを暗号化している場合は、パスワードを入力します。

4 「フル レストア」または「レストアのカスタマイズ」をタップする

- 「レストアのカスタマイズ」をタップした場合は、復元したいアイテムにチェックを付け、をタップしてデータを選択します。

5 (次へ)をタップする

- 必要に応じて時間調整を行います。

6 (次へ)をタップする

- 「オプション」をタップして、レストア時のオプションを調整できます。

7 (次へ)→(次へ)

レストアが始まります。レストアが完了すると、IS02が再起動します。

ファイル管理

ActiveSync／Windows Mobile デバイスセンターでできること

ActiveSyncおよびWindows Mobileデバイスセンターは、IS02にあるファイルやOutlookなどのデータを、パソコンと連携して操作するためのソフトウェアです。
IS02をActiveSyncまたはWindows Mobileデバイスセンターをインストールしたパソコンに接続して、以下のことができます。

■パソコンとの同期

- パソコンで利用しているMicrosoft Outlookのデータ（電子メール、予定表、連絡先、仕事、メモ）を、IS02のデータと同期させることができます。
- IS02のお気に入りを、パソコンで利用しているInternet Explorerの「モバイルのお気に入り」と同期させることができます。
- IS02のWord MobileやExcel Mobileのファイルを、パソコンのWordやExcelのファイルと同期させることができます。
- パソコンにWindows Media Playerがインストールされている場合は、静止画、動画、音楽などのメディアファイルを同期させることができます。詳しくは、「パソコンの動作環境」（▶P.141）をご参照ください。

■ファイルのコピー／移動

パソコンとIS02の間で、ファイルのコピーや移動を行えます。

■プログラムのインストール

パソコンからIS02へプログラムをインストールすることができます。

■その他

- パソコンで表示したWebページのURLを、IS02に転送できます。
- 社内ネットワークが、Exchange ActiveSyncをインストールしたMicrosoft Exchange Serverに対応している場合、IS02とサーバとの間で電子メール情報を直接同期させることができます。

memo

◎Active Syncモードでパソコンと接続しているときは、接続しているパソコンのネットワークを使用します。接続しているパソコンがネットワークに接続されていない場合は、パケット通信をご利用になれません。
◎パソコンのActiveSyncの設定で「デスクトップコンピュータに接続中にデバイスの無線接続を許可する」を選択していない場合、またはWindows Mobileデバイスセンターの設定で「PCへの接続時にデバイス上でデータ接続を許可する」を選択していない場合は、パソコンとの同期中に無線LAN機能を利用できません。
◎Active Syncモードの「高度なネットワーク機能を有効にする」（▶P.134）にチェックを付けると、IS02がネットワーク機器として接続され、Active Syncモードでの接続が高速になります。チェックを外すと、IS02がUSB機器として接続されます。
◎Microsoft Outlook Expressのデータは同期できません。
◎IS02側のOutlookメール以外の電子メール、Cメールをパソコンと同期させることはできません。
◎パソコンのWordやExcelのデータをWord MobileやExcel Mobileのデータに変換したとき、Word MobileやExcel Mobileがサポートしていない書式や機能は反映されません。
◎ActiveSyncとWindows Mobileデバイスセンターの詳しい使いかたは、ActiveSyncまたはWindows Mobileデバイスセンターのヘルプをご覧ください。

パソコンの動作環境

お使いのパソコンのOS(オペレーティングシステム)によって、ActiveSyncまたはWindows Mobileデバイスセンターのどちらか一方をインストールできます。

■ ActiveSyncをインストールするパソコン

OS	• Microsoft Windows XP
アプリケーション	電子メール、予定表、連絡先、仕事、メモの同期に必要 • Microsoft Outlook 2007 • Microsoft Outlook XP • Microsoft Outlook 2003
	お気に入りの同期に必要 Internet Explorer 6.0以降
	メディアファイルの同期に必要 Windows XP:Windows Media Player 10/11
通信環境	• USBポート(USB1.1/USB2.0) • Bluetooth®通信機能

■ Windows Mobileデバイスセンターをインストールするパソコン

OS	• Microsoft Windows Vista • Microsoft Windows 7
アプリケーション	電子メール、予定表、連絡先、仕事、メモの同期に必要 • Microsoft Outlook 2007 • Microsoft Outlook XP • Microsoft Outlook 2003
	お気に入りの同期に必要 Internet Explorer 7.0以降
	メディアファイルの同期に必要 Windows Vista:Windows Media Player 11 Windows 7:Windows Media Player 12
通信環境	• USBポート(USB1.1/USB2.0) • Bluetooth®通信機能

ActiveSyncのインストールと設定

ActiveSyncをインストールする

パソコンでActiveSync 4.5をダウンロードして、インストールします。

- 以下の操作でパソコンのMicrosoft Outlookを使用状態に設定してください。
  Outlookの「ツール」メニュー→「オプション」→「その他」タブ→「全般」の「Outlook を既定の電子メール、連絡先、予定表のプログラムにする」にチェックを付ける→「OK」をクリックする
- IS02をパソコンと接続しない状態でインストールしてください。IS02をパソコンに接続した状態でActiveSyncをインストールすると、インストールが最後まで完了しない場合があります。その場合はIS02をパソコンから取り外し、もう一度最初からやり直してください。

1 マイクロソフト社のホームページ(http://www.microsoft.com/windowsmobile/ja-jp/downloads/microsoft/default.mspx)にアクセスする

2 Windows Mobile 6「Microsoft ActiveSync 4.5(日本語版)」(ダウンロードリンク)をクリックする

3 画面の指示に従ってセットアップファイルをパソコンにダウンロードする

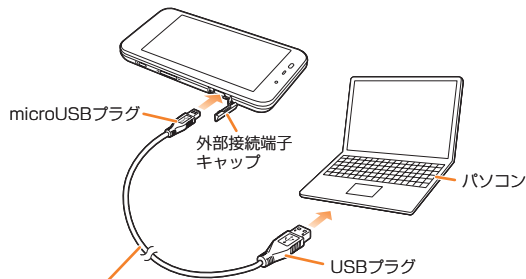
- 「ファイルのダウンロード」ダイアログボックスで「保存」をクリックし、セットアップファイルをパソコンのデスクトップに保存します。

4 デスクトップにあるセットアップファイルをダブルクリックし、画面の指示に従ってインストールする

同期を設定する

・あらかじめUSB接続の設定をActive Syncモードにしてください。

1 IS02の外部接続端子キャップを開け、付属の東芝microUSB-USB変換ケーブル01を使用して、IS02をパソコンに接続する

・東芝microUSB-USB変換ケーブル01のmicroUSBプラグは、プラグの向きを確認してIS02の外部接続端子に水平に差し込みます。
・東芝microUSB-USB変換ケーブル01のUSBプラグをパソコンのUSBコネクタに直接接続してください。USBハブやUSB延長ケーブルを介して接続すると、正しく動作しないことがあります。

同期セットアップウィザードがパソコン上に表示されます。

2 「次へ」をクリックする

・お使いのパソコンがMicrosoft Exchange Server対応のサーバに接続している場合、IS02をサーバと直接同期させるかどうか確認する画面が表示されます。直接同期させる場合は「Microsoft Exchangeを実行中のサーバーと直接同期する。…」にチェックがあることを確認し、「次へ」をクリックして画面の指示に従って設定してください。
サーバへの接続情報(サーバアドレス、ドメイン名など)については、ネットワーク管理者にお問い合わせください。
・Pocket PC名の入力画面が表示された場合は、名前を確認/変更して「次へ」をクリックしてください。

3 同期させたい項目にチェックを付けて、「次へ」をクリックする

・項目を選択して「設定」をクリックすると、同期の条件を変更できます。

4 画面の指示に従って設定する

5 「Pocket PC 同期セットアップ ウィザードの完了」が表示されたら、「完了」をクリックする

操作3でチェックを付けた項目の同期が自動的に開始されます。

自動で同期を開始する

IS02とパソコンを付属の東芝microUSB-USB変換ケーブル01で接続すると、IS02かパソコンのどちらかでデータが更新された場合、設定した同期の条件に従って、自動的に同期が行われます。

memo

◎以下の操作で同期させる項目を変更することができます。
パソコンのActiveSync画面の「ツール」メニュー→「オプション」→同期させる項目にチェックを付けて、「OK」をクリックする

手動で同期を開始する

IS02から手動で同期を開始するには、以下の操作を行ってください。

1 ▦→「ActiveSync」

- ⊞→「ActiveSync」でも操作できます。

2 「同期」をタップする

Windows Mobileデバイスセンターのインストールと設定

Windows Mobileデバイスセンターをインストールする

パソコンでWindows Mobileデバイスセンターをダウンロードして、インストールします。

- 以下の操作でパソコンのMicrosoft Outlookを使用状態に設定してください。
  Outlookの「ツール」メニュー→「オプション」→「その他」タブ→「全般」の「Outlookを既定の電子メール、連絡先、予定表のプログラムにする」にチェックを付ける→「OK」をクリックする
- IS02をパソコンと接続しない状態でインストールしてください。IS02をパソコンに接続した状態でWindows Mobileデバイスセンターをインストールすると、インストールが最後まで完了しない場合があります。その場合はIS02をパソコンから取り外し、もう一度最初からやり直してください。

1 マイクロソフト社のホームページ(http://www.microsoft.com/windowsmobile/ja-jp/downloads/microsoft/default.mspx)にアクセスする

2 Windows Mobile 6「Windows Vista & Windows 7用 Windows Mobile デバイス センター 6.1(xxビット)※(日本語版)」(ダウンロードリンク)をクリックする

※お使いのパソコンのOSにあわせて、32ビットまたは64ビットをダウンロードしてください。

3 画面の指示に従ってセットアップファイルをパソコンにダウンロードする

- 「ファイルのダウンロード」ダイアログボックスで「保存」をクリックし、セットアップファイルをパソコンのデスクトップに保存します。

4 デスクトップにあるセットアップファイルをダブルクリックし、画面の指示に従ってインストールする

同期を設定する

- あらかじめUSB接続の設定をActive Syncモードにしてください。

1 付属の東芝microUSB-USB変換ケーブル01を使用して、IS02をパソコンに接続する

- 「同期を設定する」(▶P.142)の操作1の説明とイラストを参照してください。

マイクロソフト ソフトウェア ライセンス条項の画面に続いて、Windows Mobileメンバーセンターへの登録画面が表示されます。それぞれ画面の指示に従って操作してください。

2 「デバイスのセットアップ」をクリックする

- 「デバイスをセットアップしないで接続」をクリックすると、セットアップが終了します。再度、セットアップする場合は、「Windows Mobileデバイスセンター」を起動し、「モバイルデバイスの設定」→「デバイスのセットアップ」をクリックしてください。

3 同期させたい項目にチェックを付けて、「次へ」をクリックする

- お使いのパソコンがMicrosoft Exchange Server対応のサーバに接続している場合、電子メールサーバ情報の入力画面が表示されます。サーバアドレスやアカウント情報を入力して「次へ」をクリックするか、何も入力しないで「スキップ」をクリックして、次へ進みます。

4 デバイス名を入力し、「セットアップ」をクリックする

セットアップが完了し、自動的に同期を開始します。

memo

◎操作3で「スキップ」を選択した場合、セットアップ後にWindows Mobileデバイスセンターを起動し、「モバイル デバイスの設定」→「詳細」→「Exchange Serverとのワイヤレス同期」で、サーバアドレスやアカウント情報を入力できます。

◎IS02とパソコンを接続すると自動的に同期が行われますが、Windows Mobileデバイスセンターは自動的に起動しません。同期の状況を確認したり、設定を変更するには、パソコンのWindows Mobileデバイスセンターを起動してください。

Bluetooth®通信で同期する

- Bluetooth®通信で同期を行うには、あらかじめIS02とパソコンとの間で、パートナーシップを確立してください。
- Bluetooth®機能をオンにする際、モードの設定で「このデバイスを他のデバイスからも検出できるようにする」にチェックを付けてください。また、ビーム受信の設定で「すべての着信ビームを受信する」にチェックを付けてください。

1 パソコン側の設定をする

- パソコンのActiveSyncまたはWindows Mobileデバイスセンターのヘルプを参照して、Bluetooth®通信で同期するための設定をします。
- パソコン本体とBluetooth®機器の取扱説明書もご参照ください。
- 操作2以降はIS02で操作します。

2 ▦→「設定」→「ネットワーク／接続」→「Bluetooth」→「デバイス」

- ⊞→「設定」→「Bluetooth」→「デバイス」でも設定できます。

3 接続するパソコンを選択する

4 サービスの一覧から「ActiveSync」にチェックを付けて、「保存」→⮌→⌂

5 ▦→「ActiveSync」

- ⊞→「ActiveSync」でも起動できます。

6 「メニュー」→「Bluetoothから接続」

パソコンのActiveSyncまたはWindows Mobileデバイスセンターが自動的に起動し、同期が開始されます。

memo

◎パソコンとの同期が完了したら、電池の減りを防ぐため、Bluetooth®機能をオフにしてください。

◎Bluetooth®通信でパソコンと接続すると、Windows Media Playerによるメディアファイルの同期ができません。Windows Media Playerを使って同期するには、USB接続をしてください。

アプリケーション

Word Mobileを利用する.. 146
ファイルを新規作成する.. 146
ファイルを開く／閉じる.. 146
Word Mobileのメニュー.. 147
Excel Mobileを利用する.. 148
ファイルを新規作成する.. 148
ファイルを開く／閉じる.. 149
Excel Mobileのメニュー.. 149
PowerPoint Mobileを利用する.. 151
スライドショーを見る.. 151
PowerPoint Mobileのメニュー.. 151
OneNote Mobileを利用する.. 152
ファイルを新規作成する.. 152
OneNote Mobileのメニュー.. 152
Adobe Reader LEを利用する.. 153
PDFファイルを閲覧する.. 153
Adobe Reader LEのメニュー.. 153

Word Mobileを利用する

Word Mobileは、新規でWord文書を作成したり、パソコンで作成したWordファイルを閲覧／編集したりできます。またWord Mobileで作成、編集した文書やテンプレートをdoc、dot、docx、dotx、rtf、txt形式で保存することもできます。

●閲覧／編集可能なファイル形式

閲覧	編集
doc、dot、docx、dotx、docm、dotm、rtf、txt	doc、dot、docx、dotx、docm、dotm、rtf、txt

◎Word Mobileは、変更履歴やパスワードなど、Microsoft Wordの機能を一部サポートしていません。パソコン用のMicrosoft Wordで作成した文書ファイルを保存すると、一部のデータや書式が失われる場合があります。

ファイルを新規作成する

1 →「Office Mobile」→「Word Mobile」

新規入力画面が表示されます。

- すでにファイルがある場合は、ファイル一覧が表示されますので、画面左下の「新規」をタップします。
- →「Office Mobile」→「Word Mobile」でも操作できます。

■テンプレートを変更する場合

「メニュー」→「ツール」→「オプション」をタップして、「既定のテンプレート」でテンプレートを選択し、→→「新規」をタップします。

・ファイル一覧画面では、「メニュー」→「オプション」をタップすると、テンプレートを選択することができます。

2 テキストを入力する

- 「メニュー」をタップすると、書式を設定したり、日付を挿入することができます。

3 入力が終了したら、をタップする

自動的にファイル名が付けられ、ファイルが保存されます。

- 「メニュー」→「ファイル」→「名前を付けて保存」で任意のファイル名を付けることもできます。

ファイルを開く／閉じる

ファイルを開く

1 →「Office Mobile」→「Word Mobile」

ファイル一覧が表示されます。

- 目的のファイルがない場合は、画面左上の「すべてのフォルダー▼」をタップし、フォルダーを選択します。パソコンからコピーしたファイルなど、My DocumentsやmicroSDカード内のフォルダ以外のファイルを開く場合は、エクスプローラーを使用してください。
- →「Office Mobile」→「Word Mobile」でも操作できます。

2 開きたいファイルをタップする

ファイルが開きます。

ファイルを閉じる

1 をタップする

ファイルが閉じます。

Word Mobileのメニュー

ファイル一覧のメニュー

項目	説明
名前の変更／移動	選択しているファイルのファイル名と保存場所を変更して保存します。
削除	選択しているファイルを削除します。
コピー作成	選択しているファイルのコピーを作成します。
すべて選択	一覧で表示されているファイルをすべて選択します。
電子メールで送信	選択しているファイルをメールに添付して送信します。
ファイルをビームする	選択しているファイルをBluetooth®通信で送信します。
オプション	テンプレート、保存先、ファイル一覧で表示するファイル形式を設定します。

編集画面のメニュー

項目	説明
元に戻す	1つ前の状態に戻します。
やり直し	「元に戻す」で取り消した操作を再度実行します。
切り取り	選択した文字列を切り取ります。
コピー	選択した文字列をコピーします。
貼り付け	切り取った文字列やコピーした文字列を貼り付けます。

項目		説明
編集	検索／置換	文字列を検索／置換します。
	クリア	選択した文字列を削除します。
	すべて選択	文書全体を選択します。
書式設定	フォント	文字書式を設定します。
	段落	段落書式を設定します。
ツール	スペルチェック	スペルチェックを行います。
	日付の挿入	カーソル位置に今日の日付を挿入します。
	オプション	テンプレート、保存先、ファイル一覧で表示するファイル形式を設定します。
ファイル	新規作成	新規入力画面を開きます。
	名前を付けて保存	開いているファイルの保存場所とファイル形式を指定し、別名で保存します。
	名前の変更／移動	開いているファイルのファイル名と保存場所を変更して保存します。
	前回保存したときの状態に戻す	ファイルを保存してから行った変更をすべて取り消して、保存したときの状態に戻します。
	削除	開いているファイルを削除します。
	電子メールで送信	開いているファイルをメールに添付して送信します。
	ビーム	開いているファイルをBluetooth®通信で送信します。
バージョン情報		バージョン情報を表示します。

編集画面の表示メニュー

項目	説明
ツールバー	ツールバーの表示／非表示を選択します。
ウィンドウに合わせる	水平スクロールバーの表示／非表示を切り替えます。
ズーム	表示の大きさを選択します（50%～200%）。

Excel Mobileを利用する

Excel Mobileは、新規でExcelファイルを作成したり、パソコンで作成したExcelファイルを閲覧／編集したりできます。

●閲覧／編集可能なファイル形式

閲覧	編集
xls、xlt、xlsx、xltx、xlsm、xltm	xls、xlt、xlsx、xltx

◎Excel Mobileは、数式やセルコマンドなど、Microsoft Excelの機能を一部サポートしていません。パソコン用のMicrosoft Excelで作成したファイルを保存すると、一部のデータや書式が失われる場合があります。

ファイルを新規作成する

1 ▦→「Office Mobile」→「Excel Mobile」

新規入力画面が表示されます。

- すでにファイルがある場合は、ファイル一覧が表示されますので、画面左下の「新規」をタップします。
- ⊞→「Office Mobile」→「Excel Mobile」でも操作できます。

2 セルをタップし、データを入力する

- 「メニュー」をタップすると、セル・グラフ・記号・関数の挿入や、書式の設定などを行うことができます。

3 入力が終了したら、⮌をタップする

自動的にファイル名が付けられ、ファイルが保存されます。

- 「メニュー」→「ファイル」→「名前を付けて保存」で任意のファイル名を付けることもできます。

ファイルを開く／閉じる

ファイルを開く

1 →「Office Mobile」→「Excel Mobile」

ファイル一覧が表示されます。

- 目的のファイルがない場合は、画面左上の「すべてのフォルダー▼」をタップし、フォルダーを選択します。パソコンからコピーしたファイルなど、My DocumentsやmicroSDカード内のフォルダ以外のファイルを開く場合は、エクスプローラーを使用してください。
- →「Office Mobile」→「Excel Mobile」でも操作できます。

2 開きたいファイルをタップする

ファイルが開きます。

ファイルを閉じる

1 をタップする

ファイルが閉じます。

Excel Mobileのメニュー

ファイル一覧のメニュー

項目	説明
名前の変更／移動	選択しているファイルのファイル名と保存場所を変更して保存します。
削除	選択しているファイルを削除します。
コピー作成	選択しているファイルのコピーを作成します。
すべて選択	一覧で表示されているファイルをすべて選択します。
電子メールで送信	選択しているファイルをメールに添付して送信します。
ファイルをビームする	選択しているファイルをBluetooth®通信で送信します。
オプション	テンプレート、保存先、ファイル一覧で表示するファイル形式を設定します。

シートのメニュー

項目			説明
元に戻す			1つ前の状態に戻します。
やり直し			「元に戻す」で取り消した操作を再度実行します。
切り取り			選択した文字列を切り取ります。
コピー			選択した文字列をコピーします。
貼り付け			切り取った文字列やコピーした文字列を貼り付けます。
編集	形式を選択して貼り付け		切り取ったデータやコピーしたデータを、形式を指定して貼り付けます。
	フィル		セルにデータを一括してコピーしたり、連続したデータを入力します。
	クリア	すべて	選択したセルのデータを削除します。
		書式	選択したセルの書式を削除します。
		数式と値	選択したセルの数式と値を削除します。
	セルの削除		選択したセルを削除します。
	検索／置換		文字列を検索／置換します。
	ジャンプ		指定したセルまたはアクティブセル領域を表示します。
	すべて選択		シート全体を選択します。

項目		説明
挿入	セル	セルを挿入します。
	グラフ	グラフを作成、挿入します。
	記号	記号を挿入します。
	関数	指定した関数を挿入します。
	名前の定義	セルやセル範囲、数式や定数に名前を付けます。
書式設定	セル	セルの書式を設定します。
	グラフ	選択したグラフのタイトルや表示形式を設定します。
	行	自動調整、表示しない、再表示を指定します。
	列	自動調整、表示しない、再表示を指定します。
	シートの変更	シートの表示切り替え、シート名の変更、シートの挿入／削除、位置の移動を行います。
ツール	並べ替え	並べ替えで優先させるセルを指定し、昇順／降順でセルを並べ替えます。
	オートフィルター	フィルターを使用して、必要なデータだけを抽出し、表示します。 フィルターの条件を選択する場合は、▼をタップしてキーボードの[▲PgUp]／[▼PgDn]でカーソルを合わせてリストをタップします。
ファイル	新規作成	新規入力画面を開きます。
	名前を付けて保存	開いているファイルの保存場所とファイル形式を指定し、別名で保存します。
	名前の変更／移動	開いているファイルのファイル名と保存場所を変更して保存します。
	前回保存したときの状態に戻す	ファイルを保存してから行った変更をすべて取り消して、保存したときの状態に戻します。
	削除	開いているファイルを削除します。
	電子メールで送信	開いているファイルをメールに添付して送信します。
	ビーム	開いているファイルをBluetooth®通信で送信します。
バージョン情報		バージョン情報を表示します。

シートの表示メニュー

項目		説明
全画面表示		行列番号やスクロールバーを非表示にして、表示領域を大きくします。
ズーム		表示の大きさを選択します（50%～150%、および任意）。
シート		シートの表示を切り替えます。
分割（分割の解除）		ウィンドウを分割して表示します。
ウィンドウ枠の固定（ウィンドウ枠固定の解除）		列や行を固定し、表の見出しや項目名がスクロールしても常時見えるようにします（または、設定を解除する）。
ツールバー		ツールバーの表示／非表示を選択します。
ステータスバー		ステータスバーの表示／非表示を切り替えます。
表示	行列番号	行番号と列番号の表示／非表示を切り替えます。
	水平スクロールバー	水平スクロールバーの表示／非表示を切り替えます。
	垂直スクロールバー	垂直スクロールバーの表示／非表示を切り替えます。

PowerPoint Mobileを利用する

PowerPoint Mobileは、パソコン用のMicrosoft PowerPointで作成したファイルを閲覧することができます。

●閲覧／編集可能なファイル形式

閲覧	編集
ppt、pps、pptx、ppsx、pptm、ppsm	－

スライドショーを見る

1 **→「Office Mobile」→「PowerPoint Mobile」**

フォルダーやファイルの一覧が表示されます。

- 目的のファイルがない場合は、画面左上の「すべてのフォルダー▼」をタップし、フォルダーを選択します。パソコンからコピーしたファイルなど、My DocumentsやmicroSDカード内のフォルダ以外のファイルを開く場合は、エクスプローラーを使用してください。
- →「Office Mobile」→「PowerPoint Mobile」でも操作できます。

2 **PowerPointのファイルをタップする**

スライドショーが表示されます。

3 **表示されたスライドをタップする**

次のスライドが表示されます。

4 **画面を1秒以上タップし、「スライド ショーの終了」をタップする**

ファイルが閉じます。

PowerPoint Mobileのメニュー

ファイル一覧のメニュー

項目	説明
スライドショーの設定	スライドの表示方向や、再生方法を設定します。
名前の変更／移動	選択しているファイルのファイル名と保存場所を変更して保存します。
削除	選択しているファイルを削除します。
コピー作成	選択しているファイルのコピーを作成します。
すべて選択	一覧で表示されているファイルをすべて選択します。
電子メールで送信	選択しているファイルをメールに添付して送信します。
ファイルをビームする	選択しているファイルをBluetooth®通信で送信します。

スライドショーのメニュー

スライドショーのメニューは、画面を1秒以上タップすると表示されます。

項目	説明
次へ	次のスライドを表示します。
前へ	前のスライドを表示します。
スライドへジャンプ	選択したスライドを表示します。
目的別スライドショー	パソコンで作成した目的別スライドショーの一覧を表示します。
拡大	表示しているスライドを拡大して表示します。

項目	説明
縮小	拡大表示しているスライドを縮小して表示します。
スライドショーの設定	スライドの表示方向や、再生方法を設定します。
リンクの表示	リンク先にジャンプします。
名前を付けて保存	開いているファイルを別名で保存します。
スライドショーの終了	スライドショーを終了します。
バージョン情報	バージョン情報を表示します。

OneNote Mobileを利用する

OneNote Mobileは、簡単なメモを作成することができます。画像や音声を含んだメモを作成することもできます。

ファイルを新規作成する

1 →「Office Mobile」→「OneNote Mobile」

- →「Office Mobile」→「OneNote Mobile」でも操作できます。

2 「新規作成」をタップする

作成画面が表示されます。

3 データを入力する

- 「メニュー」をタップすると、書式の設定、画像の撮影、画像やサウンドの挿入などができます。
- 挿入した画像やサウンドは文字入力パッドのまたは←BSで削除できます。

4 入力が終了したら、をタップする

自動的にファイル名が付けられ、ファイルが保存されます。

- 画面左下の「完了」をタップしてもファイルを保存できます。

OneNote Mobileのメニュー

ファイル一覧のメニュー

項目	説明
削除	選択しているファイルを削除します。
名前の変更	選択しているファイル名を変更します。
オプション	名前順または更新日順に並べ替えます。
バージョン情報	バージョン情報を表示します。

編集画面のメニュー

項目		説明
元に戻す		1つ前の状態に戻します。
やり直し		「元に戻す」で取り消した操作を再度実行します。
切り取り		選択した文字列を切り取ります。
コピー		選択した文字列をコピーします。
貼り付け		切り取った文字列やコピーした文字列を貼り付けます。
書式	太字※	太字にします。
	斜体	斜体にします。
	下線	アンダーラインを付けます。
	取り消し線	取り消し線を付けます。
	すべてクリア	書式をクリアします。
リスト	段落番号	段落番号を自動的に付けます。
	箇条書き	箇条書きになります。
	クリア	リストの形式をクリアします。
画像撮影		カメラが起動し、画像を撮影します。
画像の挿入		画像を挿入します。
サウンドの挿入		音声を録音し挿入します。

※半角英数字／半角記号でのみご利用できます。

Adobe Reader LEを利用する

Adobe Reader LEは、パソコン上で作成したPDFファイル（pdfファイル形式のみ）を閲覧することができます。

PDFファイルを閲覧する

1 ⊞→「**Adobe Reader LE**」

マイデバイス内のフォルダーとファイルが一覧表示されます。

- すでにファイルを開いたことがある場合は、最近開いたファイルの一覧が表示されます。
- ⊞→「Adobe Reader LE」でも操作できます。

■最近開いたファイルの一覧に目的のファイルがない場合

右下にある「参照」をタップします。マイデバイス内のフォルダーとファイルが一覧表示されるので、目的のファイルをタップします。

2 **閲覧するPDFファイルをタップする**

ファイルが開きます。

3 **「メニュー」→「終了」**

ファイルを閉じて、Adobe Reader LEを終了します。

Adobe Reader LEのメニュー

閲覧画面のメニュー

項目	説明
開く	別のPDFファイルを開きます。
Adobe Readerについて	Adobe Reader LEの著作権情報とバージョン情報を表示します。
終了	ファイルを閉じて、Adobe Reader LEを終了します。

閲覧画面のツールメニュー

項目	説明
ズーム	表示の拡大／縮小方法を設定します。
移動	指定したページを表示します。

便利な機能

電卓を使う......156
ゲームで遊ぶ......156
電子辞典を利用する......157
電子書籍を表示する......157
GPSを利用する......158
Windows Marketplace for Mobileを利用する......160
拡大鏡機能を利用する......160
指定時刻にアラームを鳴らす......161
効果音を設定する......161
通知を音で知らせる......161
省電力の設定を行う......162
タッチキーのバックライトを設定する......163
画面表示を変更する......163
Windows Mobileのホーム画面に切り替える......164

電卓を使う

電卓を利用して、四則演算（＋、－、×、÷）やパーセント計算などができます。

1 ▦→「電卓」

- ▣→「電卓」でも操作できます。

M	入力値をメモリに保存します。
◀	入力した数字を右から1桁ずつ消去します。
C	現在の計算を中止し、表示されている数字を消去します。
MC	メモリに保存された数値を消去します。
MR	メモリに保存された数値を表示します。
M＋	入力値をメモリの数値に加算します。
1／x	逆数計算をします。
%	パーセント計算をします。
√	平方根計算をします。
＋／－	入力した数字の＋／－を切り替えます。

memo

◎電卓画面で「編集」→「コピー」をタップすると、入力値をコピーできます。また、「編集」→「貼り付け」をタップすると、電卓や他のアプリケーションでコピーした数値を入力できます。

ゲームで遊ぶ

あらかじめソリティアがインストールされています。

ソリティア

裏向きに積み重ねられたトランプの山からカードをめくり、同じ種類のカードをAからKまで並べていくゲームです。

1 ▦→「ゲーム」→「ソリティア」

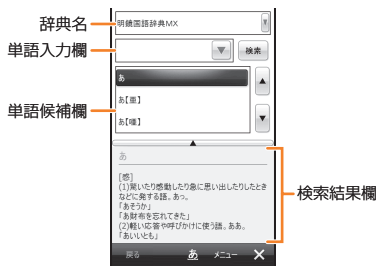
- ▣→「ゲーム」→「ソリティア」でも起動できます。

◎「メニュー」→「オプション」をタップして、ゲームのルールやカードの模様を変更できます。

電子辞典を利用する

辞典には、明鏡国語辞典MX／ジーニアス英和辞典MX／ジーニアス和英辞典MX の3種類があります。

1 →「電子辞典」

- →「電子辞典」でも起動できます。

2 辞典名の右にある ▼ をタップして、辞典を選択する

- 「メニュー」→「辞典」をタップして切り替えることもできます。

3 単語入力欄に調べたい文字を入力し、「検索」をタップする

入力した文字から予想される単語が、単語候補欄に表示されます。

- 単語候補欄から単語を選択することもできます。

memo

◎単語候補欄と検索結果欄の間にある ▲ をタップすると、検索結果欄が全画面表示されます。「<<」／「>>」をタップすると、前候補／次候補の検索結果が表示されます。

◎電子辞典の使いかたについては、「メニュー」→「ヘルプ」→「電子辞典のヘルプ」を参照してください。

電子書籍を表示する

eBookJapanで販売している電子書籍をダウンロード購入して読むことができます。購入した電子書籍はトランクルーム（Web上の書庫）に保存されます。

1 で「eBookJapan」

インターネットに接続し、前回閲覧した書籍が表示されます。

- 初回起動時はソフトウェア使用許諾契約書を読み、「同意する」→書籍を保存する場所を選択→「OK」→「ok」をタップし、操作 3 に進みます。
- →「eBookJapan」でも起動できます。

2 画面下部をタップし、「メニュー」→「My書庫」

3 読みたい書籍を選択し、表紙画像をタップする

4 画面をタップまたはスライドしてページを進める

- 画面を1秒以上タップすると、「しおり」、「回転表示機能」、「横画面表示」、「移動」の操作ができます。

5 読み終わったら画面下部をタップし、「メニュー」→「終了」→「OK」

memo

◎書籍をダウンロード購入するには、eBookJapanの会員登録を行う必要があります。

◎詳しい操作説明や会員登録については、あらかじめインストールされている「ユーザーガイド」を参照するか、以下のホームページをご覧ください。
http://www.ebookjapan.jp/ebj/reader/windowsmobile/

GPSを利用する

IS02では、GPS機能を利用できます。GPS機能に対応したソフトウェアを使用すると、現在地の確認や目的地までのルート検索などを行うことができます。

- Internal GPS（▶P.159）を利用すると、GPS測位をよりすばやく行うことができます。

GPSの利用にあたって

- GPSシステムのご利用には十分ご注意ください。システムの不具合などにより損害が生じた場合、当社では一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- IS02の故障、誤動作、不具合、あるいは停電などの外部要因（電池切れを含む）によって、測位（通信）結果の確認などの機会を逸したために生じた損害などの純粋経済損害につきましては、当社は一切その責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- IS02は、航空機、車両、人などの航法装置として使用できません。そのため、位置情報を利用して航法を行うことによる損害が発生しても、当社は一切その責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 高精度の測量用GPSとしては使用できません。そのため、位置の誤差による損害が発生しても、当社は一切その責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- GPSは米国国防総省により運営されておりますので、米国の国防上の都合により、GPSの電波の状態がコントロール（精度の劣化、電波の停止など）されることがあります。
- ワイヤレス通信製品（携帯電話やデータ検出機など）は、衛星信号を妨害するおそれがあり、信号受信が不安定になることがあります。
- 各国・地域の法制度などにより、取得した位置情報（緯度経度情報）に基づく地図上の表示が正確ではない場合があります。

■受信しにくい場所

GPSは人工衛星からの電波を利用しているため、以下の条件では、電波を受信できない、または受信しにくい状況が発生しますのでご注意ください。また、GPSアンテナのある外部接続端子付近を手で覆わないようにしてお使いください。

- 建物の中や直下
- かばんや箱の中
- 密集した樹木の中や下
- 自動車、電車などの室内
- IS02の周囲に障害物（人や物）がある場合
- 地下やトンネル、地中、水中
- ビル街や住宅密集地
- 高圧線の近く
- 大雨、雪などの悪天候

いつもNAVIを利用する

いつもNAVIは、今いる場所を確認し、周辺情報を検索することができます。

1 東芝ホーム画面で「いつもNAVI（地図）」

地図画面が表示されます。

- 初回起動時は、「利用規約を読む（必読）（ブラウザ起動）」をタップするか、「利用規約に同意の上利用」をタップします。
- ⊞→「いつもNAVI（地図）」でも起動できます。

◎ナビゲーション・乗換案内・時刻表・交通渋滞情報・連絡先との連携については、有料版のダウンロードを行ってください。なお、ダウンロードには別途パケット通信料がかかります。

◎「地図操作」をタップすると、地図の拡大／縮小や回転、現在地の連続測位などを行うことができます。

◎いつもNAVIの詳細については、「メニュー」→「ヘルプ／アプリ終了」→「ヘルプ」を参照してください。

◎いつもNAVIの詳細につきましては、ゼンリンまでお問い合わせください。
http://www.zmap.net/wm/contactus.html

GPS測位補助情報を取得する

GPS測位補助情報をインターネットから取得すれば、いつもNAVI以外のGPS機能に対応したソフトウェアを使用した場合でも測位時間を短縮することができます。

1 **→「設定」→「システム」→「Internal GPS」**

Internal GPS設定画面が表示されます。

2 **「Download」→「OK」→「ok」→**

- GPSデータの取得を自動で更新する場合は、「自動でGPSデータをアップデートする」にチェックを付け、「アップデート間隔」で日にちを選択します。

外付けGPSモジュールを使用する

IS02は、市販の外付けGPSモジュールに対応しています。外付けGPSモジュールを使用する場合は、以下の設定をしてください。

1 **→「設定」→「システム」→「外付け GPS」**

GPS設定画面が表示されます。

2 **「プログラム」→「GPS プログラム ポート」で、プログラムが使用するポートを選択する**

- GPS接続にCOMポートまたはGPDポートを使用するすべてのプログラムが、このポートと通信するよう設定する必要があります。なお、いつもNAVIはこの設定は不要です。
- 詳細については、プログラムのマニュアルをご参照ください。

3 **「ハードウェア」→「GPS ハードウェア ポート」で、GPSモジュールを接続するハードウェアポートを選択し、「ボー レート」で通信速度を選択する**

- 詳細については、GPSモジュールの製造元のマニュアルをご参照ください。

4 **「アクセス」画面で、「GPS を自動的に管理する(推奨)」にチェックを付ける**

- 「GPS を自動的に管理する(推奨)」を実行することをおすすめします(お買い上げ時は有効に設定されています)。Windows Mobileは、GPSデバイスへのアクセスを管理し、複数のプログラムが同時にGPSデータを取得できるようにします。

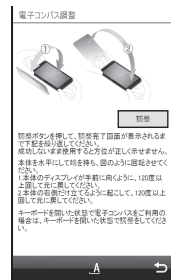
5 **をタップする**

電子コンパスを調整する

電子コンパスが正しい方位を示すように調整を行います。

- IS02を開いた状態で電子コンパスを使用する場合は、開いた状態で調整してください。

1 **→「設定」→「システム」→「電子コンパス調整」**

電子コンパス調整画面が表示されます。

2 **「調整」をタップする**

3 **画面に従って図①、②の動作を繰り返す**

4 **調整の完了を通知する画面が表示されたら、「ok」をタップする**

- 調整が完了するまで最大30秒間かかります。

Windows Marketplace for Mobileを利用する

Windows® Marketplace for Mobileは、Windows Phone向けのアプリケーション配信サービスです。
Marketplaceを使えば、ゲームからビジネス、便利なツール、地図ソフト、さまざまなカテゴリのアプリケーションを、どこにいてもダウンロード·インストールすることができます。

1 →「Marketplace」

サービスのインストールを確認するメッセージが表示されます。

- →「Marketplace」でも起動できます。

2 「はい」をタップし、Marketplaceをインストールする

規約とプライバシーに関する声明へのリンクが表示されます。

3 「承諾」をタップする

Marketplace画面が表示されます。

4 「メニュー」→「サインイン」

5 ご利用のWindows Live IDとパスワードを入力し、「サインイン」をタップする

- Windows Live IDを取得していない場合は、「Windows Live IDの作成(オンライン)」をタップし、画面の指示に従ってWindows Live IDを取得してください。

■サインアウトする場合

「メニュー」→「サインアウト」をタップします。

6 検索欄をタップし、閲覧したいアプリケーションのキーワードを入力する

- 人気のアプリケーション順、アプリケーションの更新情報、カテゴリ別に閲覧することもできます。

7 をタップする

該当するアプリケーションが表示されます。

8 内容を確認したいアプリケーションをタップする

9 「インストール」をタップする

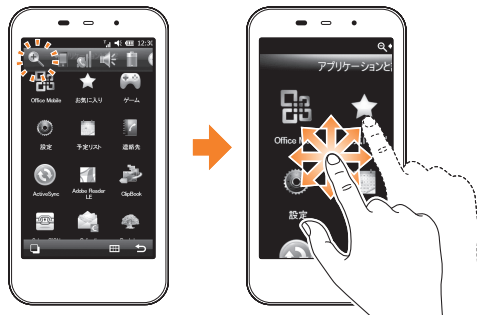
アプリケーションがIS02にインストールされます。

- 有料のアプリケーションで支払い方法を設定していない場合は、画面の指示に従って設定してください。

memo

◎Marketplace画面で「アプリケーション」をタップすると、購入済みのアプリケーションを確認したり、削除したりできます。
◎Windows Marketplace for Mobileについて詳しくは、「Windows Mobileの製品情報について」(▶P.234)を参照してください。

拡大鏡機能を利用する

拡大鏡機能を利用すると、画面全体を拡大して見ることができます。画面の文字が見づらかったり、アイコンがタップしづらかったりしたときに便利です。

1 タイトルバーをタップする

タイトルバーに🔍のアイコンが表示されます。

2 🔍をタップする

画面全体が大きく表示されます。

3 画面を指でなぞり、見たい画面へ移動する

拡大した画面を解除する場合は、画面右上の🔍をタップします。

指定時刻にアラームを鳴らす

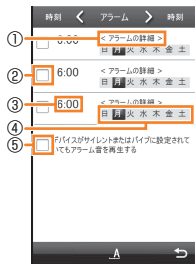
お買い上げ時	オフ

曜日ごとに時刻を指定してアラームを鳴らすことができます。

• ⊠をタップするとアラームが止まります。

1 ▦→「アラーム」→「アラーム」

アラーム画面が表示されます。

• ⊞→「アラーム」→「アラーム」でも設定できます。

① アラーム名称
② アラームの有効／無効の設定
③ アラームを鳴らす時刻
④ アラームを鳴らす曜日
⑤ スピーカー音量が「バイブ」または「オフ」のときのアラーム音再生の有効／無効の設定

2 設定したいアラーム表示欄をタップし、アラーム時刻などを設定する

3 ⮌をタップする

memo

◎スピーカー音量を「レベル0」にしているときは、指定した時刻になってもアラーム音は鳴りません。スピーカー音量を調節してください（▶P.75）。

◎スピーカー音量が「レベル0」でも、「デバイスがサイレントまたはバイブに設定されていてもアラーム音を再生する」にチェックを付けるとアラーム音が鳴ります（マナーモード設定中は除く）。

効果音を設定する

お買い上げ時	各種イベント（警告、システムイベントなど）：オン プログラム：オン 通知（アラーム、予定など）：オン 画面をタップしたとき：オフ（大） ボタンを押したとき：オフ（大）

アラーム通知やIS02を操作するときの効果音の有効／無効を設定します。

1 ▦→「設定」→「音／マナーモード」→「音と通知」→「サウンド」

サウンド設定画面が表示されます。

• ⊞→「設定」→「音と通知」→「サウンド」でも設定できます。

2 アラーム通知や効果音を設定し、⮌をタップする

通知を音で知らせる

電話の着信音やメールの受信音などの各種イベント発生時の通知音を設定します。音のほかにメッセージの表示やお知らせLEDの点滅、バイブの設定などを行うこともできます。

• 音量の調節のしかたについては、「着信音量やスピーカー音量を調節する」（▶P.75）を参照してください。

• 対象イベントは以下のとおりです。

電話：着信通知／ActiveSync：同期開始／ActiveSync：同期終了／IM：シェイク※／IM：新しいインスタントメッセージ※／アラーム／

ビーム:自動受信／メール:新着Cメールメッセージ／メール:新着電子メールメッセージ／ワイヤレスネットワークの検出／接続の確立／接続の終了

※Messenger初回起動後に追加されるイベントです。

1 →「設定」→「音／マナーモード」→「音と通知」→「通知」

通知設定画面が表示されます。

- →「設定」→「音と通知」→「通知」でも設定できます。

2 「イベント」欄で設定したいイベントを選択する

3 必要な項目を設定し、をタップする

省電力の設定を行う

お買い上げ時	エコモード設定 エコモードを有効にする:オン(30) バックライト バックライトを消すまでのアイドル時間:オン(10秒) ボタンを押したとき又は画面をタップしたときにバックライトをつける:オン 明るさ自動:オン(明るさ指定:レベル5) スリープモード 指定時間無操作で電源OFF:オン(1分) Wi-Fi設定:省電力優先 サスペンドしない:オフ WOW有効(通知によりサスペンド解除):オフ CPU速度:高 バッテリが少ない時にパフォーマンスを下げる:オフ

電池を節約する設定をします。

1 →「設定」→「バックライト／省電力」→「明るさ・省電力設定」

- →「設定」→「明るさ・省電力設定」でも設定できます。

2 必要な項目を確認／設定し、をタップする

エコモード設定	設定した電池残量(%)以下になると、「明るさ・省電力設定」で設定した内容に関係なく、電池の消費を抑える設定(バックライトを消すまでのアイドル時間を10秒、スリープモードをオン、Wi-Fi設定を省電力優先、CPU速度を低など)に切り替わります。
バックライト	バッテリ使用時のバックライトの明るさや、バックライトを消すまでの時間などを設定します。 • 外部電源使用時のバックライトの設定は、→「設定」→「システム」→「バックライト」→「外部電源」で行います。
スリープモード	バッテリ使用時にスリープモードになるまでの時間を設定します。 • 外部電源使用時のスリープモードの設定は、→「設定」→「パワー マネージメント」→「詳細設定」で行います。
Wi-Fi設定	無線LAN機能の省電力に関する設定を変更します。 ▶P.175「無線LAN機能の省電力設定」
CPU速度	CPUの処理速度を選択します。

memo

◎エコモード設定をオンにして設定した電池残量以下になると、エコモードに切り替えたことを知らせるメッセージが表示されます。「はい」をタップしてエコモード設定を変更できます。

◎スリープモードによってディスプレイの表示が消えたときは、を押すとディスプレイを再表示します。

◎「バックライト」で設定した内容は、→「設定」→「システム」→「バックライト」→「バッテリ」に反映されます。

◎「スリープモード」で設定した内容は、→「設定」→「パワー マネージメント」→「詳細設定」の「バッテリ使用時」に反映されます。

◎「Wi-Fi設定」で設定した内容は、→「設定」→「パワー マネージメント」→「Wi-Fi」に反映されます。

タッチキーのバックライトを設定する

お買い上げ時	On

／／のバックライトを設定します。

1 **→「設定」→「個人」→「タッチキーバックライト設定」**

2 **「On」／「Off」→**

画面表示を変更する

東芝ホーム画面の設定を変更する

お買い上げ時	システム 　画面長押し時のフィードバック:オン 　画面長押しでのレイアウト編集:オン ホーム画面 　ホーム画面のページ数:3ページ 　"連絡先" ボタンで:直前に利用したもの アニメーション 　アニメーション トランジション:はい 　ジェスチャでのタブアニメーション:スライド

東芝ホーム画面で1秒以上タップしたときの動作や、項目のタップ、画面のスライド時のアニメーション効果を変更したりできます。

1 **→「設定」→「東芝ホーム設定」**

2 **「システム」／「ホーム画面」／「アニメーション」／「バージョン情報」をタップして、必要な項目を確認／設定し、をタップする**

システム	画面長押し時のフィードバック	東芝ホーム画面でアイテムを1秒以上タップしたときに短く振動させるかどうかを設定します。 ※「画面長押しでのレイアウト編集」がオンのときに有効です。
	画面長押しでのレイアウト編集	オンにすると、東芝ホーム画面の空きスペースを1秒以上タップしてレイアウト編集画面を呼び出せます。
ホーム画面	ホーム画面のページ数	東芝ホーム画面のページ数を変更します。
	"連絡先" ボタンで	をタップしたときに最初に表示される連絡先画面を選択します。
アニメーション	アニメーション トランジション	東芝ホーム画面内の項目をタップしたときのアニメーション効果を選択します。
	ジェスチャでのタブアニメーション	連絡先や天気などメニューバーにタブがある場合、左右にスライドさせたときのアニメーション効果を選択します。
バージョン情報		Spb Mobile Shellのバージョン情報を表示します。

画面デザインをカスタマイズする

お買い上げ時	テーマ:IS02_Sky この画像を背景に使用する:オフ

スタートメニューとWindows Mobileのホーム画面の背景イメージや、カーソルなどの配色を、テーマごとに変更できます。

1 **→「設定」→「画面設定」→「ホーム」→「デザイン」**

- →「設定」→「ホーム」→「デザイン」でも設定できます。

2 **「デバイスのテーマを選択」の一覧からテーマを選択する**

- 背景イメージをテーマ以外の画像にしたいときは、「この画像を背景に使用する」にチェックを付けてから「参照」をタップして、画像ファイルを指定します。

3 **をタップする**

◎テーマによっては、画面右下のがに変わる場合があります。その場合は、本書のをに読み替えて操作してください。

画面を調整する

1 →「設定」→「画面設定」→「画面」

- →「設定」→「システム」→「画面」でも設定できます。

2 必要な項目を設定し、をタップする

「全般」画面	画面の向きを縦／横から選択します。 ・を1秒以上押したりIS02を縦／横に持ちかえて、縦／横画面を切り替えることもできます（▶P.53）。
「ClearType」画面	チェックを付けると、画面の文字の縁を滑らかにします。
「文字サイズ」画面	スライダーを左右にスライドして、文字の大きさを調整します。

地域設定を変更する

お買い上げ時	日本語（日本）

地域設定を変更すると、IS02で表示する数値、通貨、時刻、日付が、選択した地域の表示に変更されます。

1 →「設定」→「時計設定」→「地域」

- →「設定」→「システム」→「地域」でも設定できます。

2 「地域」画面で、リストの中から地域を選択する

自動的にほかの画面の設定も変更されます。詳細設定を行う場合は、該当画面をタップして変更してください。

3 をタップする

memo

◎地域設定を変更しても、IS02のオペレーティングシステムの言語は変更されません。
◎設定を変更すると、再起動を促すメッセージが表示されますので、電源を一度切ってから、再度電源を入れてください。

Windows Mobileのホーム画面に切り替える

東芝ホーム画面をWindows Mobileのホーム画面に切り替えます。

1 →「設定」→ →「Windows Mobileへ」

2 →「設定」→「ホーム」→「アイテム」→「Windows標準」

- Windows Mobileのホーム画面に、Windows Mobileの標準画面が表示されます。

3 をタップする

memo

◎Windows Mobileのホーム画面を東芝ホーム画面に戻す場合は、→「設定」→「東芝ホーム画面への切替」をタップします。

Windows Mobileのホーム画面をカスタマイズする

Windows Mobileのホーム画面に、好みの機能を箇条書きのように表示させることができます。

1 →「設定」→「画面設定」→「ホーム」→「アイテム」

- →「設定」→「ホーム」→「アイテム」でも設定できます。

2 Windows Mobileのホーム画面に表示したい項目にチェックを付ける

- 「Windows標準」以外の項目にチェックを付けると、「Windows標準」のチェックが外れ、「Windows標準」にチェックを付けると、「Windows標準」以外の項目のチェックが外れます。

■項目を並べ替える場合
「日付」以外の項目を選択し、「上へ移動」／「下へ移動」をタップします。

3 をタップする

端末管理

プログラムをインストールする..166
メモリの使用量を確認する..166
ボタンの操作を変更する..167
バージョン情報や端末情報を確認する..168
カスタマーフィードバックについて..168
エラー報告について..168
IS02をリセット(再起動)する..169
登録データを一括して削除する..169
ソフトウェアを更新する..170

プログラムをインストールする

パソコンでインターネットに接続してダウンロードしたプログラムを、ActiveSyncを使ってIS02にインストールすることができます。また、Marketplaceからプログラムをインストールすることもできます。詳しくはP.160を参照してください。

詳しいインストール方法については、各プログラムの提供者の説明に従ってください。

- プログラムのインストールは、安全であることを確認のうえ、自己責任において実施してください。ウイルスへの感染やデータの破壊などが起きる可能性があります。
- 万が一、お客様がインストールを行ったプログラムなどにより動作不良が生じた場合、当社では責任を負いかねます。この場合、保証期間内であっても有償修理となります。
- お客様がインストールを行ったプログラムなどによりお客様ご自身または第三者への不利益が生じた場合、当社では責任を負いかねます。
- プログラムによってはインターネットに接続し、自動で通信を行うものがあります。パケット通信料金が高額になる場合がありますのでご注意ください。

memo

◎マスタークリア(▶P.169)を行うと、お買い上げ後にインストールしたプログラムはIS02から削除されます。必要なプログラムは、microSDカードなどに保存されることをおすすめします。

プログラムを削除する

1 →「設定」→「一般設定」→「プログラムの削除」

- →「設定」→「システム」→「プログラムの削除」でも操作できます。

2 削除したいプログラムを選択→「削除」→「はい」

メモリの使用量を確認する

IS02およびIS02に取り付けた外部メディア(microSDカードやUSBメモリ機器)のメモリ使用状況を確認できます。

IS02のメモリ空き容量を確認する

IS02のデータ記憶用メモリとプログラム実行用メモリの使用状況を確認できます。

- IS02の動作が遅くなったり、プログラムの動作が不安定になったりした場合は、実行中のプログラムを終了するなどしてプログラム実行用メモリの空き容量を確保してください。
- データ記憶用メモリの空き容量が極度に低下すると、連絡先などへの登録や、ファイルやフォルダーの操作ができなくなることがあります。不要なファイルを削除してください。

1 →「設定」→「一般設定」→「メモリ」→「メイン」

- →「設定」→「システム」→「メモリ」→「メイン」でも操作できます。

◎メモリ画面下部に表示されている「サイズの大きいファイルを検索できます。」の「検索」をタップして、64KBより大きいファイルを検索できます。

外部メディアのメモリ空き容量を確認する

microSDカードやUSBメモリ機器など、IS02に取り付けた外部メディアのメモリ使用状況を確認できます。

1 →「設定」→「一般設定」→「メモリ」→「メモリ カード」
   - →「設定」→「システム」→「メモリ」→「メモリ カード」でも操作できます。

2 ▼ をタップして、「Storage Card」または「ハード ディスク」をタップする
   - microSDカードのメモリ使用状況を確認するには、「Storage Card」を選択します。USBメモリ機器のメモリ使用状況を確認するには、「ハード ディスク」を選択します。

メモリの空き容量を増やす

以下の方法で利用可能なメモリの空き容量を増やすことができます。
- 現在使用していないプログラムを終了する（▶P.51、▶P.58）
- Internet Explorer Mobileの一時ファイルや履歴を削除する（▶P.109）
- 不要なファイルを削除する（▶P.130）
- 使用していないプログラムを削除する（▶P.166）

ボタンの操作を変更する

ボタンの割り当てを変更する

お買い上げ時	サーチ：Windows Live タスク：タスク マネージャー

［マナー］を押したときや、［Fn］を押してから［BS タスク］を押したときに起動するプログラムの割り当てを変更できます。

1 →「設定」→「個人」→「ボタン」→「プログラム ボタン」

2 「ボタンの選択」で割り当てを変更するボタンをタップする

3 「プログラムの割り当て」の ▼ をタップして割り当てるプログラムを選択する

4 をタップする

上／下カーソルキーの操作を調整する

［▲PgUp］／［▼PgDn］を長く押したときの移動開始時間や移動速度を調整できます。

1 →「設定」→「個人」→「ボタン」→「上／下コントロール」

2 「移動開始までの待ち時間」／「移動速度」のスライダーを左右にスライドして、待ち時間／速度を調整する

3 をタップする

バージョン情報や端末情報を確認する

IS02のオペレーティングシステムのバージョンやソフトウェアのバージョン、デバイス名、無線LAN用のMACアドレスなどを確認できます。

1 **→「設定」→「一般設定」→「バージョン情報」**

- →「設定」→「システム」→「バージョン情報」でも確認できます。

2 **必要な項目を確認／入力し、 をタップする**

「バージョン」画面	オペレーティングシステム（Windows Mobile® 6.5 Professional）のバージョンなどを確認できます。
「デバイスID」画面	パソコンとの同期やBluetooth®通信で使用されるデバイス名を変更したり説明を入力することができます。
「著作権」画面	この製品の著作権について確認できます。
「バージョン情報」画面	会社名やソフトウェアのバージョン、無線LANへの接続に必要なMACアドレス、PRL（ローミングエリア情報）のバージョンなどを確認できます。

カスタマーフィードバックについて

ソフトウェアの改善に役立てるため、マイクロソフト社にソフトウェア使用状況に関する匿名情報を送信するかどうかを設定します。

1 **→「設定」→「システム」→「カスタマー フィードバック」**

2 **「フィードバックを送信する（推奨）」または「フィードバックを送信しない」をタップする**

3 **をタップする**

memo

◎フィードバック情報は、ActiveSyncまたはWindows Mobileデバイスセンターでパソコンと同期中または無線LAN接続中に送信されるため、パケット通信料は発生しません。

エラー報告について

エラー報告を有効にすると、プログラムエラーが発生したとき、マイクロソフト社のテクニカルサポートセンターに匿名でエラー情報を送信することができます。

1 **→「設定」→「システム」→「エラー報告」**

2 **「エラー報告を有効にする（推奨）」または「エラー報告を無効にする」をタップする**

3 **をタップする**

memo

◎エラー報告は、ActiveSyncまたはWindows Mobileデバイスセンターでパソコンと同期中または無線LAN接続中に送信されるため、パケット通信料は発生しません。

IS02をリセット(再起動)する

データが正常に表示されなかったり、タップやキー操作が正しく働かない場合は、リセット操作を試してみてください。リセットを行うと編集中のデータは失われますが、保存したデータは失われません。

1 ⏻を押したままにする

電源OFF確認画面が表示されますが、そのまま⏻を押し続けます(10秒以上)。
IS02の電源が切れて少したつと、IS02が1回振動し、お知らせLEDが緑色に点灯します。お知らせLEDの点灯を確認したら、⏻から指を離してください。
IS02が再起動します。

memo

◎電子メール受信後、数分以内にIS02をリセットすると、受信したメールがIS02に保存されないことがあります。その場合は、再度メールを受信してください(▶P.96)。
◎プログラムのインストールや設定変更の直後にIS02をリセットすると、プログラムがインストールされないことや設定変更されないことがあります。その場合は、再度プログラムのインストールや設定変更を行ってください。

登録データを一括して削除する

IS02をお買い上げ時の状態に戻します(マスタークリア)。

- この操作を行うと、ご購入後にIS02にお客様がインストールしたプログラムや登録したデータはすべて削除され、設定はお買い上げ時の状態に戻りますので、メモを取ったりデータをバックアップすることをおすすめします。
- この操作を行うと、microSDカードに保存されている暗号化(▶P.133)されたファイルは一切読み出すことができなくなります。この操作を行う前に、ActiveSyncまたはWindows Mobileデバイスセンターを利用して、暗号化されたファイルをパソコンにコピーすると、暗号化が解除されてコピーされます。

■マスタークリアで削除されるデータ

- メールに保存されているメッセージ
- メールアカウントの設定
- 連絡先、仕事、予定表、メモの登録内容
- お客様がIS02で撮影し保存した静止画や動画
- お客様がコピー/ダウンロードして保存したファイル
- お客様がインストールしたプログラム
- パソコンとの同期設定
- その他、お買い上げ以降に登録・変更されたすべてのデータおよび設定内容

1 ▦→「設定」→「一般設定」→「マスタークリア」

- ⊞→「設定」→「システム」→「マスタークリア」でも操作できます。

2 コード入力欄に「1234」を入力し、「リセット」をタップする

マスタークリアが完了して少したつと、IS02が再起動します。

ソフトウェアを更新する

ソフトウェア更新について

インターネット上のダウンロードサイトからIS02の修正用ファイルをダウンロードし、ソフトウェアの更新を行います。インターネットを利用したソフトウェア更新には、ActiveSyncなどを使ってパソコン経由でダウンロードしたファイルをIS02に取り込んで行う方法とIS02だけで行う方法があります。

- ソフトウェア更新は、IS02に登録された連絡先、カメラ画像、ダウンロードデータなどのデータを残したまま行えますが、お客様のIS02の状態によってはデータの保護ができない場合がありますので、あらかじめご了承ください。必要なデータはバックアップを取っていただくことをおすすめします。ただし、ダウンロードデータなどバックアップが取れない場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- ソフトウェア更新中は電池パックを外さないでください。更新に失敗し、操作できなくなることがあります。
- ソフトウェア更新は、電池残量が十分にある状態(タイトルバーにが表示されている状態)で実行してください。
- 以下の場合はソフトウェア更新を実行できません。
  - 電池残量が十分でないとき
  - メモリ空き容量が不十分
  - 圏外のとき(IS02だけで更新する場合)
  - ワイヤレスマネージャーの「電話」がオフの場合(IS02だけで更新する場合)
  - 「エリア設定」を「日本」以外に設定している場合(IS02だけで更新する場合)。ただし、無線LANで接続してブラウザを利用できるときは、更新できます。
- ソフトウェア更新(ダウンロード、更新ファイルのインストール)には時間がかかる場合があります。
- ソフトウェア更新ファイルのインストール中は、電話の発着信を含めすべての機能を利用できません。
- ソフトウェア更新に失敗するなどして一切の操作ができなくなった場合は、auショップもしくはPiPit(一部ショップを除く)にお持ちください。

ソフトウェア更新の前に必要な確認と準備

ソフトウェア更新の前に以下の準備を行います。

- IS02のソフトウェアバージョンを確認する(▶P.168)
- IS02のデータ記憶用メモリの空き領域を確認する(▶P.166)
- IS02で実行中のすべてのプログラムを終了する(▶P.51、▶P.58)
- IS02で起動中の通信機能をワイヤレスマネージャーでオフにする(▶P.42)
- IS02を充電する(▶P.32)

◎ソフトウェア更新の際には、はじめにSPB Backup(▶P.138)のシステムデータ以外のバックアップを取ってからソフトウェア更新を実施し、ソフトウェア更新直後にシステムデータを含むバックアップを取るようにしてください。
◎ソフトウェア更新後に、ソフトウェアを更新したことを通知するため、お客様のIS02の製造番号が自動的にサーバへ送信されます。

IS02だけで更新する

- 接続形態や接続環境によってはダウンロードに時間がかかる場合があります。
- ソフトウェア更新は、電波が強くアンテナマークが3本表示されている状態（ ）で、移動せずに実行することをおすすめします。ソフトウェアダウンロード中に電波状態が悪くなったり、ダウンロードが中止された場合は、再度電波状態のよい場所でソフトウェア更新を行ってください。
- ほかのアプリケーションによるパケット接続中は更新できないことがあります。終了またはオフにしてから、ソフトウェアの更新を行ってください。

1 **→「設定」→「一般設定」→「ソフトウェア更新」**

ダウンロードサイトへの接続を確認する画面が表示されます。

- →「設定」→「システム」→「ソフトウェア更新」でも更新できます。

2 **「OK」をタップする**

ダウンロードサイトに接続します。

3 **必要な更新ファイルを選択してダウンロードする**

- ダウンロードのしかたについては、「Webページからデータをダウンロードする」（▶P.109）を参照してください。

4 **「My Documents」を開いて、ソフトウェア更新ファイルを表示する**

5 **ソフトウェア更新ファイルをタップして実行する**

メモリの空き容量や電池残量などのチェックを行ったあと、インストールを確認する画面が表示されます。

6 **「今すぐインストール」をタップする**

起動中の機能が終了してIS02が再起動し、ソフトウェア更新ファイルのインストールが開始されます。

ソフトウェア更新が完了すると、IS02が再起動します。

7 **「完了」をタップする**

パソコン経由で更新する

1 **ダウンロードサイトから、ソフトウェア更新ファイルをパソコンにダウンロードする**

- 東芝のホームページからダウンロードできます。
  東芝のホームページ：
  http://www.toshiba.co.jp/product/etsg/cmt/

2 **ActiveSyncまたはWindows Mobileデバイスセンターを使ってIS02の「My Documents」へソフトウェア更新ファイルをコピーする**

- ActiveSyncおよびWindows Mobileデバイスセンターについて詳しくは、P.140を参照してください。

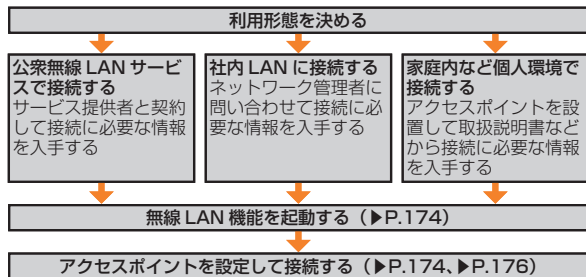
3 **IS02で「IS02だけで更新する」（▶P.171）の操作4以降を行う**

データ通信／無線LAN

無線LAN機能を利用する... 174
インターネット経由で社内LANに接続する..................................... 178
Bluetooth®機能を利用する.. 178
ドメインへの登録.. 181
データ通信サービス（PacketWIN）を利用する............................. 181
USBドライバのインストール... 184

無線LAN機能を利用する

IS02の無線LAN機能を利用して、自宅や社内ネットワークの無線LANアクセスポイントに接続できます。また、公衆無線LANサービスのアクセスポイントに接続して、メールやインターネットを利用できます。

■アクセスポイントに接続するまでの流れ

■Bluetooth®対応機器との電波干渉について

無線LAN機能とBluetooth®機能は同一周波数帯（2.4GHz）を使用しています。そのため、IS02の無線LAN機能とBluetooth®機能を同時に使用すると、電波干渉が発生し、通信速度の低下、雑音や接続不能の原因になることがありますので、同時には使用しないでください。

また、IS02の無線LAN機能のみ使用している場合でも、Bluetooth®対応機器の近辺で使用すると、同様の現象が発生します。このようなときは、以下の対策を行ってください。

1. IS02とBluetooth®対応機器は、10m以上離してください。
2. 10m以内で使用する場合は、Bluetooth®対応機器の電源を切ってください。

■利用できるチャンネルについて

IS02の無線LAN機能は1～11チャンネルの周波数帯を利用できます。

無線LAN機能を起動する

1 →「設定」→「ワイヤレスマネージャー」

- →「設定」→「接続」→「ワイヤレスマネージャー」でも起動できます。

2 「Wi-Fi」をタップする

無線LAN機能を起動すると、タイトルバーに が表示され、自動で近くの利用可能な無線LANアクセスポイントを検出します。

■接続したいアクセスポイントが検出されなかった場合

「アクセスポイントを設定する」（▶P.176）を参照してください。

■接続したいアクセスポイントが検出された場合

タイトルバーに が表示され、アクセスポイント（ネットワーク）を自動で検出したことを通知する画面が表示されます。

以下の操作でアクセスポイントに接続できます。

1 ネットワークの検出を通知する画面で「OK」をタップする

- 通知画面が表示されていない場合は、タイトルバー→ をタップすると表示されます。
- 「複数のネットワークが検出されました」という画面が表示されたら、接続するネットワーク（アクセスポイント）を選択してから「OK」をタップします。

2 「インターネット設定（またはVPN経由）」または「社内ネットワーク設定」を選択し、「接続」をタップする

3 ネットワークキーを入力し、「接続」をタップする

無線LAN機能をオフにする

無線LANに接続しないときは、電池の減りを防ぐため、無線LAN機能をオフにしてください。

1 ▦→「設定」→「ワイヤレスマネージャー」

- ⊞→「設定」→「接続」→「ワイヤレスマネージャー」でも起動できます。

2 「Wi-Fi」をタップして、「Off」を表示させる

memo

◎IS02の電源を切ると、無線LAN機能がオフになります。
◎電池残量が少なくなると、無線LAN機能の終了を通知する画面が表示され、無線LAN機能がオフになります。「ok」をタップして通知画面を閉じて、IS02を充電してから無線LAN機能を起動してください。

■自動的に無線LAN機能をオフにする

お買い上げ時	次の時間未接続の場合、Wi-Fiをオフにする:オフにしない

アクセスポイントに未接続のまま一定時間が過ぎると、無線LAN機能がオフになるように設定できます。

1 ⊞→「設定」→「接続」→「Wi-Fi」→「ワイヤレス」

2 「メニュー」→「詳細設定」

3 「次の時間未接続の場合、Wi-Fiをオフにする」の一覧から無線LAN機能がオフになるまでの時間を選択する

4 ⮌をタップする

無線LAN機能の省電力設定

お買い上げ時	サスペンドしない:オフ WOW有効:オフ Wi-Fi省電力設定:省電力優先

無線LAN接続中にIS02が自動でスリープモードにならないように設定できます。また、無線LAN接続中にスリープモードになっても、アクセスポイントから通知を受信すると、自動的にスリープモードから復帰するように設定できます。

1 ⊞→「設定」→「パワー マネージメント」→「Wi-Fi」

2 必要な項目を設定し、⮌をタップする

Wi-Fi接続時のサスペンド設定	「サスペンドしない」にチェックを付けると、無線LAN接続中にIS02が自動でスリープモードになるのを禁止します。
WOW有効	チェックを付けると、アクセスポイントからIS02宛ての通知を受信したとき自動的にスリープモードから復帰します。 • ホームアクセスポイント(▶P.177)を設定した場合にのみチェックを付けられます。
Wi-Fi省電力設定	「省電力優先」/「自動優先」/「送信レート優先」から選択します。

memo

◎「Wi-Fi」で設定した内容は、▦→「設定」→「バックライト/省電力」→「明るさ・省電力設定」の「Wi-Fi設定」に反映されます。
「明るさ・省電力設定」は、⊞→「設定」→「明るさ・省電力設定」でも表示できます。

アクセスポイントを設定する

Wi-Fi設定画面で、SSID（ネットワーク名）、セキュリティの種類などの接続情報を登録したり、ホームアクセスポイントを設定したりできます。

- 接続に必要な情報は、お使いの無線LANアクセスポイントの取扱説明書をご参照ください。社内ネットワークの無線LANアクセスポイントに接続する場合は、必要な情報をネットワーク管理者にご確認ください。
- お使いの無線LANアクセスポイントが、MACアドレスを登録している機器のみと接続するように設定されているときは、IS02のMACアドレスを無線LANアクセスポイントに登録してください。MACアドレスの確認方法は、P.168を参照してください。

1 ⊞→「設定」→「ネットワーク／接続」→「Wi-Fi設定」

Wi-Fi設定画面が表示されます。

- ⊞→「設定」→「Wi-Fi設定」でも起動できます。

《Wi-Fi設定画面》

2 「新規作成」→「手動設定」

無線LAN機能が起動します。利用可能な無線LANアクセスポイントが自動で検出されて、一覧に表示されます。

■WPS対応のアクセスポイントに接続する場合

「WPS」→「プッシュボタン方式」／「PIN方式」をタップし、画面の指示に従ってIS02とアクセスポイントとの間の相互認証と暗号化の設定を行います。

3 一覧から接続先（ネットワーク）を選択するか、SSID（ネットワーク名）を入力し、「次へ」をタップする

- SSIDは半角英数字で入力してください。

4 セキュリティの種類と暗号化の種類を選択し、「次へ」をタップする

- 選択したセキュリティの種類と暗号化の種類の組み合わせにより、操作5を省略して、操作6に進みます。

5 ネットワークキーを入力してキーインデックスを選択し、「次へ」をタップする

6 接続名を入力し、「OK」をタップする

- 接続名に¥ / : * ? " < > | は使用できません。

設定を保存すると、自動的に登録したアクセスポイントへの接続を開始します。

memo

◎IEEE802.1xネットワークアクセスコントロールを設定する場合は、⊞→「設定」→「接続」→「Wi-Fi」→「ワイヤレス」→「メニュー」→「新しい設定の追加」をタップします。

■アクセスポイントの一覧を更新する

1 Wi-Fi設定画面で「新規作成」→「手動設定」→「一覧更新」

■アクセスポイントの設定を変更する

1 Wi-Fi設定画面の一覧から変更したいアクセスポイントを選択し、「変更」をタップする

2 「アクセスポイントを設定する」の操作4以降を行う

■アクセスポイントの設定を削除する

1 Wi-Fi設定画面の一覧から削除したいアクセスポイントを選択し、「削除」→「はい」

- この操作を行うには無線LAN機能が起動している必要があります。

■アクセスポイントの優先順位を変更する

1 Wi-Fi設定画面の一覧から優先順位を変更したいアクセスポイントを選択し、／をタップする

■ホームアクセスポイントを設定する

Wake On Wireless(WOW)(▶P.175)の対象アクセスポイント(ホームアクセスポイント)を設定します。

1 Wi-Fi設定画面の一覧からホームに設定したいアクセスポイントを選択し、「Home AP」をタップする

ホームアクセスポイントにが表示されます。

- この操作を行うには無線LAN機能が起動している必要があります。

アクセスポイントを指定して接続する

1 Wi-Fi設定画面(▶P.176)の一覧から接続したいアクセスポイントを選択し、「接続」をタップする

接続中のアクセスポイントにが表示されます。

接続を切断する

1 Wi-Fi設定画面(▶P.176)の一覧から接続中のアクセスポイントを選択し、「切断」をタップする

ネットワークアダプターの情報を設定する

無線LAN接続に使用するネットワークアダプターの情報(IPアドレスやDNSサーバアドレスなど)を設定します。

1 →「設定」→「ワイヤレスマネージャー」→「メニュー」→「Wi-Fi設定」→「ネットワーク アダプター」

- →「設定」→「接続」→「Wi-Fi」→「ネットワーク アダプター」でも設定できます。

2 ネットワークカードの接続先として「インターネット設定」または「社内ネットワーク設定」を選択する

3 「AR6000 WLAN Adapter SD」をタップする

4 「サーバー割り当ての IP アドレスを使用する」または「指定した IP アドレスを使用する」を選択する

- 「指定した IP アドレスを使用する」を選択した場合、ネットワーク管理者が指定したIPアドレスなどを入力します。
- 必要に応じて「ネーム サーバー」をタップして、DNSサーバのアドレスなどを入力します。

5 をタップする

memo

◎操作4で「指定した IP アドレスを使用する」を選択してIPアドレスを入力すると、無線LAN機能をオフにしても、パケット通信によるインターネット接続ができなくなることがあります。その場合、操作4で「サーバー割り当ての IP アドレスを使用する」を選択すると、パケット通信で接続できるようになります。

インターネット経由で社内LANに接続する

VPN(Virtual Private Network)は、インターネット経由で自宅のパソコンや社内ネットワーク(イントラネット)へ安全にアクセスするための接続方法です。公衆網であるインターネット上に仮想的な専用回線を用意し、暗号化したデータを送受信することで、第三者によるデータの盗聴や改ざんなどを防ぎます。

- マイクロソフト社のISAサーバ以外とは接続できません。
- ホスト名またはIPアドレス、VPNの種類、ユーザー名、パスワードなど、接続に必要な情報は、ネットワーク管理者にご確認ください。

1 **→「設定」→「一般設定」→「接続」→「設定」**

- →「設定」→「接続」→「接続」→「設定」でも設定できます。

2 **「既定の社内ネットワーク設定」の「新しいVPNサーバー接続の追加」をタップする**

3 **必要な情報を入力する**

- 名前(一覧に表示する接続名)とホスト名/IPを入力し、VPNの種類を選択したら「次へ」をタップして、以降の画面で必要な情報を入力してください。
- IPアドレスやDNSサーバアドレスを手動で入力する場合は、「詳細設定」をタップして入力し、をタップしてください。

4 **「完了」をタップする**

Bluetooth®機能を利用する

IS02のBluetooth®機能を利用して、近くにあるBluetooth®対応機器と無線でデータをやりとりできます。Bluetooth®対応イヤホンマイクやワイヤレスヘッドホンと接続すると、ハンズフリーで通話したりワイヤレスで音楽を聴いたりできます。

- ActiveSyncを利用したパソコンとの同期も行えます。詳しくは、「Bluetooth®通信で同期する」(▶P.144)を参照してください。
- Bluetooth®対応バージョンやプロファイルについては、P.230を参照してください。
- 設定や操作方法については、接続するBluetooth®対応機器の取扱説明書もご参照ください。
- IS02とすべてのBluetooth®対応機器とのワイヤレス接続を保証するものではありません。

■Bluetooth®機能使用時のご注意

良好な接続を行うために、以下の点にご注意ください。

1. IS02とほかのBluetooth®対応機器とは、見通し距離10m以内で接続してください。周囲の環境(壁、家具など)や建物の構造によっては、接続可能距離が極端に短くなることがあります。
2. ほかの機器(電気製品、AV機器、OA機器など)から2m以上離れて接続してください。特に電子レンジ使用時は影響を受けやすいため、必ず3m以上離れてください。近づいていると、ほかの機器の電源が入っているときに正常に接続できないことがあります。また、テレビやラジオに雑音が入ったり映像が乱れたりすることがあります。

■無線LAN機能との電波干渉について

Bluetooth®機能と無線LAN機能は同一周波数帯（2.4GHz）を使用しています。そのため、IS02のBluetooth®機能と無線LAN機能を同時に使用すると、電波干渉が発生し、通信速度の低下、雑音や接続不能の原因になることがありますので、同時には使用しないでください。
また、IS02のBluetooth®機能のみ使用している場合でも、無線LAN対応機器の近辺で使用すると、同様の現象が発生します。このようなときは、以下の対策を行ってください。

1. IS02と無線LAN対応機器は、10m以上離してください。
2. 10m以内で使用する場合は、無線LAN対応機器の電源を切ってください。

■Bluetooth®機能のモードについて

Bluetooth®機能には以下の3種類のモードがあります。

モード		説明
On（オン）		登録されているBluetooth®対応機器に接続できます。また、本IS02から通信範囲内にあるBluetooth®対応機器を検出できます。
	検出可能	通信範囲内にあるBluetooth®対応機器から本IS02を検出可能な状態にします。
Off（オフ）		Bluetooth®機能をオフにします。

■Bluetooth®パスコードについて

Bluetooth®パスコードは、接続するBluetooth®対応機器同士がはじめて通信するとき、相手機器を確認して、お互いに接続を許可するための認証用コードです。送信側／受信側とも同一のパスコードを入力する必要があります。

- 相手機器によってはパスコードの入力が省略される場合があります。

Bluetooth®機能をオンにする

1 ▦→「設定」→「ネットワーク／接続」→「Bluetooth」→「モード」

- ⊞→「設定」→「Bluetooth」→「モード」でも設定できます。

2 「Bluetooth をオンにする」にチェックを付ける

- チェックを外すとオフになります。

■IS02を検出可能モードにする場合

「このデバイスを他のデバイスからも検出できるようにする」にチェックを付けます。

3 ⮌をタップする

◎Bluetooth®通信で接続しないときは、電池の減りを防ぐため、Bluetooth®機能をオフにしてください。
◎Bluetooth®機能のオン／オフ設定は、電源を切っても変更されません。
◎Bluetooth®機能はIS02の電源を切った状態では使用できません。
◎ワイヤレスマネージャーでオン（検出可能）／オフを切り替えることもできます。

パートナーシップを確立する

IS02と相手機器との間で安全にデータのやりとりが行えるように、パートナーシップを確立します。

- あらかじめIS02のBluetooth®機能をオンにしてください（▶P.179）。
- 相手機器をIS02から10m以内に設置してください。

1 ▦→「設定」→「ネットワーク／接続」→「Bluetooth」→「デバイス」

- ⊞→「設定」→「Bluetooth」→「デバイス」でも設定できます。

2 「新しいデバイスの追加」をタップする

検索に応答した機器が表示されます。

3 一覧から接続する相手機器を選択し、「次へ」をタップする

4 パスコードを入力し、「次へ」をタップする

- パスコードは半角英数字で入力してください。

5 相手機器側でパートナーシップを受け入れる操作を行う

- IS02で入力したのと同一のパスコードを入力してください。

6 「デバイスが追加されました」画面が表示されたら、「完了」をタップする

7 一覧から相手機器をタップする

「パートナーシップの設定」画面が表示されます。

8 使用したいサービスにチェックを付け、「保存」→ ⮌ をタップする

■ 相手機器からのパートナーシップ要求を受け入れる

- あらかじめIS02のBluetooth®機能を検出可能モードにしてください。

1 接続を要求する通知画面が表示されたら、「はい」をタップする

2 パスコードを入力し、「次へ」をタップする

3 「デバイスが追加されました」画面が表示されたら、「完了」をタップする

パートナーシップを削除する

1 ▦→「設定」→「ネットワーク／接続」→「Bluetooth」→「デバイス」

- ⊞→「設定」→「Bluetooth」→「デバイス」でも設定できます。

2 削除したい相手機器を1秒以上タップする

ポップアップメニューが表示されます。

3 「削除」→「はい」→ ⮌

ビームでデータを送受信する

- データをやりとりする相手機器をIS02から10m以内に設置してください。

■ビーム受信を設定する

お買い上げ時	すべての着信ビームを受信する:オン

Bluetooth®通信で送られてきたデータをIS02で受信するように設定します。

1 →「設定」→「接続」→「ビーム」

2 「すべての着信ビームを受信する」にチェックを付ける

3 をタップする

■ビームでデータを受信する

- あらかじめIS02のBluetooth®機能を検出可能モードにしてください。

1 データの受信を通知する画面で「はい」をタップする

- 通知画面が表示されていない場合は、タイトルバー→をタップすると表示されます。

■ビームでデータを送信する

連絡先、予定表、仕事などのデータや、静止画、動画などのファイルを、ほかのBluetooth®対応のパソコンなどに送信できます。

- あらかじめ受信側の相手機器を検出可能モードにし、データの受信を開始してください。詳しくは相手機器の取扱説明書をご参照ください。

例:連絡先をビームで送信する

1 →「連絡先」

2 送信したい連絡先を選択し、をタップする

3 「連絡先の送信」→「ビーム」

4 デバイスの一覧から受信側の相手機器をタップする

ドメインへの登録

IS02を会社のドメインに登録して、社内ネットワーク管理者がIS02をSCMDM(Microsoft System Center Mobile Device Manager)管理できるように設定できます。

- 登録に必要な情報は、ネットワーク管理者にご確認ください。

1 →「設定」→「一般設定」→「ドメインへの登録」

- →「設定」→「接続」→「ドメインへの登録」でも設定できます。

2 「登録」をタップする

3 画面の指示に従って登録する

データ通信サービス(PacketWIN)を利用する

PacketWINは、パケット通信方式を採用したCDMA 1X WINのデータ通信サービスです。最大通信速度受信3.1Mbps／送信1.8Mbpsでのパケット通信によるインターネット接続やLAN接続を行うことができます。

※ご使用の通信環境により、最大通信速度は受信2.4Mbpsまたは144kbps／送信144kbpsまたは64kbpsとなる場合があります。

「au.NET(エーユードットネット)」や、PacketWIN対応プロバイダ(別途、プロバイダとの契約が必要)のご利用により、IS02を手軽にインターネットに接続したり(▶P.182)、パソコンとIS02を接続してパソコンを手軽にインターネットに接続して(▶P.183)、パケット通信を行うことができます。また、ダブル定額ライトなどのパケット通信料割引サービスご加入でインターネット接続時の通信料を定額でご利用いただけます。au.NET、パケット通信料割引サービスについては、最新のau総合カタログ／auのホームページをご参照ください。また、対応プロバイダのサービス内容につきましては、各社にご確認ください。

■パケット通信ご利用上の注意

- お買い上げ時は、IS NET／au.netが接続先として設定されています。
- 画像を含むホームページの閲覧、動画データなどのダウンロードなど、データ量の多い通信を行うとパケット通信料が高額となりますのでご注意ください。
- ワーム型のコンピューターウィルスなどの影響により、常時au電話とパソコンを接続した環境にてデータ通信をご利用の場合、お客様が意図しない通信が継続的に発生するおそれがあります。ご利用にあたりましては、ウィルス予防･対処策を講じていただくと共に、ご利用方法につきましてもご配慮いただきますようお願い申し上げます。
- ネットワークへの過大な負荷を防止するため、一度に大量のデータ送受を継続した場合やネットワークの混雑状況などにより、通信速度が自動的に制限される場合があります。
- パソコンなどからの接続の方法、パケット通信の方法は、パソコンなどでご利用になる通信ソフトの取扱説明書をご参照ください。

■ご利用パケット通信料のご確認方法について

ご利用パケット通信料は、次のURLでご照会いただけます。
https://cs.kddi.com/（auお客さまサポート）
※初回のご利用の際は、お申し込みが必要です。

■PacketWIN／au.NETのご利用料金について

au.NETの月額使用料	945円（税込） ※ご利用月のみ発生
通信料	有料

最新の各パケット、およびau.NETの月額使用料については、最新のau総合カタログ／auホームページをご確認ください。

IS02でPacketWINを利用するための準備をする

IS02には、あらかじめau.NETでインターネットへ接続する設定が組み込まれており、インターネット接続を必要とするプログラムを起動すると自動的にau.NETへ接続されます。ネットワーク接続設定を変更して、有害サイトをブロックするフィルタリングサービスを有効にしたり、PacketWIN対応プロバイダに接続することもできます。（ただし日本国内での利用に限ります。）

■有害サイトをブロックする場合（フィルタリングサービス）

IS02をインターネット接続する際に有害サイトをブロックするには、以下の設定を行います。

1 **→「設定」→「一般設定」→「接続」→「詳細設定」**

- →「設定」→「接続」→「接続」→「詳細設定」でも設定できます。

2 **「ネットワークの選択」をタップする**

3 **「インターネットに自動的に接続するプログラムの接続方法」から「IS NET／au.net フィルタON」をタップする**

4 **→**

memo

◎標準の設定に戻すには、操作**3**で「IS NET／au.net」をタップしてください。

■PacketWIN対応プロバイダを利用する場合

IS02をインターネット接続する際にPacketWIN対応プロバイダを利用するには、以下の設定を行います。

1 →「設定」→「一般設定」→「接続」→「詳細設定」

- →「設定」→「接続」→「接続」→「詳細設定」でも設定できます。

2 「ネットワークの選択」をタップする

3 「インターネットに自動的に接続するプログラムの接続方法」の「追加」をタップする

4 設定名を入力→「モデム」

5 「新規」をタップする

6 接続名を入力して「次へ」をタップする

7 「＊99＊＊24#」を入力して「次へ」をタップする

8 接続先のユーザー名（ID）、パスワードなどを入力して「完了」をタップする

- 「詳細設定」→「サーバー」をタップすると、DNSサーバーの設定を行えます。

9 作成した接続を選択して→→

◎標準の設定に戻すには、「有害サイトをブロックする場合（フィルタリングサービス）」（▶P.182）の操作3で「IS NET／au.net」をタップしてください。

パソコンでPacketWINを利用するための準備をする

PacketWINをご利用になる前に、USBドライバの設定とパソコン側でのダイヤルアップネットワーク（TCP/IP）の設定が必要です。
USBドライバについては、「USBドライバのインストール」（▶P.184）をご参照ください。

- あらかじめUSB接続の設定をダイヤルアップ接続モードにしてください（▶P.135）。

1 IS02の電源を入れて、付属の東芝microUSB-USB変換ケーブル01を使用して、IS02をパソコンに接続する

- 「同期を設定する」（▶P.142）の操作1の説明とイラストを参照してください。

2 接続機器のモデムを設定

3 ダイヤルアップネットワーク（TCP/IP）を設定

■au.NETご利用の場合の設定

項目	設定（値）
ユーザー名※1	「au@au-win.ne.jp」
パスワード※1	「au」
電話番号※2	＊99＊＊24#
DNSアドレス	プライマリDNS：210.196.3.183 セカンダリDNS：210.141.112.163

※1 ユーザー名とパスワードは、全ユーザー共通です。半角小文字で入力してください。
※2 「ダイヤルアップネットワーク（TCP/IP）」の「電話番号」項目欄には「＊99＊＊24#」と設定してください。「＊99＊＊24#」以外の英数字を設定した場合は接続できませんのでご注意ください。

memo

◎「エリア設定」を「日本」以外に設定している場合は、ダイヤルアップ接続モードに変更してもダイヤルアップ接続は利用できません。

USBドライバのインストール

USBドライバの動作環境

OS	• Microsoft Windows XP（日本語／英語） • Microsoft Windows Vista（日本語／英語。32ビット版／64ビット版） • Microsoft Windows 7（日本語／英語。32ビット版／64ビット版）
パソコン	USB1.1以上に準拠しているUSB搭載のパソコンで、上記OSのいずれかがプリインストールされているDOS/V互換機（OSアップグレード環境では、ご使用いただけない場合があります）。

memo

◎IS02以外の携帯電話機では使用できません。
◎上記の対応OSおよびパソコンであっても、その全てについて動作保証するものではありません。
◎IS02とパソコンを接続しての通信中にはコネクタをはずさないでください。通信中のデータが失われることがあります。
◎他のUSB機器と同時にご利用の場合、通信速度が低下することがあります。

Windows Vista／Windows 7搭載のパソコンでUSBドライバを使用する際のご注意

USBドライバのインストールなどを行う場合、「ユーザーアカウント制御」についての画面が表示されることがありますが、「許可」をクリックしてください。

USBドライバをインストールする

USBドライバをパソコンにインストールする手順について説明します。

memo

◎ドライバのインストールは、管理者権限でコンピュータにログオンしている必要があります。
◎Windowsで起動中のアプリケーションを終了してください。
◎インストールに失敗した旨のメッセージが表示された場合は、USBドライバをアンインストールしてから、再度インストールを行ってください。
◎お使いの環境によってはセキュリティの警告画面が表示されます。「実行」または「開く」ボタンをクリックしてください。

1 IS02の電源を入れて、付属の東芝microUSB-USB変換ケーブル01を使用して、IS02をパソコンに接続する

• Active Syncモードで接続してください。
• 「同期を設定する」（▶P.142）の操作 1 以降の説明とイラストを参照してください。

2 インストーラをIS02からパソコンへコピーする

• ActiveSyncで接続後、パソコンからモバイルデバイスの「USB_Driver」フォルダを開き、お使いのOSおよびビット数のフォルダ内の「setup.exe」をパソコンの任意の場所にコピーしてください。
モバイルデバイスの「USB_Driver」フォルダを表示する操作はOSによって異なります。
Windows XPの場合：「スタート」→「マイコンピュータ」→「モバイルデバイス」→「Tools」→「USB_Driver」
Windows Vista／Windows 7の場合：「スタート」→「コンピュータ」※→「TOSHIBA IS02」→「¥」→「My Documents」→「Tools」→「USB_Driver」
※Windows 7の場合は「コンピューター」と表示されます。

3 パソコンで画面の指示に従ってインストールを行う

• コピーしたsetup.exeを実行してインストールを行ってください。
• 使用許諾契約書が表示されたときは、よくお読みいただき、「使用許諾契約の条項に同意します」をチェックし「次へ」をクリックしてください。

4 IS02の設定を変更して再度接続する

- IS02のパソコンとの接続を解除し、USB接続の設定をダイヤルアップ接続モードに変更後、再度接続してください。IS02が自動的に認識されます。

5 ドライバが正しくインストールされていることを、デバイスマネージャで確認する

デバイスマネージャは、Windows XPの場合は「コントロールパネル」内の「システム」をダブルクリック→「ハードウェア」タブの「デバイスマネージャ」をクリック、Windows Vista／Windows 7の場合は「コントロールパネル」内の「システム」をダブルクリック→「デバイスマネージャ」をクリックすると表示できます。

■ダイヤルアップ接続モードでのインストール確認

「モデム」の下の階層に「au IS02」が表示されていることを確認してください。

バージョン確認やアンインストール

Windows XPの場合は「コントロールパネル」内の「プログラムの追加と削除」を、Windows Vista／Windows 7の場合は「コントロールパネル」内の「プログラムと機能」をクリックまたはダブルクリックして、「IS02 USB Driver」のバージョン確認やアンインストールを行ってください。また、アンインストールした際はパソコンを再起動してください。

モデムコマンド一覧

■Sレジスタ

通信端末として使用するための設定です

レジスタ	内容	単位	初期値	設定範囲
S3	CRキャラクタコードの設定	–	13	13のみ
S4	LFキャラクタコードの設定	–	10	10のみ
S5	BSキャラクタコードの設定	–	8	8のみ

■リザルトコード

回線の動作状態をパソコンに通知します。

数字	文字	説明
0	OK	コマンドの正常実行
1	CONNECT	オンラインモードに移行
3	NO CARRIER	オフラインモードに移行
4	ERROR	認識できないコマンド
29	DELAYED	発信規制中

■ATコマンド

「AT」に続いて「コマンド」と「パラメータ」を入力し、最後にエンターキーを押すとコマンドが実行されます。パラメータ値を省略した場合は「OK」が返ります。
なお、コマンドの入力は、大文字・小文字ともに可能です。

コマンド	機能	説明
A/	コマンド再実行	直前のATコマンドを再度実行
ATD	ダイヤル発信	ダイヤル発信する
ATEn	コマンドエコー	コマンドキャラクターのエコーバック n=0:コマンドエコーしない n=1:コマンドエコーする(初期値)
ATQn	リザルトコード設定	リザルトコードをパソコンへ返す n=0:リザルトコードを返す n=1:リザルトコードを返さない(初期値)
ATVn	リザルトコード選択	リザルトコードの種類を選択 n=0:数字形式 n=1:文字形式(初期値)
ATZ	ソフトウェアリセット	工場出荷状態への初期化
AT&Cn	DCD制御 ※初期値でお使いください	DCD(受信キャリア検出)の制御 n=0:常にDCDをON n=1:パケット通信がアクティブのときのみON(初期値)
AT&Dn	DTR制御 ※初期値でお使いください	DTR(データ端末レディ)の制御 n=0:常にDTRを無視 n=1:オンライン状態でDTR信号がONになるとオンラインコマンドへ移行 n=2:オンライン状態でDTR信号がONになると回線を切断しオフラインコマンドへ移行(初期値)
AT&F	工場出荷状態への初期化	各種ATコマンドのパラメータを工場出荷設定値に戻す

よくあるご質問

質問	回答
このUSBドライバをIS02以外の携帯電話機で使用できますか?	いいえ。本ドライバはIS02専用のUSBドライバです。他の携帯電話機では使用できません。
USBドライバはインターネットでダウンロードできますか?	はい。下記のホームページからダウンロードできます。 auのホームページ: http://www.au.kddi.com/usbwin 東芝のホームページ: http://www.toshiba.co.jp/product/etsg/cmt/

その他、USBドライバについては、下記の窓口へご連絡ください。
株式会社東芝　モバイルコミュニケーション社
お客様相談窓口
　URL:https://www.webcom.toshiba.co.jp/jp/inq/
　電話番号:0120-924-137

※営業時間　9:00~12:00、13:00~17:00(土曜、日曜、祝日、当社特定休日を除く)
※上記窓口へのご相談は「USBドライバ」に関するお問い合わせに限らせていただきます。
※お問い合わせの場合は、以下の内容をあらかじめご確認ください。
- au電話の機種名
- お使いのパソコンのOS
- お問い合わせ内容

auのネットワークサービス

auのネットワークサービスを利用する.. 188
お留守番サービスを利用する（標準サービス）.................................. 188
着信転送サービスを利用する（標準サービス）.................................. 194
割込通話サービスを利用する（標準サービス）.................................. 196
三者通話サービスを利用する（オプションサービス）........................ 197
発信番号表示サービスを利用する（標準サービス）........................... 198
番号通知リクエストサービスを利用する（標準サービス）................ 198
迷惑電話撃退サービスを利用する（オプションサービス）................ 199
通話明細分計サービスを利用する（オプションサービス）................ 201

auのネットワークサービスを利用する

auでは、次のような便利なサービスを提供しています。

サービス		参照先
標準サービス	Cメール	P.98
	お留守番サービス（ボイスメール含む）	P.188
	着信転送サービス	P.194
	割込通話サービス	P.196
	発信番号表示サービス	P.198
	番号通知リクエストサービス	P.198
	データ通信サービス	P.181
有料オプションサービス※	三者通話サービス	P.197
	迷惑電話撃退サービス	P.199
	通話明細分計サービス	P.201

※ 有料オプションサービスは、別途ご契約が必要になります。
お申し込みやお問い合わせの際は、auショップもしくはauお客様センターまでご連絡ください。

お留守番サービスを利用する（標準サービス）

電源を切っているときや、電波の届かない場所にいるとき、電話機能をオフにしているとき、一定の時間が経過しても電話に出られなかったときなどに、留守応答して相手の方からの伝言をお預かりするサービスです。

■ お留守番サービスをご利用になる前に

- au電話ご購入時や、機種変更や電話番号変更のお手続き後、修理時の代用機貸出しと修理後返却の際には、お留守番サービスは開始されています。
- お留守番サービスと着信転送サービス（▶P.194）は同時に開始できません。
お留守番サービスを開始しているときに着信転送サービスを開始すると、お留守番サービスは自動的に停止されます。
- お留守番サービスと番号通知リクエストサービス（▶P.198）を同時に開始すると、非通知からの着信を受けた場合に番号通知リクエストサービスが優先されます。

■ お留守番サービスでお預かりする伝言・ボイスメールについて

お留守番サービスでは、次の通りに伝言・ボイスメールをお預かりします。

お預かり（保存）する時間	48時間まで※1
お預かりできる件数	20件まで※2
1件あたりの録音時間	3分まで

※1 お預かりから48時間以上経過している伝言・ボイスメールは、自動的に消去されます。
※2 件数は伝言とボイスメール（▶P.190）の合計です。21件目以降の場合は、電話をかけてきた相手の方に、伝言・ボイスメールをお預かりできないことをガイダンスでお知らせします。

■ ご利用料金について

月額使用料	無料
特番へのダイヤル操作	入力する特番にかかわりなく、蓄積された伝言・ボイスメールを聞いた場合は通話料がかかります。伝言・ボイスメールがないときなど、伝言・ボイスメールを聞かなかった場合は通話料がかかりません。
遠隔操作	遠隔操作を行った場合、すべての操作について遠隔操作を行った電話に対して通話料がかかります。
伝言・ボイスメールの録音	伝言・ボイスメールを残す場合、伝言・ボイスメールを残した方の電話に通話料がかかります。 ※ お留守番サービスに転送する旨のガイダンス中に電話を切った場合には通話料は発生しません。転送され応答メッセージが流れ始めた時点から通話料が発生します。

お留守番サービス総合案内(141)を利用する

総合案内からは、ガイダンスに従って操作することで、伝言･ボイスメールの再生、応答メッセージの設定(録音／確認／変更)、英語ガイダンスの設定／日本語ガイダンスの設定、不在通知(蓄積停止)の設定／解除、伝言お知らせの選択／変更、着信お知らせの開始／停止ができます。

1 →「1」「4」「1」→ 通話

2 **ガイダンスに従って操作**

お留守番サービスを開始する

■通話中にかかってきた電話も転送する場合(留守番開始1)

1 →「1」「4」「1」「1」→ 通話

- →「設定」→「ネットワーク／接続」→「ネットワークサービス」→「ネットワーク設定」→「留守番開始1」→「通話」でも操作できます。

2 終了 **をタップする**

■通話中にかかってきた電話は転送しない場合(留守番開始2)

1 →「1」「4」「1」「3」→ 通話

- →「設定」→「ネットワーク／接続」→「ネットワークサービス」→「ネットワーク設定」→「留守番開始2」→「通話」でも操作できます。

2 終了 **をタップする**

■お留守番サービスでの留守応答について

電話がかかってきたとき、au電話の状態が次の場合には、お留守番サービスに転送され、留守応答します。

- 電波の届かない場所にいた場合や電源を切っていた場合、または一定時間(約20秒間)呼び出しても電話に出なかった場合(無応答転送)
- 通話中にかかってきた場合(「留守番開始1」で開始した場合のみ)(話中転送)

memo

◎お留守番サービスを開始しているときに電話がかかってきても、着信音が鳴っている間(約20秒間)は電話に出ることができます。
◎「エリア設定」を「日本」以外に設定している場合は、「留守番開始2」でお留守番サービスを開始できません。日本で「留守番開始2」のお留守番サービスを開始したまま海外へ行かれた場合は、通話中の着信もお留守番サービスに転送します。

お留守番サービスを停止する

1 →「1」「4」「1」「0」→ 通話

- →「設定」→「ネットワーク／接続」→「ネットワークサービス」→「ネットワーク設定」→「留守番停止」→「通話」でも操作できます。

2 終了 **をタップする**

memo

◎お留守番サービスを停止しても、録音された伝言･ボイスメールや応答メッセージは消去されません。
◎お留守番サービスを停止していても、伝言･ボイスメール再生「1417」、応答メッセージの録音／確認／変更「1414」などの操作をすることができます。

電話をかけてきた方が伝言を録音する

ここでご説明するのは、電話をかけてきた方が伝言を録音する操作です。

1 お留守番サービスで留守応答

かかってきた電話がお留守番サービスに転送されると、IS02のお客様が設定された応答メッセージで応答します。(▶P.192「応答メッセージの録音/確認/変更をする」)

電話をかけてきた相手の方は「#」を押すと、応答メッセージを最後まで聞かずに(スキップして)操作2に進むことができます。ただし、応答メッセージのスキップ防止が設定されている場合は、「#」を押しても応答メッセージはスキップしません。

2 伝言を録音

録音時間は、3分以内です。

伝言を録音した後、操作3へ進む前に電話を切っても伝言をお預かりします。

3 「#」を押して録音を終了

録音終了後、ガイダンスに従って次の操作ができます。

「1」:録音した伝言を再生して、内容を確認する

「2」:録音した伝言を「至急扱い」にする

「9」:録音した伝言を消去して、取り消す

「*」:録音した伝言を消去して、録音し直す

4 電話を切る

memo

◎電話をかけてきた方が「至急扱い」にした伝言は、伝言やボイスメールを再生するとき、他の「至急扱い」ではない伝言より先に再生されます。

◎お留守番サービスに転送する旨のガイダンス中に電話を切った場合には通話料は発生しませんが、転送されて応答メッセージが流れ始めた時点から通話料が発生します。

ボイスメールを録音する

相手の方がau電話でお留守番サービスをご利用の場合、相手の方を呼び出すことなくお留守番サービスに直接ボイスメールを録音できます。また、相手の方がお留守番サービスを停止していてもボイスメールを残すことができます。

1 📞→「1」「6」「1」「2」+相手の方のau電話番号を入力→

2 ガイダンスに従ってボイスメールを録音

伝言お知らせについて

お留守番サービスセンターで伝言やボイスメールをお預かりしたことを通知音と文字でお知らせします。

伝言お知らせは、Cメールの受信ボックスに保存されます。

伝言お知らせには、伝言・ボイスメールの未聴/総件数のみをお知らせする「発番情報なし」と、お預かりした時間と相手の方の電話番号をお知らせする「発番情報あり」の2種類があります。

memo

◎「発番情報なし」と「発番情報あり」の保持期間は共に48時間です。

◎それぞれ保持件数は次の通りです。

発番情報なし: 1件

発番情報あり: 20件

◎ご契約時は、「発番情報あり」に設定されていますが、お留守番サービス総合案内(▶P.189)で「発番情報なし」に設定を変更できます。

◎通話中などですぐにお知らせできない場合があります。その場合は、お留守番サービスセンターのリトライ機能によりお知らせします。

着信お知らせについて

お留守番サービスセンターに着信があったことを、着信お知らせで通知します。

着信お知らせは、Cメールの受信ボックスに保存されます。電話をかけてきた相手の方が伝言を残さずに電話を切った場合に、着信があった時間と、相手の方の電話番号をお知らせします。

memo

◎電話番号通知がない着信についてはお知らせしません。ただし、番号通知があっても番号の桁数が20桁以上の場合もお知らせしません。
◎着信お知らせの保持期間は約6時間、保持件数は最大4件です。
◎ご契約時は、「着信お知らせあり」に設定されていますが、お留守番サービス総合案内（▶P.189）で「着信お知らせなし」に設定を変更できます。
◎通話中などですぐにお知らせできない場合があります。その場合は、お留守番サービスセンターのリトライ機能によりお知らせします。

伝言・ボイスメールを聞く

1 **→「1」「4」「1」「7」→通話**

• →「設定」→「ネットワーク／接続」→「ネットワークサービス」→「ネットワーク設定」→「留守伝言再生」→「通話」でも操作できます。

2 **ガイダンスに従ってキー操作**

「1」：同じ伝言をもう一度聞く
「2」：伝言を保存
「4」：5秒間巻き戻して聞き直す
「5」：伝言を一時停止（20秒間）
「6」：5秒間早送りして聞く
「9」：伝言を消去
「0」：伝言再生中の操作方法を聞く
「#」：次の伝言を聞く
「＊」：前の伝言を聞く

3 **終了をタップする**

memo

◎お留守番サービスの留守応答でお預かりした伝言も、ボイスメール（▶P.190）も同じものとして扱われます。
◎伝言・ボイスメールの再生後、保存または消去を選択しないと、その伝言・ボイスメールは常に新しいものとして保存されます。

応答メッセージの録音／確認／変更をする

現在設定されている応答メッセージの内容を録音／確認／変更したり、スキップ防止などの設定を行うことができます。

1 →「1」「4」「1」「4」→ 通話

- →「設定」→「ネットワーク／接続」→「ネットワークサービス」→「ネットワーク設定」→「応答内容変更」→「通話」でも操作できます。

■ **すべてお客様の声で録音するタイプの応答メッセージを録音する場合**

2 「1」→3分以内で応答メッセージを録音→「#」→「#」→ 終了

■ **名前のみお客様の声で録音するタイプの応答メッセージを録音する場合**

2 「2」→10秒以内で名前を録音→「#」→「#」→ 終了

■ **設定されている応答メッセージを確認する場合**

2 「3」→応答メッセージを確認→ 終了

■ **蓄積停止時の応答メッセージ（不在通知）を録音する場合**

2 「7」→3分以内で応答メッセージを録音→「#」→「#」→ 終了

memo

◎録音できる応答メッセージは、各1件です。
◎ご契約時は、標準メッセージに設定されています。
◎応答メッセージを最後まで聞いて欲しい場合は、応答メッセージ選択後の設定でスキップができないようにすることもできます。
◎録音した応答メッセージがある場合に、ガイダンスに従って「4」をタップすると標準メッセージに戻すことができます。
◎録音した蓄積停止時の応答メッセージ（不在通知）がある場合に、ガイダンスに従って「8」をタップすると標準メッセージに戻すことができます。
◎「エリア設定」を「日本」以外に設定している場合は、ご利用になれません。

伝言の蓄積を停止する（不在通知）

長期間の海外出張やご旅行でご不在の場合などに伝言・ボイスメールの蓄積を停止することができます。
あらかじめ蓄積停止時の応答メッセージ（不在通知）を録音しておくと、お客様が録音された声で蓄積停止時の留守応答ができます。
（▶P.192「応答メッセージの録音／確認／変更をする」）

1 →「1」「6」「1」「0」→ 通話

2 終了 をタップする

memo

◎蓄積を停止する場合は、事前にお留守番サービスを開始しておく必要があります。

蓄積停止を解除する

1 →「1」「6」「1」「1」→ 通話

2 ガイダンスを確認後、終了 をタップする

memo

◎蓄積を停止した後、お留守番サービスを停止／開始しても、蓄積停止は解除されません。お留守番サービスで伝言・ボイスメールをお預かりできるようにするには、「1611」にダイヤルして蓄積停止を解除する必要があります。
◎「エリア設定」を「日本」以外に設定している場合は、ご利用になれません。

お留守番サービスを遠隔操作する（遠隔操作サービス）

お客様のIS02以外のau電話、他社の携帯電話、PHS、NTT一般電話、海外の電話などから、お留守番サービスの開始／停止、伝言・ボイスメールの再生、応答メッセージの録音／確認／変更などができます。

1 090－4444－XXXXに電話をかける

上記のXXXXには、サービス内容によって次の番号を入力してください。

サービス内容	番号
総合案内（伝言再生など）	0141
お留守番サービスの開始	1411／1413
お留守番サービスの停止	1410
伝言・ボイスメールの再生	1417

2 ご利用のIS02の電話番号を入力

3 暗証番号（4桁）を入力

暗証番号については「ご利用いただく各種暗証番号について」（▶P.22）をご参照ください。

4 ガイダンスに従って操作

memo

◎暗証番号を3回連続して間違えると、通話は切断されます。
◎遠隔操作には、プッシュトーンを使用します。プッシュトーンが送出できない電話を使って遠隔操作を行うことはできません。

英語ガイダンスへ切り替える

お留守番サービスの操作ガイダンスや、標準の応答メッセージを日本語から英語に変更できます。

1 →「1」「4」「1」「9」「1」→通話

英語ガイダンスに切り替わったことが英語でアナウンスされます。

- →「設定」→「ネットワーク／接続」→「ネットワークサービス」→「ネットワーク設定」→「英語ガイダンス」→「通話」でも操作できます。

2 終了をタップする

memo

◎ご契約時は、日本語ガイダンスに設定されています。
◎「エリア設定」を「日本」以外に設定している場合は、ご利用になれません。

日本語ガイダンスへ切り替える

1 →「1」「4」「1」「9」「0」→通話

日本語ガイダンスに切り替わったことが日本語でアナウンスされます。

- →「設定」→「ネットワーク／接続」→「ネットワークサービス」→「ネットワーク設定」→「日本語ガイダンス」→「通話」でも操作できます。

2 終了をタップする

memo

◎「エリア設定」を「日本」以外に設定している場合は、ご利用になれません。

着信転送サービスを利用する（標準サービス）

電話がかかってきたときに、登録した別の電話番号に転送するサービスです。
電波が届かない地域にいるときや、通話中にかかってきた電話などを転送する際の条件を、無応答転送、話中転送、フル転送の3つから選択できます。

memo

◎IS02では選択転送（1425）は利用できません。
◎緊急通報電話（110、119、118）、時報（117）、天気予報（177）など一般に転送先として望ましくないと思われる番号には転送できません。
◎着信転送サービスとお留守番サービス（▶P.188）は同時に開始することはできません。着信転送サービスの設定中にお留守番サービスを開始すると、着信転送サービスは自動的に停止されます。
◎着信転送サービスと番号通知リクエストサービス（▶P.198）を同時に開始すると、非通知からの着信を受けた場合、番号通知リクエストサービスを優先します。
◎無応答転送、話中転送は同時に設定が可能です。同時に開始している場合の優先順位は、次の通りです。
① 話中転送　② 無応答転送
◎無応答転送、話中転送を開始した後でフル転送を開始すると、フル転送のみ有効となります。

■ご利用料金について

月額使用料	無料
サービス開始「1422」～「1424」	無料
サービス停止「1420」	無料
相手先からIS02までの通話料	有料 ※電話をかけてきた相手の方のご負担となります。
IS02から転送先までの通話料	有料 ※お客様のご負担となります。 ※海外の電話に転送した場合は、ご契約された国際電話通信事業者からのご請求となります。

応答できない電話を転送する（無応答転送）

電波の届かない場所にいるときや、電源が切ってあるときなど、かかってきた電話に出ることができないときに電話を転送します。

1 📞→「1」「4」「2」「2」＋転送先電話番号を入力→［通話］

・ ⊞→「設定」→「ネットワーク／接続」→「ネットワークサービス」→「転送設定」→「無応答転送」→「通話」をタップし、ガイダンスに従って操作しても設定できます。

2 ［終了］をタップする

memo

◎前回と同じ転送先を設定する場合には、📞→「1」「4」「2」「1」「2」→［通話］で設定できます。
◎無応答転送を設定しているときに電話がかかってくると、着信音が鳴っている間（約20秒間）は、電話に出ることができます。なお、着信転送サービスの応答時間（約20秒間）は変更できません。

通話中にかかってきた電話を転送する（話中転送）

1 📞→「1」「4」「2」「3」＋転送先電話番号を入力→［通話］

・ ⊞→「設定」→「ネットワーク／接続」→「ネットワークサービス」→「転送設定」→「話中転送」→「通話」をタップし、ガイダンスに従って操作しても設定できます。

2 ［終了］をタップする

memo

◎前回と同じ転送先を設定する場合には、📞→「1」「4」「2」「1」「3」→［通話］で設定できます。
◎話中転送と割込通話サービス（▶P.196）を同時に設定している場合は、割込通話サービスが優先されます。

かかってきたすべての電話を転送する(フル転送)

1 →「1」「4」「2」「4」+転送先電話番号を入力→通話

- →「設定」→「ネットワーク/接続」→「ネットワークサービス」→「転送設定」→「フル転送」→「通話」をタップし、ガイダンスに従って操作しても設定できます。

2 終了 をタップする

memo

◎前回と同じ転送先を設定する場合には、→「1」「4」「2」「1」「4」→通話で設定できます。
◎フル転送を設定している場合は、お客様のIS02は呼び出されません。

海外の電話へ転送する

001国際電話サービスをご利用いただくと、海外の電話に転送できます。

例:アメリカの「212－123－XXXX」に転送する場合

1 →転送の種類によって、それぞれの番号を入力→通話

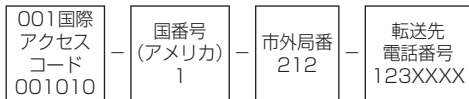
「1」「4」「2」「2」:無応答転送　「1」「4」「2」「4」:フル転送
「1」「4」「2」「3」:話中転送

2 転送先電話番号を入力

転送先電話番号を001国際アクセスコードから入力します。

001国際アクセスコード 001010	－	国番号(アメリカ) 1	－	市外局番 212	－	転送先電話番号 123XXXX

3 ガイダンスに従って操作

memo

◎001国際電話サービス以外の国際電話サービスでも転送がご利用いただけますが、一部の国際電話通信事業者で転送できない場合があります。

着信転送サービスを停止する(転送停止)

着信転送サービスを停止します。

1 →「1」「4」「2」「0」→通話

- →「設定」→「ネットワーク/接続」→「ネットワークサービス」→「転送設定」→「転送停止」→「通話」でも操作できます。

2 終了 をタップする

着信転送サービスを遠隔操作する(遠隔操作サービス)

お客様のIS02以外のau電話、他社の携帯電話、PHS、NTT一般電話、海外の電話などから、着信転送サービスの転送開始(無応答転送、話中転送、フル転送)、転送停止ができます。

1 090－4444－XXXXに電話をかける

上記のXXXXには、サービス内容によって次の番号を入力してください。

サービス内容	番号
無応答転送開始	1422
話中転送開始	1423
フル転送開始	1424
転送停止	1420

2 ご利用のIS02の電話番号を入力

3 暗証番号（4桁）を入力

暗証番号については「ご利用いただく各種暗証番号について」（▶P.22）をご参照ください。

4 ガイダンスに従って操作

memo

◎暗証番号を3回連続して間違えると、通話は切断されます。
◎遠隔操作には、プッシュトーンを使用します。プッシュトーンが送出できない電話を使って遠隔操作を行うことはできません。

割込通話サービスを利用する（標準サービス）

通話中に別の方から電話がかかってきたときに、現在通話中の電話を一時的に保留にして、後からかけてこられた方と通話ができるサービスです。

memo

◎新規にご加入いただいた際には、サービスは開始されていますので、すぐにご利用いただけます。ただし、機種変更の場合や修理からのご返却時またはau ICカードを差し替えた場合には、ご利用開始前に割込通話サービスをご希望の状態（開始／停止）に設定し直してください。
◎Packet通信ご利用の際などに、割込通話を受けたくない場合は、割込通話サービスを停止後にご利用ください。

■ご利用料金について

月額使用料	無料
通話料	電話をかけた方のご負担（保留中でも通話料はかかります）

割込通話サービスを開始する

1 📞→「1」「4」「5」「1」→ 通話

・ ▦→「設定」→「ネットワーク／接続」→「ネットワークサービス」→「ネットワーク設定」→「割込通話開始」→「通話」でも操作できます。

2 終了 をタップする

memo

◎割込通話サービスと番号通知リクエストサービス（▶P.198）を同時に開始すると、非通知からの着信を受けた場合、番号通知リクエストサービスが優先されます。
◎割込通話サービスと迷惑電話撃退サービス（▶P.199）を同時に開始すると、迷惑電話撃退サービスが優先されます。
◎「エリア設定」を「日本」以外に設定している場合はご利用になれません。

割込通話サービスを停止する

1 📞→「1」「4」「5」「0」→ 通話

・ ▦→「設定」→「ネットワーク／接続」→「ネットワークサービス」→「ネットワーク設定」→「割込通話停止」→「通話」でも操作できます。

2 終了 をタップする

memo

◎割込通話サービスを「停止」に設定しても、パケット通信中にしばらくデータのやりとりがない場合には、かかってきた電話を受けることができます。
◎「最大3.1Mbpsエリア」でパケット通信をしている場合に割込通話サービスが「停止」に設定されていると、一部のサービスで設定通りに動作しなくなる場合があります。割込通話サービスが「開始」に設定されているときは、設定通りに動作します。
◎「エリア設定」を「日本」以外に設定している場合は、ご利用になれません。

割込通話を受ける

■ Aさんと通話中にBさんが電話をかけてきた場合

1 Aさんと通話中に割込音が聞こえる

2 をタップする

Aさんとの通話は保留になり、Bさんと通話できます。

通話をタップするたびにAさん･Bさんとの通話を切り替えることができます。

終了をタップすると、通話中／保留中の両方の通話が終了します。

memo

◎ 通話中に相手の方が電話を切ったときは、保留中の相手との通話に切り替わります。
◎ 割込通話時の着信も着信履歴に記録されます。ただし、発信者番号通知／非通知などの情報がない着信については記録されない場合があります。

割り込みされたくないときは

大事な用件などで割り込みされたくない通話相手の場合は、その相手の方との通話だけ、割り込みを禁止できます。

1 →「1」「4」「5」「2」＋相手先電話番号を入力→通話

memo

◎ 発信者番号を通知する／しないを設定する場合は、「186」／「184」を最初に入力してください。
◎ 割込禁止の通話中に別の相手から電話があった場合は、お話し中になります。ただし、お留守番サービスを開始しているときは、お留守番サービスへ転送されます。

三者通話サービスを利用する（オプションサービス）

通話中に他のもう1人に電話をかけて、3人で同時に通話できます。

■ Aさんと通話中に、Bさんに電話をかけて3人で通話する場合

1 Aさんと通話中にBさんの電話番号を入力

通話中に「連絡先」をタップすると、連絡先から電話番号を呼び出せます。

2 通話をタップする

通話中のAさんとの通話が保留になり、Bさんを呼び出します。

3 Bさんと通話

Bさんが電話に出ないときは、通話を2回タップするとAさんとの通話に戻ります。

4 通話をタップする

3人で通話できます。

通話をタップすると、Bさんとの電話が切れ、Aさんとの二者通話に戻ります。

終了をタップすると、Aさんとの電話とBさんとの電話が両方切れます。

memo

◎ 三者通話中の相手の方が電話を切ったときは、もう1人の相手の方との通話になります。
◎ 三者通話ではAさんとの通話、Bさんとの通話それぞれに通話料がかかります。
◎ 三者通話中は、割込通話サービスをご契約のお客様でも割り込みはできません。
◎ 三者通話の2人目の相手として、割込通話サービスをご利用のau電話を呼び出したとき、相手の方が割込通話中であった場合には、割り込みはできません。

■ご利用料金について

月額使用料	有料
通話料	電話をかけた方のご負担(保留中でも通話料はかかります)

発信番号表示サービスを利用する(標準サービス)

電話をかけた相手の方の電話機にお客様の電話番号を通知したり、着信時に相手の方の電話番号がお客様のIS02のタッチスクリーンに表示されるサービスです。

■お客様の電話番号の通知について

相手の方の電話番号の前に「184」(電話番号を通知しない場合)または「186」(電話番号を通知する場合)を付けて電話をかけることによって、通話ごとにお客様の電話番号を相手の方に通知するかどうかを指定できます。

memo

◎発信者番号(IS02の電話番号)はお客様の大切な情報です。お取り扱いについては十分にお気を付けください。
◎電話番号を通知しても、相手の方の電話機やネットワークによっては、お客様の電話番号が表示されないことがあります。

■相手の方の電話番号の表示について

電話がかかってきたときに相手の方の電話番号が、IS02のディスプレイに表示されます。
相手の方が電話番号を通知しない設定で電話をかけてきたときや、電話番号が通知できない電話からかけてきた場合は、「非通知設定」がディスプレイに表示されます。

番号通知リクエストサービスを利用する(標準サービス)

電話をかけてきた相手の方が電話番号を通知していない場合、相手の方に電話番号の通知をしてかけ直して欲しいことをガイダンスでお伝えするサービスです。

memo

◎初めてご利用になる場合は、停止状態になっています。
◎お留守番サービス(▶P.188)、着信転送サービス(▶P.194)、割込通話サービス(▶P.196)、三者通話サービス(▶P.197)のそれぞれと、番号通知リクエストサービスを同時に開始すると、番号通知リクエストサービスが優先されます。
◎番号通知リクエストサービスと迷惑電話撃退サービス(▶P.199)を同時に開始すると、迷惑電話撃退サービスが優先されます。
◎サービスの開始・停止には、通話料はかかりません。

番号通知リクエストサービスを開始する

1 →「1」「4」「8」「1」→通話

2 終了 **をタップする**

memo

◎電話をかけてきた相手の方が意図的に電話番号を通知してこない場合は、相手の方に「こちらはauです。お客様の電話番号を通知しておかけ直しください。」とガイダンスが流れ、相手の方に通話料がかかります。
◎番号通知リクエストサービスを開始したまま海外(国際ローミングエリア)へ行かれた場合にも、電話番号を通知してこない相手からの着信には、番号通知リクエストサービスのガイダンスが流れます。
◎「エリア設定」を「日本」以外に設定している場合や、次の条件からの着信時は、番号通知リクエストサービスは動作せず、通常の接続となります。
- 公衆電話、国際電話
- Cメール
- その他、相手の方の電話網の事情により電話番号を通知できない電話からの発信の場合

番号通知リクエストサービスを停止する

1 →「1」「4」「8」「0」→通話

2 終了 **をタップする**

迷惑電話撃退サービスを利用する（オプションサービス）

迷惑電話やいたずら電話がかかってきて通話した後に「1442」にダイヤルすると、次回からその発信者からの電話を「お断りガイダンス」で応答するサービスです。

memo

◎お留守番サービス(▶P.188)、着信転送サービス(▶P.194)、割込通話サービス(▶P.196)、三者通話サービス(▶P.197)、番号通知リクエストサービス(▶P.198)のそれぞれと、迷惑電話撃退サービスを同時に開始すると、迷惑電話撃退サービスが優先されます。

■ご利用料金について

月額使用料	有料
受信拒否リスト登録「1442」	無料
最後の登録を削除「1448」	無料
すべての登録を削除「1449」	無料

最後に着信した電話番号を受信拒否リストに登録する

迷惑電話などの着信後、次の操作を行います。

1 📞→「1」「4」「4」「2」→ 通話

2 終了 **をタップする**

memo

◎受信拒否リストに登録できる電話番号は10件までです。10件を超えて登録すると、最も古い電話番号を削除して、新しい電話番号を登録します。

◎電話番号の通知のない着信についても、受信拒否リストに登録できます。

◎「エリア設定」を「日本」以外に設定している場合や、次の条件からの着信時は受信拒否リストへは登録できません。
- 警察、消防機関、海上保安本部
- 公衆電話、国際電話
- Cメール

◎通話をせずに、不在着信となった電話番号は登録できません。

◎受信拒否リストに登録した相手の方から電話がかかってくると、相手の方に「こちらはauです。おかけになった電話番号への通話は、お客様のご希望によりおつなぎできません。」とお断りガイダンスが流れ、相手の方に通話料がかかります。

◎受信拒否リストに登録された相手の方が、電話番号を非通知で発信した場合もお断りガイダンスに接続されます。

◎国際ローミング中には、受信拒否リストの登録／削除できません。日本で受信拒否リストに登録されていた相手から着信があった場合には、お断りガイダンスに接続されます。

◎受信拒否リストに登録した相手の方でも次の条件の場合は、迷惑電話撃退サービスは動作せず、通常の接続となります。
- Cメール
- 国際ローミング中のau電話からの着信

最後に登録した電話番号を受信拒否リストから削除する

1 📞→「1」「4」「4」「8」→ 通話

2 終了 **をタップする**

memo

◎受信拒否リストに複数の電話番号が登録されている場合は、最後に登録した電話番号から順に1件ずつ削除されます。

受信拒否リストに登録した電話番号を全件削除する

1 📞→「1」「4」「4」「9」→ 通話

2 終了 **をタップする**

通話明細分計サービスを利用する（オプションサービス）

分計したい通話について相手先電話番号の前に「131」を付けてダイヤルすると、通常の通話明細書に加えて、分計ダイヤルした通話分について分計明細書を発行するサービスです。それぞれの通話明細書には、「通話先・通話時間・通話料」が記載されます。

1 →「1」「3」「1」＋相手先電話番号を入力→通話

memo

◎分計したい通話ごとに、相手先電話番号の前に「131」を付けてダイヤルする必要があります。

◎発信者番号を通知する／しないを設定する場合は、「186」／「184」を最初にダイヤルしてください。

◎フリーダイヤル、110、119、118などの一部の番号では「131」を付けて分計発信できません。分計対象外の番号へ「131」を付けてダイヤルした場合は、ご利用できない旨のガイダンスが流れます。

◎月の途中でサービスに加入されても、加入日以前から「131」を付けてダイヤルされていた場合は、月初めまでさかのぼって分計対象として明細書へ記載されます。

海外利用

グローバルパスポートCDMA 204
海外で安心してご利用いただくために 204
海外利用に関する設定を行う 204
国際電話を利用する 206
お問い合わせ方法 207
サービスエリアと海外での通話料 208
パケットサービスと通信料 209
国際アクセス番号＆国番号一覧 210
ご利用上のご注意 211
グローバルパスポートGSM 212
GLOBAL PASSPORT GSM（グローバルパスポートGSM）について 212

グローバルパスポートCDMA

海外で安心してご利用いただくために

ご利用前に必ずお読みください。

海外での通信ネットワーク状況はauホームページでご案内しています。渡航前に必ずご確認ください。 http://www.au.kddi.com/service/kokusai/tokomae/

■ 第三者による不正利用を防ぐためPIN1コードを設定しましょう

- au電話に挿入されているau ICカードを盗難・紛失された場合、第三者によって他の携帯電話(海外の携帯電話を含みます)に挿入され不正利用される可能性がありますので、PIN1コードを設定されることをおすすめします。(▶P.38「PINコードを設定する」)

■ 携帯電話を盗難・紛失したら

速やかにauへご連絡ください

- 海外で携帯電話を盗難・紛失された場合は、弊社お問い合わせ先まで速やかにご連絡いただき、通話停止の手続きをおとりください。盗難・紛失されたあとに発生した通話料・パケット通信料もお客様の負担になりますのでご注意ください。

■ 海外での通話・通信のしくみを知って、正しく利用しましょう

- ご利用料金は国・地域によって異なります。
- 海外における通信料・パケット通信料は、各種割引サービス・パケット通信料定額/割引サービスの対象となりません。
- 海外で着信した場合でも通話料がかかります。
- 国・地域によっては、「通話」をタップした時点から通話料がかかる場合があります。

海外利用に関する設定を行う

海外でIS02を利用するには、滞在先で接続する通信事業者のネットワークに切り替える必要があります。

PRL(ローミングエリア情報)を取得する

PRL(ローミングエリア情報)とは、KDDI(au)と国際ローミング契約を締結している海外提携事業者のエリアに関する情報です。

1 **▦→「設定」→「一般設定」→「グローバル設定」**

- ⊞→「設定」→「グローバル設定」でも操作できます。

2 **「次へ」→「PRL手動更新」**

PRLを取得します。

- 画面の指示に従って、PRLデータをダウンロードしてください。

◎ PRLデータをダウンロードする場合には、別途パケット通信料およびau.NET利用料がかかります。
◎ 海外渡航時には、最新のPRLを取得してから渡航先でお使いください。
◎ 古いPRLデータのまま利用し続けている場合は、海外のエリアによって通信ができなくなることがありますので、あらかじめご了承ください。

エリアを設定する

お買い上げ時	日本

1 ▦→「設定」→「一般設定」→「グローバル設定」

• ⊞→「設定」→「グローバル設定」でも操作できます。

2 「次へ」→「エリア設定」

エリア設定画面が表示されます。

3 エリアを選択する

日本	日本国内で利用します。
海外	海外で利用します（PRLに従って自動設定されます）。
手動	海外で利用します（新規登録したエリアから選択して設定します）。

※「日本」または「海外」に変更すると、IS02が再起動します。

memo

◎「エリア設定」を「海外」に設定すると、滞在国選択画面が表示される場合があります。滞在国を選択してください。
◎「エリア設定」を「海外」に設定し、滞在先が「アメリカ」「サイパン」のいずれかの場合、「911」（アメリカにおける緊急通報）が緊急通報番号となります。

■ エリアを新規登録する

お買い上げ時	登録なし

「PRL手動更新」で取得したPRL（ローミングエリア情報）に登録されていないサービスエリアがサービス対応エリアになった場合、エリアごとに以下の内容を手動で設定して、新規エリアとして最大20件登録できます。

エリア名	任意のエリア名
国際アクセス番号	国際電話をかける際に付加するアクセス番号
システム	使用する電波の周波数帯
チャンネル	使用する電波の周波数

1 エリア設定画面で「手動」をタップする

2 「新規登録」→エリア名を入力→「次へ」→国際アクセス番号を入力→「次へ」

3 使用するチャンネルを選択する

Aシステム	Aシステムの周波数を使用します。
Bシステム	Bシステムの周波数を使用します。
チャンネル手動入力	手動入力チャンネル番号（第1～第4優先チャンネル）を入力します。

memo

◎手動登録エリア一覧画面で、登録したエリアを選択して「メニュー」をタップすると、次の操作ができます。

設定変更	選択したエリアを再設定します。 • 設定中のエリアは再設定できません。
削除	選択したエリアを削除します。 • 設定中のエリアは削除できません。

国際電話を利用する

滞在国外(日本含む)に電話をかける(グローバルパスポートCDMA)

滞在国からほかの国へ電話をかけることができます。

1 をタップする

電話画面が表示されます。

2 ＋(「0」を1秒以上タップ)→国番号→地域番号(市外局番)→電話番号の順に入力する

- 地域番号(市外局番)が「0」で始まる場合には、「0」を除いて入力してください。ただし、イタリアなど一部の国･地域では「0」が必要な場合があります。
- 電話をかける相手がグローバルパスポート利用者の場合は、相手の滞在先にかかわらず国番号として「81」(日本)を入力してください。

3 通話をタップする

滞在国内に電話をかける

日本国内での操作と同様の操作で、相手の一般電話や携帯電話に電話をかけることができます。

1 をタップする

電話画面が表示されます。

2 電話番号を入力する

- 一般電話にかける場合は、滞在国によって操作が異なります。

滞在国	電話番号
アメリカ本土、ハワイ、サイパン	「1」＋地域番号(市外局番)＋電話番号
ニュージーランド、韓国、中国、香港、マカオ、タイ、台湾、インドネシア、ベトナム、イスラエル、インド、ジャマイカ、ペルー、ブラジル、バミューダ諸島、バングラデシュ、バハマ、ベネズエラ	地域番号(市外局番)＋電話番号
メキシコ	市内通話の場合：地域番号(市外局番)＋電話番号 市外通話の場合：「01」＋地域番号(市外局番)＋電話番号

- 電話をかける相手がグローバルパスポート利用者の場合は、滞在国内に電話をかける場合でも、日本への国際電話として(国番号として「81」(日本)を入力)電話をかけてください。

3 通話をタップする

滞在先で電話を受ける

日本国内にいるときと同様の操作で電話を受けることができます。

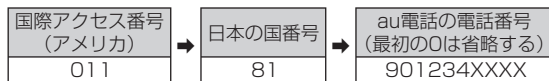
◎ 滞在先に電話がかかってきた場合は、いずれの国からの電話であっても日本からの国際転送となります。発信側には日本までの通話料がかかり、着信側には着信料がかかります。

■ 日本国内から滞在先に電話をかけてもらう場合

日本国内にいるときと同様に電話番号をダイヤルして、電話をかけてもらいます。

■ 日本以外の国から滞在先に電話をかけてもらう場合

滞在先にかかわらず日本経由で電話をかけるため、国際アクセス番号および「81」をダイヤルしてもらう必要があります。

例：アメリカから日本国内のau電話「090-1234-XXXX」にかけてもらう場合

お問い合わせ方法

海外で携帯電話を盗難・紛失された場合は、弊社お問い合わせ先まで速やかにご連絡いただき、通話停止の手続きをおとりください。盗難・紛失されたあとに発生した通話料・パケット通信料もお客様の負担になりますのでご注意ください。

海外からのお問い合わせ

■ IS02からのお問い合わせ方法（無料）

受付時間：24時間

■ 一般電話からのお問い合わせ方法1（渡航先別電話番号）

地域	国・地域	電話番号
アジア	韓国	002-800-00777113
	中国／マカオ／台湾	00-800-00777113
	香港／タイ	001-800-00777113
	インドネシア	001-803-81-0235
	インド	000800-810-1134
	ベトナム	120-81-003
北米・中南米	アメリカ（本土）	1-877-532-6223
	メキシコ	01-800-123-3426
	バミューダ諸島	1-800-623-2011
	ブラジル	0021-800-00777113
オセアニア	ハワイ	1-877-532-6223
	サイパン	811-0064
	ニュージーランド	00-800-00777113

受付時間：24時間（国内通話料がかかります）

■ 一般電話からのお問い合わせ方法2

「一般電話からのお問い合わせ方法1」に記載のない国・地域からは、以下の方法でお問い合わせください。

渡航先の国際アクセス番号 ＋ 81 ＋ 3 ＋ 6670 ＋ 6944

受付時間：24時間（国際通話料がかかります）

日本国内からのお問い合わせ

- 一般電話から　フリーコール 0077-7-111（通話料無料）
- au電話から　（局番なしの）157番（通話料無料）

受付時間：9:00～20:00（年中無休）

サービスエリアと海外での通話料

渡航先の国・地域によってご利用いただけるサービスや通話料が異なります。

通話料は免税。単位は円／分。

	国・地域名	音声通話	パケットサービス	滞在国内通話料	日本への国際通話料	他の国への国際通話料	着信した場合の料金
アジア	韓国	○	○	50	125	265	70
	中国	○	○	70	175	265	145
	香港	○	○	70	175	265	145
	マカオ	○	－	70	175	265	145
	台湾	○	○	70	175	265	145
	タイ	○※	○※	70	175	265	155
	ベトナム	○	○	70	195	280	80
	インドネシア	○	○	70	260	280	155
	バングラデシュ	○	－	70	180	280	180
	インド	○	○	70	180	280	180
	イスラエル	○	○	70	260	280	140
北米・中南米	アメリカ（本土）	○	○	120	140	210	165
	メキシコ	○	○	70	230	280	180
	バミューダ諸島	○	－	120	140	210	165
	ジャマイカ	○	－	120	140	210	165
	バハマ	○	－	120	140	210	165
	ベネズエラ	○	－	130	330	330	140
	ペルー	○	－	70	230	280	140
	ブラジル	○	－	80	280	280	140
オセアニア	ハワイ	○	○	120	140	210	165
	サイパン	○	○	80	140	210	130
	ニュージーランド	○	－	80	180	280	80

※バンコク周辺（タイ）ではご利用いただけません。

memo

◎各種割引サービス･パケット通信料定額／割引サービスの対象となりません。
◎**海外で着信した場合でも通話料がかかります。**
◎発信先は、一般電話でも携帯電話でも同じ通話料がかかります。
◎渡航先でコレクトコール･フリーダイヤルなどをご利用になった場合でも渡航先での国内通話料がかります。
◎アメリカ本土、ハワイ、グアム、サイパン、カナダ、プエルトリコ、米領バージン諸島の間の通話料は、各国･地域内通話料金（120円／分または80円／分）となります。
◎ニュージーランドで情報提供ダイヤルをご利用になると一律600円／分の料金がかかりますのでご注意ください。
◎韓国で情報提供ダイヤルをご利用になると一律500円／分の料金がかかりますのでご注意ください。
◎中国、香港、マカオ、台湾の間の通話料は、「日本以外への国際通話」料金（265円／分）となります。
◎国･地域によっては、「通話」をタップした時点から通話料がかかる場合があります。したがって相手につながらなくても通話料が発生することがあります。
◎2010年3月現在の情報です。

パケットサービスと通信料

■ 海外では以下のパケットサービスがご利用いただけます

通信サービス	利用
Cメール（受信のみ）	○※
インターネット接続	○

※Cメールは受信のみ利用可能です。また、受信料は無料です。

memo

◎通信方式：CDMA2000 1X方式パケット通信（下り最大144kbps上り最大64kbpsのベストエフォート。ただし、海外通信事業者の提供速度によります。）
◎Cメールのデータ量が渡航先の携帯電話網で許容されている長さより長い場合は、Cメールの内容が一部受信できなかったり、複数に分割されて受信する場合や文字化けして受信する場合があります。また、電波状態などによって送信者がCメールを蓄積されても、渡航先では受信されません。

■ パケット通信料などの通信料（免税）

パケット通信料	Cメール受信料
0.2円／パケット	無料

memo

◎海外でご利用になった場合の料金です。海外で受信したパケット量に応じて課金されます（1パケット=128バイト）。
◎渡航先でのパケット通信料は、各種割引サービス･パケット通信料定額／割引サービスの対象となりません。
◎渡航先でパケット通信を行う場合、「au.NET」（ご利用月のみ月額945円）のご利用が必要です。

国際アクセス番号&国番号一覧

■ 国際アクセス番号

国·地域名	番号
アメリカ本土、ハワイ、プエルトリコ、米領バージン諸島、ジャマイカ、グアム、サイパン、カナダ、バミューダ諸島、バハマ	011
ニュージーランド、中国、マカオ、ベトナム、メキシコ、ペルー、イスラエル、インド、バングラデシュ、ベネズエラ	00
韓国	00700
台湾	005
香港、タイ、インドネシア	001
ブラジル	0021

■ 国番号(カントリーコード)

国·地域名	番号	国·地域名	番号
アイルランド(IRL)	353	ドイツ(DEU)	49
アメリカ合衆国(USA)	1	日本(JPN)	81
アラブ首長国連邦(ARE)	971	ニュージーランド(NZL)	64
イギリス(GBR)	44	ノルウェー(NOR)	47
イタリア(ITA)	39	バミューダ諸島(BMU)	1
インド(IND)	91	ハンガリー(HUN)	36
インドネシア(IDN)	62	バングラデシュ(BGD)	880
オーストリア(AUT)	43	フィリピン(PHL)	63
オランダ(NLD)	31	フィンランド(FIN)	358
カナダ(CAN)	1	ブラジル(BRA)	55
韓国(KOR)	82	フランス(FRA)	33
ギリシャ(GRC)	30	ベトナム(VIE)	84
ジャマイカ(JAM)	1	ペルー(PER)	51
シンガポール(SGP)	65	ベルギー(BEL)	32
スイス(CHE)	41	ポルトガル(PRT)	351
スウェーデン(SWE)	46	香港(HKG)	852
スペイン(ESP)	34	マカオ(MAC)	853
タイ(THA)	66	マレーシア(MYS)	60
台湾(TWN)	886	メキシコ(MEX)	52
中国(CHN)	86	ルクセンブルグ(LUX)	352
デンマーク(DNK)	45	ロシア(RUS)	7

※ハワイ、プエルトリコ、米領バージン諸島、グアム、サイパンの国番号は、アメリカ合衆国(USA)「1」になります。

ご利用上のご注意

■渡航先での音声通話に関するご注意

- 渡航先でコレクトコール・フリーダイヤル・クレジットコール・プリペイドカードコールをご利用になった場合、渡航先での国内通話料が発生します。
- **国・地域によっては、「通話」をタップした時点から通話料がかかる場合があります。**
- 海外で着信した場合は、日本国内から渡航先までの国際通話料が発生します。着信通話料については、国内利用分と合わせてauからご請求させていただきます。着信通話料には国際通話料が含まれていますので、別途国際電話会社からの請求はありません。

■通話明細に関するご注意

- 通話時刻は日本時間での表記となりますが、実際の通話時刻と異なる場合があります。
- 海外通信事業者などの都合により、通話明細上の通話先電話番号、ご利用地域が実際と異なる場合があります。
- 渡航先で着信した場合、「通話先電話番号」に着信したご自身のau電話の番号が表記されます。

■渡航先でのパケット通信料に関する注意

- 渡航先でのご利用料金は、国内でのご利用分に合算して翌月に（渡航先でのご利用分につきましては、翌々月以降になる場合があります）請求させていただきます。同一期間のご利用であっても別の月に請求される場合があります。
- 国内でパケット通信料が無料となる通信を含め、渡航先では全ての通信に対しパケット通信料がかかります。

■渡航先での電子メール・Cメールのご利用に関するご注意

- 渡航先においては、パケット利用可能なマークの表示のある場合にパケット通信が可能です。圏内表示のみの場合は音声通話のみご利用いただけます。
- Cメールのデータ量が渡航先の携帯電話網で許容されている長さより長い場合は、Cメールの内容が一部受信できなかったり、複数に分割されて受信する場合や文字化けして受信する場合があります。また、電波状態などによって送信者がCメールを蓄積されても、渡航先では受信されません。
- Cメールを電波状態の悪いエリアで受信した場合、日本へ帰国された後で渡航先で受信したメッセージと同一のメッセージを受信することがあります。
- 渡航先で、電波状態などの問題によりCメールを直接受け取れなかった場合には、送信者がそのCメールを蓄積しても、ローミング中は受信できません。お預かりしたCメールはCメールセンターで72時間保存されます。

■その他ご利用上の注意

- 渡航先での通話料・パケット通信料は、各種割引サービス・パケット通信料定額／割引サービスの対象となりません。
- 渡航先により、連続待受時間が異なりますのでご注意ください。
- 各国に対応したプラグもしくはACケーブル（別売）をご利用ください。
- 渡航先でリダイヤルする場合は、しばらく間隔をあけておかけ直しいただくとつながりやすくなります。
- 渡航先でグローバルパスポートから発信した場合、原則として着信側に発信者番号は通知されません。
- 渡航先でグローバルパスポートに着信した場合、原則として発信者番号は表示されますが、海外通信事業者の事情により「通知不可能」や全く異なる番号が表示されることがあります。また、発信側で発信者番号を通知していない場合であっても、発信者番号が表示されることがあります。

- サービスエリア内でも、電波の届かないところではご利用になれません。
- グローバルパスポートは、海外通信事業者の事情によりつながりにくい場合があります。
- 航空機の中では、計器類に悪影響を与えますので、携帯電話の電源は必ずお切りください。
- グローバルパスポートは海外通信事業者ネットワークに依存したサービスですので、海外通信事業者などの都合により、発着信・各種サービス、一部の電話番号帯への接続がご利用いただけない場合があります。
- 渡航先でのネットワークガイダンスは海外通信事業者のガイダンスに依存します。
- 渡航先ローミング中は、「料金安心サービス」の発信規制の対象になりません。
- 渡航中に「料金安心サービス【ご利用停止コース】」で設定した限度額を超過した場合、渡航先ではそのままご利用いただけますが、帰国後の国内通話は発信規制となります。また国内で発信規制状態になっていても、グローバルパスポートとしては渡航先で使うことができます。
- 番号通知リクエストサービスを起動したまま渡航され、日本以外の国から着信を受けた場合、相手の方に番号通知リクエストガイダンスが流れ、着信できない場合がありますので、あらかじめ日本国内で停止してください。
- 渡航先でご利用いただけない場合、au電話の電話をOFF/ONすることでご利用可能となる場合があります。

グローバルパスポートGSM

GLOBAL PASSPORT GSM（グローバルパスポートGSM）について

グローバルパスポートGSMとは、au ICカードを海外用GSM携帯電話に差し替えてご利用いただく国際ローミングサービスです。いつもの電話番号のまま世界のネットワークで話せます。

- 特別な申し込み手続きや日額・月額使用料は不要で、通話料は国内分との合算請求ですので、お支払いも簡単です。ご利用可能国、料金、GSM携帯電話、その他サービス内容など詳細につきましては、auホームページもしくは、auお客様センターにてご確認ください。

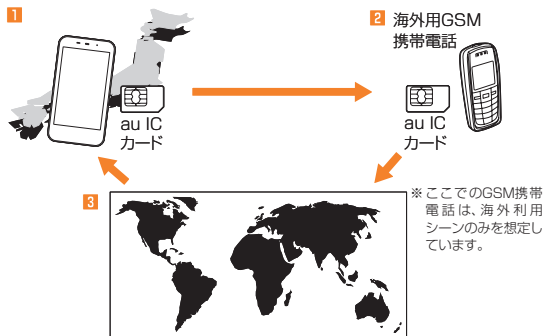
IS02はグローバルパスポートCDMAにも対応しています。
（▶P.204「グローバルパスポートCDMA」）
グローバルパスポートGSMとグローバルパスポートCDMAの対応エリアについてはauホームページもしくは、auお客様センターにてご確認ください。

memo

◎GSMとは、Global System for Mobile Communications の略。デジタル携帯電話に使われている無線通信方式の1つで、欧州、アメリカ、アジア、オセアニア、アフリカなど、世界で幅広く利用されている方式です。日本で使われているCDMAやPDCなどとの適合はしていません。
◎国際ローミングとは、日本でお使いの携帯電話または番号のまま海外の携帯電話事業者ネットワークにおいて音声通話などをご利用いただくサービスです。

■ご利用イメージ

1. **国内では、au ICカード対応携帯電話としてご利用になれます**
2. **au ICカードを海外用GSM携帯電話に差し替えます**
3. **世界のGSMネットワークでいつもの番号で話せます**
4. **帰国したらau ICカードをいつもの携帯電話へ戻します**

★国内モードへの変更などの手続きは不要です。

海外でご利用になるときは

海外でグローバルパスポートGSMをご利用になるときは、IS02からau ICカードを取り外し、海外用GSM携帯電話の『取扱説明書』に従い、取り付けてください。(▶P.38「au ICカードを取り外す」)

memo

◎ 設定方法はGSM携帯電話のメーカーおよび機種により異なりますので、その『取扱説明書』をご参照ください。なお、渡航前に設定の確認をされることをおすすめします。

◎ auホームページに記載されているGSM携帯電話以外での本サービスの利用可否、au ICカードの故障、破損などにより、万一内容が変化･消失した場合の損害および逸失利益につきましてはKDDI(株)、沖縄セルラー電話(株)では一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

◎ IS02の「入力要否設定」でお客様がPINコード入力の必要な設定をしている場合、GSM携帯電話でも同様の入力が必要になります。(▶P.38「PINコードを設定する」)

◎ 新規ご契約でご利用の場合、日本国内での最初のご利用日の2日後から海外でのご利用が可能です。

◎ 海外旅行の際はauホームページに記載されている「海外からのお問い合わせ番号」をご確認いただき、渡航前にお控えください。携帯電話もしくはau ICカードを盗難･紛失された場合は、速やかにお問い合わせ先までご連絡いただき、通話停止の手続きをお取りください。

◎ au ICカードを盗難･紛失された場合、第三者によって他の携帯電話(海外用GSM携帯電話を含む)に挿入され、不正利用される可能性もありますので、PIN1コードを設定されることをおすすめします。(▶P.38「PINコードを設定する」)

付録／索引

付録......216
メニュー一覧......216
周辺機器のご紹介......222
こんな表示が出たら......223
故障とお考えになる前に......224
アフターサービスについて......227
主な仕様......229
携帯電話機の比吸収率などについて......230
FCC notice......231
FCC RF exposure information......231
Body-worn operation......231
輸出管理規制......232
知的財産権について......232
Windows Mobileの製品情報について......234
索引......235
簡易英語版......237
簡易中国語版......239

付録

メニュー一覧

東芝ホーム画面のメニュー

▦をタップすると表示されます。

アプリケーション			概要	参照先
Office Mobile			Office文書の作成や表示ができます。	P.146
	Excel Mobile		Excel Mobileを利用できます。	P.148
	OneNote Mobile		OneNote Mobileを利用できます。	P.152
	PowerPoint Mobile		PowerPoint Mobileを利用できます。	P.151
	Word Mobile		Word Mobileを利用できます。	P.146
お気に入り			Internet Explorer Mobileに登録してあるお気に入りを表示します。	P.107
ゲーム			ソリティアがインストールされています。	P.156
	ソリティア		トランプを並べていくゲームを始めます。	P.156
設定				
	ネットワーク／接続			
		Bluetooth	Bluetooth®機能をオンにして、ほかのBluetooth®対応機器と接続します。	P.144、P.178
		USB to PC	パソコンとのUSB接続を、ActiveSyncモードまたはマスストレージモードに切り替えます。	P.134
		USBモード	パソコンとのUSB接続を、Active Sync／マスストレージモードまたはダイヤルアップ接続モードに切り替えます。	P.134、P.135
		Wi-Fi設定	SSID（ネットワーク名）、セキュリティの種類などの接続情報を登録したり、ホームアクセスポイントを設定したりします。	P.176
		ネットワークサービス	お留守番サービス、割込通話サービス、着信転送サービスの設定ができます。	P.188

アプリケーション			概要	参照先
設定	バックライト／省電力			
		スリープモードLED設定	お知らせLEDでスリープモード中であることをお知らせするかどうかを設定します。	P.36
		明るさ･省電力設定	バックライトを設定したり、電池を節約する設定をしたりします。	P.162、P.175
	一般設定			
		ATOK設定	変換辞書の設定や単語登録ができます。	P.64
		PIN1コード設定	第三者によるau ICカードの無断使用を防止するために、PIN1コードの入力要否とPIN1コードを設定できます。	P.38
		グローバル設定	海外利用に関する設定ができます。	P.204
		ソフトウェア更新	専用のダウンロードサイトからIS02の修正用ファイルをダウンロードし、ソフトウェアの更新を行います。	P.171
		ドメインへの登録	IS02を会社のドメインに登録して、社内システム管理者がIS02を管理できるように設定します。	P.181
		バージョン情報	OSやソフトウェアのバージョンやMACアドレスなどの機器情報を確認します。	P.168
		プログラムの削除	インストールしたプログラムを削除します。	P.166
		マスタークリア	お買い上げ以降に登録したすべてのデータを消去し、IS02をお買い上げ時の状態に戻します。	P.169
		メモリ	IS02および外部メディアのメモリ使用状況を確認できます。	P.166
		画面キャプチャ設定	▣を押して現在表示されている画面を撮影する機能の有効／無効を切り替えます。	P.119
		管理プログラム	社内システム管理者によってインストールされたプログラムの履歴を確認します。	－
		証明書	インストールされている証明書についての情報を表示します。	P.42
		接続	IS02がインターネットや社内ネットワークに接続するための設定をします。	P.178、P.182
		電話	着信音などの電話の設定をカスタマイズできます。	P.76

アプリケーション			概要	参照先
設定	音／マナーモード			
		マナーモード設定	マナーモードの設定ができます。	P.76
		音と通知	メール受信やアラームなどのイベントごとに通知音やお知らせLEDの点滅などを設定します。	P.161
	画面設定			
		ホーム	スタートメニューとWindows Mobileのホーム画面の背景イメージや、タイトルバーとメニューバーの配色を、テーマごとに変更できます。	P.163
		モーションセンサー設定	IS02を持ち替えたり、振ったり、IS02の背面を2回タップしたりして、画面の縦横を切り替えたり、アプリケーションを起動したりする操作の有効／無効を設定します。	P.55
		画面	画面の向きや文字サイズ、文字の滑らかさを設定します。	P.164
	時計設定			
		時計とアラーム	日付と時刻の変更や特定の曜日と時刻にアラームを設定できます。	P.37、P.161
		自動時刻補正	携帯電話のネットワークから通知される日付・時刻情報をもとに、IS02の日付・時刻を自動で設定できます。	P.36
		地域	IS02で表示する数値、通貨、日時の表示方法を、選択した地域ごとに設定できます。	P.37、P.164
	東芝ホーム設定			
		システム	東芝ホーム画面でアイテムや空きスペースを1秒以上タップしたときの動作を設定します。	P.163
		ホーム画面	東芝ホーム画面のページ数などを設定します。	P.163
		アニメーション	東芝ホーム画面内の項目をタップしたときや、左右にスライドさせたときのアニメーション効果を設定します。	P.163
		バージョン情報	Spb Mobile Shellのバージョン情報を表示します。	P.163

アプリケーション		概要	参照先
設定	オーナー情報	お客様ご自身の情報やメモを入力できます。	P.58
	ロック	デバイスロックのパスワードの設定ができます。	P.39
	ワイヤレスマネージャー	通話および通信機能のオン／オフを切り替えます。	P.42、P.174、P.175、P.177
予定リスト		会議などの予定を登録します。	P.84
連絡先		連絡先を登録したり、検索から発信までの操作を行ったりします。	P.51、P.78
ActiveSync		IS02とパソコンの間で情報の同期ができます。	P.143
Adobe Reader LE		PDFファイルを表示できます。	P.153
ClipBook		クリップブックを使って静止画を整理し、快適に閲覧できます。	P.121
Cyber-SIGN		電源を入れたときやスリープモード中にを押したときに、手書きのサインを入力するように設定できます。	P.41
Cメール		Cメールの送受信ができます。	P.98
eBookJapan		電子書籍をダウンロード購入して読むことができます。	P.157
Internet Explorer		Webページを閲覧したり、プログラムやファイルをインターネットからダウンロードできます。	P.106
Marketplace		好みのアプリケーションを探してIS02にインストールできます。	P.160
Messenger		Windows Live Messengerを起動します。	P.113
Microsoft My Phone		マイクロソフト社のオンラインデータ保存サービスを利用できます。	P.137
PhotoBase		静止画のトリミングやコントラスト調整をしたり、フレームを貼り付けたりすることができます。	P.128

アプリケーション	概要	参照先
SPB Backup	IS02内の連絡先や予定、電子メール、My Documentsなどのデータをバックアップできます。	P.138
Toshiba Mobile Plaza	Toshiba Mobile PlazaのWebページを表示できます。	－
VideoEditor	静止画を組み合わせてフォトムービーを作成したり、動画に音楽や音声、字幕などを追加したりできます。	P.128
Windows Live	マイクロソフト社が提供するオンラインサービスを利用します。	P.111
Windows Media	音楽や動画を再生できます。	P.123
アラーム	特定の曜日と時刻にアラームを設定できます。	P.161
いつもNAVI（地図）	今いる場所を確認し、周辺情報を検索することができます。	P.158
エクスプローラー	ファイルの整理や管理をします。	P.130
カメラ	静止画や動画を撮影します。	P.116
スマートフォンアドレス帳移行ツール	別のau電話またはWindows Mobile端末との間で、連絡先データの全件移行を行います。	P.80
タスク マネージャー	実行中のアプリケーションを切り替えたり終了します。	P.58
メモ	手書きでメモを作成したり文字入力パッドやキーボードで文字を入力してメモを作成できます。音声を録音することもできます。	P.87
画像とビデオ	IS02やmicroSDカードに保存されている静止画や動画を表示できます。	P.122
検索	IS02のMy DocumentsおよびmicroSDカード内のファイル名や、連絡先、メモなどのデータに含まれる文字列を検索します。	P.135
仕事	現在の仕事の進捗や優先度などを管理できます。	P.82
電子メール	電子メールの送受信ができます。	P.92
電子辞典	国語辞典、英和辞典、和英辞典を利用できます。	P.157
電卓	加算、減算、乗算、除算などの基本的な計算ができます。	P.156
電話	電話をかけることができます。	P.68
名刺OmCR	カメラで撮影した名刺の文字情報を連絡先に登録できます。	P.120

Windows Mobileのスタートメニュー

🪟をタップすると表示されます。

アプリケーション	概要	参照先
ホーム	東芝ホーム画面またはWindows Mobileのホーム画面を表示します。	P.45
電話	電話をかけることができます。	P.68
Cメール	Cメールの送受信ができます。	P.98
電子メール	電子メールの送受信ができます。	P.92
連絡先	友人や知人の氏名、電話番号、勤務先、住所などを登録します。	P.78
Internet Explorer	Webページを閲覧したり、プログラムやファイルをインターネットからダウンロードできます。	P.106
予定表	会議などの予定を登録します。	P.84
設定 ※東芝ホーム画面→▦→「設定」→▦→「すべての設定」をタップしても、Windows Mobileのスタートメニューの「設定」を呼び出すことができます。		
東芝ホーム画面への切替	東芝ホーム画面に切り替えます。	P.164
Bluetooth	Bluetooth®機能をオンにして、ほかのBluetooth®対応機器と接続します。	P.144、P.178
時計とアラーム	日付と時刻の変更や特定の曜日と時刻にアラームを設定できます。	P.37、P.161
ロック	デバイスロックのパスワードの設定ができます。	P.39
ホーム	スタートメニューとWindows Mobileのホーム画面の背景イメージや、タイトルバーとメニューバーの配色を、テーマごとに変更できます。	P.163、P.164

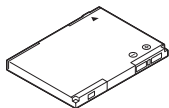
アプリケーション			概要	参照先
設定	パワー マネージメント		バッテリー残量を表示したり、スリープモードになるまでの時間を設定したりできます。	P.162、P.175
	音と通知		メール受信やアラームなどのイベントごとに通知音やお知らせLEDの点滅などを設定します。	P.161
	接続			
		USB to PC	パソコンとのUSB接続を、Active Syncモードまたはマスストレージモードに切り替えます。	P.134
		USBモード	パソコンとのUSB接続を、Active Sync／マスストレージモードまたはダイヤルアップ接続モードに切り替えます。	P.134、P.135
		Wi-Fi	無線LAN接続の設定をします。	P.175、P.177
		ドメインへの登録	IS02を会社のドメインに登録して、社内システム管理者がIS02を管理できるように設定します。	P.181
		ネットワークサービス	お留守番サービス、割込通話サービス、着信転送サービスの設定ができます。	P.188
		ビーム	IS02がBluetooth®通信で送られてきたデータを受信できるように設定します。	P.181
		ワイヤレスマネージャー	通話および通信機能のオン／オフを切り替えます。	P.42、P.174、P.175、P.177
		接続	IS02がインターネットや社内ネットワークに接続するための設定をします。	P.178、P.182
	個人			
		PIN1コード設定	第三者によるau ICカードの無断使用を防止するために、PIN1コードの入力要否とPIN1コードを設定できます。	P.38
		オーナー情報	お客様ご自身の情報やメモを入力できます。	P.58
		タッチキーバックライト設定	[通話]／[Windows]／[ホーム]のバックライトを設定します。	P.163

アプリケーション			概要	参照先
設定	個人			
		ツールボックス設定	ツールボックスを使用するかどうかを設定します。	P.57
		ボタン	キーのプログラムの割り当てや「移動開始までの待ち時間」、「移動速度」を変更します。	P.167
		マナーモード設定	マナーモードの設定ができます。	P.76
		自局番号	お使いのIS02の電話番号を確認します。	P.58
		電話	着信音などの電話の設定をカスタマイズできます。	P.76
		入力パネル設定	文字入力で使用する入力パネルを選択します。	P.60
	システム			
		ATOK設定	変換辞書の設定や単語登録ができます。	P.64
		Cyber-SIGN	電源を入れたときやスリープモード中に[電源]を押したときに、手書きのサインを入力するように設定できます。	P.41
		Internal GPS	GPSデータをインターネットから取得します。	P.159
		エラー報告	エラー報告機能の有効／無効を設定します。この機能が有効のときプログラムエラーが発生すると、プログラムとIS02の状態を示す技術データがテキストファイルでログ化されます。エラーが発生したとき送信を選択すると、マイクロソフト社のテクニカルサポートセンターに匿名でエラー情報が送信されます。	P.168
		カスタマーフィードバック	Windows Mobileソフトウェアの使用状況に関する匿名の情報をマイクロソフト社に送信するかどうかを設定します。	P.168
		スリープモードLED設定	お知らせLEDでスリープモード中であることをお知らせするかどうかを設定します。	P.36

アプリケーション			概要	参照先
設定	システム			
		ソフトウェア更新	専用のダウンロードサイトからIS02の修正用ファイルをダウンロードし、ソフトウェアの更新を行います。	P.171
		タスクマネージャー	実行中のアプリケーションを切り替えたり終了します。	P.58
		バージョン情報	OSやソフトウェアのバージョンやMACアドレスなどの機器情報を確認します。	P.168
		バックライト	バックライトの明るさやバックライトを消すまでの時間などを設定します。	P.162
		ブラウザ設定	Internet Explorer Mobileの動作を速くするかどうかを設定します。	P.110
		プログラムの削除	インストールしたプログラムを削除します。	P.166
		マスタークリア	お買い上げ以降に登録したすべてのデータを消去し、IS02をお買い上げ時の状態に戻します。	P.169
		メモリ	IS02および外部メディアのメモリ使用状況を確認できます。	P.166
		モーションセンサー設定	IS02を持ち替えたり、振ったり、IS02の背面を2回タップしたりして、画面の縦横を切り替えたり、アプリケーションを起動したりする操作の有効／無効を設定します。	P.55
		モーションセンサー調整	モーションセンサーを初期化して、モーションコントロールの動作を調整します。	P.55
		暗号化	microSDカードにファイルを保存するときに、自動的に暗号化されるように設定します。	P.133
		画面	画面の向きや文字サイズ、文字の滑らかさを設定します。	P.164
		画面キャプチャ設定	を押して現在表示されている画面を撮影する機能の有効／無効を切り替えます。	P.119
		自動時刻補正	携帯電話のネットワークから通知される日付・時刻情報をもとに、IS02の日付・時刻を自動で設定できます。	P.36
		外付け GPS	市販の外部GPS機器からGPSデータを取得するための設定を行います。	P.159
		管理プログラム	社内システム管理者によってインストールされたプログラムの履歴を確認します。	－
		証明書	インストールされている証明書についての情報を表示します。	P.42
		地域	IS02で表示する数値、通貨、日時の表示方法を、選択した地域ごとに設定できます。	P.37、P.164
		電子コンパス調整	電子コンパスが正しい方位を示すように、調整を行います。	P.159
		動画質設定	動画再生時に、高画質化エンジンを使用するかどうかを設定します。	P.127
	Microsoft My Phone		マイクロソフト社のオンラインデータ保存サービスを利用できます。	P.137
	Wi-Fi設定		SSID（ネットワーク名）、セキュリティの種類などの接続情報を登録したり、ホームアクセスポイントを設定したりします。	P.176
	明るさ・省電力設定		バックライトを設定したり、電池を節約する設定をしたりします。	P.162、P.175
	グローバル設定		海外利用に関する設定ができます。	P.204
お使いになる前に			IS02の基本操作を確認できます。	P.53
アラーム			特定の曜日と時刻にアラームを設定できます。	P.161
画像とビデオ			IS02やmicroSDカードに保存されている静止画や動画を表示できます。	P.122
Windows Media			音楽や動画を再生できます。	P.123
Marketplace			好みのアプリケーションを探してIS02にインストールできます。	P.160
Messenger			Windows Live Messengerを起動します。	P.113
Microsoft My Phone			マイクロソフト社のオンラインデータ保存サービスを利用できます。	P.137
Windows Live			マイクロソフト社が提供するオンラインサービスを利用します。	P.111

アプリケーション		概要	参照先
電卓		加算、減算、乗算、除算などの基本的な計算ができます。	P.156
ゲーム		ソリティアがインストールされています。	P.156
	ソリティア	トランプを並べていくゲームを始めます。	P.156
メモ		手書きでメモを作成したり文字入力パッドやキーボードで文字を入力してメモを作成できます。音声を録音することもできます。	P.87
仕事		現在の仕事の進捗や優先度などを管理できます。	P.82
Office Mobile		Office文書の作成や表示ができます。	P.146
	Excel Mobile	Excel Mobileを利用できます。	P.148
	OneNote Mobile	OneNote Mobileを利用できます。	P.152
	PowerPoint Mobile	PowerPoint Mobileを利用できます。	P.151
	Word Mobile	Word Mobileを利用できます。	P.146
エクスプローラー		ファイルの整理や管理をします。	P.130
ActiveSync		IS02とパソコンの間で情報の同期ができます。	P.143
タスク マネージャー		実行中のアプリケーションを切り替えたり終了します。	P.58
検索		IS02のMy DocumentsおよびmicroSDカード内のファイル名や、連絡先、メモなどのデータに含まれる文字列を検索します。	P.135
ヘルプ		オンラインヘルプを利用します。	P.53
Adobe Reader LE		PDFファイルを表示できます。	P.153
カメラ		静止画や動画を撮影します。	P.116
PhotoBase		静止画のトリミングやコントラスト調整をしたり、フレームを貼り付けたりすることができます。	P.128
VideoEditor		静止画を組み合わせてフォトムービーを作成したり、動画に音楽や音声、字幕などを追加したりできます。	P.128
Toshiba Mobile Plaza		Toshiba Mobile PlazaのWebページを表示できます。	－
いつもNAVI（地図）		今いる場所を確認し、周辺情報を検索することができます。	P.158
電子辞典		国語辞典、英和辞典、和英辞典を利用できます。	P.157
SPB Backup		IS02内の連絡先や予定、電子メール、My Documentsなどのデータをバックアップできます。	P.138
ClipBook		クリップブックを使って静止画を整理し、快適に閲覧できます。	P.121
eBookJapan		電子書籍をダウンロード購入して読むことができます。	P.157
Cyber-SIGN		電源を入れたときやスリープモード中にを押したときに、手書きのサインを入力するように設定できます。	P.41
名刺OmCR		カメラで撮影した名刺の文字情報を連絡先に登録できます。	P.120
スマートフォンアドレス帳移行ツール		別のau電話またはWindows Mobile端末との間で、連絡先データの全件移行を行います。	P.80

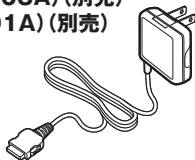
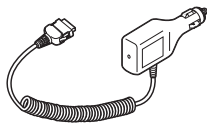
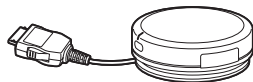
周辺機器のご紹介

■ 電池パック（TSI01UAA）

■ 東芝microUSB-USB変換ケーブル01（TSI01HUA）

■ 東芝microUSB-18芯（充電器）変換ケーブル01（TSI01HVA）

■ 東芝microUSB-φ3.5変換ケーブル01（TSI01HWA）

■ 共通ACアダプタ01（0202PQA）（別売）
共通ACアダプタ02（0203PQA）（別売）
AC Adapter MIDORI（0205PGA）（別売）
AC Adapter AO（0204PLA）（別売）
AC Adapter SHIRO（0204PWA）（別売）
AC Adapter MOMO（0204PPA）（別売）
AC Adapter CHA（0204PTA）（別売）
AC Adapter REST（LS1P002A）（別売）
AC Adapter RANGERS（LS1P003A）（別売）
AC Adapter CHARGY（LS1P001A）（別売）

※お使いのACアダプタによりイラストと形状が異なることがあります。
※AC Adapter MIDORI、AO、SHIRO、MOMO、CHA、REST、RANGERS、CHARGYは、共通ACアダプタ02と共通の仕様です。
※共通ACアダプタ01は国内専用です。海外で充電する際は、必ず共通ACアダプタ02をご使用ください。

■ 共通DCアダプタ01（0201PEA）（別売）

■ ポータブル充電器01（0201PDA）（別売）

memo

◎最新の対応周辺機器につきましては、auホームページ（http://www.au.kddi.com）にてご確認いただくか、auお客様センターにお問い合わせください。
◎IS02は、ASYNC／FAX通信は非対応です。
◎この周辺機器は、auオンラインショップからご購入いただけます。
パソコンから：http://auonlineshop.kddi.com

こんな表示が出たら

エラーメッセージ	説明／対処方法	参照先
保存されていないデータは全て失われます。端末の電源をOFFしますか？	を長く押したときに表示されます。電源をオフにするには「電源OFF」をタップします。	P.36
ユーザ認証 PIN1コードを入力してください。あとX回入力可能	暗証番号（PINコード）を有効にしているときに電源を入れると表示されます。正しいPINコードを入力してください。	P.38
PIN1コードが違います。	正しくない暗証番号（PINコード）を入力すると表示されます。正しいPINコードを入力してください。	P.38
パスワードが間違っています。	パスワードに誤りがあるときに表示されます。正しいパスワードを入力してください。	P.40
auICカード（UIM）エラー カードを挿入してください。	au ICカードが正しく挿入されていない状態で電源を入れたときに表示されます。au ICカードが正しく挿入されているか確認してください。 なお、au ICカードが正しく挿入されていない場合、日本国内では、緊急通報（110番、119番、118番）を含め音声発信できません。	P.38
auICカード（UIM）エラー カードが異なるためご利用できません。	お客様のau ICカード以外のカードが挿入されたときに表示されます。お客様のau ICカードを挿入してください。	P.38
電話の機能は現在停止中です。電話の機能を有効にしますか？	ワイヤレスマネージャーの「電話」がオフの状態で、電話をかけようとしたとき、またはActiveSyncでExchange Serverと同期しようとしたとき表示されます。「はい」をタップすると、ワイヤレスマネージャーの「電話」がオンになります。	P.42
ご指定の相手へは送信できません。	Cメールを送信しようとしたとき、宛先の携帯電話番号が正しくない場合に表示されます。	P.98
このメッセージを下書きフォルダーに保存しますか？	電子メールを作成したり編集しているとき、下書きフォルダーに保存する前に閉じようとしたときに表示されます。保存するときは「はい」をタップします。	P.95
接続できません。しばらくしてから再度お試しください。 接続できない状態が続く場合は、接続の設定を確認してください。	回線規制中や接続エラー時に表示されます。問題が解決しない場合は、リセット（再起動）してからやり直してください。	P.169、P.181
選択した連絡先を完全に削除しますか？	連絡先を削除しようとしたときに表示されます。削除するときは「はい」をタップします。	P.80
連絡先は完全に削除されます。続行しますか？	連絡先を削除しようとしたときに表示されます。削除するときは「はい」をタップします。	P.80
名前などの連絡先情報を入力し、「検索」をタップしてください。	Exchange Serverを利用しているとき、共有連絡先の中を検索するときに表示されます。	P.79
この定期的な予定をすべて削除しますか？それとも、今回の予定のみを削除しますか？	定期的なパターンで登録した予定を削除しようとしたときに表示されます。「すべて」をタップすると、このパターンで登録されている予定すべてが削除されます。「今回のみ」をタップすると、今選択している予定のみが削除されます。	P.85
この定期的な予定をすべて編集しますか？それとも、今回の予定のみを編集しますか？	定期的なパターンで登録した予定を編集しようとしたときに表示されます。「すべて」をタップすると、このパターンで登録されている予定すべてが編集されます。「今回のみ」をタップすると、今表示している予定のみが編集されます。	P.85

エラーメッセージ	説明／対処方法	参照先
会議の変更を保存し、出席者に更新メッセージを送りますか？	出席者が設定されている予定の内容を変更しようとしたときに表示されます。出席者に予定の変更をメールで知らせるときは「はい」をタップします。	P.85
会議を削除し、出席者に取り消しメッセージを送りますか？	出席者が設定されている予定を削除しようとしたときに表示されます。出席者に予定の削除をメールで知らせるには「はい」をタップします。	P.85
XXXがBluetoothによるデバイスへの接続を要求しています。デバイスの一覧にXXXを追加しますか？	ほかのBluetooth®対応端末からIS02に対してBluetooth®通信による接続の要求があった場合に表示されます。接続する場合は「はい」をタップします。	P.180
サーバーにアクセスできませんでした。サーバーの名前を確認してください。	Exchange Serverの名前が正しくないときに表示されます。Exchange Serverの名前については、管理者に問い合わせてください。	P.142、P.144
ユーザー情報：Exchangeサーバー資格情報を修正してください。	Exchange Serverにアクセスするためのユーザー名やパスワードが正しくないときに表示されます。	P.142、P.144
このソースを削除すると、ソースとの同期関係とそのソースによって使用されているアイテムのみが削除されます。そのほかのアイテムはデバイスに残ります。続行しますか？	IS02に登録した同期するパソコンやExchange Serverの設定を削除するときに表示されます。削除するときは「はい」をタップします。	－
ActiveSyncをサポートするPCとの既存のBluetoothパートナーシップが見つかりません。パートナーシップをセットアップしますか？	Bluetooth®通信によってパソコンと同期しようとしたとき、パソコンとのパートナーシップが設定されていないときに表示されます。パートナーシップの設定を行うときは、「はい」をタップします。	P.144、P.180

故障とお考えになる前に

- まずはじめにソフトウェアを更新する必要があるかをチェックして、必要な場合にはソフトウェアを更新してください（▶P.170）。
- 気になる症状のチェック項目を確認しても症状が改善されないときは、以下のauのホームページ、auお客さまサポート「故障診断」でご案内しております。

http://www.kddi.com/customer/service/au/trouble/kosho/index.html

症状	チェックする箇所	参照先
IS02の電源が入らない	• 電池パックが正しく取り付けられていますか？ • 電池切れになっていませんか？	P.31、P.35
充電ができない（お知らせLEDが点灯しない、または点滅する）	• 電池パックが正しく取り付けられていますか？ • アダプタの電源プラグがコンセントまたはシガーライタソケットに正しく差し込まれていますか？ • ACアダプタ（別売）をご使用の場合、組み合わせて使用する付属の東芝microUSB-18芯（充電器）変換ケーブル01が、IS02およびACアダプタと正しく接続されていますか？ • 付属の東芝microUSB-USB変換ケーブル01をご使用の場合、パソコンの電源が入っていますか？ • 充電しながら通話や通信、その他機能の操作を長時間行うと、IS02の温度が上昇してお知らせLEDが点滅する場合があります。その場合は、IS02の温度が下がってから再度充電を行ってください。	P.31、P.34
操作中・充電中に熱くなる	• 操作中や充電中、また、通話などを長時間行った場合などには、IS02や電池パック、アダプタが温かくなることがありますが、安全上問題ありませんので、そのままご使用ください。	P.19

症状	チェックする箇所	参照先
電池の使用時間が短い	• 圏外の状態で長い時間放置されるようなことはありませんか? 圏外時は通信可能な状態にできるよう電波を探すため、より多くの電力を消費しています。 • 電池パックの使用時間は、使用環境や劣化度により異なります。 • 電池パックは消耗品です。充電を繰り返すごとに、1回で使える時間が次第に短くなっていきます。 十分に充電しても購入時に比べて使用時間が極端に短くなった場合は、指定の電池パックをお買い求めください。	P.21、P.32
電源断・再起動が起きる	• 電池パックの端子が汚れていると接触が悪くなり、電源が切れることがあります。汚れたときは、電池パックの端子を乾いた布、綿棒などで拭いてください。	P.19
電源を入れたのに操作できない	• PINコードを入力する画面が表示されていませんか? PINコードを入力してください。	P.38
タップしても正しく操作できない	• 手袋をしたままで操作していませんか? • 爪の先で操作したり、異物を挟んだ状態で操作したりしていませんか? • ディスプレイに保護シートを貼っていませんか? 保護シートの種類によっては、正しく操作できない場合があります。 • IS02のディスプレイには、静電式タッチパネルを採用しています。指で直接画面に触れて操作してください。	P.20、P.44
画面の文字が読みにくい/正しくタップできない	• 表示される画面によっては文字が読みづらかったり、アイコンがタップしづらかったりします。そのようなときは、「拡大パッド」や「拡大鏡機能」をご利用ください。画面を部分的に拡大したり、画面全体を拡大したりすることができます。	P.57、P.160

症状	チェックする箇所	参照先
を左または右にスライドしたのに操作できない	• パスワード入力の画面が表示されていませんか? デバイスロックが設定されていますので、パスワードを入力し、をタップしてください。	P.40
ボタンを押しても動作しない	• スリープモードになっていませんか? を押してスリープモードを解除してください。	P.36
タッチパネルをタップしたとき/ボタンを押したときの画面の反応が遅い	• IS02に大量のデータが保存されているときや、IS02とmicroSDカードの間で容量の大きいデータをやりとりしているときなどに起きる場合があります。 不要なファイルを削除してください。	P.167
画面をタップしても動かない	• 電源を入れ直してください。	P.35
データが正常に表示されない/タッチパネルを正しく操作できない	• IS02をリセット(再起動)してください。	P.169
アプリケーションをタップしても起動(反応)しない	• アプリケーションが複数起動していると、アプリケーションをタップしても起動(反応)しない場合があります。使用していないアプリケーションは、タスクマネージャーなどを使って終了させてください。	P.51、P.58
au ICカードが認識されない	• au ICカードを正しい向きで挿入していますか?	P.38
電話がつながらない	• au ICカードが正しくIS02に取り付けられていますか? • 市外局番から入力していますか? • ワイヤレスマネージャーの「電話」がオフになっていませんか?	P.38、P.42
着信音が鳴らない	• 着信音量を「バイブ」または「オフ」にしていませんか? • 通知音設定の電話を「バイブ」にしていませんか? • マナーモードを設定していませんか? • 着信転送サービスのフル転送を設定していませんか?	P.75、P.76、P.195

症状	チェックする箇所	参照先
通話ができない(場所を移動しても「圏外」の表示が消えない、電波の状態は悪くないのに発信または着信ができない)	• 電源を入れ直すか、電池パックまたはau ICカードを取り付け直してください。 • 電波の性質により、電波が強くアンテナマークが3本表示されている状態( )でも、発信や着信ができない場合があります。場所を移動してかけ直してください。 • 電波の混み具合により、多くの人が集まる場所では電話やメールが混み合い、つながりにくい場合があります。その場合は「しばらくお待ちください」と表示され、話中音が流れます。場所を移動するか、時間をずらしてかけ直してください。	P.31、P.35、P.38
カーナビやハンズフリー機器などの外部機器を接続した状態でIS02から発信できない	• 相手が電話に出ない、圏外などの状態で複数回発信すると、その番号へ発信できなくなる場合があります。その場合は、IS02の電源を一度切ってから、再度電源を入れ直してください。	P.35
ディスプレイが暗い	• バックライトの明るさの設定を確認してください。	P.162
通話中、相手の声が聞こえにくい、相手の声が大きすぎる	• 受話音量を変更していませんか? • 受話口を耳でふさいでいませんか? 受話口が耳の穴に当たるようにしてください。	P.28、P.75
圏外が表示され、国際ローミングサービスが利用できない	• 国際ローミングサービスのサービスエリア外か、電波の弱い所にいませんか? • 利用可能なサービスエリアまたは通信事業者かどうかを確認してください。 • 日本国内から海外へ移動したあとに「エリア設定」を「日本」以外に切り替えてください。	P.204

症状	チェックする箇所	参照先
海外で利用中に突然、発信や着信ができなくなった	• 001国際電話サービスは毎月のご利用限度額を設定させていただきます。auにて、ご利用限度額を超過したことが確認された時点から同月内の末日までの期間は、001国際電話サービスをご利用いただけません。 ご利用限度額超過によりご利用停止となっても、翌月1日からご利用を再開します。また、ご利用停止中も国内通話は通常通りご利用いただけます。	P.72
相手の電話番号が通知されない/相手の電話番号とは違う番号が通知される/連絡先の登録内容や発信者番号通知を利用する機能が動作しない	• 相手が発信者番号を通知して電話をかけてきても、利用しているネットワークや通信事業者から発信者番号が通知されない場合は、IS02に発信者番号は表示されません。また、利用しているネットワークや通信事業者によっては、相手の電話番号とは違う番号が通知される場合があります。	−
データ転送が行われない	• USBハブを使用していませんか? USBハブを使用すると、正常に動作しない場合があります。	P.142
microSDカードに保存したデータが表示されない	• パソコンとマスストレージモードでUSB接続していませんか?	P.134
Bluetooth®対応機器と接続ができない/検索しても見つからない	• Bluetooth®対応機器(市販品)側を機器登録待ち受け状態にしてから、IS02側から機器登録を行う必要があります。登録済みの機器を削除して再度機器登録を行う場合には、Bluetooth®対応機器(市販品)とIS02の双方で登録した機器を削除してから機器登録を行ってください。	P.180
IS02の動作が遅くなった/プログラムの動作が不安定になった/一部のプログラムを起動できない	• IS02のデータ記憶用メモリおよびプログラム実行用メモリの使用状況を確認し、実行中のプログラムを終了したり不要なファイルを削除したりして、メモリの空き容量を確保してください。	P.166、P.167
キーボードで操作ができない	• メールやメモなど文字を入力する画面以外で使用していませんか? アプリケーションによっては、キーボードの操作が効かない場合があります。	P.28、P.29

アフターサービスについて

■修理を依頼されるときは

修理についてはauショップもしくはauお客様センターまでお問い合わせください。

保証期間中	保証書に記載されている当社無償修理規定に基づき修理いたします。
保証期間外	修理により使用できる場合はお客様のご要望により、有償修理いたします。

memo

◎ メモリの内容などは、修理する際に消えてしまうことがありますので、控えておいてください。なお、メモリの内容などが変化・消失した場合の損害および逸失利益につきましては、当社では一切責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

◎ 修理の際、当社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。

◎ 保証サービス、修理代金割引サービス、水濡れ・全損時リニューアルサービスにて交換した機械部品は当社にて回収しリサイクルを行いますのでお客様へ返却することはできません。

■補修用性能部品について

当社はこのIS02本体およびその周辺機器の補修用性能部品を、製造終了後6年間保有しております。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■保証書について

保証書は、お買い上げの販売店で、「販売店名、お買い上げ日」などの記入をご確認のうえ、内容をよくお読みいただき、大切に保管してください。

■安心ケータイサポートについて

au電話を長期間安心してご利用いただくために、月額会員アフターサービス制度「安心ケータイサポート」をご用意しています(月額315円、税込)。故障や盗難・紛失など、あらゆるトラブルの補償を拡大するサービスです。本サービスの詳細につきましては、auショップもしくはauお客様センターへお問い合わせください。

memo

◎ ご入会は、au電話のご購入時のお申し込みに限ります。

◎ ご退会された場合は、次回のau電話のご購入時まで再入会はできません。

◎ 機種変更・端末増設などをされた場合、最新の販売履歴のあるau電話のみが本サービスの提供対象となります。

◎ au電話を譲渡・承継された場合、安心ケータイサポートの加入状態は譲受者に引き継がれます。

◎ 機種変更時・端末増設時・紛失時あんしんサービスなどにより、新しいau電話をご購入いただいた場合、以前にご利用のau電話に対する「安心ケータイサポート」は自動的に退会となります。

◎ サービス内容は予告なく変更する場合があります。

■au ICカードについて

au ICカードは、auからお客様にお貸し出ししたものになります。紛失・破損の場合は、有償交換となりますので、ご注意ください。なお、故障と思われる場合、盗難・紛失の場合は、auショップもしくはPiPitまでお問い合わせください。

■アフターサービスについて

アフターサービスについてご不明な点がございましたら、下記auお客様センターへお問い合わせください。

auお客様センター(紛失・盗難・故障・操作方法について)

一般電話からは　フリーコール 0077−7−113(通話料無料)
au電話からは　局番なしの113(通話料無料)

■auアフターサービスの内容について

サービス内容抜粋	安心ケータイサポート会員	無料会員
① 保証サービス 注:保証内の場合、無償修理	5年保証サービス	3年保証サービス
② 修理代金割引サービス 注:水濡れ・全損以外の故障の場合、修理代金を割引	全額割引 (無料)	お客様負担額 5,250円(税込)
③ 水濡れ・全損時リニューアルサービス 注:水濡れ・全損の故障の場合、リニューアル代金を割引	お客様負担額 5,250円(税込)	お客様負担額 10,500円(税込)
④ 紛失時あんしんサービス 注:盗難・紛失の場合、解除料の減額もしくは購入代金の割引	**フルサポートコースでご契約のau電話を盗難・紛失した場合**	
	フルサポート解除料 全額免除	フルサポート解除料 お客様負担額 最大10,500円(税込)まで
	新しいau電話をシンプルコースでご購入される場合	
	新しいau電話購入代金 最大18,900円(税込) OFF	新しいau電話購入代金 最大6,300円(税込)OFF
⑤ 電池パック無料サービス	同一au電話を1年以上(または3年以上)継続利用することで電池パックを1個プレゼント	なし
⑥ 無事故ポイントバック	同一au電話を継続利用で、1年間無事故の場合、auポイント1000ポイントプレゼント	なし

memo

修理代金割引サービス
◎水濡れ・全損はこの対象とはなりません。
◎お客様の故意・改造(分解改造・部品の交換・塗装など)による損害や故障の場合は補償の対象となりません。
◎外装ケースの汚れや傷、塗装の剥れなどによるケース交換は全額割引の対象となりません。

水濡れ・全損時リニューアルサービス
◎お客様の故意・改造(分解改造・部品の交換・塗装など)による損害や故障の場合は補償の対象となりません。

紛失時あんしんサービス
◎「紛失時あんしんサービス」をご利用いただく場合、紛失・盗難の事由を警察署または消防署など公的機関へ届出された際の信憑書類が必要となります。警察署または消防署などより届出の信憑書類が交付されない場合は、届出先の機関名、届出年月日、受理番号を提示いただきます。
◎お客様の分解による事故、故意による事故は、補償の対象となりません。

電池パック無料サービス
◎ご購入から同一のau電話を1年以上継続利用経過時に1個、3年以上継続利用経過時に1個の電池パックを無料で提供いたします。(合計2回まで)
◎電池パックの提供にあたっては、別途申し込み手続きが必要となります。お申し込み可能な期間は、au電話のご購入後1年～2年までの間、3年～4年までの間の計2回(各1個の提供)となります。

無事故ポイントバック
◎「修理代金割引サービス」「水濡れ・全損時リニューアルサービス」「紛失時あんしんサービス」のご利用がなく、ご購入から1年間同一機種を継続してご利用された場合、「auポイントプログラム」のポイントを1000ポイント進呈します。
※1年間の起算は、安心ケータイサポート加入月、ポイント提供月もしくは事故発生月となります。

主な仕様

項目		
品名		IS02
サイズ		高さ約123mm×幅約66mm×厚さ約12.9mm（突起部除く）
質量		約158g（電池パック装着時）
メモリ		ROM　512MB RAM　384MB
連続待受時間	国内	約280時間
	海外	約100時間：アメリカ本土／メキシコ／サイパン／中国本土 約180時間：ハワイ／韓国／台湾／インドネシア／イスラエル／インド／ベトナム／バングラデシュ／バハマ／香港 約280時間：ニュージーランド／タイ／マカオ／ジャマイカ／ペルー／ブラジル／バミューダ諸島／ベネズエラ ※対象国は2010年4月時点
連続通話時間	国内	約230分
	海外	約250分：アメリカ本土／メキシコ／サイパン／中国本土／ハワイ／韓国／台湾／インドネシア／イスラエル／インド／ベトナム／ニュージーランド／タイ／マカオ／ジャマイカ／ペルー／ブラジル／バングラデシュ／バミューダ諸島／バハマ／ベネズエラ／香港 ※対象国は2010年4月時点
共通ACアダプタ（別売）での充電時間		約160分
共通DCアダプタ（別売）での充電時間		約160分
ディスプレイ	種類	有機EL
	サイズ	約4.1inch
	発色数	65,536色
	ドット数	横480ドット×縦800ドット（ワイドVGA※1）
撮像素子	種類	CMOS
	サイズ	1/5.0 inch
カメラ有効画素数		約322万画素
最大撮影サイズ（ドット）		2048×1536
デジタルズーム		最大約3.2倍（12段階）
無線LAN		IEEE802.11b/g準拠
Bluetooth®機能	対応バージョン	Bluetooth®標準規格Ver.2.0＋EDRに準拠※2
	出力	Bluetooth®標準規格Power Class 2
	見通し通信距離※3	約10m以内
	対応プロファイル※4	Headset Profile（HSP） Hands-Free Profile（HFP） Advanced Audio Distribution Profile（A2DP） Audio/Video Remote Control Profile（AVRCP） Object Push Profile（OPP） Serial Port Profile（SPP） Human Interface Device Profile（HID） Phone Book Access Profile（PBAP） Dial-Up Networking Profile（DUN）

※1 Visualワイド VGAとして対応しています。
※2 IS02およびすべてのBluetooth®機能搭載機器は、Bluetooth® SIGが定めている方法でBluetooth®標準規格に適合していることを確認しており、認証を取得しています。ただし、接続する機器の特性や仕様によっては、操作方法が異なったり、接続してもデータのやりとりができない場合があります。
※3 通信機器間の障害物や、電波状況により変化します。
※4 Bluetooth®通信の接続手順を製品の特性ごとに標準化したものです。

- 連続通話時間とは、電波を正常に送受信できる状態で通話に使用できる時間の目安です。
- 連続待受時間とは、電波を正常に受信できる状態での目安です。
  なお、電池の充電状態、機能設定状況、気温などの使用環境、利用場所の電波状態(電波が届かないか弱い場所)などにより、待受時間は約半分程度になる場合があります。
- インターネット接続を行うと通話(通信)・待受時間は短くなります。また、通話やインターネット接続をしなくても電子メールを作成したり、アプリケーションを起動すると通話(通信)・待受時間は短くなります。
- 静止時の連続待受時間とは、電波を正常に受信できる静止状態での平均的な利用時間です。
- 移動時の連続待受時間とは、電波を正常に受信できるエリア内で「静止」「移動」と「圏外」を組み合わせた状態での平均的な利用時間です。
- 充電時間は、IS02の電源を切って、電池パックが空の状態から充電したときの目安です。IS02の電源を入れて充電した場合、充電時間は長くなります。

携帯電話機の比吸収率などについて

携帯電話機の比吸収率(SAR)について

この機種[IS02]の携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準に適合しています。

この技術基準は、人体頭部のそばで使用する携帯電話機などの無線機器から送出される電波が人間の健康に影響を及ぼさないよう、科学的根拠に基づいて定められたものであり、人体側頭部に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率(SAR:Specific Absorption Rate)について、これが2W/kg※の許容値を超えないこととしています。

この許容値は、使用者の年齢や身体の大きさに関係なく十分な安全率を含んでおり、世界保健機関(WHO)と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会(ICNIRP)が示した国際的なガイドラインと同じ値になっています。

すべての機種の携帯電話機は、発売開始前に、電波法に基づき国の技術基準に適合していることの確認を受ける必要があります。

この携帯電話機IS02のSARの値は、0.532W/kgです。この値は、財団法人テレコムエンジニアリングセンターによって取得されたものであり、国が定めた方法に従い、携帯電話機の送信電力を最大にして測定された最大の値です。個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。また、携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通話している状態では、通常SARはより小さい値となります。

SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、下記のホームページをご参照ください。

総務省のホームページ
http://www.tele.soumu.go.jp/j/ele/index.htm
社団法人電波産業会のホームページ
http://www.arib-emf.org/
auのホームページ
http://www.au.kddi.com
東芝のホームページ
http://www.toshiba.co.jp/product/etsg/cmt/

※技術基準については、電波法関連省令(無線設備規則第14条の2)で規定されています。

FCC notice

This device complies with part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions: (1) This device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

Note:

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses, and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications.

However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help and for additional suggestions.

Warning

The user is cautioned that changes or modifications not expressly approved by the manufacturer could void the user's authority to operate the equipment.

FCC RF exposure information

Your Toshiba phone is a radio transmitter and receiver.

It is designed and manufactured not to exceed the emission limits for exposure to radio frequency (RF) energy set by the Federal Communications Commission of the U.S. Government.

The guidelines are based on standards that were developed by independent scientific organizations through periodic and thorough evaluation of scientific studies. The standards include a substantial safety margin designed to assure the safety of all persons, regardless of age and health.

The exposure standard for wireless handsets employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR. The SAR limit set by the FCC is 1.6 W/kg. The tests are performed in positions and locations (e.g., at the ear and worn on the body) as required by the FCC for each model.

The SAR value for this model handset when tested for use at the ear is 0.881 W/kg and when worn on the body, as described in this user guide, is 0.658 W/kg.

Body-worn operation

This phone was tested for typical body–worn operations with the back of the phone kept at a distance of 1.5 cm from the body. To maintain compliance with FCC RF exposure requirements, use accessories that maintain a 1.5 cm separation distance between your body and the back of the phone. The use of belt clips, holsters and similar accessories should not contain metallic components.

The use of accessories that do not satisfy these requirements may not comply with FCC RF exposure requirements, and should be avoided.

The FCC has granted an Equipment Authorization for this model handset with all reported SAR levels evaluated as in compliance with the FCC RF emission guidelines. SAR information on this model handset is on file with the FCC and can be found under the Display Grant section of http://www.fcc.gov/oet/ea/fccid/ after searching on FCC ID WVS–RP8–J01.

Additional information on Specific Absorption Rates (SAR) can be found on the Cellular Telecommunications & Internet Association (CTIA) website at http://www.phonefacts.net.

輸出管理規制

本機を、法令により許されている場合を除き、日本国外に持ち出してはいけません。(本機は、外国為替及び外国貿易法によるリスト規制品を含みます。米国輸出規制により、以下の国々に本機を持ち込むことはできません。(2010年4月現在)キューバ、イラン、朝鮮民主主義人民共和国、スーダン、シリア)

U.S law and international agreements currently prohibit export of this device's browser and security technology to the following countries-Cuba, Iran, North Korea, Sudan and Syria. (Other restrictions regarding this device may apply.)

知的財産権について

■ 商標について

本書に記載している会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。

- microSDHCロゴはSD-3C, LLCの商標です。
- Bluetooth®ワードマークおよびロゴは、Bluetooth® SIG. Inc.が所有する登録商標であり、東芝は、これら商標を使用する許可を受けています。
- Wi-Fi Certified®とそのロゴは、Wi-Fi Allianceの登録商標または商標です。
- AdobeおよびAdobe Reader、FlashはAdobe Systems Incorporated(アドビシステムズ社)の米国またはその他の国における登録商標または商標です。
- Microsoft®、Windows®、Windows Vista®、Windows Mobile®、ActiveSync®、Outlook®、Excel®、PowerPoint®、Windows Media®、Windows Live™およびInternet Explorer®のロゴは、米国Microsoft Corporationの、米国またはその他の国における商標または登録商標です。
- Microsoft® Wordは、米国Microsoft Corporationの商品名称です。
- 「ATOK」は株式会社ジャストシステムの登録商標です。
  「ATOK」は、株式会社ジャストシステムの著作物であり、その他権利は株式会社ジャストシステムおよび各権利者に帰属します。

- 『ジーニアス英和辞典MX』『ジーニアス和英辞典MX』
  © KONISHI Tomoshichi, MINAMIDE Kosei & Taishukan, 2008
  『明鏡国語辞典MX』
  © KITAHARA Yasuo & Taishukan, 2008
  [編集･発行]大修館書店
  ※ 本辞典は、大修館書店が『ジーニアス英和辞典 第4版』『ジーニアス和英辞典 第2版』『明鏡国語辞典』を元に、モバイル端末用に再編集したものです。
- 本製品のソフトウェアの一部分に、Independent JPEG Groupが開発したモジュールが含まれています。
- ArcSoft and the ArcSoft logo are registered trademarks of ArcSoft, Inc. in the United States, P. R. China, EU, and Japan.
- ClipBookには株式会社モルフォの画像高速表示技術ImageSurfとシーン検出技術 PhotoScouterを採用しております。
  ImageSurfとPhotoScouterは株式会社モルフォの登録商標です。

- 「名刺OmCR」はオムロン ソフトウェア(株)の商標です。
  OmCR Card Manager(C) OMRON SOFTWARE Co.,Ltd 2010 All Rights Reserved.
- Cyber SIGNの名称、ロゴは、日本国およびその他の国におけるウィッツエル株式会社の登録商標および商標です。

- イーブックイニシアティブジャパンのロゴは日本国における登録商標です。
- 「dynapocket」は株式会社東芝の商標です。
- SPB is a trademark of SPB Software Inc.
- その他本文中に記載されている会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。

■その他

本製品は、MPEG-4 Visual Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされており、お客様が個人的かつ非営利目的において以下に記載する場合においてのみ使用することが認められています。

- MPEG-4 Visualの規格に準拠する動画(以下、MPEG-4 Video)を記録する場合
- 個人的かつ非営利的活動に従事する消費者によって記録されたMPEG-4 Videoを再生する場合
- MPEG-LAよりライセンスを受けた提供者により提供されたMPEG-4 Videoを再生する場合

プロモーション、社内用、営利目的などその他の用途に使用する場合には、米国法人MPEG LA. LLCにお問い合わせください。

■Windowsの表記について

本書では各OS(日本語版)を以下のように略して表記しています。

- Windows 7は、Microsoft® Windows® 7(Starter、Home Basic、Home Premium、Professional、Enterprise、Ultimate)の略です。
- Windows Vistaは、Microsoft® Windows Vista®(Home Basic、Home Premium、Business、Enterprise、Ultimate)の略です。
- Windows XPは、Microsoft® Windows® XP Professional operating systemまたはMicrosoft® Windows® XP Home Edition operating systemの略です。

■ArcSoftエンドユーザライセンス契約

本エンドユーザライセンス契約は、ソフトウェアのエンドユーザであるお客様とArcSoft, Incとの間に締結される法的なソフトウェアライセンス契約です。本ArcSoftソフトウェア(以下「本ソフトウェア」と称します)を使用する前に、本契約をよくお読みください。携帯機器に本ソフトウェアをインストールして使用すると、本契約を読んだ上で契約条件に同意したものとみなされます。

1. ライセンスの許諾　本ライセンスにより、お客様は、本パッケージまたは製品に含まれる本ソフトウェアを1台の携帯機器で使用することができます。ソフトウェアの被許諾者はそれぞれ、プログラムを一度に1台の携帯機器でのみ「使用」することができます。本ソフトウェアは、RAMに読み込まれたとき、または携帯機器のメモリーカードもしくはその他の固定記憶装置にインストールされたときに「使用」されたものとみなされます。お客様は、改変、変換、リバースアセンブル、逆コンパイル、逆アセンブルを行ってはならず、(i)本ソフトウェアのソフトウェア保護メカニズム(本ソフトウェアの機能を制限もしくは制御するために使用されるメカニズムを含みますがこれに限定されません)の無効化、迂回、除去、解除もしくは回避、または、(ii)本ソフトウェアのソースコードもしくは基本となるアイデア、アルゴリズム、構造もしくは構成の抽出を試みてはならないものとします(適用法により当該行動を禁止できない場合は除きます)。

2. 著作権　本パッケージまたはデバイスに含まれるソフトウェアは、米国著作権法、国際協定の各規定、および適用される他のあらゆる国内法によって保護されています。本ソフトウェアについては、他のあらゆる著作物(書籍、音楽録音など)と同様に扱う必要があります。本ライセンスは本ソフトウェアの貸与または賃貸を許可するものではなく、また、本ソフトウェアに添付資料がある場合にはその資料のコピーは禁止されています。

3. 所有権　本ソフトウェアおよび添付ドキュメンテーションならびに上記のコピーに関する権利、所有権、およびあらゆる知的財産権は、ArcSoftまたはその第三許諾者にのみ帰属するものとします。お客様は、著作権法その他あらゆる準拠法に従うことに同意するものとします。お客様は、本ソフトウェアに、ArcSoftまたはその第三許諾者の貴重な機密情報およびトレードシークレットが含まれていることを認めるものとします。

4. ソフトウェアのアップデート　本ソフトウェアは、ArcSoftのサーバと同期化して、バグ修正、パッチ、拡張機能、補足プラグイン、新規バージョンなど、本ソフトウェアで利用可能なアップデート(以下「アップデート」と総称します)がないかどうかを確認することがあります。本ソフトウェアから、本ソフトウェアの最新版に関する情報のリクエストがArcSoftのサーバに送信されます。アップデートが利用可能な場合は、お客様はダウンロードするかどうかを選択することができます。アップデートをダウンロードする前に、本ソフトウェアがお客様の許諾を求めます。本ソフトウェアをインストールし、アップデートの自動確認を無効にしない場合は、ArcSoftのサーバにリクエストを自動送信してアップデートを受信することに同意したものとみなされます。

5. 保証の否認　ArcSoftは、商品性および特定目的適合性に関する黙示保証、知的財産の非侵害に関する保証などを含め（これに限定されません）、明示、黙示を問わず、本ソフトウェアについて一切の保証を行わず、本契約に明記されていないすべての保証を明示的に否認します。お客様は、本ソフトウェアの品質および性能に関する全リスクを負担するものとします。本ソフトウェアに欠陥があることが判明した場合、必要なサービス、修理または修正の全費用を負担するのは、ArcSoftまたは指定再販業者ではなく、お客様です。但し、ArcSoftに故意または重過失がある場合を除きます。

6. 限定責任　お客様の唯一の救済手段として、ArcSoftおよびそのライセンサがお客様に保証する責任範囲は、第5条に定める内容に限定されます。本ソフトウェアの使用または使用不能から生じる結果的もしくは付随的損害、出費、利益もしくは財産の逸失、またはその他の損害に関しては、たとえArcSoftまたはそのライセンサが損害の可能性を予見していた場合にも、ArcSoftおよびそのライセンサがお客様や第三者に対して責任を負うことはありません。法域によっては結果的または付随的損害に対する免責や責任制限を認めていないため、上記の制限がお客様に適用されない場合があります。

7. 輸出　お客様は、米国またはその他の国の政府から適切な許可を得ることなく、本ソフトウェアを組み込んだ製品を輸出または再輸出しないこととします。

8. 米国政府の権利の制限　お客様が米国政府の部署または機関である場合、本ソフトウェアおよび関連ドキュメンテーションはそれぞれ、適宜、DFAR Section 227.7202およびFAR Section 12.212(b)に定められた「商用コンピュータソフトウェア」「商用コンピュータソフトウェアドキュメンテーション」とみなされます。米国政府による本ソフトウェアまたは関連ドキュメンテーションの使用、改変、複製、発表、実行、表示または開示については、本契約の諸条件のみが適用されるものとし、本契約の条件によって明示的に許可されていない限り、禁止されるものとします。提供された技術データのうち、上記の規定が適用されないものについては、DFAR Section 227.7015(a)に定められた「技術データ商用品目」とみなされます。当該技術データの使用、改変、複製、発表、実行、表示または開示には、DFAR Section 227.7015(b)の条件が適用されるものとします。

9. 高リスク行為　本ソフトウェアはフォールトトレラントではなく、フェールセーフ機能を必要とする危険な環境下における使用には適していません。また、本ソフトウェアの障害が、死亡、傷害または深刻な物的損害にただちにつながる恐れがある他の用途（以下「高リスク行為」と総称します）にも適していません。ArcSoftは、高リスク行為への適用性に関する明示または黙示の保証を明確に否認します。

10. プライバシーポリシー　本ソフトウェアの登録およびアクティベーションのプロセスにおいて、お客様の氏名、電話番号、住所、Eメールアドレスなどの個人情報の提供をお願いすることがあります。ArcSoftは、お求めの製品をお届けするために必要な場合を除いては、お客様の個人情報をいかなる第三者とも共有することはなく、また、いかなる第三者に売却することもありません。

11. 使用状況の追跡　ArcSoftは、製品の使いやすさを高めるために、特定の製品機能の使用状況に関する情報を記録することがあります。匿名性を維持するため、収集する使用状況の情報には、対応する個人情報は一切含まれません。

12. ライセンスの終了　お客様が本ソフトウェアを無断で複製した場合、または本ライセンス契約の条件に従わなかった場合には、お客様の本ソフトウェアに関する権利は、直ちに、または30日以内の通知をもって終了します。本ライセンスが終了した場合、お客様は、本ソフトウェアのすべてのコピーを本ソフトウェアの入手先へ返却しなければなりません。

13. 準拠法　本製品を米国内で購入された場合は、本契約はカリフォルニア州法に準拠します。それ以外の場合は、お客様が本製品を購入された各国法または各地域法に準拠します。

Windows Mobileの製品情報について

Windows MobileおよびWindows Mobileアプリケーションについては、『マイクロソフトWindows Mobileホーム』で情報をご覧いただけます。

http://www.microsoft.com/windowsmobile/ja-jp/default.mspx

索引

数字／アルファベット

ActiveSync……140
ACアダプタ……34
Adobe Reader LE……153
ATOK設定……64
au ICカード……38
　暗証番号……38
　取り付けかた／取り外しかた…38
Bluetooth®機能……178
ClipBook……121
Cyber-SIGN……41
Cメール……98
　作成……98
　受信……100
　送信……98
DCアダプタ……33
eBookJapan……157
Excel Mobile……148
GPS……158
　Internal GPS……159
　外付け GPS……159
　電子コンパス調整……159
Hotmail……114
Internet Explorer Mobile……106
　URL……106、108
　お気に入りに登録……107
　画像の保存……108
　起動……106
　キャッシュの削除……109
　セキュリティの設定……109
　データのダウンロード……109
　テキストのコピー……108
　ホームの設定……109
Messenger……112
microSDカード……132
Microsoft My Phone……137
NX!Screen……45
Office Mobile……146
OneNote Mobile……152
PacketWIN……181
PhotoBase……128
PIN1コード……23
PowerPoint Mobile……151
SPB Backup……138
USB to PC……134
USBホスト機能……136
USBモード……134
VideoEditor……128
VPN……178
Wi-Fi設定……176
Windows Live……111
Windows Live Hotmail……114
Windows Marketplace for Mobile……160
Windows Media Player……123
Windows Mobileデバイスセンター……140
Word Mobile……146

あ

アイコン……46
明るさ･省電力設定……162
アラーム
　仕事……82
　時計とアラーム……161
　予定表……84
暗号化……133
暗証番号……22
　PIN1コード……23
　デバイスロックのパスワード…22
いつもNAVI……158
インターネット……106
エクスプローラー……130
エラー報告……168
オーナー情報……58
お気に入り……107
お使いになる前に……53
音設定……161
音と通知……161
お留守番サービス……188

か

学習データのリセット……65
拡大鏡機能……160
拡大パッド……57
カスタマー フィードバック……168
画像とビデオ……122
カメラ……116
　撮影画面の見かた……117
　撮影モード……117
　静止画撮影……118
　設定……119
　動画撮影……118
画面……164
　画面の向き……164
　文字サイズの変更……164
　文字の滑らかさ……164
画面キャプチャ設定……119
キーボード……29
グローバルパスポートCDMA……204
グローバルパスポートGSM……212
ゲーム……156
　ソリティア……156
検索……135
国際電話……72
国際ローミングサービス……204

さ

仕事……82
　オプション設定……83
　確認……83
　削除……82
　状態の設定……83
　送信……83
　登録……82
　表示方法の変更……83
　変更……82
自分の電話番号を確認……58
充電……32
受話音量……75
省電力の設定……162
証明書……42
初期設定……35
ズームバー……107、117
スクロール……105
スタートメニュー……52
　項目の並べ替え……53
　デザインの変更……163
ステレオイヤホンマイク……74
スピーカー音量……75
スピードダイヤル……71
スライド……44
スリープモードLED設定……36
静止画……118
　再生……122
　撮影……118
　スライドショー……122
設定(スタートメニュー)……218
　個人……219
　システム……219
　接続……219
設定(東芝ホーム画面)……216
　一般設定……216
　音／マナーモード……217
　画面設定……217
　東芝ホーム設定……217
　時計設定……217
　ネットワーク／接続……216

バックライト／省電力.........216
ソフトウェア更新.........170

た

タイトルバー.........46
タスク切り替えパッド.........55
タスクマネージャー.........58
タッチキーバックライト設定.........163
タッチパネル.........44
単語登録.........65
地域.........164
着信音量.........75
着信転送サービス.........194
通知音設定.........161
ツールボックス設定.........57
通話履歴.........70
デバイスロック.........39
通知アイコン.........40
電源ON／OFF.........35
電子コンパス調整.........159
電子辞典.........157
電子メール
削除.........97
下書き.........95
受信.........96
新規作成.........95
設定.........93
転送.........97
添付ファイルの保存.........97
返信.........96
電卓.........156
電池パック.........31
寿命.........33
使用時間の目安.........33
電池残量の確認.........35
取り付けかた.........31
取り外しかた.........32
電話を受ける.........73
電話をかける.........68
スピードダイヤル.........71
発着信履歴から.........70
連絡先から.........72
動画.........118
再生.........122
撮影.........118
動画質設定.........127
東芝ホーム画面.........45、48
アイテムの削除.........50
アイテムの追加.........49
お気に入り連絡先.........51
壁紙の変更.........50
発着信履歴の利用.........52
プログラムの一覧.........51
ページ数設定.........50
よく使うアプリケーション.........50
よく見るWebサイト.........50
レイアウトの編集.........50
連絡先の表示.........51
ドメインへの登録.........181
ドラッグ.........44

な

ナビウィンドウ.........105
入力パネル.........60
T-Keyboard.........60
定型文.........62
ひらがな／カタカナ方式.........61
文字一覧.........62
ローマ字／かな方式.........62
入力パネル設定.........60
ネットワークサービス.........188

は

バージョン情報.........168
パケット通信.........181
パケット通信回線の切断.........97、110
パスワード.........22
発信者番号の通知／非通知(186／184).........71
パン.........45、105
番号通知リクエストサービス.........198
ハンズフリー.........74
比吸収率(SAR).........230
日付／時刻の設定.........36
フォルダー.........130
プッシュ信号.........72
ブラウザ
Internet Explorer.........106
設定.........109、110
ブラウザ設定.........110
プログラム.........166
インストール.........166
削除.........166
ヘルプ.........53
変換辞書.........64
ボイスメモ.........88
再生.........88
録音.........88
ボタン.........167

ま

マスタークリア.........169
マナーモード設定.........76
マルチファンクションパッド.........56
無線LAN機能.........174
名刺OmCR.........120
迷惑電話撃退サービス.........199
メール.........92
メールBOX.........98
並べ替え.........98
フォルダーの作成.........98
メールグループ
送信.........79
登録.........79
メニュー一覧.........216
メニューバー.........47
メモ.........87
削除.........89
送信.........89
手書き.........87
ボイスメモ.........88
文字入力パッド／キーボード入力.........87
メモリ使用量.........166
IS02.........166
外部メディア.........167
モーションコントロール.........53
モーションセンサー設定.........55
モーションセンサー調整.........55
文字入力.........60

や

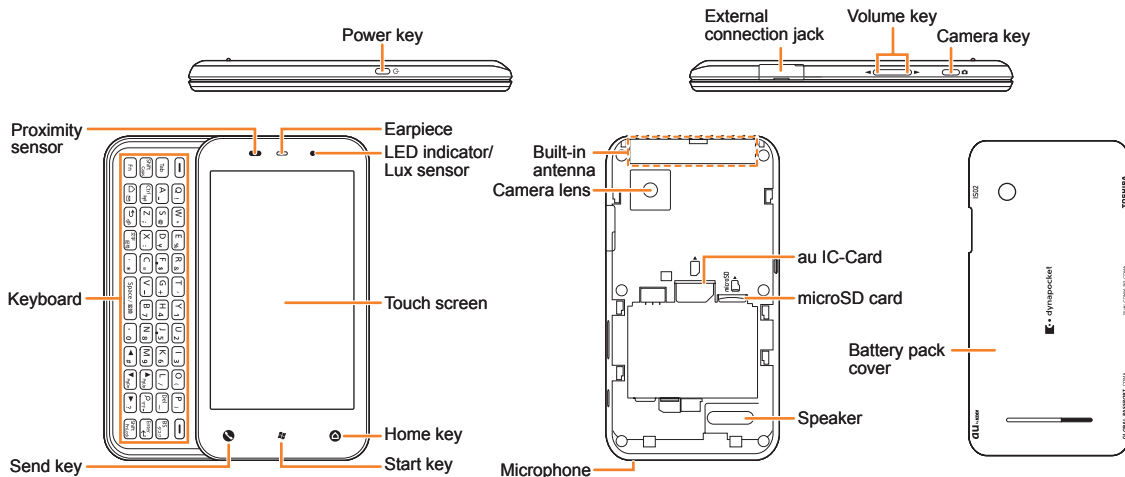
予定表.........84
オプション設定.........85
削除.........85
送信.........86
登録.........84
表示.........84
変更.........85

ら

リセット(再起動).........169
連絡先.........78
削除.........80
送信.........80
登録.........78
登録内容確認.........79
変更.........80

わ

ワイヤレスマネージャー.........42

English Simple Manual (簡易英語版)

Turning Power On and Off

- **Turning Power On**

  Hold down ⏻ for at least a few seconds.

- **Turning Power Off**

  Hold down ⏻ for at least a few seconds. ▶Tap “電源OFF” (Power Off).

Checking Your Own Phone Number and E-mail Address

Tap . ▶Tap “設定” (Settings). ▶Tap “個人” (Personal).
▶Tap “自局番号” (My Number).

Making and Answering a Call

- **Making a Call**

  Tap . ▶Enter the phone number you want to call. ▶Tap 通話 .
  To end a call: Tap 終了 .

- **Answering a Call**

  When the phone starts ringing, tap .
  To adjust the earpiece volume during a call: Use /.

Storing and Recalling Address Book Entries

● **Storing an Entry**

Tap . ▶Tap "連絡先" (Contacts). ▶Tap .
▶Tap "Outlook連絡先" (Outlook Contact). ▶Enter the data. ▶Tap .

● **Recalling an Entry**

Tap the entry you want to view the detail.

Using the Camera (Movie and Snapshot)

● **Recording a Movie Clip**

Hold down for at least one second.
▶Tap the capture mode icon to switch to (video mode).
▶Tap to start recording.
▶Tap to stop recording.
▶Tap OK to store the movie.

● **Taking a Snapshot**

Hold down for at least one second.
▶Tap the capture mode icon to switch to (single photo mode).
▶Tap to take a snapshot.
▶Tap OK to store the photo.

Making an International Call

Ex: To call 212-123-△△△△ in the USA

「0」「0」「1」「0」「1」「0」▶「1」▶「2」「1」「2」

International access code　Country code (USA)　Area code

▶「1」「2」「3」▶ △△△△ ▶Tap 通話 .

Number you want to call

Other Handy Features

● **Setting the Manner Mode**

Hold down for at least one second.
Repeat the above operation to disable the Manner Mode.

For inquiries, please contact
au Customer Service Center (General Information)
● If you are calling from a landline phone: 0077-7-111 (toll free)
● If you are calling from an au mobile phone: 157 (toll free)

簡易英語

中文简易说明书（簡易中国語版）

IS02 au by KDDI

开启或切断电源

- **开启电源**

  按住⏻几秒钟。

- **切断电源**

  按住⏻几秒钟。▶轻按“電源OFF”(关闭电源)。

检查您自己的电话号码和电子邮箱地址

轻按⊞。▶轻按“設定”(设定)。▶轻按“個人”(个人)。
▶轻按“自局番号”(本机号码)。

拨打和接听电话

- **拨打电话**

  轻按📞。▶输入您想要拨打的电话号码。▶轻按 通話 。

  结束通话: 轻按 終了 。

- **接听电话**

  在电话铃声响起时,轻按📞。

  调整听筒音量: 使用▲／▼。

簡易中国語

保存和查看电话簿内的名单

● **保存名单**

轻按 。▶轻按“連絡先”(联系人)。▶轻按 。

▶轻按“Outlook連絡先”(Outlook联系人)。▶输入数据。

▶轻按 。

● **查看名单**

轻按名单查看详细内容。

使用照相机(动画和快照)

● **拍摄动画**

按住 一秒钟以上。

▶轻按拍摄模式图示切换至 (动画模式)。

▶轻按 开始拍摄。

▶轻按 停止拍摄。

▶轻按 OK 储存动画。

● **拍摄快照**

按住 一秒钟以上。

▶轻按拍摄模式图示切换至 (单张照片模式)。

▶轻按 拍摄快照。

▶轻按 OK 储存照片。

拨打国际长途电话

举例: 想要拨打美国长途电话 212-123-△△△△

其他手机功能

● **设置静音模式**

按住 一秒钟以上。

想要取消静音模式,则重复上述步骤。

如需咨询,请联系

au客户服务中心(综合信息)

● 从座机上请拨打电话: 0077-7-111(免费)

● 从au手机上请拨打电话: 157(免费)

文字入力の詳細情報

■記号(全角／半角)一覧

入力できる記号(全角)一覧

１	２	３	４	５	６	７	８	９	０	！	”	＃	＆	’	（	）	＿	ー	～	、
。	／	：	；	？	＠	＄	％	＊	＋	＜	＝	＞	［	￥	］	＾	｀	｛	｜	｝
．	「	」	，	・	゛	゜	´	¨	￣	ヽ	ヾ	ゝ	ゞ	〃	仝	々	〆	〇	―	‐
＼	‖	…	‥	‘	“	〔	〕	〈	〉	《	》	『	』	【	】	－	±	×	÷	≠
≦	≧	∞	∴	♂	♀	°	′	″	℃	￠	￡	§	☆	★	●	○	◎	◇	◆	□
■	△	▲	▽	▼	※	〒	→	←	↑	↓	〓	∈	∋	⊆	⊇	⊂	⊃	∪	∩	∧
∨	￢	⇒	⇔	∀	∃	∠	⊥	⌒	∂	∇	≡	≒	≪	≫	√	∽	∝	∵	∫	∬
Å	‰	♯	♭	♪	†	‡	¶	◯	ゎ	ゐ	ゑ	ヮ	ヰ	ヱ	ヴ	ヵ	ヶ	Α	Β	Γ
Δ	Ε	Ζ	Η	Θ	Ι	Κ	Λ	Μ	Ν	Ξ	Ο	Π	Ρ	Σ	Τ	Υ	Φ	Χ	Ψ	Ω
α	β	γ	δ	ε	ζ	η	θ	ι	κ	λ	μ	ν	ξ	ο	π	ρ	σ	τ	υ	φ
χ	ψ	ω	А	Б	В	Г	Д	Е	Ё	Ж	З	И	Й	К	Л	М	Н	О	П	Р
С	Т	У	Ф	Х	Ц	Ч	Ш	Щ	Ъ	Ы	Ь	Э	Ю	Я	а	б	в	г	д	е
ё	ж	з	и	й	к	л	м	н	о	п	р	с	т	у	ф	х	ц	ч	ш	щ
ъ	ы	ь	э	ю	я	─	│	┌	┐	┘	└	├	┬	┤	┴	┼	━	┃	┏	┓
┛	┗	┣	┳	┫	┻	╋	┠	┯	┨	┷	┿	┝	┰	┥	┸	╂	①	②	③	④
⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲	⑳	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅴ
Ⅵ	Ⅶ	Ⅷ	Ⅸ	Ⅹ	㍉	㌔	㌢	㍍	㌘	㌧	㌃	㌶	㍑	㍗	㌍	㌦	㌣	㌫	㍊	㌻
㎜	㎝	㎞	㎎	㎏	㏄	㎡	㍻	〝	〟	№	㏍	℡	㊤	㊥	㊦	㊧	㊨	㈱	㈲	㈹
㍾	㍽	㍼	≒	≡	∫	∮	∑	√	⊥	∠	∟	⊿	∵	∩	∪					

入力できる記号(半角)一覧

1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	!	"	#	&	'	(	)	_	-	~	,
.	/	:	;	?	@	$	%	*	+	<	=	>	[	¥	]	^	`	{	|	}
｡	｢	｣	､	･	ｰ	ﾞ	ﾟ													

※入力できる記号は実際の表示と多少異なります。

■顔文字一覧

(^O^)	(｀ε´)	(^_^;)	V(^−^)V
(^w^)	(｀ヘ´)	(−.−;)	(;▽;)/~~
(^_^)v	(−_−#)	(^。^;)	(−.−)zzZ
o(^−^)o	(−″−;)	(−o−;)	m(_ _)m
(*^o^*)	(｀o´)	f^_^;	(｀▽´)ゞ
(￣∀￣)	(;｀皿´)	(>Σ<)	(^з^)−☆Chu!!
(≧▽≦)	(￣・・￣)	(°□°;)	(≧ε≦)
(o^∀^o)	(≧ヘ≦)	(°∀°;ノ)ノ	”(ノ><)ノ
o(｀▽´)o	|(￣3￣)|	＼(☆o☆)／	ε=ε=┏(・_・)┛
(⌒〜⌒)	(￢з￢)	＼(+×+)／	♪〜θ(^0^)
(T_T)	(^o^)／	(*_*)	
(ToT)	(^∀^)ノ	(?_?)	
(>_<)	(^◇^)┛	(@_@)	
(;_;)	(‘o‘)ノ	(◎o◎)	
(∋_∈)	(・o・)ノ	(・_・)エッ..?	
(ρ__;)	(−^〇^−)	(・◇・)?	
(ノ△T)	(~っ~)/	(￣〇￣;)	
p(´⌒｀q)	＼(^―^)／	(・_・;)	
(┳◇┳)	!(b^―°)	(°▽°)	
(ρ°∩°)	(=°−°)(=。_。)	(」°□°)」	

※入力できる顔文字は実際の表示と多少異なります。

■ 絵文字一覧

入力できる絵文字一覧

顔・表情

気持ち・からだ

生き物・星座

食べ物・飲み物

- ●異なる機種の携帯電話に絵文字を送信した場合、一部の絵文字が正しく表示されない場合があります。
- ●マルが付いた絵文字は動きます。ただし、入力箇所によっては動かない場合があります。
- ●他社の携帯電話に送信した場合に変換される絵文字の対応表は、以下のホームページでご案内しております。

  パソコンから→ http://www.au.kddi.com/email/emoji/index.html

  ※サイト内の「絵文字対応表」を選択すると対応表の確認ができます。

【裏面もご覧ください】

ご使用にあたっての注意事項

このたびは、IS02をお買い上げいただき、誠にありがとうございました。
ご使用前に以下の説明を必ずお読みください。

□Cメール送信機能に関する注意事項

Cメール送信機能は2010年6月時点では使用できません。Cメール送信機能は、ソフトウェアアップデートにて2010年秋頃ご提供予定です。詳しい内容はauホームページをご参照ください。

□Getting Started カードについて

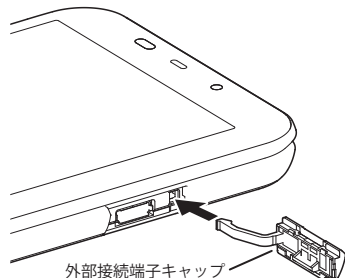
お客様が WINDOWS MOBILE 6.5 SOFTWARE の使用許諾を受けていることを証明するため、「Certificate of Authenticity」ラベルが貼付された Getting Started カードを大切に保管してください。詳しい内容はエンド・ユーザ・ライセンス契約書をご参照ください。

□外部接続端子キャップに関する注意事項

外部接続端子キャップは、容易には外れない構造になっていますが、強く引っ張る等の過度の力が加わった場合は破損を防止するため外れる仕組みとなっています。
万一、外部接続端子キャップが外れた場合は、図のように取り付けてください。

IS02-att1005-02

2010年5月第2版　発売元：KDDI（株）・沖縄セルラー電話（株）　製造元：株式会社　東芝

【表面もご覧ください】

□以下の取り扱い上のお願いにつきましてお読みいただきますようお願いいたします。

●無理な力がかかるとディスプレイや内部の基板などが破損し故障の原因となりますので、ズボンやスカートのポケットに入れたまま座ったり、カバンなどの中で重いものの下になったりしないようにしてください。特に開いた状態でカバンの中に入れないでください。外部に損傷がなくても保証の対象外となります。

●強く押す・たたくなど、故意に強い衝撃をディスプレイに与えないでください。傷や破損の原因となります。

●ディスプレイが金属などの堅い部材にあたらないようにしてください。傷の発生や破損の原因となることがあります。

●IS02 を開くときやご使用中は、スライド部に無理な力が加わらないようにしてください。振り回したりそらしたりして au 電話本体に無理な力が加わると故障や破損の原因となります。

●電池パックを取り外す時は、IS02 の電源を切ってください。電源を切らずに電池パックを取り外すと、故障や保存されたデータが変化・消失するおそれがあります。

□デバイスロック画面で「SIM カード」表示がされた際は以下お知らせがあります。

●「SIM カードなし」と表示された場合は、au IC カードが正しく挿入されていません。au IC カードが正しく挿入されているか確認してください。

●「無効な SIM カード」と表示された場合は、お客様の au IC カード以外のカードが挿入されています。お客様の au IC カードを挿入してください。

お客様各位

■手書きサイン認証機能（Cyber-SIGN）についてのお詫び■

このたびは、IS02 をお買い上げいただき、誠にありがとうございました。

IS02 取扱説明書の「手書きサイン認証機能を利用する」（P.41）で説明しております、手書きサイン認証機能につきましては、アプリケーション（「Cyber-SIGN」）の準備が完了していないため、お買い上げ時にはインストールされておりません（2010 年 6 月現在）。
本機能のご使用を希望されていますお客様におかれましては、ご迷惑をおかけいたしましたことを深くお詫び申し上げます。

なお、「Cyber-SIGN」の提供時期につきましては、au ホームページ（http://www.au.kddi.com/）にてあらためてご案内させていただきます。
ご希望のお客様におかれましては、上記案内をご確認のうえ、アプリケーションをダウンロードいただきますようお願いいたします。
※お客様のダウンロードの方法によっては、通信料が発生する場合がございます。

IS02-attcyber1006-01

2010 年 6 月第 1 版　発売元：KDDI（株）・沖縄セルラー電話（株）　製造元：株式会社　東芝

お客様各位

【裏面もご覧ください】

このたびは、IS02 をお買い上げいただき、誠にありがとうございました。ご使用前に以下の説明を必ずお読みください。

■電池消費についての注意事項

電池のもちをよくするため、以下のご使用方法をおすすめいたします。

□メールの自動送受信設定によっては、通信の頻度が多くなり、使用時間が短くなります。

以下の設定に変更することをおすすめいたします。

電子メール（取扱説明書：P.93）：「自動送受信」を「手動実行」に設定（初期設定値「2 時間ごと」）

※「手動実行」以外に設定する場合は、時間間隔をあまり短く設定しないことをおすすめいたします。

※ →「電子メール」→「メニュー」→「オプション」→アカウントをタップ→「送受信スケジュール」で変更できます。

Windows Live（Hotmail）（取扱説明書：P.114）：「同期の頻度」を「手動」に設定（初期設定値「手動」）

※サーバとの同期の頻度を短い時間に設定しないことをおすすめいたします。

※ →「Windows Live」→「メニュー」→「オプション」→「同期スケジュール」で変更できます。

【ご注意】上記の設定に変更することにより、メールの送受信にはお客様の操作が必要になります。送受信の操作を行わない場合、作成したメールが相手に送信されなかったり、または相手から送られたメールを IS02 で受信できませんのでご注意ください。（取扱説明書：P.96「新着メールを問い合わせて受信する」）

□Windows Live Messenger をオンライン状態のまま使用しますと、使用時間が短くなります。

ご利用にならない場合は、サインアウトしてオフライン状態にしてください。（取扱説明書：P.113）

□メール機能、ブラウザ機能、カメラ機能などのアプリケーションは、タスクマネージャーを使って終了させてください。

タスクマネージャーで使用していないアプリケーションが起動していないかを確認し、終了させてください。
起動したままで使用しますと、電池が消費し使用時間が短くなる可能性があります。（取扱説明書：P.58）

□パケット通信回線はこまめに切断してください。

ブラウザやメールなど、インターネット接続が必要なアプリケーションは、インターネットをご利用後にアプリケーションを終了しても、タイムアウトになるまでインターネットに接続されたままになっています。継続してインターネット接続が必要なアプリケーションを使用されない場合は、以下の方法でパケット通信回線を切断することをおすすめします。（取扱説明書：P.97、P.110）

※タイトルバーをタップして をタップする→「切断」をタップして切断できます。

【表面もご覧ください】

■充電についての注意事項

□次のような場合、正しく充電できないことがあります。

指定の充電機器以外を使用して充電しますと、正しく充電されないことがあります。
周囲の温度が高い場所や、IS02 をお使いになりながら充電しますと、IS02 の温度が上昇して充電に時間がかかる場合があります。その場合は、IS02 の温度が下がってから再度充電を行ってください。

□アプリケーションを終了させて充電してください。

アプリケーションを動作した状態で充電を行いますと、充電に時間がかかる場合があります。アプリケーションを終了させてから充電することをおすすめします。

■電池残量の目安を示すアイコンに関する注意事項

□スリープモードを解除したとき、アイコン表示が急激に変化する場合があります。

スリープモードを解除した際に、タイトルバーに表示される電池残量の目安を示すアイコンの更新に時間がかかる場合があります。これは、スリープモードに移行する前のアイコンが最初に表示されるためで、アイコンの表示が急激に変化する場合がありますが、異常ではありません。

■電池パックを抜くときの注意事項

□電源が入っている状態では電池パックを抜かないでください。

電池パックを抜くときは電源を切ってください。IS02 の動作中、特に初期設定の動作中に電池パックを抜きますと正しく動作しなくなるおそれがあります。

■デバイスロックのパスワードを忘れたときの対処方法

□マスタークリアを行ってください。

以下のホームページを参照してマスタークリアを行ってください。ただし、マスタークリアを行いますとお買い上げ時以降に登録されたデータは全て削除されますので、ご了承のうえでマスタークリアを行ってください。(取扱説明書：P.169)

http://www.toshiba.co.jp/product/etsg/mobile_faq/shoQA.htm?careerID=1&faqID=4166

※または　http://www.toshiba.co.jp/index_j3.htm　→「AV・デジタル機器」→「携帯電話・PHS」→「FAQ」→「au byKDDI」→「IS02」→「◆基本機能関連◆」の「Q. 画面表示が出ず、マスタークリアの操作ができない場合は？」をクリックしてください。

IS02-attbatt1008-01　　2010 年 8 月第 1 版　発売元：KDDI（株）・沖縄セルラー電話（株）　製造元：株式会社　東芝

お客様各位

このたびは、IS02をお買い上げいただき、誠にありがとうございました。
取扱説明書におきまして以下お詫びと訂正をさせていただきます。

■発着信履歴の説明に関するお詫び■

発着信履歴の説明に関する記載におきまして、誤りがありましたので、お詫び申し上げますと共に以下の内容を訂正させていただきます。

【訂正内容】該当ページ：P70

誤：②発信
　　電話を発信したことを示します。
　③着信
　　着信があったことを示します。

正：②着信
　　着信があったことを示します。
　③発信
　　電話を発信したことを示します。

以上

ご不要になったケータイや取扱説明書はお近くのauショップへ

大切な地球のために、一人ひとりができること。

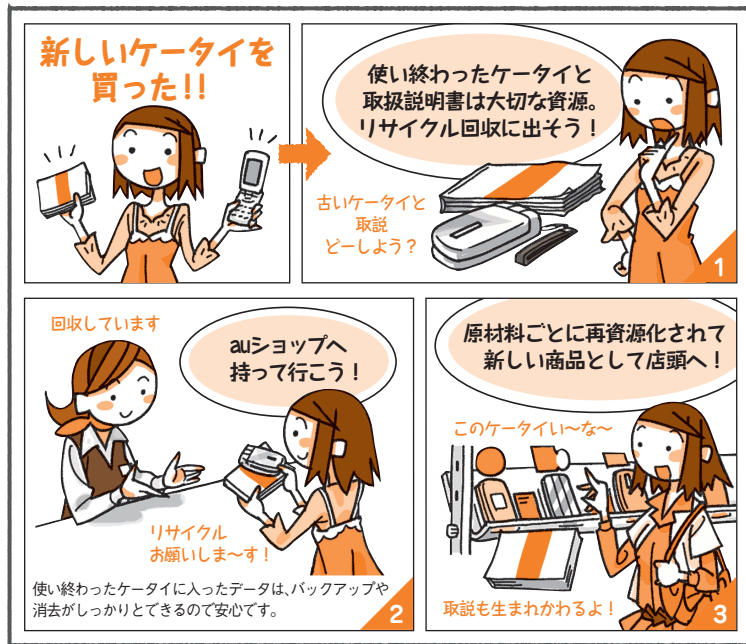
それは、たとえばケータイや取扱説明書のリサイクルという、とても身近なことから始められます。

ケータイの本体や電池に含まれている希少金属や、取扱説明書などの紙類はリサイクルすることができます。
取扱説明書などの紙類は古紙原料として、製紙会社で再生紙となり、次の印刷物に生まれ変わります。また、このリサイクルによる資源の売却金は、国内の森林保全活動に役立てています。

ご不要になったケータイや取扱説明書は、お近くのauショップへ。
みなさまのご協力をお願いいたします。

使い終わったケータイに入ったデータは、バックアップや消去がしっかりとできるので安心です。

ご不要になったケータイや取扱説明書は
お近くのauショップへ

http://www.au.kddi.com/notice/recycle/index.html

お問い合わせ先番号 auお客様センター

総合・料金について（通話料無料）

一般電話からは	au電話からは
0077-7-111	局番なしの157番

PRESSING ZERO WILL CONNECT YOU TO AN OPERATOR
AFTER CALLING 157 ON YOUR au CELLPHONE.

紛失・盗難・故障・操作方法について

（通話料無料）

一般電話からは	au電話からは
0077-7-113	局番なしの113番

上記の番号がご利用になれない場合、下記の番号にお電話ください。
（無料）

0120-977-033（沖縄を除く地域）
0120-977-699（沖縄）

この取扱説明書は大豆油インキで印刷しています。

この取扱説明書は再生紙を使用しています。
取扱説明書リサイクルにご協力ください。
このマークのあるお店で回収し、循環再生紙として再利用します。お近くのauショップへお持ちください。

携帯電話・PHS事業者は、環境を保護し、貴重な資源を再利用するためにお客様が不要となってお持ちになる電話機・電池・充電器を、ブランド・メーカーを問わずマークのあるお店で回収し、リサイクルを行っています。

2010年5月第1版
発売元：KDDI（株）・沖縄セルラー電話（株）
製造元：株式会社 東芝